

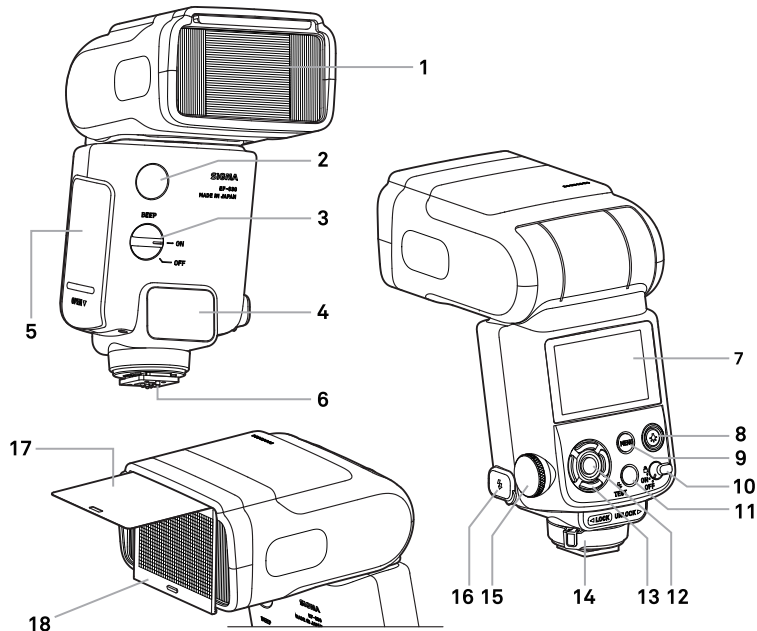
J E D F Es I Dk N Cs Ct K R P
F50S16802

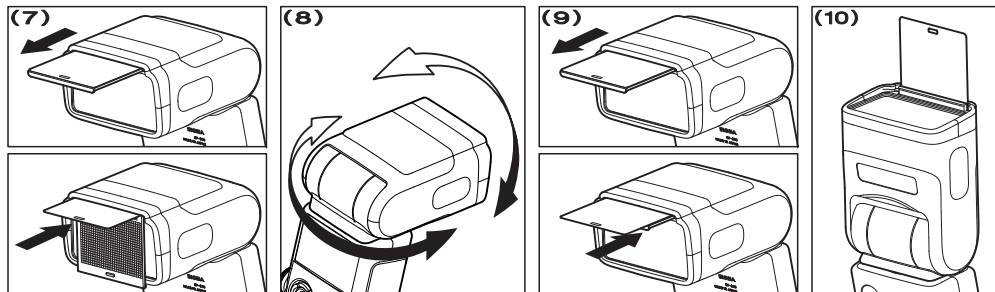
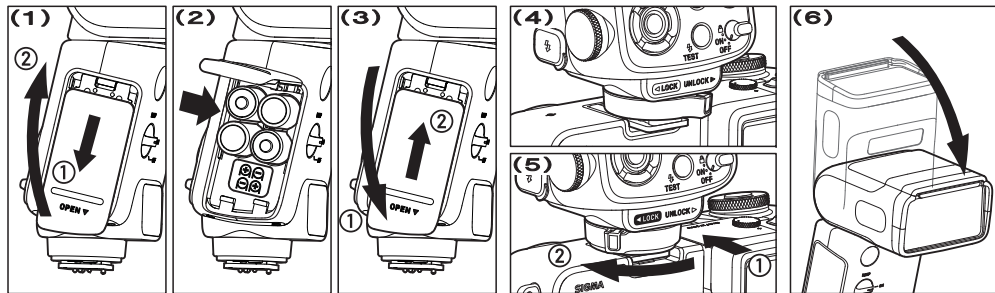
SIGMA

ELECTRONIC FLASH EF-630
FOR SIGMA

使用説明書/**INSTRUCTIONS**

日本語	4~17
ENGLISH	18~31
DEUTSCH	32~45
FRANÇAIS	46~59
ESPAÑOL	60~73
ITALIANO	74~87
DANSK	88~101
NEDERLANDS	102~115
简体中文	116~129
繁體中文	130~143
한국어	144~157
РУССКИЙ	158~171
PORTUGUÊS	172~185





日本語

このたびは、シグマエレクトロニクスフラッシュ EF-630 (FOR SIGMA) をお買い上げいただきありがとうございます。本説明書をご精読の上、フラッシュの機能、操作、取り扱い上の注意点を正しく理解して、写真撮影をお楽しみください。尚、ご使用のカメラの使用説明書のフラッシュ撮影に関する項目も併せてご覧ください。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用前にこの項目の内容を十分ご理解いただくをお願いします。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
各文章の  記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。	
各文章の  記号は行為を禁止する内容を告げています。	

警告

 フラッシュ内部には、高電圧回路が組み込まれています。感電や火傷のおそれがありますので、分解、改造等は絶対にしないでください。また、万一落下等で破損した場合には、内部の部品に手を触れぬよう十分注意してください。

さい。

-  フラッシュを人の目に近づけて撮影しないでください。目の近くでフラッシュを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
-  カメラのホットシューにフラッシュを接続して使用する際には、カメラのシンクロターミナルに手を触れないでください。高電圧がかかり感電することがあります。
-  可燃性のガスが大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。火災の原因となります。
-  発光部を手でおおったり、肌に密着させたまま発光しないでください。火傷の原因となります。
-  車の運転手などに向けて発光しないでください。事故の原因となります。

注意

-  このフラッシュをシグマ sd/dp シリーズ以外のカメラには使用しないでください。誤動作やカメラの電子回路に悪影響を及ぼす可能性があります。
-  このフラッシュは防水構造になっていません。雨天や水辺で使用するときは、濡らさないように注意してください。水が内部に入り込みますと故障の原因になります。
-  ホコリの多い場所や、高温、多湿になる場所に放置しないでください。故障や火災の原因となります。
-  急激な温度変化により、フラッシュ内部に結露が生じることがあります。寒い屋外から暖かい室内に入るときなどは、ケースやビニール袋に入れ、周囲の温度になじま

せてから使用してください。

 防虫剤はフラッシュに悪影響を与えます。タンズや押入などに保管しないでください。

 シンナー、ベンジン等の有機溶剤で拭かないでください。変色、変形等の原因となります。

 フラッシュは使用せずに放置すると性能が劣化します。1ヶ月に1度を目安に発光テストを数回行ってください。

 発光部を布や衣服などでおおったまま発光しないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

このフラッシュは、単三形のニッケル水素電池、もしくはアルカリ乾電池を4本使用します。

- 電池や電池室カバーの接点は、常にきれいにしてください。
- 交換するときには4本とも同じメーカーの同じ種類のものを使用してください。誤った使い方は、液漏れ、発熱、破裂等のおそれがあります。
- 電池の分解、火中、水中への投下、ショート等は破裂のおそれがありますので絶対にしないでください。また、ニッケル水素電池以外は充電しないでください。
- 長期間使用しない場合、電池を取り出して保管してください。電池を入れたまま長期間放置しますと、液漏れが生じてフラッシュ内部を損傷するおそれがあります。
- 長期間の旅行、寒冷地での撮影、または大量に撮影するときには、予備の電池をご用意ください。

- 単3形リチウム乾電池は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 電池を処分する場合は、お住まいの自治体の規則に従ってください。

各部の名称 (P.2)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 発光部 | 10. 電源スイッチ |
| 2. ワイヤレス信号受光窓 | 11. レディライト/TEST ボタン |
| 3. ビープ音スイッチ | 12. OK ボタン |
| 4. AF 補助光発光部 | 13. セクター |
| 5. 電池室カバー | 14. シューロックレバー |
| 6. 取付けシュー | 15. ダイヤル |
| 7. 液晶パネル | 16. シンクロ端子 |
| 8. バックライトスイッチ | 17. キャッチライトパネル |
| 9. MENU ボタン | 18. ワイドパネル |

セクター (13) について

本書ではセクターの各ポジションを **▲/▼/◀/▶** で表しています。



- 上下で操作する場合は **▲▼**、左右で操作する場合は **◀▶** で表しています。

対応するカメラについて

このフラッシュは以下のカメラに対応しています。

sd Quattro シリーズ、SD1/SD1merrill、
dp Quattro シリーズ、DP Merrill シリーズ

- カメラによって対応できない機能があります。巻末の機能対応表 [表 1] を参照してください。

電池の入れ方

- 1.電源スイッチを「OFF」にして、電池室カバーをスライドして開きます。P.3-(1)
- 2.電池室内の表示に従い、電池の＋の向きを間違えないように入れます。P.3-(2)
- 3.電池室カバーを閉じます。P.3-(3)
- 4.電源スイッチを「ON」にします。発光可能な状態まで充電されるとレディライトが緑色で点滅、フルに充電されると赤で点灯します。

ご注意!!

電池容量が少なくなると、液晶パネルに  マークが表示されます。電池容量が完全になくなると、右図のような画面に切り換わり、操作ができなくなります。新しい電池と交換してください。



エラー警告について

液晶パネルに **ER** マークが表示された場合、フラッシュに何らかの異常が発生した恐れがあります。一旦電源スイッチを入

れ直す、もしくは電池をご確認ください。それでも表示が消えない場合は、弊社営業所にご相談ください。

オートパワーオフについて

約 5 分間フラッシュが操作されないと、電池の消耗を防ぐため自動的に電源が OFF になります。TEST ボタンを押すか、カメラ本体のシャッターボタンを半押しすると再度電源が ON になります。ただし、「WL SLAVE」と「S-FL SLAVE」モードではオートパワーオフが働きません。

カメラへの取り付け方

- 1.電源スイッチを「OFF」にします。
- 2.シューロックレバーが「UNLOCK ►」の位置にあることを確認します。P.3-(4)
- 3.カメラのホットシューに止まるまで差し込み、シューロックレバーを「◀LOCK」方向にカチッとロックされるまでスライドします。P.3-(5)

取り外しは、シューロックレバーのボタンを押しながら「UNLOCK ►」方向に止まるまでスライドし、フラッシュを引き抜いてください。

ご注意!!

シューロックレバーが「UNLOCK ►」から外れた位置でフラッシュを引き抜くと、カメラのホットシューとフラッシュの取付けシューを破損する恐れがあります。

発光部のセット

通常の撮影では発光部を正面方向にセットします。P.3-(6)

ご注意!!

電源スイッチを ON にし、ステータスエリアに **BOUNCE** マークが表示される、もしくはステータスエリアの距離表示が点滅している場合、発光部が正しく正面方向にセットされていないのでご注意ください。

連続撮影時のご注意

連続発光による加熱での劣化を防止するため、以下の表に示す回数以下で止めて 10 分以上休ませてください。

モード	最大連続発光回数
TTL, M(1/1, 1/2)	20 回
M(1/4, 1/8)	25 回
M(1/16~1/32)	40 回
MULTI	10 サイクル

ご注意!!

液晶パネルに  マークが表示された場合、加熱防止のためにフラッシュの発光が制限されます。 マークが消えるまで休ませてください。

設定の基本ステップ

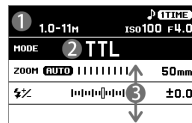
設定の基本を説明します。EF-630 は以下のステップで殆どの設定が簡単に行えます。

ご注意!!

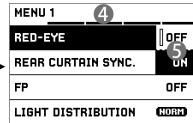
電源スイッチが「」(ロック) のポジションにあると、設定が変更できません。設定の際は必ず「ON」に合わせてください。

MENU ボタンでメイン画面とセットアップメニューを切り替えます。(電源を「ON」にした時は、必ずメイン画面からスタートします。)

メイン画面



セットアップメニュー



発光モードの変更や、個々の発光モードにおける詳細を設定できます。

フラッシュ撮影のオプション機能の追加や、フラッシュの基本状態を設定できます。

- ① ステータスエリア
- ② 発光モードエリア
- ③ モード詳細エリア

- ④ タブエリア
- ⑤ サブメニュー

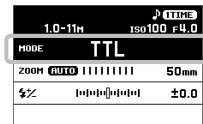
メイン画面での基本操作

発光モードを選ぶ

 ボタンで発光モードエリアを選び、 ボタン、もしくはダイヤルで発光モードを変更します。

発光モードの詳細を設定する

 ボタンでモード詳細エリアを選び、 ボタン、もしくはダイヤルで設定値を変更します。



セットアップメニューでの基本操作

ダイヤル回すとページが切り替わります。(タブエリアが選択されているときは、**<>** ボタンでも切り替えできます。)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

セットアップメニューでは

◇ ボタンで希望の項目を選び、> ボタンか **OK** ボタンでサブメニューを開きます。(項目によっては専用画面が開いたり、確認メッセージが表示されるものがあります。)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

サブメニューでは

◇ ボタンで希望のオプションを選び、> ボタンか **OK** ボタンで確定します。(< ボタンを押すとオプションが変更されずにサブメニューが閉じます。)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME 1TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

S-TTL 自動調光

プリ発光による反射光をカメラ側で測光し、カメラが最適な発光量を制御する S-TTL 自動調光方式による撮影です。通常はこのモードで撮影してください。

1.0-11m ISO100 F4.0	
MODE	TTL
ZOOM AUTO	50mm
±%	±0.0

- 1.発光モードを「**TTL**」にセットします。
- 2.被写体が撮影範囲内にあるかをステータスエリアの距離表示で確認します。
- 3.レディライトで充電を確認し、撮影します。

フラッシュの撮影が正常に行われるとステータスエリアに **OK** マークが約 5 秒間表示されます。**OK** マークが表示されない場合は、光量が不足、もしくは過多の可能性がありますので、条件を変更して撮影し直してください。

シャッタースピードと絞りについて

カメラの各露出モードにおけるシャッタースピードと絞りの関係は以下ようになります。

	シャッタースピード	絞り
P	フラッシュ同調速度※1～手ぶれしにくいシャッタースピード※2に自動的に設定。	自動的に設定。
A		任意に設定可。
S	フラッシュ同調速度※1 以下で任意に設定可。	自動的に設定。
M		任意に設定可。

※1 FP 発光を「ON」に設定すると、高速側のシャッタースピードの制限が無くなります。

※2 装着されているレンズの焦点距離によって異なります。また、カメラのフラッシュモードを「スローシンクロ」に設定すると、低速側のシャッタースピードの制限が無くなります。

ご注意!!

カメラのシャッタースピードや絞り値表示が点滅している状

態で撮影すると、露出が合わない可能性があります。その際は条件を変更して撮影してください。

調光補正

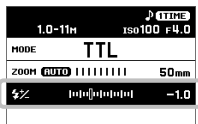
背景の露出には影響を与えずにフラッシュの光量のみ補正することができます。

発光モード：「**TTL**」で使用できます。

発光モード「**TTL**」のモード詳細エリアで、補正量をセットします。（補正量は 1/3 段ステップで、±3 段までできます。）

- カメラとフラッシュの双方で調光補正をセットした場合、カメラによって動作が異なります。

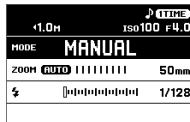
sd Quattro シリーズ	それ以外の対応カメラ
合算した値で撮影される	カメラ側の設定が優先される



マニュアル発光撮影

発光量を任意に設定することができます。

1. 発光モードを「**MANUAL**」にセットします。
2. モード詳細エリアで、発光量を設定します。（1/128～1/1 の範囲で、1/3EV ピッチで設定できます。）



3. レディライトで充電を確認し、撮影します。

ステータスエリアの距離表示部で、適正露出が得られる距離が計算され表示されます。同じ発光量でも、カメラの ISO 感度や絞り値を変更すると、適正露出が得られる距離が変わります。

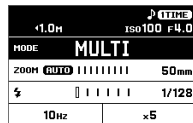
マニュアル発光での適正露出は、次の計算式で割り出せます。
フラッシュの発光量（GN）／撮影距離（m）＝絞り値（F）
このフラッシュの GN（ガイドナンバー）は巻末の「表 2」を参照してください。

マルチ発光撮影

シャッターの開いている間にフラッシュを連続発光して、被写体の動きを 1 コマの画面に連続分解写真のように写し込むことができます。

カメラの露出モードは M で使用してください。

1. 発光モードを「**MULTI**」にセットします。
2. モード詳細エリアで、発光量、発光間隔「**Hz**」（例：10Hz = 1 秒間に 10 回の間隔で発光します）、発光回数「**x**」を設定します。
3. 「発光回数」÷「発光間隔」より遅いシャッタースピードをセットします。
4. レディライトで充電を確認し、撮影します。



連続して発光できる回数は発光量と発光間隔の組み合わせで異なります。巻末の「表 3」を参照してください。

ワイヤレス撮影

フラッシュをカメラから離して設置すると、ライティングによる表現の幅が広がります。EF-630 はフラッシュ光による通信で、離れたフラッシュを制御します。

ワイヤレス TTL 撮影

ワイヤレス TTL モードでは、カメラが自動的に適正露出になるように制御します。

フラッシュを内蔵していないカメラをご使用の場合 (sd Quattro 等)

2 台の EF-630 (FOR SIGMA)が必要です。カメラに取り付けるフラッシュを「制御用フラッシュ」、カメラから離して置くフラッシュを「発光用フラッシュ」と呼びます。

制御用フラッシュの設定

1. 発光モードを「WL TTL」にセットします。
2. 必要に応じてチャンネルを設定します。(モード詳細エリアで Ch.1~Ch.3 を選びます。)

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
③	CONTROL ONLY
Ch.1	

発光用フラッシュの設定

3. 発光モードを「WL SLAVE」にセットします。
4. モード詳細エリアで、制御用フラッシュと同じチャンネルを設定します。

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
F FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1	

5. 発光用フラッシュを設置し、充電完了を確認して撮影します。
(発光用フラッシュは AF 補助光が点滅して充電完了を知らせます。)

- 被写体よりフラッシュは約 0.5m~5m、カメラは約 1m~5m の範囲内にセットしてください。
- 制御用フラッシュは、発光用フラッシュの制御のために発光するだけで、撮影には影響しません。
- フラッシュをカメラから離して使用するときは、付属のミニスタンドを取り付けると便利です。ミニスタンドには三脚用のねじ穴もついています。
- EF-610 DG SUPER SA-STTL との組み合わせでも使用できますが、その場合は EF-610 DG SUPER を制御用フラッシュにしてください。(制御側の設定は EF-610 DG SUPER SA-STTL の使用説明書に従ってください)

フラッシュ内蔵のカメラをご使用の場合 (SD1/SD1 Merrill 等)

1. カメラのフラッシュモードをワイヤレスフラッシュモードにし、必要に応じてチャンネルを設定します。(カメラ側の設定は、カメラの使用説明書に従ってください)
2. 発光モードを「WL SLAVE」にセットします。
3. モード詳細エリアで、カメラと同じチャンネルを設定します。
4. 発光用フラッシュを設置し、カメラの内蔵フラッシュと発光用フ

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
F FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1	

フラッシュの充電完了を確認して撮影します。

- カメラの内蔵フラッシュは、発光用フラッシュの制御のために発光するだけで、撮影には影響しません。

ワイヤレスマニュアル撮影

マニュアル発光撮影と同様に、任意に発光量を設定できるワイヤレス撮影も可能です。2台のEF-630 (FOR SIGMA)が必要で

制御用フラッシュの設定

1. 発光モードを「WL MANUAL」にセットします。
2. 被写体から発光用フラッシュの距離と、ステータスエリアの距離表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。
3. 必要に応じてチャンネルを設定します。(モード詳細エリアでCh.1~Ch.3を選びます。)

発光用フラッシュの設定

4. 発光モードを「WL SLAVE」にセットします。
 5. モード詳細エリアで、制御用フラッシュと同じチャンネルを設定します。
 6. 発光用フラッシュを設置し、充電完了を確認して撮影します。
- EF-610 DG SUPER SA-STTL との組み合わせでも使用でき

1.0M		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
1/128	1/128	
Ch.1		

		1TIME	
MODE	WL	SLAVE	
ZOOM	(AUTO)	24mm	
⚡ FOLLOW MASTER SETTING			
Ch.1			

ますが、その場合はEF-610 DG SUPERを発光用フラッシュにしてください。(発光側の設定はEF-610 DG SUPER SA-STTLの使用説明書に従ってください)ただしこの組み合わせでは、フル発光に近い光量を設定した場合、露出不足になる恐れがあります。

スレーブ発光

EF-630 は他のフラッシュ光に反応して光る機能を備えています。自動調光撮影はできませんが、気軽にカメラからフラッシュを離れた撮影が行えます。

通常スレーブ発光

カメラに取り付けたフラッシュの光に反応し、カメラから離れたEF-630を同調発光させることができます。

- カメラの内蔵フラッシュでは、プリ発光により誤作動してしまうため、同調発光させることができません。

カメラに取り付ける制御用フラッシュは、マニュアル発光モードにし、1/16 程度の発光量にセットします。

カメラの露出モードをM、シャッタースピードを1/30秒以下、絞りとISOは任意の値をセットします。

1. EF-630の発光モードを「S-FL NORMAL」にセットします。
2. モード詳細エリアで、カメラの設定と同じISOと絞り値をセットします。
3. 発光用フラッシュから被写体の距離と、ステータスエリアの距離表

1.0M		⏸ TIME	
MODE	S-FL	NORMAL	
ZOOM	(AUTO) []	24mm	
⚡	[]	1/128	
ISO100		F4.0	

示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。

4. 充電完了を確認して撮影します。

指定スレーブ発光

複数の EF-630 を使用し、設定したチャンネルが一致するフラッシュのみを同調発光させることができます。1 台を制御用としてカメラに取り付けて、他を発光用として使用します。

カメラの露出モードを M、シャッタースピードを 1/30 以下、絞りと ISO は任意の値をセットします。

制御用フラッシュの設定

1. 発光モードを「**S-FL CTRL**」にセットします。
2. 必要に応じてチャンネルを設定します。（モード詳細エリアで Ch.1～Ch.3 を選びます。）

1.0M		1TIME	
MODE	S-FL		CTRL
ZOOM	SET AT 24mm		
	CONTROL ONLY		
Ch.1			

発光用フラッシュの設定

3. 発光モードを「**S-FL SLAVE**」にセットします。
4. モード詳細エリアで、制御用フラッシュと同じチャンネルを設定します。
5. モード詳細エリアで、カメラの設定と同じ ISO と絞り値をセットします。
6. 発光用フラッシュから被写体の距離と、ステータスエリアの距離

1.0M		TTL	
MODE	S-FL		SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm		
	1/128		
Ch.1	ISO100	F4.0	

表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。

7. 充電完了を確認して撮影します。

- 他マウント用の EF-630 や、EF-610 DG SUPER との組み合わせでも使用できます。（EF-610 DG SUPER の設定は EF-610 DG SUPER の使用説明書に従ってください）

オプション機能について

セットアップメニューから設定、追加できるオプション機能を説明します。

赤目緩和発光 (MENU 1)

フラッシュを使用して人物を撮影すると、目が赤く写ることがあります（赤目現象）。人物撮影の時には赤目緩和発光機能を使用すると、シャッターが切れる前に約 1 秒間予備パルス発光を行い、赤目現象を緩和させることができます。

カメラの露出モード：P、A、S、M で使用できます。

発光モード：「TTL」「MANUAL」「WL」で使用できます。

1. 「MENU 1」→「RED-EYE」→「ON」にセットします
2. メイン画面に戻ります。（ステータスエリアに  マークが表示されます。）

ご注意!!

赤目緩和発光に対応していない発光モードの時は「ON」にセットできません。

後幕シンクロ撮影 (MENU 1)

シャッター幕が閉じる直前にフラッシュが発光します。動く被写体の後方に流れる光や軌跡が撮影できるため、自然な動きが表現できます。

カメラの露出モード：P、A、S、M で使用できます。

発光モード：「TTL」「MANUAL」「WL」で使用できます。

1. 「MENU 1」→「REAR CURTAIN SYNC」→「ON」にセットします。
2. メイン画面に戻ります。(ステータスエリアに  マークが表示されます。)

ご注意!!

後幕シンクロ撮影に対応していない発光モードの時は「ON」にセットできません。

FP 発光 (MENU 1)

FP 発光はフラッシュを連続発光させて、シャッターの走行開始から終了まで発光を維持することにより、フラッシュ同調速度より高速のシャッタースピードで撮影できます。

カメラの露出モード：P、A、S、M で使用できます。

発光モード：「TTL」「MANUAL」で使用できます。

1. 「MENU 1」→「FP」→「ON」にセットします。
2. メイン画面に戻ります。(ステータスエリアに  マークが表示されます。)

「TTL」モードでは、ステータスエリアの距離表示で、被写体が撮影範囲内にあるかを確認して撮影してください。

「MANUAL」モードでは被写体までの距離とステータスエリアの距離表示の数値が一致するように、絞りなどを調整して撮影してください。

FP 発光では、フラッシュのガイドナンバーがシャッター速度によって変化し、光の到達距離が短くなります。ガイドナンバーは巻末の「表 4」を参照してください。

ご注意!!

FP 発光に対応していない発光モードの時は「ON」にセットできません。

配光モード (MENU 1)

EF-630 は 3 通りの配光モードを備えており、目的によって選択することができます。

「MENU 1」→「LIGHT DISTRIBUTION」

NORMAL — (初期設定)	通常配光 一般的な撮影向き の基本的な配光特性 をもったモードです。
GN 	ガイドナンバー優先配光 周辺部の光量は落ち ますが、より大きな ガイドナンバーが得 られるモードです。
DIFFUSE 	フラット配光 周辺光量の落ち込み を減らし、均一な配 光特性をもったモー ドです。

テスト発光 (MENU 2)

EF-630 は 2 通りのテスト発光モードを備えており、いずれかを TEST ボタンに割り当てることができます。

「MENU 2」→「TEST FLASH」

1 TIME 1TIME (初期設定)	テスト発光 通常のテスト発光が行われます。
MODELING MODEL	モデリング発光 TEST ボタンを押し続けると、約 1.5 秒間連続発光が行われ、フラッシュ撮影による被写体の影の出方を確認することができます。

カスタムモード (MENU 3)

好みの設定を登録し、簡単に呼び出すことができます (2 つのパターンを登録できます)。

カスタムモードの登録・呼出し

1. 発光モード、モード詳細エリア、セットアップメニューの内容を一通り好みの状態に設定します。
2. 「MENU 3」→「CUSTOM MODE SETTING」から「C1」「C2」のいずれかを選び **OK** ボタンを押します。
3. 「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。

登録された内容は、カスタムモードとして発光モードに追加されます (カスタムモードは、発光モードエリアに **C1** もしく

1.0~11m	MODEL	ISO100 F4.0
MODE C1	TTL	
ZOOM AUTO		50mm
1/2		-1.0

は **C2** マークが表示されます)。

登録されたカスタムモードを消去する

1. 「MENU 3」→「CUSTOM MODE DELETE」から「C1」「C2」のいずれかを選び **OK** ボタンを押します。
2. 「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。

AF 補助光 (MENU 4)

暗い場所ではオートフォーカスの作動をアシストするために AF 補助光が照射されます (有効範囲・約 0.7m~10m)。

- AF 補助光が不要な場合は「MENU 4」→「AF ASSIST LIGHT」→「OFF」にセットしてください。

液晶パネルの照明 (MENU 4)

電源を ON にすると液晶パネルが照明されます。照明の点灯、消灯に関する設定を変更することができます。

「MENU 4」→「LCD LIGHT」

AUTO (初期設定)	最後にボタン・ダイヤル操作を行った時点から 8 秒で消灯します。消灯時にボタン・ダイヤル操作を行うと自動で点灯します。
8 SEC	ボタン・ダイヤル操作に関わらず、点灯時点から 8 秒で消灯します。
ON	常に点灯します。

- 設定に関わらず、 ボタンで点灯・消灯させることができます。

液晶パネルの調整 (MENU 4)

液晶パネルのコントラストや照明の明るさを調整することができます。

「MENU 4」→「DISPLAY SETTING」

BRIGHTNESS	明るさ ◀▶ ボタンで見やすい明るさに調整してください。
CONTRAST	コントラスト ◀▶ ボタンで見やすいコントラストに調整してください。

調整を確定する場合は「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。
キャンセルする場合は「CANCEL」を選び **OK** ボタンで確定します。

距離表示の単位変更 (MENU 4)

ステータスエリアの距離表示を変更することができます。

「MENU 4」→「M / FEET」

M (初期設定)	メートル表記
FEET	フィート表記

情報表示 (MENU 5)

以下の情報が確認できます。

「MENU 5」→「INFORMATION」

MODEL	モデル名
SERIAL No.	シリアルナンバー
VERSION	ファームウェアバージョン

設定の初期化 (MENU 5)

フラッシュの設定を初期の設定に戻すことができます。

「MENU 5」→「RESET SETTINGS」

初期化を実行するには「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。

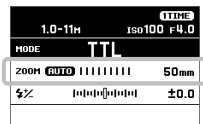
- 設定の初期化を実行すると、登録されたカスタムモードも消去されます。

その他の便利な機能

照射角について

照射角を **AUTO** (オート) でご利用の場合、レンズの焦点距離に最適な照射角に自動的にセットされます。

- カメラの撮像素子サイズも考慮し制御されるため、実際のレンズの焦点距離と異なる数値が表示される場合があります。
- 発光モードによってはレンズの焦点距離に関わらず、照射角が固定される場合があります。



照射角は手動で切り替えることができます。モード詳細エリアで◀▶ ボタンを押します。

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

●照射角が変わると、ガイドナンバーも変化します。

ワイドパネル

17mm までの広角レンズを使用するときには、ワイドパネルを使用してください。

ワイドパネル+キャッチライトパネルを止まるまで引き出します (強く引っ張らないでください)。キャッチライトパネルは元の位置に収納してください。P.3-(7)

●ワイドパネル使用中は、モード詳細エリアの照射角表示部に **WP** マークが表示されます。

バウンス撮影

フラッシュの発光部を天井や壁へ向けて発光し、光を拡散させることにより、影の少ない柔らかな写真を撮ることができます。発光部を上方 90°、下方 7°、左右 180°にセットできます。P.3-(8)

- バウンス中はステータスエリアに **BOUNCE** マークが表示されます。
- バウンスさせる反射面の色が写真全体にあらわれますので、なるべく白い面を選んでください。また、バウンスさせる反射面の状況や撮影距離などの撮影条件によって調光できる範囲が変化します。

近接撮影

発光部を下方に 7°傾けることで、近接撮影において画面下部

に十分に光ををまわすことができます。

- 下方に 7°バウンスさせている時は、ステータスエリアの距離表示が点滅します。

キャッチライトパネル

バウンス撮影時に、人物の目にキャッチライトを入れることができるキャッチライトパネルを内蔵しています。

ワイドパネル+キャッチライトパネルを止まるまで引き出します (強く引っ張らないでください)。ワイドパネルは元の位置に収納してください。P.3-(9)

- バウンス角度を上方 90° にし、被写体から近い距離での撮影が効果的です。P.3-(10)

シンクロ端子

EF-630 は、市販のシンクロコードでカメラと接続できるシンクロ端子を備えています。

シンクロコード接続での撮影は、発光モードを「**MANUAL**」で使用してください。

「**MENU 2**」の「**ISO**」「**F-NUMBER**」でカメラと同じ ISO と F 値をセットし、フラッシュから被写体の距離と、ステータスエリアの距離表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。

ご注意!!

シンクロ端子を使用してのフラッシュ撮影では、S-TTL による自動調光撮影はできません。

シンクロ端子極性が、中央のピンがプラス、外周部がマイナス

のもののみ対応しています。逆の極性のものをご使用の場合は市販の変換コード等を利用してください。

誤操作防止機能

電源スイッチを「」（ロック）ポジションにすると、TEST ボタンと  ボタン以外の操作が禁止され、誤操作を防ぐことができます。

- ロック中はステータスエリアに  マークが表示されます。

ビープ音

液晶パネルの表示を見なくても音だけでフラッシュの状態を知ることができます。

本体正面の BEEP スイッチを「ON」にしてください。（ON にするとステータスエリアに  マークが表示されます。）

ピッ（1 回）	充電完了
ピッピッ（2 回）	調光 OK
ピー（2 秒間）	エラー警告

主な仕様

形式：クリップオン式直列制御 TTL オートズームフラッシュ
ガイドナンバー：63（ISO100/m、200mm 位置） 使用電源：単三形アルカリ乾電池、又は単三形ニッケル水素電池 4 本 充電時間：約 3 秒（アルカリ乾電池使用）、約 1.8 秒（ニッケル水素電池使用） 発光回数：約 120 回（アルカリ乾電池使用）、約 185 回（ニッケル水素電池使用） 閃光時間：約 1/700 秒

（フル発光時） 照射角度：24～200mm の使用レンズに合わせて自動セット（ワイドパネル使用で 17mm レンズの画角をカバー） 質量：490g 寸法（幅×高×長）：79.4×148.4×121.5mm

品質保証とアフターサービスについて

この製品の保証の内容、およびアフターサービスについては、別紙の“保証書”を御覧ください。

製品のお問い合わせは… シグマ カスタマーサポート部

フリーコール：0120-9977-88

携帯電話・PHS をご利用の方は 044-989-7436 にご連絡ください

サポート・インターネットページアドレス

<http://www.sigma-photo.co.jp/support/index.htm>

株式会社シグマ 本社

〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号

☎ (044) 989-7430 (代) FAX: (044) 989-7451

インターネットホームページアドレス

<http://www.sigma-photo.co.jp>



この製品は、クラス B 情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ENGLISH

Thank you very much for purchasing the Sigma Electronic Flash EF-630 (FOR SIGMA). To add to your enjoyment of photography, the flash has a variety of features. To make the most of all these features and to get the maximum performance and enjoyment from your flash, please read this instruction booklet together with your camera's instruction manual before using the flash, and also keep it handy for your future reference.

SAFETY PRECAUTIONS

To avoid causing damage or injury, please read this instruction manual carefully, before using the flash. Please take special note of the following two cautionary symbols.

 **Warning !!** Using the product and disregarding this warning sign may cause serious injury or other dangerous results.

 **Caution !!** Using the product disregarding this caution sign may cause injury or damage.

 This symbol denotes a warning or point, where caution is required.

 This Symbol contains information regarding the actions that must be avoided.

Warning !!

 This flash contains high voltage circuits. To avoid electric shock or burns, do not attempt to disassemble the flash. If the outside shell of the unit is broken or cracked, do not touch the mechanism inside.

 Do not fire the flash close to eyes. Otherwise the bright light could damage the eyes. Keep at least 1m/3feet

distance between face and the flash unit when taking a picture with flash.

 Do not touch the synchro terminal of your camera when the flash is attached to the hot shoe. High voltage circuitry could cause an electric shock.

 Never use your camera in an environment where flammable, burnable, gas, liquids or chemicals, etc, exist. Otherwise it might cause fire or explosion.

 Do not cover the Flash Head with your hands or fire the flash when it is next to your skin as it could cause burns.

 Do not fire the flash toward car drivers as it could cause an accident.

Caution !!

 Do not use this flash unit on any camera other than the Sigma sd / dp series cameras, otherwise the flash may damage the circuitry of these cameras.

 This flash unit is not waterproof. When using the flash and camera in the rain or snow or near water, keep it from getting wet. It is often impractical to repair internal electrical components damaged by water.

 Never subject the flash and camera to shock, dust, high temperature or humidity. These factors might cause fire or malfunctioning of your equipment.

 When the flash is subjected to sudden temperature change, as when the flash unit is brought from a cold exterior to warm interior, condensation might form inside. In such a case, place your equipment in a sealed plastic bag before such a change, and do not use the flash unit until it reaches room temperature.

-  Do not store your flash in a drawer or cupboard etc. containing naphthalene, camphor or other insecticides. These chemicals will have a negative effects on the flash unit.
-  Do not use a thinner, Benzene or other cleaning agents to remove dirt or finger prints from the component. Clean with a soft, moistened cloth.
-  For extended storage, choose a cool dry place, preferably with good ventilation. It is recommended that the flash be charged and fired several times a month, to maintain proper capacitor functioning.
-  Do not fire the flash while covering the Flash Head with cloths or clothes as it could cause fire.

ABOUT THE BATTERY

This flash unit uses four "AA" type Ni-MH rechargeable batteries or alkaline dry cell batteries.

- To assure proper electrical contact, clean the battery terminals before installing the batteries.
- To prevent battery explosion, leakage or overheating, use four new AA batteries of the same type and brand. Do not mix the type or new and used batteries.
- Do not disassemble or short-circuit the batteries, or expose them to fire or water; they may explode. Do not recharge the batteries other than Ni-MH rechargeable batteries.
- When the flash will not be used for an extended period of time, remove the batteries from the flash to avoid the possibility of damage from leakage.
- As with any flash, it is recommended you carry spare

batteries when on a long trip or when photographing outdoors in cold weather.

- Do not use Lithium AA/R6 Batteries. It may cause your equipment to malfunction.
- Please follow all guidelines, rules and regulations of your community regarding the disposal of batteries.

DESCRIPTION OF THE PARTS (P.2)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. Flash Head | 10. Power Switch |
| 2. Wireless Signal Receiving Window | 11. Ready Light /TEST Button |
| 3. BEEP Switch | 12.  Button |
| 4. AF Assist Light | 13. Selector |
| 5. Battery Cover | 14. Shoe Lock Lever |
| 6. Shoe | 15. Dial |
| 7. LCD Panel | 16. Sync. Terminal |
| 8. Backlight Switch | 17. Catch Light Panel |
| 9. MENU Button | 18. Wide Panel |

SELECTOR (13)

In this instruction manual, each position of selector is shown as  /  /  / .



- The buttons are used as follows: To operate Up and Down buttons: . To operate Left and Right buttons: .

COMPATIBLE CAMERAS

This flash is compatible with the following cameras.

sd Quattro series, SD1/SD1 Merrill, dp Quattro series, DP Merrill series

- Some functions are not available depending on the camera to be used. Refer to the Corresponding Functions Table [Table 1] attached at the end of this manual.

LOADING THE BATTERIES

1. Turn the power switch to [OFF] and open the battery compartment by sliding the cover. P.3-(1)
2. Follow the indication in the battery compartment and insert the batteries with the "+" and "-" electrodes in the correct direction. P.3-(2)
3. Close the battery compartment cover. P.3-(3)
4. Turn the power switch to [ON]. When the flashgun is charged to the level that flash firing is possible, the Ready light starts blinking in green. When the flashgun is fully charged, the light lights up in red.

Caution!!

When the battery capacity gets low, the  mark is indicated on the LCD panel. When the battery capacity decreases to zero, the display indicates the mark on the right, and the flash will no longer function. Please replace the batteries.



FLAT BATTERY

ERROR WARNING

When the  mark is indicated on the LCD panel, the flash

may have failures. Reset the power switch or check the battery. If the indication remains, contact our sales office.

AUTO POWER OFF

To conserve battery power, the flash unit automatically turns itself off when the flash has not used for approximately 5 minutes. To turn the flash on again, depress the TEST button or the camera shutter button halfway. However, the auto power off does not work in the [WL SLAVE] mode and the [S-FL SLAVE] mode.

ATTACHMENT TO THE CAMERA

1. Turn the power switch to [OFF].
2. Confirm that the shoe lock lever is in the [UNLOCK ►] position. P.3-(4)
3. Insert the flash on to the hot shoe of the camera until it stops. Slide the shoe lock lever to the [◀LOCK] direction until the lever is locked with a clicking sound. P.3-(5)

When removing the flash, slide the shoe lock lever to the [UN LOCK►] direction until it stops while continuing to press the shoe lock lever button. Then pull out the flash.

Caution!!

If the flash is pulled out while the shoe lock lever is not in the [UNLOCK►] position, the hot shoe of the camera and the attachment shoe of the flash could be damaged.

ADJUSTING THE FLASH HEAD

In regular shooting, set the flash head to face forwards. P.3-(6)

Caution!!

After the power switch is turned to ON, if the **BOUNCE** mark is indicated in the Status area, or if the distance indication in the Status area is blinking, the flash head is not correctly set to the front direction.

LIMITS OF CONTINUOUS SHOOTING

To prevent overheating of the flashgun's circuitry, do not use your flash unit for at least 10 minutes after continuously firing the flash for the number of exposures shown in the table below.

Mode	Number of Flash Exposures
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Continuous Flash Shots
M(1/4, 1/8)	25 Continuous Flash Shots
M(1/16~1/32)	40 Continuous Flash Shots
MULTI	10 Cycle

Caution!!

In case the icon  appears on the display, the amount of light will be limited to prevent overheating of the flashgun's circuitry. Refrain from using the flashgun until the icon  disappears.

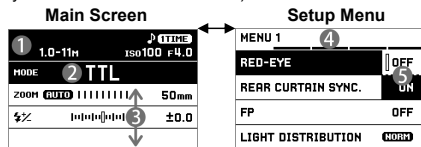
BASIC STEPS OF SETTING

This section describes the basics of the settings. With EF-630, most settings can be conducted easily by the following steps.

Caution!!

When the power switch is at the  (lock) position, the settings cannot be changed. Be sure to set to **[ON]** to change the settings.

Switchover between the Main screen and the Setup menu by using the **MENU** button. (When the power is set to **[ON]**, always start from the Main screen.)



Changes the Flash mode and sets the details of each Flash mode.

- ① Status area
- ② Flash mode area
- ③ Mode details area

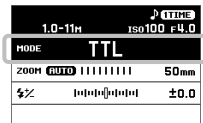
Adds the optional functions of flash shooting and sets the basic conditions of the flash.

- ④ Tab area
- ⑤ Sub menu

BASIC OPERATIONS ON MAIN SCREEN

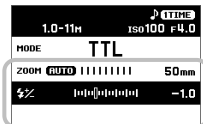
SELECTING FLASH MODE

Select the Flash mode area by using the  buttons and change the Flash mode by using the  buttons or the dial.



SETTING DETAILS OF FLASH MODE

Select Mode details area by using the  buttons and change the setting values by using the  buttons or the dial.



BASIC OPERATION IN SETUP MENU

To move to the next tab, turn the Dial.

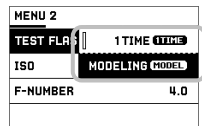
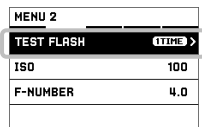
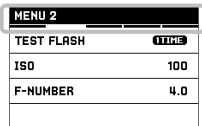
(When the icon in the tab area is selected, it is possible to change the setting menu by pressing the **<>** buttons as well.)

While in the Set-up Menu:

Use the **<>** buttons to select menu items. Press the **OK** or **>** button to open sub-menus or dialogs.
(In some items, a special screen or a dialog message may open.)

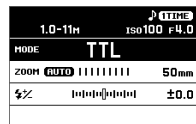
While in set-up sub-menus:

Use the **<>** buttons to select setting options. Press the **OK** or **>** button to apply new settings.
(Press the **<** button to close sub-menus without applying changes.)



S-TTL AUTO EXPOSURE

This is a shooting method using the S-TTL auto exposure method whereby the camera measures the reflected light of the pre-emission and controls the flash amount to an optimal level. Use this mode for general photo shooting.



1. Set the Flash mode to **[TTL]**.
2. Confirm that the subject is within the shooting range by checking the distance indication in the Status area.
3. Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.

When shooting with a flash is correctly conducted, the **OK** mark is indicated for approximately five seconds in the Status area. When the **OK** mark is not displayed, the light amount may be insufficient or too much. Change the condition and conduct shooting again.

SHUTTER SPEED AND APERTURE

The relationships between the shutter speeds and apertures in different exposure modes of the camera are as follows.

	Shutter Speed	Aperture
P	Automatically set from the flash synchronized speed (*1) to the shutter speed with less camera shake (*2).	Automatically set.
A		Can be set freely.
S	Enables you to freely set the speed in a range equal to or below the flash synchronized speed (*1).	Automatically set.
M		Can be set freely.

- (*1) When the FP flash is set to **[ON]**, the restriction of the shutter speed at the high speed side becomes disabled.
- (*2) The shutter speed varies depending on the focal length of the attached lens. In addition, when the Flash mode of the camera is set to slow synchro, the shutter speed restriction at the low speed side becomes disabled.

Caution!!

When shooting while the shutter speed and aperture values

are blinking, the exposure may be mismatched. In that case, change the conditions before you start shooting.

FLASH EXPOSURE COMPENSATION

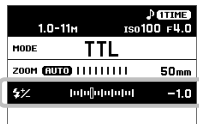
Compensating only the light amount of the flash is possible without affecting exposure of the background.

Flash mode: Can be used with **[TTL]**.

Set the compensation amount in the Mode details area of the Flash mode **[TTL]**. (The compensation amount has 1/3 steps and up to ± 3 steps can be set.)

- When the light compensation is set at both the camera and the flash, the operation varies depending on the camera.

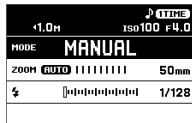
sd Quattro series	Other compatible cameras
The combined amount is used for shooting	The setting at the camera side is prioritized.



MANUAL FLASH

Discretionary setting of the flash amount is possible.

- Set the Flash mode to **[MANUAL]**.
- Set the flash amount in the Mode details area. (Available range for setting: 1/128 to 1/1, Available pitch for setting: 1/3EV.)
- Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.



In the distance display section in the Status area, the distance that appropriate exposure can be obtained is calculated and displayed. Even with the same flashing amount, the distance to obtain the appropriate exposure varies if the camera's ISO sensitivity or the aperture value is changed.

An appropriate exposure when using manual flash can be calculated using the following formula.

Guide Number (GN) / Shooting distance (m) = Aperture value (F)

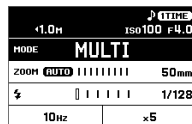
For the GN (Guide Number) of this flash, refer to [Table 2] attached at the end of this manual.

MULTI FLASH

Displaying movement of the subject in one frame as if the image is a photographic playback is possible by continuously emitting light with the flash while the shutter is open.

Use the camera's manual ("M") exposure mode.

- Set the Flash mode to **[MULTI]**.
- In the Mode details area, set the flash amount, flash interval in "Hz" (eg.: 10 Hz = Emits light with the frequency of 10 times per second), and the number of flashes in "x".



- Set a shutter speed that is slower than the value of the "number of flashes" / "flash frequency."
- Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.

The number of flashes that can be fired continuously varies depending on the combination of the flash amount and the flash frequency. Refer to [Table 3] at the end of this manual.

WIRELESS FLASH

When the flash is used at a location far from the camera, the creative possibilities are expanded. The EF-630 is controlled remotely by the camera's built-in flash or a separate Master flash unit.

WIRELESS TTL FLASH

In wireless TTL mode, the camera is controlled so the camera is automatically set to the appropriate exposure.

WHEN USING A CAMERA WITHOUT AN INTEGRATED FLASH (sd Quattro, etc.)

Two EF-630s (FOR SIGMA) are necessary. The flash attached to the camera is called [Master unit], and the flash used at a distance from the camera is called [Slave unit].

MASTER UNIT SETTINGS

1. Set the Flash mode to **[WL TTL]**.
2. Set the channel if necessary. (Select Ch.1 to Ch.3 in the Mode details area.)

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚙	CONTROL ONLY
Ch.1	

SLAVE UNIT SETTINGS

3. Set the Flash mode to **[WL SLAVE]**.
4. In the Mode details area, set the same channel as that of the Master unit.
5. Set the flash for firing. Check the completion of charging and start shooting. (Completion of charging is notified by the blinking of the AF assist light.)

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- Please set the flash unit between 0.5m~ 5m (1.6~ 16ft) from the subject, and set the camera body between 1m~ 5m (1.6~ 16ft) from the subject.
- The Master unit fires in order to control the Slave unit and does not influence photograph.
- When setting a Slave unit at the desired position, you can use mini-stand. This mini-stand has a screw hole for a tripod.
- The EF-630 can also be used in combination with the EF-610 DG SUPER SA-STTL. In this case, use the EF-610 DG SUPER as the Master unit. (For setting this as the Master unit, please follow the EF-610 DG SUPER SA-STTL instruction manual.)

WHEN USING A CAMERA WITH AN INTEGRATED FLASH (SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Set the camera's flash setting to the wireless flash mode and set the channels if necessary. (For details of how to change these settings, follow the camera's instruction manual.)
2. Set the Flash mode to **[WL SLAVE]**.
3. In the Mode details setting area, set the same channel as that of the camera.
4. Position the flash for firing. Ensure both flashes are charged and ready for firing, then start shooting.

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- The camera's built-in flash fires in order to control the Slave unit and does not influence the photograph.

WIRELESS MANUAL FLASH

As well as manual flash photography, wireless shooting whereby the flash output can be manually set is also available. In this case, two EF-630s (FOR SIGMA) are necessary.

MASTER UNIT SETTING

1. Set the Flash mode to **[WL MANUAL]**.
2. In the Mode details area, adjust the flash output so the actual distance from the subject to the slave flash matches the distance indicated on the Status area.
3. Set the channel as needed. (Select Ch.1 to Ch.3 in the Mode details area.)

1.0M		1 TIME
ISO100 F4.0		
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	[]	1/128
Ch.1		

SLAVE UNIT SETTING

4. Set the Flash mode to **[WL SLAVE]**.
 5. In the Mode details area, set the same channel as that of the Master unit.
 6. Position the flash for firing. Check the completion of charging and start shooting.
- It can also be used in combination with the EF-610 DG SUPER SA-STTL. However in this case, use the EF-610 DG SUPER as the Slave unit. (For setting this as the Slave unit, please follow the EF-610 DG SUPER SA-STTL instruction manual.) In this combination, the exposure may be insufficient if the flash output is set near the maximum level.

		 1TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
 FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

SLAVE FLASH

The EF-630 includes a function which allows it to fire by reacting to the flash from another flash unit. This allows for easy and convenient shooting with the flash positioned at a distance from the camera. The light output, however, is not automatically adjusted in this mode.

NORMAL SLAVE FLASH

The Master unit attached to the camera can be used to trigger a synchronized flash with the EF-630, even when it's positioned at a distance from the camera.

- The camera's built-in flash operates erroneously with the pre-flash, therefore, synchronized flash is not possible.

Set the Master flash to manual mode and set the flash output to approximately 1/16.

Set the camera's exposure mode to M, the shutter speed to 1/30 second or shorter, and the aperture and ISO at discretionary values.

1. Set the Flash mode of the Slave EF-630 to **[S-FL NORMAL]**.

2. In the Mode details area, set the ISO and the aperture values to match those of the camera settings.

3. Adjust the flash amount in the Mode details area so the distance between the Slave flash and the subject is approximately the same as the distance indicated in the Status area.

4. Check the completion of charging and start shooting.

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM	(AUTO) []	24mm
⚡	[] 1/128	
ISO100		F4.0

DESIGNATED SLAVE FLASH

If using two or more EF-630 flash units, you can designate which flash units will fire together by using the channel settings. In this mode, one flash unit will be used as the Slave Controller and the others for firing as Slaves.

Set the camera exposure mode to M, the shutter speed to 1/30 second or shorter, and the aperture and ISO at discretionary values.

SETTING THE CONTROL (MASTER) FLASH

1. Set the Flash mode to [S-FL CTRL].
2. Set the channel as needed. (In the Mode details area, select Ch.1 to Ch.3.)

◀1.0M		TTIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	CONTROL ONLY	
Ch.1		

SETTING THE FIRING (SLAVE) FLASH

3. Set the Flash mode to [S-FL SLAVE].
4. In the Mode details area, set the channel to match that of the Control flash.
5. In the Mode details area, set the ISO and aperture value to match those of the Control flash.
6. Adjust the flash amount on the Mode details area so the distance between the Slave flash and the subject is approximately the same as the distance indicated in the Status area.
7. Check the completion of charging and start shooting.

◀1.0M		TTIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
⚡		1/128
Ch.1	ISO100	F4.0

- In Slave mode, this flash can also be used in combination with the EF-630 and / or EF-610 DG SUPER for other camera fittings. (For details on setting up the EF-610 DG SUPER, please follow its instruction manual.)

OPTIONAL FUNCTIONS

This section describes optional functions that can be set and added from the Setup menu.

RED-EYE REDUCTION FLASH (MENU 1)

When taking a picture with flash, sometimes the person's eyes reflect the flashlight and will exhibit "red-eye" in the picture. If you use the "Red-eye reduction" function, the flash will blink for approximately 1 second before the shutter is released to reduce the "red-eye" effect.

Red-eye reduction can be used with **P**, **A**, **S**, and **M** camera exposure modes.

It can be used with [TTL], [MANUAL], and [WL] flash modes.

1. Set [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Return to the Main screen. (In the Status area, the  mark appears.)

Caution!!

This function cannot be set to "ON" in the Flash modes that are not compatible with red-eye reduction flash.

REAR CURTAIN SYNCHRONIZATION (MENU 1)

The flash fires just before the shutter is closed. The light

behind the moving subject and the path of the light can be captured; therefore, the photos can express the subject's natural movement.

It can be used with the camera's **P**, **A**, **S**, and **M** exposure modes.

It can be used with **[TTL]**, **[MANUAL]**, and **[WL]** Flash modes.

1. Set **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Return to the Main screen. (In the Status area, the  mark appears.)

Caution!!

This function cannot be set to "**ON**" in Flash modes that are not compatible with Rear curtain synchronization.

FP FLASH (MENU 1)

The FP flash keeps firing while the shutter curtain is running. Thus you can use a shutter speed faster than the synchronized speed.

It can be used with the camera's **P**, **A**, **S**, and **M** exposure modes.

It can be used with **[TTL]** and **[MANUAL]** Flash modes.

1. Set **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Return to the Main screen. (In the Status area, the  mark appears.)

In **[TTL]** mode, confirm that the subject is within the shooting range by checking the distance indicated in the Status area before you start shooting.

In **[MANUAL]** mode, adjust the aperture, etc. before you start

shooting so the distance to the subject and the distance indicated in the Status area match each other.

The Guide Number will change depending on the shutter speed. (Please refer to [Table 4] on the last page.)

Caution!!

This function cannot be set to "**ON**" in the Flash modes that are not compatible with the FP flash.

LIGHT DISTRIBUTION MODE (MENU 1)

The EF-630 has three Light Distribution modes that can be selected according to the purpose of use.

[MENU 1] → **[LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL – (Default)	Normal light distribution Basic light distribution characteristics for general shooting.
GN 	Guide number prioritized light distribution The flash beam's angle is decreased but a larger guide number is available.
DIFFUSE 	Flat light distribution Prevents a decrease of the surrounding light amount providing a more uniform light distribution.

TEST FLASH (MENU 2)

EF-630 has two Test flash modes. One of the Test flash modes can be allocated to the TEST button.

[MENU 2] → **[TEST FLASH]**

1 TIME 1TIME (Default)	Test flash Executes a single test flash.
MODELING MODEL	Modeling flash When the TEST button is kept pressed, continuous flashing of approximately 1.5 seconds is conducted so the subject's shadows can be checked.

CUSTOM MODE (MENU 3)

It is possible to store and recall custom settings. (Two series of custom settings can be stored.)

STORING AND RECALLING CUSTOM SETTINGS

1. Set the Flash mode, Mode details area, and Setup menu contents as desired.
2. From [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], select [C1] or [C2] and press the **OK** button.
3. Select [OK] and confirm with the **OK** button.

The registered contents are added to the Flash mode as the Custom mode. (The Custom mode is indicated with the **C1** or **C2** mark in the Flash mode area.)

1.0-11M	MODEL
ISO100 F4.0	
MODE C1	TTL
ZOOM AUTO	50mm
1/2	-1.0

DELETING THE REGISTERED CUSTOM MODE

1. From [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], select [C1] or [C2] and press the **OK** button.

2. Select [OK] and confirm with the **OK** button.

AF ASSIST LIGHT (MENU 4)

The AF assist light will turn on automatically as you focus on a subject in a dark area. The effective range of the AF assist light is from about 0.7 to 10 meters (2.3-29.5 feet).

- When the AF assist light is not necessary, set [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

LCD PANEL LIGHT (MENU 4)

When the power supply is turned to ON, the LCD panel lights up. The ON/OFF settings of the light can be changed.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (Default)	After 8 seconds of non-operation, the light will turn off. When a button or dial is used while the light is off, the light will automatically turn on.
8 SEC	Regardless of whether a button or dial is being pressed, the light will turn off after 8 seconds from when the light initially turned on.
ON	The light is kept ON continuously.

- Regardless of the setting, the light can be turned on/off with the  button.

LCD PANEL ADJUSTMENT (MENU 4)

The contrast and brightness of the LCD panel can be adjusted.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	BRIGHTNESS Adjust the brightness to the desired level by using the <> buttons.
CONTRAST	CONTRAST Adjust the contrast to the desired level by using the <> buttons.

When finalizing the adjustment, select [OK] and confirm with the OK button.

When cancelling the adjustment, select [CANCEL] and confirm with the OK button.

CHANGING THE UNIT OF MEASUREMENT INDICATION (MENU 4)

The unit of measurement in the Status area can be changed.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Default)	Meter indication
FEET	Feet indication

FLASH UNIT INFORMATION (MENU 5)

The following information can be checked.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Model name
SERIAL No.	Serial number
VERSION	Firmware version

INITIALIZATION OF SETTINGS (MENU 5)

It is possible to reset the flash unit back to factory settings.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

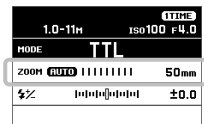
To initialize the setting, select [OK] and confirm with the OK button.

- When the settings are reset, stored custom modes are deleted.

OTHER USEFUL FUNCTIONS

FLASH HEAD SETTING

When the flash head setting is used with **AUTO** (Auto), the flash head is automatically set to the flash angle that is the optimal to the lens's focal length.



- The flash head takes into account the size of the camera's image sensor, therefore the focal length displayed on the flash may be different to that of the lens.
- Depending on the Flash mode, the flash head setting may be fixed regardless of the focal length of the lens.

The flash head setting can be changed manually. Press the <> buttons in the Mode details area.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- Depending on the flash head setting, the flash's Guide Number will change.

WIDE PANEL

This flashgun is equipped with a built-in wide panel, which can provide an ultra-wide 17mm angle of coverage. Slide out the wide panel and catch light panel and flip it down to cover the flash's head. (Be careful to slide the panels out smoothly.) Then put the catch light panel back in its place. P.3-(7)

- The Flash head indicating section within the Mode details area may display the **WP** mark when the wide panel is in use.

BOUNCE FLASH

By firing the flash toward the ceiling or a wall, it is possible to disperse the light and take pictures with soft light and reduced shadows.

The flash head can be set to the upper side at 90°, the lower side at 7°, and the right and left sides at 180°. P.3-(8)

- During bouncing, the **BOUNCE** mark is indicated in the Status area.
- Choose a white surface for bouncing the flash, otherwise the image's colour may be incorrect. Depending on the reflecting surface, the subject distance and other factors, the effective distance range for TTL AUTO may change.

CLOSE-UP EXPOSURES

By tilting the flash head down to the 7° position, the lower section of the frame can be bright enough for close-up exposures.

- When it is bounced to the lower side at 7°, the distance indication in the Status area blinks.

CATCH LIGHT PANEL

This flash is equipped with a built-in catch light panel, which can create a catch light in the eyes of the subject when the bounce flash mode is activated. Slide out the wide panel and catch light panel, then put the wide panel back in its place. (Be careful to slide the panels out smoothly.) P.3-(9)

- To create a catch light effectively, tilt the flash head upward 90 degrees and take pictures at a close distance. P.3-(10)

SYNC.TERMINAL

EF-630 has a synchro terminal that can connect to the camera by a commercially available flash synchro cable.

When shooting with a synchro cable, use the Flash in **[MANUAL]** mode.

With **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]**, set the ISO and the aperture (F) value to match that of the camera. Adjust the flash power output in the Mode details area until the distance displayed in the Status area is approximately the same as the distance between the flash and the subject.

Caution!!

S-TTL auto flash does not work if the Sync.Terminal is used.

The EF-630's Sync.Terminal is compatible with plugs that have a positive (+) polarity on the central pin and a negative (-) polarity on the shield. If the plug has reverse polarity, use a commercially-available polarity conversion cord.

ACCIDENTAL OPERATION PREVENTION

When the power switch is set to the [🔒] (lock) position, operations other than the TEST button and the 🔊 button become disabled, preventing accidental changes to the flash settings.

- Whilst the flash is locked, the 🔒 mark is displayed in the Status area.

BEEP SOUNDS

Certain conditions of the flash are indicated by a sound, making them easy to recognize without having to look at the LCD panel.

Turn the BEEP switch on the front side of the main body to [ON]. (When it is turned to ON, the 🔊 mark is displayed in the Status area.)

One short beep	Indicates the completion of charging.
Two short beeps	Indicates the light adjustment is OK.
One long beep (2 sec.)	Error warning

SPECIFICATIONS

TYPE: Clip-on type serial-controlled TTL auto zoom electric flash
GUIDE NUMBER: 63(ISO100/m, 200mm head position)

POWER SOURCE: Four AA type alkaline batteries or Four AA type Ni-MH rechargeable batteries

RECYCLING TIME: about 3.0 sec. (Alkaline batteries) : about 1.8 sec. (Ni-MH rechargeable batteries)

NUMBER OF FLASHES : about 120 flashes (Alkaline batteries) :

about 185 flashes (Ni-MH rechargeable batteries)

FLASH DURATION: about 1/700sec. (full power firing)

FLASH ILLUMINATION ANGLE: 24~200mm motor powered control (17mm with Built-in Wide Panel)

WEIGHT: 490g/17.28oz.

DIMENSIONS: (W)79.4mm/3.13in. x (H)148.4mm/5.84in. x (L)121.5mm/4.78in.



This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



N73



The CE Mark is a Directive conformity mark of the European Community (EC).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf:01805-90 90 85-0

Service:01805-90 90 85-85 Fax(Service):01805-90 90 85-35



Disposal of Electric and Electronic Equipment in Private Households

Disposal of used Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product, in the manual/warranty, and/or on the packaging indicates that this product must not be treated as household waste. Instead it should be handed over to the appropriate collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. If your equipment contains easy removable batteries, please dispose of these separately according to your local legislation. It is your responsibility to ensure that this product is recycled correctly. In doing so you will help conserve natural resources, protect the environment and human health. For more detailed information about recycling this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

DEUTSCH

Vielen Dank, dass Sie sich für ein SIGMA EF-630 (FÜR SIGMA) Blitzgerät entschieden haben. Sie sollten diese Gebrauchsanleitung im Zusammenhang mit Ihrer Kamerabedienungsanleitung studieren und für zukünftiges Nachschlagen griffbereit halten, um die Funktionen in vollem Umfang nutzen und die maximale Leistung des Gerätes ausschöpfen zu können.

VORSICHTSMAßNAHMEN

Um Verletzungen oder Beschädigungen zu verhindern, lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor dem ersten Einsatz Ihres Blitzgerätes bitte sehr sorgfältig und vollständig durch und beachten Sie unbedingt die untenstehenden Warnzeichen. Bitte beachten Sie speziell die beiden folgenden Warnzeichen.

 Warnung!!	Wenn Sie die entsprechenden Hinweise nicht befolgen, kann dies zu ernsthaften Verletzungen oder anderen gefährlichen Folgen führen.
 Achtung!!	Wenn Sie die entsprechenden Hinweise nicht befolgen, können Verletzungen oder Schäden entstehen.
	Dieses Symbol verweist auf die wichtigen Punkte, an denen Vorsicht geboten ist.
	Dieses Symbol enthält Informationen bezüglich zu unterlassender Handlungen.

Warnung!!

 Dieses Blitzgerät enthält hochspannungsführende Schaltkreise. Um elektrische Schläge oder Verbrennungen zu vermeiden, versuchen Sie nicht, das Gerät zu öffnen. Sollte das äußere Gehäuse gebrochen oder zersprungen sein, berühren Sie keine inneren Geräteteile.

 Blitzen Sie nicht aus kurzer Entfernung direkt in die Augen. Andernfalls kann das grelle Licht die Augen verletzen. Halten Sie beim Fotografieren zumindest einen Abstand von einem Meter zwischen Gesicht und Blitzgerät ein.

 Berühren Sie nicht einen eventuell zusätzlich vorhandenen Blitzkontakt (X) Ihrer Kamera, wenn das Blitzgerät im Zubehörschuh steckt. Hochspannungsführende Stromkreise könnten einen elektrischen Stromschlag verursachen.

 Benutzen Sie Ihre Ausrüstung nie in der Umgebung entflammbarer, brennbarer Gase, Flüssigkeiten oder Chemikalien etc. Andernfalls könnte dies zu einem Brand oder einer Explosion führen.

 Bedecken Sie den Blitzkopf während des Blitzens weder mit der Hand, noch zünden Sie den Blitz in unmittelbarer Nähe zur Haut, da dies Verbrennungen verursachen könnte.

 Blenden Sie mit dem Blitz keine Autofahrer, da dies einen Unfall verursachen könnte.

Achtung!!

 Benutzen Sie dieses Blitzgerät nicht an einer anderen Kamera als an einer der SIGMA sd/dp-Serie; andernfalls könnte der Blitz die Schaltkreise der Kamera beschädigen.

 Dieses Blitzgerät ist nicht wasserdicht. Wenn Sie die Ausrüstung im Regen, Schnee oder in der Nähe von Wasser verwenden, bewahren Sie sie davor, nass zu werden. Es ist häufig unmöglich, Wasserschäden interner elektrischer Komponenten zu reparieren.

 Setzen Sie das Blitzgerät niemals Stößen, Staub, Hitze oder Feuchtigkeit aus. Diese Faktoren könnten einen Brand oder Fehlfunktionen Ihrer Ausrüstung verursachen.

 Wenn das Gerät plötzlichen Temperaturschwankungen ausgesetzt, etwa aus einer kalten Umgebung in einen warmen Innenraum gebracht wird, kann sich Kondensniederschlag im Inneren des Gerätes bilden. In solchen Fällen stecken Sie das

Gerät bitte vor dem Temperaturwechsel in eine zu verschließende Plastiktasche und benutzen Sie es erst wieder, wenn es sich der Raumtemperatur angepasst hat.



Bewahren Sie das Gerät nicht in einer Schublade oder einem Schrank auf, wo es schädlichen Dämpfen wie derer von Naphthalin, Kampfer oder Insektiziden ausgesetzt ist.



Verwenden Sie weder Verdüner, Benzin noch andere Reinigungsmittel, um Schmutz oder Fingerabdrücke von dem Gerät zu entfernen. Benutzen Sie ein weiches, gegebenenfalls angefeuchtetes, fusselfreies Tuch.



Bewahren Sie das Blitzgerät an einem trockenen, kühlen und gut belüfteten Ort auf. Lösen Sie den Blitz von Zeit zu Zeit aus, um seine volle Leistungsfähigkeit langfristig zu erhalten.



Bedecken Sie den Blitzkopf während des Blitzens nicht mit Kleidung oder Stoffen, da dies einen Brand verursachen könnte.

BATTERIEHINWEISE

Für dieses Blitzgerät werden vier wiederaufladbare Ni-MH-Mignonzellen oder Alkali-Trockenzellen („AA“) benötigt.

- Um einwandfreien elektrischen Kontakt zu gewährleisten, reinigen Sie die Batteriekontakte, bevor Sie die Batterien einsetzen.
- Verwenden Sie ausschließlich vier frische „AA“ Mignonzellen einer Marke und eines Typs, um die Gefahr des Platzens einer Batterie, des Austritts von Batteriesäure oder der Überhitzung vorzubeugen. Mischen Sie keinesfalls frische und gebrauchte Batterien.
- Batterien dürfen weder geöffnet, noch kurzgeschlossen bzw. ins Feuer geworfen werden, da sie explodieren können. Nur wiederaufladbare Ni-MH-Batterien dürfen wiederaufgeladen werden.
- Wenn Sie das Blitzgerät längere Zeit nicht benutzen wollen, entnehmen Sie bitte die Batterien, um Schäden durch austretende Batteriesäure zu verhindern.

- Wie bei jedem Blitzgerät empfiehlt sich die Mitnahme von Ersatzbatterien auf einer Reise oder für Außenaufnahmen bei winterlichen Temperaturen.
- Verwenden Sie keine Lithium AA/R6 Akkus/Batterien. Es könnte an Ihren Geräten zu Fehlfunktionen kommen.
- Bitte befolgen Sie alle Richtlinien, Regeln und Vorschriften, die an Ihrem Standort für die Entsorgung von Batterien gelten.

BESCHREIBUNG DER TEILE (S.2)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1. Blitzkopf | 10. Hauptschalter |
| 2. Fenster für den kabellosen Signalempfang | 11. Bereitschaftslampe/ Testauslöser |
| 3. Hinweiston-Umschalter | 12. OK Taste |
| 4. AF-Hilfslicht | 13. Multifunktionstaste |
| 5. Batteriefachdeckel | 14. Blitzschuh-Sperrhebel |
| 6. Aufsteckfuß | 15. Einstellrad |
| 7. Flüssigkeitskristallanzeige | 16. Synchr.- Anschluss |
| 8. Displaybeleuchtung | 17. Reflektorfolie |
| 9. MENU Taste | 18. Weitwinkelstreuscheibe |

MULTIFUNKTIONSTASTE (13)

In dieser Bedienungsanleitung werden die einzelnen Tasten der Multifunktionstaste wie folgt dargestellt:  /  /  / .



- Die Tasten werden folgendermaßen verwendet: Bedienung der Auf- und Ab-Tasten: . Bedienung der Links- und Rechts-Tasten: .

KOMPATIBLE KAMERAS

Dieses Blitzgerät ist mit den folgenden Kameras kompatibel:

sd-Quattro-Serie, SD1/SD1 Merrill,
dp-Quattro-Serie, DP-Merrill-Serie

- Einige Funktionen stehen für manche Kameramodelle nicht zur Verfügung. Eine Tabelle über die entsprechenden Funktionen [Tabelle 1] am Ende dieser Bedienungsanleitung enthält weitere Hinweise.

EINLEGEN DER BATTERIEN

1. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[OFF]** und öffnen Sie das Batteriefach durch Schieben des Deckels: P.3-(1)
2. Setzen Sie die Batterien entsprechend der Markierung der Polung („+“ und „-“) in das Batteriefach ein. P.3-(2)
3. Schließen Sie das Batteriefach. P.3-(3)
4. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[ON]**. Wenn das Blitzgerät zündbereit ist, beginnt die Bereitschaftslampe grün zu blinken. Wenn der Blitz vollständig geladen ist, leuchtet die Anzeige rot auf.

Achtung!!

Bei niedrigem Ladezustand der Batterien erscheint das Symbol  auf dem LC-Display. Wenn die Batterien fast leer sind, wird das rechts abgebildete Symbol angezeigt und das Blitzgerät ist nicht mehr einsatzbereit. Tauschen Sie die Batterien aus.



FEHLERWARNUNG

Wenn das Symbol  auf dem LC-Display angezeigt wird, liegen unter Umständen Fehler im Blitzgerät vor. Schalten Sie das Gerät in diesem Fall kurz aus und wieder ein. Führt dies nicht zum Erlöschen der Anzeige, prüfen Sie bitte die Batterien. Wenn das

Symbol weiterhin angezeigt wird, setzen Sie sich mit unserem Service in Verbindung.

Automatische Abschaltung

Um Strom zu sparen, schaltet sich das Gerät 5 Minuten nach der letzten Betätigung automatisch ab. Zur Wiedereinschaltung genügt ein Druck auf den Testauslöser oder das Antippen des Kameraauslösers. Die automatische Abschaltung steht jedoch weder im **[WL SLAVE]** Modus noch im **[S-FL SLAVE]** Modus zur Verfügung.

ANSCHLIESSEN AN DIE KAMERA

1. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[OFF]**.
2. Stellen Sie sicher, dass sich der Blitzschuh-Sperrhebel in der Position **[UNLOCK ►]** befindet. P.3-(4)
3. Schieben Sie den Aufsteckfuß des Blitzgeräts in den Blitzschuh an der Kamera, bis es sich nicht mehr weiterbewegt. Schieben Sie den Blitzschuh-Sperrhebel in die Position **[◄LOCK]**, bis er hörbar einrastet. P.3-(5)

Zum Abnehmen des Blitzgeräts schieben Sie den Blitzschuh-Sperrhebel bis zum Anschlag in die Position **[UNLOCK ►]**, während Sie die Taste für den Blitzschuh-Sperrhebel gedrückt halten. Ziehen Sie dann das Blitzgerät aus dem Blitzschuh heraus.

Achtung!!

Wenn sich der Blitzschuh-Sperrhebel beim Herausziehen des Blitzgeräts nicht in der Position **[UNLOCK ►]** befindet, können der Blitzschuh an der Kamera und der Aufsteckfuß am Blitzgerät beschädigt werden.

ANPASSEN DES BLITZKOPFES

Richten Sie bei normalen Aufnahmen den Blitzkopf nach vorne aus. P.3-(6)

Achtung!!

Wenn nach dem Einschalten des Blitzgeräts das Symbol **BOUNCE** im Statusbereich zu sehen ist oder die Reichweitenanzeige im Statusbereich blinkt, ist der Blitzkopf nicht korrekt nach vorne ausgerichtet.

GRENZEN DER SERIENAUSLÖSUNG

Um ein Überhitzen des Gerätes zu verhindern, legen Sie eine 10minütige Pause nach dem Absolvieren der im folgenden genannten Aufnahmeserien ein.

Betriebsart	Anzahl der Blitzaufnahmen
TTL, M (1/1, 1/2)	20 Serienauslösungen
M (1/4, 1/8)	25 Serienauslösungen
M (1/16-1/32)	40 Serienauslösungen
Multi	10 Sequenzen

Achtung!!

Falls das Symbol  auf dem Display angezeigt wird, wird die Lichtmenge begrenzt, um ein Überhitzen im Schaltkreis des Blitzgeräts zu verhindern. Verwenden Sie das Blitzgerät nicht, solange das Symbol  angezeigt wird.

GRUNDEINSTELLUNGEN

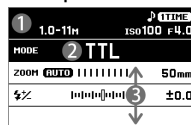
In diesem Abschnitt werden die Grundeinstellungen beschrieben. Die meisten Einstellungen für das Blitzgerät EF-630 können auf folgende Weise vorgenommen werden.

Achtung!!

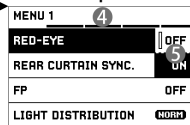
Die Einstellungen können nicht geändert werden, solange sich der Hauptschalter in der Position  (lock) befindet. Stellen Sie den Hauptschalter auf [ON], um die Einstellungen zu ändern.

Verwenden Sie die Taste **MENU**, um vom Hauptbildschirm zum Konfigurationsbildschirm umzuschalten. (Wird das Gerät eingeschaltet [ON], beginnen Sie im Hauptbildschirm.)

Hauptbildschirm



Setup Menü



Ändert den Blitzmodus und ermöglicht das Einstellen der Details für jeden Blitzmodus.

Fügt die optionalen Funktionen für den Blitzmodus hinzu und legt die Ausgangskonfiguration für das Blitzgerät fest.

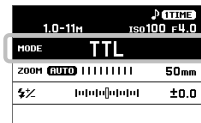
- ① Statusbereich
- ② Blitzmodusbereich
- ③ Modusdetailbereich

- ④ Registerkartenbereich
- ⑤ Untermenü

ALLGEMEINE BEDIENFUNKTIONEN AUF DEM HAUPTBILDSCHIRM

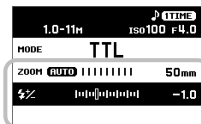
AUSWÄHLEN DES BLITZMODUS

Wählen Sie den Blitzmodusbereich mithilfe der  Tasten aus und ändern Sie den Blitzmodus mit den  Tasten oder dem Einstellrad.



EINSTELLEN DER DETAILS FÜR DEN BLITZMODUS

Wählen Sie den Modusdetailbereich mit den  Tasten aus und ändern Sie die Einstellungen mit den  Tasten oder dem Einstellrad.



ALLGEMEINE BEDIENFUNKTIONEN IM SETUP MENÜ

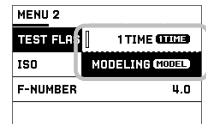
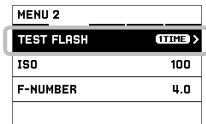
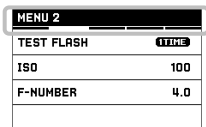
Die einzelnen Registerkarten werden durch Drehen des Einstellrad ausgewählt. (Ist ein Symbol im Registerkarten Bereich ausgewählt, ist es auch möglich mit den <> Tasten in eine andere Registerkarte zu wechseln)

BEI GEÖFFNETEM SETUP-MENÜ:

Drücken Sie die  Tasten, um die gewünschten Menüeinträge auszuwählen. Drücken Sie die **OK** oder **>** Taste, um Untermenüs oder Dialogfelder zu öffnen. (Bei einigen Optionen wird ein spezieller Bildschirm oder eine Dialogmeldung geöffnet.)

BEI GEÖFFNETEN UNTERMENÜS:

auszuwählen. Drücken Sie die **OK** oder **>** Taste, um die neuen Einstellungen zu übernehmen. (Drücken Sie die **<** Taste, um Untermenüs zu schließen, ohne Änderungen vorzunehmen.)



1. Stellen Sie die Blitzbetriebsart auf **[TTL]** ein.
2. Stellen Sie anhand der Reichweitenanzeige im Statusbereich sicher, dass sich das Motiv im Aufnahmebereich befindet.
3. Beginnen Sie mit den Aufnahmen, wenn die Bereitschaftslampe erkennen lässt, dass der Ladezustand ausreicht.

Bei korrekter Verwendung des Blitzgeräts wird das **OK** Symbol ungefähr fünf Sekunden lang im Statusbereich angezeigt. Wird das **OK** Symbol nicht angezeigt, sind die Lichtverhältnisse möglicherweise zu dunkel oder zu hell. Ändern Sie die Verhältnisse und versuchen Sie erneut, die Aufnahmen durchzuführen.

VERSCHLUSSZEIT UND BLENDE

Die verschiedenen Belichtungsmodi der Kamera wirken sich folgendermaßen auf die Einstellmöglichkeiten von Verschlusszeit und Blende aus.

	Verschlusszeit	Blende
P	Die Verschlusszeit wird automatisch in Abhängigkeit von der Blitzsynchronisationszeit (*1) eingestellt, um Verwacklungen möglichst zu vermeiden (*2).	Wird automatisch eingestellt.
A		Kann frei gewählt werden.
S	Ermöglicht die freie Wahl der Verschlusszeit in einem Bereich, der die Blitzsynchronisationszeit nicht überschreitet (*1).	Wird automatisch eingestellt.
M		Kann frei gewählt werden.

(*1) Wenn die FP-Kurzzeitsynchronisation auf **[ON]** gestellt ist, wird die Beschränkung der Verschlusszeit für kürzere Verschlusszeiten deaktiviert.

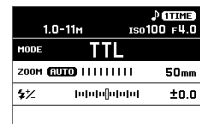
(*2) Verschlusszeiten ohne Verwacklungsgefahr variieren je nach Brennweite des angeschlossenen Objektivs. Darüber hinaus wird die Beschränkung für lange Verschlusszeiten deaktiviert, wenn der Blitzmodus der Kamera auf Langzeitsynchronisation eingestellt ist.

Achtung!!

Wenn Verschlusszeit und Blendenwert bei der Aufnahme blinken, könnten Fehlbelichtungen daraus resultieren. Führen Sie in diesem

S-TTL-BELICHTUNGSAUTOMATIK

Bei dieser Aufnahmemethode wird die S-TTL-Belichtungsautomatik verwendet, wobei die Kamera das reflektierte Licht des kurz vor dem eigentlichen Bild erzeugten Messblitzes misst und die Blitzstärke optimal anpasst. Verwenden Sie diese Betriebsart für allgemeine Aufnahmewecke.



Fall die notwendigen Änderungen durch, bevor Sie mit den Aufnahmen beginnen.

BLITZBELICHTUNGSKORREKTUR

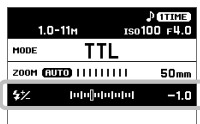
Die Lichtmenge des Blitzgeräts kann korrigiert werden, ohne dabei die Belichtung des Hintergrunds zu beeinflussen.

Blitzmodus: Kann mit **[TTL]** verwendet werden.

Stellen Sie den Korrekturwert im Modusdetailbereich für die Blitzbetriebsart **[TTL]** ein. (Die Anpassung des Korrekturwertes erfolgt in 1/3-Stufen und kann bis zu ±3 Stufen betragen.)

- Wenn sowohl an der Kamera als auch am Blitzgerät eine Belichtungskorrektur eingestellt ist, wirkt sich dies in Abhängigkeit von der Kamera aus.

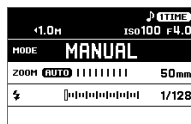
sd-Quattro-Serie	Andere kompatible Kameras
Beide Korrekturen werden für die Aufnahme verwendet.	Die Einstellung der Kamera hat Priorität.



MANUELLER BLITZBETRIEB

Die Stärke des Blitzes kann entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.

1. Stellen Sie den Blitzmodus auf **[MANUAL]** ein.
2. Stellen Sie die Blitzstärke im Modusdetailbereichen. (Einstellbereich: 1/128 bis 1/1. Abstufung: 1/3EV.)
3. Beginnen Sie mit den Aufnahmen, wenn die Bereitschaftslampe erkennen lässt, dass der Ladezustand ausreicht.



Im Statusbereich wird die Reichweite ermittelt und angezeigt, innerhalb derer eine korrekte Belichtung gewährleistet ist. Selbst bei unveränderter Blitzstärke schwankt die Reichweite, bei der korrekte Belichtungen erzielt werden, wenn ISO-Wert oder Blende an der Kamera verändert werden.

Die Korrekte Belichtung bei manuellem Blitzbetrieb kann anhand der folgenden Formel ermittelt werden:

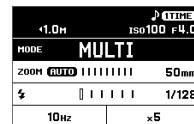
Leitzahl (GN) / Aufnahmeabstand (m) = Blendenwert (F)

[Tabelle 2] am Ende dieser Bedienungsanleitung enthält Informationen zur Leitzahl (GN = Guide Number) dieses Blitzgeräts.

STROBOSKOPBETRIEB

Durch wiederholtes zünden des Blitzes bei geöffnetem Verschluss ist es möglich, Bewegungen des Motivs darzustellen. So erscheint in einer einzigen Aufnahme das Motiv an verschiedenen Positionen. Verwenden Sie dafür den manuellen Belichtungsmodus („M“) der Kamera.

1. Stellen Sie den Blitzmodus **[MULTI]** ein.
2. Stellen Sie im Modusdetailbereich die Blitzleistung, die Blitzfrequenz in Hz (Beispiel: 10 Hz = Das Blitzlicht wird in einer Frequenz von 10 Mal pro Sekunde gezündet) und die Anzahl der Blitze ein.



3. Wählen Sie eine Verschlusszeit, die länger als der Wert „Anzahl der Blitze“ / „Blitzfrequenz“ ist.
4. Überprüfen Sie den Ladezustand anhand der Bereitschaftslampe und beginnen Sie mit der Aufnahme.

Die Anzahl der Blitze, die ununterbrochen ausgelöst werden können, variiert je nach eingestellter Blitzleistung und Blitzfrequenz. [Tabelle 3] am Ende dieser Bedienungsanleitung enthält weitere Hinweise.

KABELLOSES BLITZEN

Durch den Einsatz des Blitzgeräts in größerem Abstand zur Kamera ergeben sich zusätzliche kreative Möglichkeiten. Das Blitzgerät EF-630 kann durch den internen Blitz der Kamera oder durch ein Master-Blitzgerät angesteuert werden.

KABELLOSER TTL-BLITZ

Im kabellosen TTL-Modus ermittelt die Kamera die korrekte Belichtung automatisch.

BEI VERWENDUNG EINER KAMERA OHNE INTERNEN BLITZ (sd Quattro usw.)

Zwei EF-630s (FÜR SIGMA) sind erforderlich. Das an der Kamera angeschlossene Blitzgerät wird als [Master-Gerät] und das entfernt von der Kamera eingesetzte Blitzgerät wird als [Slave-Gerät] bezeichnet.

EINSTELLUNGEN AM MASTER-GERÄT

1. Stellen Sie den Blitzmodus [WL TTL] ein.
2. Stellen Sie gegebenenfalls den Kanal ein. (Wählen Sie im Modusdetailbereich einen Kanal aus: Ch.1 bis Ch.3)

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚡	CONTROL ONLY
Ch.1	

EINSTELLUNGEN AM SLAVE-GERÄT

3. Stellen Sie den Blitzmodus [WL SLAVE] ein.
4. Wählen Sie im Modusdetailbereich denselben Kanal wie am Master-Gerät aus.
5. Platzieren Sie das Slave-Gerät an der gewünschten Position. Vergewissern Sie sich, dass beide Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

der Aufnahme. (Der Abschluss des Ladevorgangs am Slave-Gerät wird durch Blinken des AF-Hilfslichts angezeigt.)

- Halten Sie mit dem Blitzgerät einen Abstand von ca. 0,5m-5m zum Motiv ein, und platzieren Sie die Kamera zwischen 1m – 5m vom Motiv entfernt.
- Die Master Einheit blitzt lediglich zur Steuerung der Slave Einheit und hat selbst keinen Einfluss auf die Belichtung.
- Wenn Sie das EF-630 von der Kamera entfesselt an der gewünschten Stelle platzieren, leistet ein Blitzgeräteständer, der auch über ein Stativgewinde verfügt, gute Dienste.
- Das Blitzgerät EF-630 kann auch in Kombination mit dem Blitzgerät EF-610 DG SUPER SA-STTL verwendet werden. Dabei sollte das Blitzgerät EF-610 DG SUPER als Master-Gerät eingesetzt werden. (Führen Sie die Einstellung am Master-Gerät entsprechend der Bedienungsanleitung des EF-610 DG SUPER SA-STTL durch.)

BEI VERWENDUNG EINER KAMERA MIT INTERNEM BLITZ (SD1/SD1 Merrill usw.)

1. Stellen Sie sicher, dass die Kamera auf dem Modus kabelloses Blitzen steht und der gleiche Kanal wie am Slave-Gerät eingestellt ist. (Die Bedienungsanleitung der Kamera enthält detaillierte Angaben über die notwendigen Einstellungen.)
2. Stellen Sie den Blitzmodus auf [WL SLAVE] ein.
3. Wählen Sie im Modusdetailbereich denselben Kanal wie an der Kamera aus.
4. Platzieren Sie das Slave-Gerät an der gewünschten Position. Vergewissern Sie sich, dass beide Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- Der interne Blitz der Kamera wird lediglich ausgelöst, um das Slave-Gerät anzusteuern ohne dabei die entstehende Aufnahme zu beeinflussen.

KABELLOSER MANUELLER BLITZBETRIEB

Ähnlich wie beim manuellen Einsatz des Blitzgeräts kann die Blitzleistung auch im kabellosen Blitzbetrieb manuell gesteuert werden. Dazu sind zwei Blitzgeräte des Typs EF-630s (FÜR SIGMA) erforderlich.

EINSTELLUNG AM MASTER-GERÄT

1. Stellen Sie den Blitzmodus **[WL MANUAL]** ein
2. Passen Sie im Modusdetailbereich die Blitzleistung so an, dass die im Staubereich angezeigte Reichweite dem Abstand zwischen Slave-Gerät und Motiv entspricht..
3. Stellen Sie den Kanal je nach Bedarf ein. (Wählen Sie im Modusdetailbereich einen Kanal aus: Ch.1 bis Ch.3)

1.0M		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	[]	1/128
ch.1		

EINSTELLUNG AM SLAVE-GERÄT

4. Stellen Sie den Blitzmodus **[WL SLAVE]** ein.
 5. Wählen Sie im Modusdetailbereich denselben Kanal wie am Master-Gerät aus.
 6. Platzieren Sie das Slave-Gerät an der gewünschten Position. Vergewissern Sie sich, dass beide Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.
- Das Blitzgerät EF-630 kann auch in Kombination mit dem Blitzgerät EF-610 DG SUPER SA-STTL verwendet werden. Dabei sollte allerdings das Blitzgerät EF-610 DG SUPER als Slave-

		♪ 1TIME	
MODE	WL	SLAVE	
ZOOM	(AUTO)	24mm	
⚡ FOLLOW MASTER SETTING			
ch.1			

Gerät eingesetzt werden. (Führen Sie die Einstellung am Slave-Gerät entsprechend der Bedienungsanleitung des EF-610 DG SUPER SA-STTL durch.) In dieser Kombination reicht die Belichtung eventuell nicht aus, wenn eine Einstellung im Bereich der maximalen Blitzleistung gewählt wird.

„SLAVE“ GERÄT

Das Blitzgerät EF-630 ist mit einer Funktion ausgestattet, die das Blitzlicht in Reaktion auf einen von einem anderen Gerät ausgehenden Blitz aktiviert. Diese Funktion erlaubt den kreativen Einsatz des Blitzgeräts losgelöst von der Kamera. Die Blitzleistung wird jedoch in dieser Betriebsart nicht automatisch gesteuert.

NORMALER „SLAVE“ GERÄTE BETRIEB

Das an der Kamera angebrachte Master-Gerät kann dazu verwendet werden, die synchronisierte Auslösung des entfernt von der Kamera positionierten Blitzgeräts EF-630 zu aktivieren.

- Der interne Blitz der Kamera arbeitet allerdings mit dem Vorblitz, sodass kein synchronisierter Blitz möglich ist.

Stellen Sie das Master-Blitzgerät auf manuellen Betrieb und die Blitzleistung auf ungefähr 1/16 ein.

Stellen Sie den Belichtungsmodus der Kamera auf „M“ und die Verschlusszeit auf 1/30 Sekunde oder kürzer und passen Sie die Blende und ISO-Einstellung entsprechend an.

1. Stellen Sie am Slave-Gerät EF-630 den Blitzmodus **[S-FL NORMAL]** ein.
2. Passen Sie die ISO-Einstellung und den Blendenwert im Modusdetailbereich an die Einstellungen der Kamera an.
3. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich so an, dass die im Staubereich angezeigte Reichweite dem Abstand zwischen Slave-Gerät

1.0M		iTIME	
MODE	S-FL	NORMAL	
ZOOM (AUTO)	24mm		
	1/128		
ISO100	F4.0		

und Motiv entspricht.

4. Vergewissern Sie sich, dass beide Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.

KABELLOSE ZÜNDUNG BESTIMMTER „SLAVE“ GERÄTE

Falls Sie 2 oder mehr EF-630 Blitzgeräte einsetzen, können Sie durch den Einsatz der Kanalwahl bestimmen, welche Geräte gleichzeitig blitzen sollen. In dieser Betriebsart wird ein Gerät als Slave Controller und die anderen werden als blitzende „Slave“ Geräte eingesetzt.

Stellen Sie den Belichtungsmodus der Kamera auf „M“ und die Verschlusszeit auf 1/30 Sekunde oder kürzer und passen Sie die Blende und ISO-Einstellung entsprechend an.

EINSTELLUNG DES STEUERNDEN BLITZGERÄTS (MASTER)

1. Stellen Sie den Blitzmodus [S-FL CTRL] ein.
2. Stellen Sie den Kanal je nach Bedarf ein. (Wählen Sie im Modusdetailbereich einen Kanal aus: Ch.1 bis Ch.3.)

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET RT 24mm	
	CONTROL ONLY	
Ch.1		

EINSTELLUNG DER BLITZENDEN GERÄTE (SLAVE)

3. Stellen Sie den Blitzmodus [S-FL SLAVE] ein.
4. Wählen Sie im Modusdetailbereich denselben Kanal wie am steuernden Gerät aus.
5. Passen Sie die ISO-Einstellung und den Blendenwert im Modusdetailbereich an die Einstellungen des steuernden Blitzgeräts an.
6. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich so an, dass die

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
	1/128	
Ch.1	ISO100	F4.0

im Staubereich angezeigte Reichweite dem Abstand zwischen Slave-Gerät und Motiv entspricht.

7. Vergewissern Sie sich, dass die Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.

- Im Slave-Modus kann dieses Blitzgerät auch in Kombination mit dem EF-630 und/oder dem EF-610 DG SUPER für andere Kameraanschlüsse verwendet werden. (Detaillierte Informationen zur Einrichtung des Blitzgeräts EF-610 DG SUPER finden Sie in der entsprechenden Bedienungsanleitung.)

OPTIONALE FUNKTIONEN

In diesem Abschnitt werden optionale Funktionen beschrieben, die über das Setup-Menü aufgerufen und eingestellt werden können.

REDUZIERUNG ROTER AUGEN (MENÜ 1)

Bei schwachen Lichtverhältnissen weiten sich die Pupillen von Lebewesen, wodurch ein Blitzlicht mit nahezu gleichem Einfallswinkel wie das Aufnahmeobjektiv von dem roten Augenhintergrund direkt in das Objektiv reflektiert werden kann. Dadurch entstehen die bekannten „roten Augen“. Wird die Funktion „Reduzierung roter Augen“ aktiviert, leuchtet das Blitzgerät für ca. 1 Sekunde vor der Aufnahme auf, wodurch sich die Pupillen des zu Fotografierenden verengen.

Rote-Augen-Reduzierung kann mit den Kamera-Belichtungsmodi P, A, S und M verwendet werden.

Sie ist in den Blitzmodi [TTL], [MANUAL], und [WL] verfügbar.

1. Wählen Sie [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Kehren Sie in den Hauptbildschirm zurück. (Im Statusbereich wird das Symbol  angezeigt.)

Caution!!

Diese Funktion kann nicht auf („ON“) gestellt werden, wenn ein

Blitzmodus verwendet wird, der nicht mit der Rote-Augen-Reduzierung kompatibel ist.

REAR CURTAIN SYNCHRONIZATION (MENÜ 1)

Hierbei wird der Blitz erst kurz bevor der zweite Verschlussvorhang schließt gezündet. So werden die Leuchtspuren eines sich bewegenden Objektes hinter ihm erscheinen, sodass die Aufnahmen den natürlichen Bewegungsablauf des Objekts wiedergeben.

Diese Option kann mit den Kamera-Belichtungsmodi **P**, **A**, **S** und **M** verwendet werden.

Sie ist in den Blitzmodi **[TTL]**, **[MANUAL]** und **[WL]** verfügbar.

1. Wählen Sie **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Kehren Sie in den Hauptbildschirm zurück. (Im Statusbereich wird das Symbol  angezeigt.)

Caution!!

Diese Funktion kann nicht auf („ON“) gestellt werden, wenn ein Blitzmodus verwendet wird, der nicht mit der Synchronisation auf den zweiten Verschlussvorhang kompatibel ist.

KURZZEITBLITZSYNCHRONISATION (FP) (MENÜ 1)

Bei der FP-Kurzzeitsynchronisation sendet das Gerät ununterbrochen Blitze, während der Verschluss abläuft. So können Sie eine kürzere Verschlusszeit als die eigentliche Synchronzeit verwenden.

Diese Option kann mit den Kamera-Belichtungsmodi **P**, **A**, **S** und **M** verwendet werden.
Sie ist in den Blitzmodi **[TTL]** und **[MANUAL]** verfügbar.

1. Wählen Sie **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Kehren Sie in den Hauptbildschirm zurück. (Im Statusbereich wird das Symbol **FP** angezeigt.)

Vergewissern Sie sich im **[TTL]** Blitzmodus, dass sich das Motiv im Aufnahmebereich befindet. Überprüfen Sie dazu die im Statusbereich angezeigte Reichweite, bevor Sie mit den Aufnahmen beginnen.

Im **[MANUAL]** Blitzmodus passen Sie die Blende usw. vor der Aufnahme so an, dass der Abstand zum Motiv und die im Statusbereich angezeigte Reichweite übereinstimmen.

Die Leitzahl hängt dabei von der Verschlusszeit ab. Bitte beachten Sie die Tabelle 4 auf der letzten Seite.

Achtung!!

Diese Funktion kann nicht auf („ON“) gestellt werden, ein Blitzmodus verwendet wird, der nicht mit der FP-Kurzzeitsynchronisation kompatibel ist.

LICHTVERTEILUNGSMODUS (MENÜ 1)

Das Blitzgerät EF-630 verfügt über drei Lichtverteilungsmodi, die entsprechend dem Verwendungszweck ausgewählt werden können.

[MENU 1] → **[LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL – (Voreinstellung)	Normale Lichtverteilung Generelle Lichtverteilungseigenschaften für allgemeine Aufnahmewecke.
GN (Leitzahl) GN	Leitzahl priorisierende Lichtverteilung Der Ausleuchtwinkel des Blitzes wird enger, aber es steht eine höhere Leitzahl zur Verfügung.
DIFFUSE (Diffus) DF	Flache Lichtverteilung Verhindert die Abschwächung des Umgebungslichts und erzielt eine einheitlichere Lichtverteilung.

TESTBLITZ (MENÜ 2)

Das Blitzgerät EF-630 verfügt über zwei Testblitzmodi. Eine der Testblitzmodi kann der TEST-Taste zugewiesen werden.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 MAL) 1TIME (Voreinstellung)	Testblitz Löst einen einzelnen Testblitz aus.
MODELING (MODELLIERUNG) MODEL	Modellierblitz Wenn die TEST-Taste gedrückt gehalten wird, wird der Blitz ungefähr 1,5 Sekunden lang kontinuierlich ausgelöst, damit Sie die Lichtwirkung und den Schattenverlauf am Motiv überprüfen können.

BENUTZEREINSTELLUNG (MENÜ 3)

Es ist möglich, benutzerdefinierte Einstellungen zu speichern und abzurufen. (Es können zwei Benutzereinstellungsprofile gespeichert werden.)

SPEICHERN UND ABRUFEN VON BENUTZEREINSTELLUNGEN

1. Stellen Sie den Blitzmodus, den Modusdetailbereich und das Setup-Menü entsprechend Ihren Erfordernissen ein.
2. Wählen Sie im [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING] die Option [C1] oder [C2] und drücken Sie die Taste **OK**.
3. Wählen Sie [OK] aus und bestätigen Sie die Auswahl mit der Taste **OK**.

Die gewählten Einstellungen werden als Blitzmodus hinzugefügt und stehen als Benutzereinstellung zur Verfügung. (Die Benutze-

1.0-11m ISO100 F4.0	
MODE C1	TTL
200M AUTO	50mm
1/2	-1.0

reinstellung wird im Blitzmodusbereich durch das **C1** oder **C2** Symbol angezeigt.)

LÖSCHEN EINER GESPEICHERTEN BENUTZEREINSTELLUNG

1. Wählen Sie im [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE] die Option [C1] oder [C2] und drücken Sie die Taste **OK**.
2. Wählen Sie [OK] und bestätigen Sie die Auswahl mit der Taste **OK**.

AF-HILFSLICHT (MENÜ 4)

Das AF-Hilfslicht wird automatisch eingeschaltet, wenn Sie versuchen, ein nicht ausreichend beleuchtetes Motiv aufzunehmen. Der Wirkungsbereich des AF-Hilfslichts reicht von 0,7 bis 10 Meter.

- Wenn das AF-Hilfslicht nicht erforderlich ist, wählen Sie [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

LC-DISPLAYBELEUCHTUNG (MENÜ 4)

Wenn das Blitzgerät eingeschaltet wird, wird das LC-Display beleuchtet. Die EIN/AUS-Einstellungen für die Beleuchtung können geändert werden.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (Voreinstellung)	Nach 8 Sekunden Stillstandzeit wird die Beleuchtung ausgeschaltet. Wird dann eine Taste oder ein Einstellrad verwendet, wird die Beleuchtung automatisch wieder eingeschaltet.
8 SEC	Die Beleuchtung bleibt nach dem Einschalten 8 Sekunden lang an, erlischt dann und bleibt auch aus, wenn eine Taste oder ein Einstellrad verwendet wird.
ON	Die Beleuchtung bleibt an.

- Unabhängig von der gewählten Einstellung kann die Beleuchtung

mit der Taste  ausgeschaltet werden.

LC-DISPLAYANPASSUNGEN (MENÜ 4)

Der Kontrast und die Helligkeit des LC-Displays können angepasst werden.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	HELLIGKEIT Die Helligkeit kann mit den Tasten   entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.
CONTRAST	KONTRAST Der Kontrast kann mit den Tasten   entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.

Wählen Sie abschließend [OK] und drücken Sie zur Bestätigung die Taste .

Wählen Sie [CANCEL], um die Anpassung abubrechen, und drücken Sie zur Bestätigung die Taste .

ÄNDERN DER MASSEINHEIT (MENÜ 4)

Die im Statusbereich angezeigte Maßeinheit kann geändert werden.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Voreinstellung)	Anzeige in Meter
FEET	Anzeige in Fuß

INFORMATIONEN ZUM BLITZGERÄT (MENÜ 5)

Die folgenden Informationen können abgerufen werden.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Modelname
SERIAL No.	Seriennummer
VERSION	Firmware-Version

RÜCKSETZEN DER EINSTELLUNGEN (MENÜ 5)

Das Blitzgerät kann auf die werkseitigen Einstellungen zurückgesetzt werden.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

Wenn Sie die Einstellungen zurücksetzen möchten, wählen Sie [OK] und drücken Sie zur Bestätigung die Taste .

- Beim Zurücksetzen der Einstellungen werden auch alle gespeicherten Benutzereinstellungen gelöscht.

ANDERE NÜTZLICHE FUNKTIONEN

BLITZKOPF-EINSTELLUNG (ZOOMREFLEKTOR)

Bei Verwendung der Blitzkopf-Einstellung  (Auto) passt der Zoomreflektor des Blitzgeräts den Ausleuchtwinkel automatisch der Brennweite des Objektivs an.

- Die Einstellung für den Zoomreflektor berücksichtigt auch die Größe des Bildsensors der Kamera. Darum kann die auf dem Blitzgerät angezeigte Brennweite von der tatsächlichen Brennweite des Objektivs abweichen.
- Je nach Blitzmodi kann die Zoomreflektoreinstellung auf einen Wert eingestellt werden, der unabhängig von der Brennweite des Objektivs ist.

1.0-11m		ISO100	F4.0
MODE	TTL		
ZOOM	AUTO		50mm
			±0.0

Die Zoomreflektoreinstellung kann manuell geändert werden. Drücken Sie die Tasten **<>** im Modusdetailbereich.

24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Die Blitzleistung ändert sich in Abhängigkeit von der Zoomreflektoreinstellung.

Weitwinkelstreuscheibe

Das Blitzgerät ist mit einer eingebauten Weitwinkelstreuscheibe ausgestattet, die die Ausleuchtung des Bildwinkels eines 17mm Objektivs ermöglicht. Ziehen Sie die Weitwinkelstreuscheibe gemeinsam mit der eingebauten Reflektorfolie vorsichtig heraus und klappen Sie ausschließlich die Weitwinkelstreuscheibe vor den Blitzkopf. P.3-(7)

- Wird die Weitwinkelstreuscheibe verwendet, wird im Modusdetailbereich im Abschnitt für den Blitzkopf das Symbol **WP** angezeigt

INDIREKTES BLITZEN

Durch Ausrichtung des Blitzes an die Decke oder gegen eine Wand wird das Licht gestreut, sodass Aufnahmen mit einer weicheeren Ausleuchtung und weniger Schlagschatten möglich sind.

Der Blitzkopf kann 90° nach oben oder 7° nach unten geneigt und jeweils 180° nach rechts oder links geschwenkt werden, unten ein Winkel von 7° und rechts und links ein Winkel von 180° ausgeleuchtet wird. P.3-(8)

- Bei indirektem Blitzen wird im Statusbereich das Symbol **BOUNCE** angezeigt.
- Das Motiv wird in die Farbe der reflektierenden Oberfläche getaucht. Wählen Sie deshalb bitte eine weiße Oberfläche für das indirekte Blitzen. Abhängig von der reflektierenden Oberfläche, der Motiv-Entfernung und anderen Faktoren kann sich die effektive Distanz für die TTL-Automatik verändern.

Nahaufnahmen

Das Neigen des Blitzkopfes um 7° nach unten eignet sich für Nahaufnahmen.

- Bei Ausrichtung des Blitzes um 7° nach unten blinkt die Reichweitenanzeige im Statusbereich.

Eingebaute Reflektorfolie

Das Blitzgerät ist mit einer eingebauten Reflektorfolie ausgestattet, die eine dezente frontale Aufhellung beim indirekten Blitzen gestattet (bspw. ein Lichtreflex im Auge des Models). Ziehen Sie die Weitwinkelstreuscheibe gemeinsam mit der eingebauten Reflektorfolie vorsichtig heraus und schieben Sie nur die Weitwinkelstreuscheibe wieder zurück. P.3-(9)

- Neigen Sie für eine natürliche Ausleuchtung mit dezenter frontaler Aufhellung den Blitzkopf um 90 Grad nach oben und fotografieren Sie aus kurzer Entfernung. P.3-(10)

SYNCHRONISATIONSANSCHLUSS

Das Blitzgerät EF-630 ist mit einem Synchronisationsanschluss ausgestattet, über den die Verbindung zur Kamera mithilfe eines im Handel erhältlichen Blitzsynchronisationskabels hergestellt werden kann.

Verwenden Sie das Blitzgerät bei Aufnahmen mit einem Synchronisationskabel im **[MANUAL]** Modus.

Wählen Sie unter **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]** dieselben ISO- und Blendenwerte (F) wie an der Kamera. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich an, sodass die im Statusbereich angezeigte Reichweite ungefähr dem Abstand zwischen dem Blitz und dem Motiv entspricht.

Achtung!!

Die S-TTL Automatik ist nicht verfügbar, wenn der Synchronisationsanschluss verwendet wird.

Der Synchronisationsanschluss des Blitzgeräts EF-630 ist kompatibel mit Steckern, die den Pluspol (+) auf dem mittigen Stift und den Minuspol (-) auf dem Mantel haben. Verwenden Sie ein Umpolungskabel, falls der Stecker umgekehrte Polarität aufweist.

SCHUTZ GEGEN UNBEABSICHTIGTE ÄNDERUNGEN

Wenn sich der Hauptschalter in der Position  (lock) befindet, sind alle Funktionen außer der TEST-Taste und der Taste  deaktiviert, um unbeabsichtigte Änderungen an den Einstellungen des Blitzgeräts zu verhindern.

- Solange das Blitzgerät gesperrt ist, wird im Statusbereich das Symbol  angezeigt.

HINWEISTÖNE

Verschiedene Tonsignale lassen den Zustand des Blitzgeräts erkennen, ohne dass ein Blick auf das LCD-Kontrollfeld erforderlich ist.

Schalten Sie den Hinweiston-Umschalter auf der Vorderseite des Geräts auf [ON]. (Im eingeschalteten Zustand wird im Statusbereich das Symbol  angezeigt.)

Ein kurzer Ton	Weist darauf hin, dass der Ladevorgang abgeschlossen ist.
Zwei kurze Töne	Weisen darauf hin, dass die Lichtanpassung in Ordnung ist.
Ein langer Ton (2 Sek.)	Fehlerwarnung

TECHNISCHE DATEN

Type: Systemblitzgerät, Aufsteck-Type, serienmäßige TTL-Messung, mit Auto-Zoomreflektor
Leitzahl: 63 (ISO 100/m, 200mm Blitzkopfeinstellung)

Energieversorgung: 4 AA Type Alkaline Batterien oder 4 AA Type Ni-MH Nickel-Metall Hydrid Akkus

Aufladezeit: ca. 3,0 s mit Alkaline Batterien :ca. 1,8 s mit Ni-MH Akkus
Blitzanzahl: ca. 120 mit Alkaline Batterien :ca. 185 mit Ni-Cd oder Ni-MH Akkus

Blitzdauer: ca. 1/700 s bei voller Leistung

Ausleuchtwinkel: 24mm~200mm motorgesteuert :17mm mit eingebauter Weitwinkelstreuscheibe

Gewicht: 490 Gramm

Abmessungen: 79.4mm (B) x 148.4mm (H) x 121.5mm (T)



Die CE-Kennzeichnung ist eine Konformitätserklärung des Herstellers, die dokumentiert, daß das betreffende Produkt die Anforderungen von EG-Richtlinien einhält.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf: 01805-90 90 85-0

Service: 01805-90 90 85-85 Fax(Service): 01805-90 90 85-35



Entsorgung von Elektro- und Elektronikgeräten aus privaten Haushalten

Entsorgung von Elektro- und Elektronikgeräten (Anzuwenden in der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit entsprechend geregeltem Abfall- Sammelsystem)

SIGMA unterstützt den Umweltschutz. Diese Produkt und die enthaltenen Zubehöriteile erfüllen die Anforderungen der WEEE-Richtlinie. Bitte bewahren Sie diese Information auf. Dieses Symbol weist auf die getrennte Rücknahme elektrischer und elektronischer Geräte in EU-Ländern hin. Bitte werfen Sie das Gerät nicht in den Hausmüll. Informieren Sie sich über das in Ihrem Land gültige Rücknahmesystem und nutzen Sie dieses zur Entsorgung. Batterien und Akkus sollten separat entsorgt werden.

Nous vous remercions d'avoir choisi le flash électronique Sigma EF-630 (pour SIGMA). Pour profiter au mieux de ses possibilités et en tirer le meilleur parti, nous vous suggérons de lire attentivement ce mode d'emploi avant toute utilisation, en ayant sous la main celui de votre appareil. Nous vous conseillons également de le garder toujours à portée de main.

PRECAUTIONS

Pour éviter tout dommage ou erreur de manipulation, nous vous demandons de lire attentivement ce mode d'emploi avant d'utiliser votre appareil. Nous attirons particulièrement votre attention sur les deux signes d'avertissement ci-dessous.

	Mise en garde !!
	Avertissement !!
	Ce symbole marque un point important où la plus grande prudence est requise
	Ce symbole correspond à une information qu'il convient de respecter

Mise en garde !!

 Ce flash comprend des circuits électriques à haut voltage. N'essayez jamais de démonter le produit, ceci pouvant entraîner une électrocution ou une brûlure. Si la coque est cassée ou fêlée, ne touchez pas les composants internes.

 Ne déclenchez jamais d'éclair à proximité des yeux. L'intensité lumineuse pourrait créer des dommages irréversibles. Laissez

toujours une distance d'au moins 1m/3 pieds entre le visage et l'appareil lorsque vous photographiez avec le flash.

 Ne touchez pas la griffe lorsque le flash est monté sur l'appareil. Vous pourriez subir une décharge à haute tension.

 N'utilisez jamais le flash dans un environnement de produits inflammables tels que gaz, produits chimiques, solvants, etc...en raison de risques d'incendie ou d'explosion.

 Ne couvrez pas la tête du flash avec les mains et ne déclenchez le flash près de la peau, car ceci pourrait entraîner des brûlures.

 Ne déclenchez pas le flash vers un automobiliste, car ceci pourrait provoquer un accident.

Avertissement !!

 N'utilisez ce flash que sur un boîtier reflex Sigma sd /dp. Tout autre emploi pourrait endommager les circuits électriques et électroniques de l'appareil.

 Ce flash n'est pas étanche. Tenez-le à l'abri en cas d'utilisation sous la pluie, la neige ou les embruns. Des circuits endommagés par l'eau sont souvent irréparables.

 N'exposez pas votre flash, ni l'appareil, à un choc, à la poussière, à de très hautes températures ou à l'humidité. Ces éléments pourraient causer des dégâts ou un dysfonctionnement.

 Si le flash est soumis à un brusque contraste de température, comme de passer d'un extérieur froid à un intérieur bien chauffé, une condensation peut se former à l'intérieur. Dans une telle circonstance, placez le flash dans un sac plastique fermé et ne l'utilisez pas tant qu'il n'a pas atteint la température de la pièce.

 Ne rangez pas le flash dans un tiroir ou une armoire contenant de la naphtaline, du camphre ou tout autre insecticide. Ceci pourrait provoquer des dysfonctionnements.



N'employez pas de dissolvant, de benzène ou tout autre agent chimique pour nettoyer votre flash ou enlever des traces de doigts. N'utilisez qu'un chiffon doux et humide.



En cas de stockage prolongé, placez le flash dans un endroit sec et tempéré, de préférence ventilé. Faites le fonctionner plusieurs fois par mois pour entretenir le condensateur.



Ne déclenchez pas le flash si la tête du flash est recouverte avec des chiffons ou des vêtements, car ceci pourrait provoquer un incendie.

ALIMENTATION ELECTRIQUE

Ce flash utilise quatre accus rechargeables Ni-MH de type « AA » ou 4 piles sèches alcalines.

- Nettoyez les contacts des piles avant installation pour assurer une bonne conductivité
- Afin d'éviter tout risque d'explosion, d'écoulement ou de surchauffe, utilisez toujours quatre piles AA neuves de même type et de la même marque. Ne mélangez ni différents types, ni des piles neuves avec des piles usagées.
- Ne cherchez pas à démonter les piles, ni à les décharger. Ne les exposez ni au feu, ni à l'eau : il y aurait danger d'explosion. Ne rechargez pas des piles autres que des accus rechargeables Ni-MH.
- Si vous n'utilisez pas le flash pendant une longue période, ôtez les piles afin d'éviter tout risque d'écoulement.
- Il est toujours recommandé d'emporter des piles de rechange lors d'un long voyage ou en cas d'utilisation par grand froid.
- N'utilisez pas de piles AA/R6 Lithium. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement de votre équipement.
- Veuillez suivre toutes les réglementations de votre pays de

résidence concernant la collecte et le recyclage des piles et accumulateurs.

DESCRIPTION DES ELEMENTS (P.2)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. Tête Flash | 10. Interrupteur |
| 2. Récepteur de signal sans fil | 11. Lampe témoin de charge / Bouton TEST |
| 3. Sélecteur de son électronique | 12. Bouton de OK |
| 4. Lumière d'assistance AF | 13. Sélecteur |
| 5. Couvercle du compartiment piles | 14. Loquet de verrouillage du sabot |
| 6. Sabot | 15. Molette |
| 7. Ecran LCD | 16. Prise Sync. |
| 8. Bouton de rétroéclairage | 17. Réflecteur de lumière |
| 9. Bouton de MENU | 18. Elargisseur d'angle |

SELECTEUR (13)

Dans ce mode d'emploi, chaque position du sélecteur est identifiée comme suit :  /  /  / .



- Les touches sont utilisées comme suit : pour monter ou descendre : touches  / . Pour aller à droite ou à gauche : touches  / .

APPAREILS COMPATIBLES

Ce flash est compatible avec les appareils suivants.

Séries sd Quattro, SD1/SD1 Merrill,
Séries dp Quattro, Séries DP Merrill

- Certaines fonctions ne sont pas disponibles en fonction de l'appareil utilisé. Veuillez consulter le tableau des fonctions correspondantes [tableau 1] disponible à la fin de ce mode d'emploi.

MISE EN PLACE DES PILES

1. Placez l'interrupteur en position **[OFF]** et ouvrez le compartiment piles en faisant glisser le couvercle. P.3-(1)
2. Suivez les indications du compartiment piles et insérez les piles en respectant les polarités + et – comme indiqué. P.3-(2)
3. Refermez le couvercle du compartiment piles. P.3-(3)
4. Placez l'interrupteur en position **[ON]**. Quand la charge du flash est suffisante pour déclencher un éclair, la lampe témoin de charge commence à clignoter en vert. Lorsque le flash est à pleine charge, la lampe témoin de charge s'allume en rouge.

Avertissement!!

Si la charge des piles est faible, le symbole  s'affiche sur l'écran LCD. Quand les piles sont déchargées, l'icône ci-contre s'affiche et le flash cesse de fonctionner. Veuillez changer les piles.



FLAT BATTERY

MESSAGE D'ERREUR

Lorsque le symbole  s'affiche sur l'écran LCD, le flash peut avoir des défaillances. Eteignez et rallumez le flash ou vérifiez les piles. Si l'indication persiste, contacter votre revendeur.

MISE EN VEILLE AUTOMATIQUE

Le flash se met en veille automatiquement après environ 300 secondes de non-activation, afin de préserver la puissance des piles. Pour le remettre en route, appuyez sur le bouton TEST ou appuyez à mi-course sur le déclencheur de l'appareil. Toutefois, la mise en veille automatique ne fonctionne pas en mode **[WL SLAVE]** et le mode **[S-FL SLAVE]**.

MISE EN PLACE DU FLASH

1. Placez l'interrupteur en position **[OFF]**
2. Vérifiez que le loquet de verrouillage du sabot est en position **[UNLOCK ►]**. P.3-(4)
3. Insérez le flash sur la griffe de l'appareil jusqu'à la butée. Faites glisser le loquet de verrouillage du sabot dans la direction **[◀LOCK]** jusqu'à ce que le loquet soit bloqué avec un bruit de cliquetis. P.3-(5)

Lorsque vous retirez le flash, actionnez le loquet de verrouillage de sabot dans la direction **[UN LOCK►]** jusqu'à la butée tout en continuant d'appuyer sur le loquet de verrouillage du sabot. Puis retirez sur le flash.

Avertissement!!

Si le flash est retiré alors que le loquet de verrouillage du sabot n'est pas en position **[UNLOCK►]**, la griffe de l'appareil photo et le sabot de fixation du flash pourraient être endommagés.

RÉGLAGE DE LA TÊTE DU FLASH

En prise de vue générale, Placez la face de la tête flash vers l'avant. P.3-(6)

Avertissement!!

Une fois l'interrupteur en position ON, si le symbole **BOUNCE** est indiqué dans la zone d'État, ou si l'indication de distance clignote dans la zone d'état, cela signifie que la tête du flash n'est pas correctement positionnée vers l'avant.

LIMITES DES PRISES DE VUE CONSECUTIVES AU FLASH

Pour éviter une surchauffe, laissez le flash au repos au moins 10 minutes après des séquences de prises de vues consécutives en respectant le tableau ci-dessous.

Mode	Nombre d'éclairs
TTL, M(1/1,1/2)	20 éclairs consécutifs
M(1/4, 1/8)	25 éclairs consécutifs
M(1/16-1/32)	40 éclairs consécutifs
Stroboscopique	10 Cycles

Avertissement!!

Si l'icône  apparaît sur l'affichage, la puissance de l'éclair sera limitée afin d'éviter la surchauffe des circuits du flash. N'utilisez pas le flash jusqu'à ce que l'icône disparaisse.

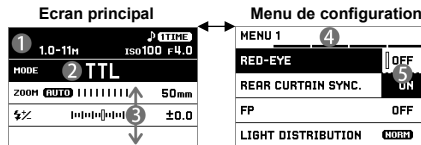
RÉGLAGES DE BASE

Ce chapitre décrit les réglages de base. Avec le Flash EF-630, la plupart des réglages peuvent se faire facilement en suivant les étapes suivantes.

Avertissement!!

Lorsque l'interrupteur est en position  (verrouillage), il est impossible de modifier les réglages. Assurez-vous qu'il est sur [ON] pour modifier les réglages.

Vous pouvez passer de l'écran principal au menu de configuration en utilisant le bouton **MENU**. (Lorsque vous positionnez l'interrupteur sur [ON], l'Ecran principal s'affiche en premier).



Modifie le Mode flash et définit les détails de chaque Mode flash.

Ajoute des fonctions optionnelles de prise de vue au flash et définit les réglages de base du flash

① Zone d'état

④ Barre des tâches

② Zone de mode flash

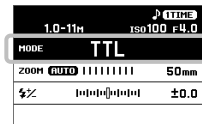
⑤ Sous-menu

③ Zone des détails de mode

OPERATIONS DE BASES SUR L'ECRAN PRINCIPAL

SELECTION DU MODE FLASH

Sélectionnez la zone de mode flash en utilisant les touches  et modifiez le mode flash en utilisant les touches  ou la molette.



SELECTION DES DÉTAILS DU MODE FLASH

Sélectionnez la zone de détails du mode en utilisant les touches  et modifiez les valeurs de réglage en utilisant les touches  ou la molette.



OPERATION DE BASE DANS LE MENU DE CONFIGURATION

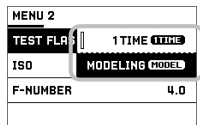
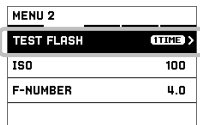
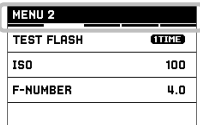
Pour passer d'un onglet à l'autre, tournez la molette. (Lorsque le curseur est positionné sur la barre des tâches, il est aussi possible de changer de onglet en appuyant sur les touches <>)

Dans le menu de configuration :

Utilisez les touches pour sélectionner des éléments du menu. Appuyez sur le bouton **OK** ou la touche pour ouvrir des sous-menus ou des boîtes de dialogue. (Dans certains réglages, un écran spécial ou un message peut apparaître.)

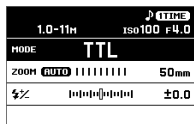
Dans un sous-menu de configuration :

Utilisez les touches pour sélectionner des options de réglage. Appuyez sur le bouton **OK** ou la touche pour appliquer les nouveaux réglages. (Appuyez sur la touche pour fermer les sous-menus sans appliquer de modification)



EXPOSITION AUTOMATIQUE S-TTL

Il s'agit d'une méthode de prise de vue utilisant un système d'exposition automatique S-TTL où l'appareil mesure la lumière réfléchie d'une pré-émission flash et optimise la puissance du flash. Utilisez ce mode pour la prise de vue générale.



1. Réglez le Mode flash sur [TTL].

2. Vérifiez que le sujet est dans la zone couverte par le flash en vérifiant l'information de distance dans la zone d'État.

3. Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

Lorsque la prise de vue au flash est correctement réalisée, le symbole **OK** est indiqué pendant environ cinq secondes dans la zone d'état. Lorsque le symbole **OK** n'est pas affiché, la puissance du flash peut être insuffisante ou trop forte. Changez la condition de prise de vue puis recommencez.

VITESSE D'OBTURATION ET OUVERTURE

Les relations entre les vitesses d'obturation et les ouvertures dans les différents modes d'exposition de l'appareil sont indiquées ci-dessous :

	Vitesse d'obturation	Ouverture
P	Adaptée automatiquement à la vitesse de synchronisation du flash (* 1) en minimisant le risque de bougé pour l'appareil (* 2).	Fixée automatiquement
A	Permet De choisir librement la vitesse dès lors qu'elle est égale ou inférieure à la vitesse de synchronisation du flash (* 1).	Peut être fixée librement.
S		Fixée automatiquement
M		Peut être fixée librement.

(*1) Lorsque le flash FP est réglé sur [ON], la limitation de la vitesse d'obturation du côté de la haute vitesse est inopérante.

(*2) La vitesse d'obturation varie en fonction de la longueur focale de l'objectif fixé. De plus, lorsque le Mode flash de l'appareil est réglé sur synchro lente, la limitation de vitesse d'obturation du côté de la basse vitesse est désactivée.

Avertissement!!

En cas de prise de vue avec des valeurs de vitesse d'obturation et d'ouverture qui clignotent, l'exposition peut être incorrecte. Dans ce

cas, changez les conditions de prise de vue.

CORRECTION D'EXPOSITION AU FLASH

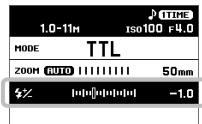
La correction de la seule puissance du flash est possible pour ne pas affecter l'exposition de l'arrière-plan.

Mode flash : Peut être utilisé avec le mode [TTL].

Définissez la valeur du niveau de correction dans la zone Détails du Mode flash [TTL]. (La correction peut être paramétrée à ± 3 IL par palier de 1/3 de valeur).

- Lorsque la correction d'exposition est réglée à la fois dans l'appareil et dans le flash, l'opération varie en fonction de l'appareil.

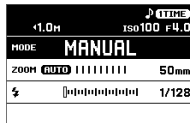
Séries sd Quattro	Autres appareils compatibles
La valeur combinée est utilisée pour la prise de vue	Le réglage dans l'appareil est prioritaire.



FLASH MANUEL

IL est possible de gérer librement la puissance du flash.

1. Réglez le Mode flash sur [MANUAL].
2. Réglez la puissance du flash dans la zone de détails du mode. (Plage disponible pour le réglage : 1/128 à 1/1, par incréments de 1/3 de valeur.)
3. Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.



Dans la partie consacrée à l'affichage de la distance dans la zone d'état, la distance exposée de façon appropriée est affichée. Avec la même puissance de flash, la distance d'exposition appropriée varie si la sensibilité ISO de l'appareil photo ou la valeur de l'ouverture est modifiée.

L'exposition appropriée lorsque vous utilisez le flash en mode manuel peut être calculée selon la formule suivante : Nombre guide (NG) / Distance de prise de vue (m) = valeur de l'ouverture (F)

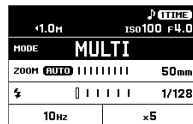
Pour le NG (Nombre guide) de ce flash, veuillez consulter le [tableau 2] disponible à la fin du mode d'emploi.

MODE FLASH STROBOSCOPIQUE (MULTI FLASH)

Le Reproduire le mouvement du sujet en le décomposant dans une image est possible en émettant des éclairs successifs avec le flash tandis que l'obturateur reste ouvert.

Utilisez le mode d'exposition manuel ("M") de l'appareil photo.

1. Réglez le mode flash sur [MULTI].
2. Dans la zone détails mode, réglez la puissance du flash, la fréquence du flash en Hz (ex.: 10 Hz = émission d'éclairs avec la fréquence de 10 fois par seconde) et le nombre d'éclairs en « x ».



3. Réglez une vitesse d'obturation inférieure à la valeur du « nombre d'éclairs » / « fréquence du flash »
4. Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

Le nombre d'éclairs pouvant être déclenchés en continu varie en fonction de la combinaison de la puissance du flash et la fréquence des éclairs. Veuillez consulter le [tableau 3] disponible à la fin de ce mode d'emploi.

FLASH SANS CORDON

Lorsque le flash est utilisé de façon éloignée de l'appareil, les possibilités créatives en sont étendues. Le flash EF-630 est contrôlé à distance par le flash intégré de l'appareil photo ou d'un autre flash « flash maître ».

FLASH DISTANT TTL

En mode TTL sans fil, l'appareil calcule automatiquement l'exposition appropriée.

LORSQUE VOUS UTILISEZ UN APPAREIL PHOTO DEPOURVU DE FLASH INTÉGRÉ

(sd Quattro, etc.)

Deux flashes EF-630 (pour SIGMA) sont nécessaires. Le flash fixé à l'appareil est appelé [Flash Maître], et le flash utilisé à distance de l'appareil photo est appelé [Flash esclave].

REGLAGE DU FLASH MAÎTRE

1. Réglez le mode flash sur [WL TTL].
2. Sélectionnez le canal si nécessaire (Sélectionnez Ch1 à Ch3 dans la zone de détails du mode).

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚙	CONTROL ONLY
Ch.1	

REGLAGES DU FLASH ESCLAVE

3. Réglez le mode flash sur [WL SLAVE].
4. Dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que le flash maître.
5. Préparez le flash pour le déclenchement. Vérifiez l'état de charge et commencez la prise de vue. (La fin de charge est notifiée par le

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

clignotement de la lampe témoin de charge).

- Placez le flash à une distance comprise entre 0,5m et 5m (1.6 ~16pieds) du sujet, et l'appareil également à une distance comprise entre 0,5m et 5m (1.6 ~16pieds) du sujet.
- L'éclair du flash maître ne sert qu'à contrôler le déclenchement du flash asservi et n'influence pas l'éclairage.
- Lorsque vous installez un flash asservi à un endroit donné, vous pouvez utiliser le support livré avec le flash. Ce support comporte un pas de vis pour trépied.
- Le flash EF-630 peut également être utilisé en combinaison avec le flash EF-610 DG SUPER SA-STTL. Dans ce cas, utilisez le flash EF-610 DG SUPER comme « Flash maître ». (Pour paramétrer le flash en « flash maître », veuillez consulter le mode d'emploi du flash EF-610 DG SUPER SA STTL.)

LORSQUE VOUS UTILISEZ UN APPAREIL PHOTO POURVU D'UN FLASH INTÉGRÉ (SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Réglez le flash de l'appareil sur le mode flash distant sans fil et réglez les canaux si nécessaire. (Pour plus de détails sur la façon de modifier ces paramètres, veuillez consulter le mode d'emploi de l'appareil).
2. Réglez le mode flash sur [WL TTL].
3. Dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que celui de l'appareil.
4. Placez le flash pour la prise de vue. Assurez-vous que les deux flashes sont chargés et prêts pour la prise de vue, puis commencez la prise de vue.

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- Le flash intégré de l'appareil photo se déclenche afin de contrôler le flash esclave et n'influe pas sur l'éclairage de la photo.

FLASH MANUEL SANS FIL

Tout comme pour la photographie au flash manuel, la prise de vue sans fil avec réglage manuel de la puissance du flash est également disponible. Dans ce cas, deux flashes EF-630 (pour SIGMA) sont nécessaires.

REGLAGE DU FLASH MAÎTRE

1. Réglez le Mode flash sur [WL MANUAL].
2. Dans la zone de détails du mode, ajustez la puissance du flash pour la distance réelle entre le sujet et le flash esclave corresponde à la distance indiquée sur la zone d'état.
3. Régler le canal selon les besoins. (Sélectionnez Ch.1 à Ch.3 dans la zone de détails du mode.)

1.0M		1 TIME
ISO100		F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	[]	1/128
Ch.1		

RÉGLAGE DU FLASH ESCLAVE

4. Réglez le Mode flash sur [WL SLAVE].
5. Dans la zone des détails de mode, sélectionnez le même canal que celui du flash maître.
6. Placez le flash pour la prise de vue. Assurez-vous que le flash est chargé, puis commencez la prise de vue.

- Le flash EF-630 peut également être utilisé en combinaison avec le flash EF-610 DG SUPER SA-STTL. Dans ce cas, utilisez le flash EF-610 DG SUPER comme « Flash esclave ». (Pour paramétrer le flash en « flash esclave », veuillez consulter le mode d'emploi du flash EF-610 DG SUPER SA-STTL.) Dans cette combinaison, l'exposition peut être insuffisante si la puissance du flash est réglée à proximité du niveau maximum.

		♪ 1TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM (AUTO)		24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

FLASH ESCLAVE

Le flash EF-630 comprend une fonction qui lui permet de se déclencher en réagissant à la lumière d'un autre flash. Cela facilite la prise de vue avec le flash positionné à distance de l'appareil. Néanmoins, la puissance de sortie n'est pas automatiquement ajustée dans ce mode.

FLASH ESCLAVE NORMAL

Le flash maître positionné sur l'appareil peut être utilisé pour déclencher un flash synchronisé avec le flash EF-630, même lorsqu'il est positionné à distance de l'appareil.

- Le flash intégré de l'appareil fonctionne incorrectement avec le pré-flash et ne peut donc pas être utilisé pour cette fonction.

Réglez le flash maître en mode manuel et réglez la puissance du flash à environ 1/16.

Réglez le mode d'exposition de l'appareil sur M, la vitesse d'obturation à 1/30 seconde ou moins et l'ouverture et la sensibilité ISO à des valeurs choisies.

1. Réglez le Mode flash du flash EF-630 esclave sur [S-FL NORMAL].

2. Dans la zone des détails de mode, réglez la sensibilité ISO et les valeurs d'ouverture à celles des réglages de l'appareil.

<1.0M		ISO100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM (AUTO)	[] 24mm	
⚡	[] 1/128	
ISO100		F4.0

3. Ajustez la puissance du flash dans la zone des détails de mode afin que la distance entre le flash esclave et le sujet soit approximativement identique à la distance indiquée dans la zone d'état.
4. Assurez-vous que le flash est chargé et commencez la prise de vue.

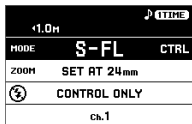
FLASH ESCLAVE DESIGNÉ

Si vous utilisez deux ou plus de deux flashes EF-630, vous pouvez désigner quels flashes se déclencheront ensemble en paramétrant des canaux de communication. Dans ce mode, un flash servira de flash de contrôle, et les autres de flashes esclaves d'éclairage.

Réglez le mode d'exposition de l'appareil sur M, la vitesse d'obturation à 1/30 seconde ou moins et l'ouverture et la sensibilité ISO à des valeurs choisies.

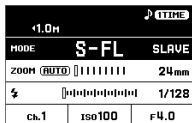
PRÉPARATION DU FLASH DE CONTRÔLE (MAÎTRE)

1. Réglez le Mode flash sur [S-FL CTRL].
2. Réglez le canal selon les besoins. (Dans la zone des détails de mode, sélectionnez **Ch.1** à **Ch.3**).



PRÉPARATION DU FLASH D'ECLAIRAGE (ESCLAVE)

3. Réglez le Mode flash sur [S-FL SLAVE].
4. Dans la zone des détails de mode, choisissez le canal pour correspondre à celui du flash de contrôle
5. Dans la zone des détails de mode, réglez la sensibilité ISO et la valeur d'ouverture pour correspondre à celles du flash de contrôle.
6. Ajustez la puissance du flash dans la zone des détails de mode afin que la distance entre le flash esclave et le sujet soit approximativement identique à la distance indiquée dans la zone d'état.
7. Assurez-vous que le flash est chargé et commencez la prise de vue.



- En mode esclave, ce flash peut également être utilisé en combinaison avec le flash EF-630 et / ou EF-610 DG SUPER pour les autres applications de l'appareil. (Pour plus de détails sur le paramétrage du flash EF-610 DG SUPER, veuillez consulter le mode d'emploi.)

FONCTIONS OPTIONNELLES

Ce chapitre décrit les fonctions optionnelles qui peuvent être paramétrées et ajoutées dans le menu de configuration.

REDUCTION DE L'EFFET "YEUX ROUGES" (MENU 1)

When taking a picture with flash, sometimes the person's eyes reflect the flashlight and will exhibit "red-eye" in the picture. If you use the "Red-eye reduction" function, the flash will blink for approximately 1 second before the shutter is released to reduce the "red-eye" effect.

La réduction des yeux rouges peut être utilisée en mode d'exposition **P**, **A**, **S** et **M** de l'appareil.

Elle peut être utilisée en modes flash [TTL], [MANUAL] et [WL].

1. Réglez [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Revenez à l'écran principal. (Dans la zone d'état, le symbole  apparaît.)

Avertissement!!

Il est impossible d'activer cette fonction dans les modes Flash qui ne sont pas compatibles avec la réduction des yeux rouges.

SYNCHRONISATION SUR LE DEUXIEME RIDEAU (MENU 1)

Dans ce mode, le flash est activé juste avant la fermeture du rideau. L'écho lumineux du sujet en mouvement est capturé derrière lui, donnant ainsi un effet plus naturel du mouvement sur la photo.

Cette fonction peut être utilisée en mode d'exposition **P**, **A**, **S** et **M** de l'appareil.

Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, et **[WL]**

1. Réglez **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Revenez à l'écran principal. (Dans la zone d'état, le symbole  apparaît.)

Avertissement!!

Il est impossible d'activer cette fonction dans les modes Flash qui ne sont pas compatibles avec la synchronisation au deuxième rideau.

FLASH HAUTE VITESSE FP (MENU 1)

La synchronisation rapide (Grande Vitesse) permet d'émettre un flash même si le rideau de l'obturateur est en mouvement. Vous pouvez ainsi utiliser une vitesse d'obturation plus rapide que la vitesse de synchronisation.

Cette fonction peut être utilisée en mode d'exposition **P**, **A**, **S** et **M** de l'appareil.

Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]** et **[MANUAL]**

1. Réglez **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Revenez à l'écran principal. (Dans la zone d'état, le symbole  apparaît.)

En mode **[TTL]**, assurez-vous que le sujet est dans le champ de

prise de vue en contrôlant la distance indiquée dans la zone d'état avant de commencer la prise de vue.

En mode **[MANUAL]**, réglez l'ouverture, etc. avant de commencer la prise de vue afin de faire correspondre la distance jusqu'au sujet et celle indiquée sur la zone d'état.

Le Nombre Guide change en fonction de la vitesse d'obturation (voir le tableau 4 en dernière page)

Avertissement!!

Il est impossible d'activer cette fonction dans les modes Flash qui ne sont pas compatibles avec la synchronisation rapide Grande Vitesse.

MODE DE REPARTITION DE LA LUMIERE (MENU 1)

Le flash EF-630 possède trois modes de dispersion de la lumière qui peuvent être choisis selon le type d'utilisation.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

NORMAL – (Par défaut)	Répartition normale de la lumière Dispersion normale pour une prise de vue classique.
GN 	Priorité au Nombre guide dans la dispersion de la lumière Le faisceau du flash est concentré pour assurer un plus grand Nombre Guide.
DIFFUSE 	Répartition de la lumière uniforme Evite la diminution de la quantité de lumière en périphérie pour une répartition plus uniforme de la lumière.

TEST DU FLASH (MENU 2)

Le flash EF-630 dispose de deux modes de test du flash. L'un des modes test du flash peut être affecté au bouton TEST.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 FOIS) 1TIME (Par défaut)	Test du flash Exécute un seul test du flash.
MODELING (LAMPE PILOTE) MODEL	Lampe Pilote Lorsque le bouton TEST est maintenu enfoncé, le flash clignote en continu pendant environ 1,5 secondes afin de vérifier les ombres du sujet.

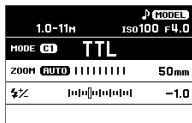
MODE PERSONNALISÉ (MENU 3)

Il est possible de mémoriser et de rappeler des réglages personnalisés. (Deux séries de réglages personnalisés peuvent être enregistrés).

ENREGISTREMENT ET RAPPEL DES REGLAGES PERSONNALISES

- Réglez le mode flash, la zone des détails de mode et le contenu du menu de configuration comme vous le désirez.
- Dans [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], sélectionnez [C1] ou [C2] et appuyez sur le bouton **OK**.
- Sélectionnez [OK] et confirmez avec le bouton **OK**.

Le contenu enregistré est ajouté au mode flash en tant que mode personnalisé. (un mode personnalisé est indiqué par le symbole **C1** ou **C2** dans la zone de mode flash.)



SUPPRESSION D'UN MODE PERSONNALISÉ ENREGISTRÉ

- Dans [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], sélectionnez [C1] ou [C2] et appuyez sur le bouton **OK**.
- Sélectionnez [OK] et confirmez avec le bouton **OK**.

LUMIERE D'ASSISTANCE AF (MENU 4)

La lumière d'assistance AF s'allume automatiquement lorsque vous photographiez un sujet dans un endroit sombre. La portée effective de la lumière d'assistance AF est d'environ 0,7 à 10 mètres.

- Lorsque la lumière d'assistance AF n'est pas nécessaire, sélectionnez [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

ÉCLAIRAGE ÉCRAN LCD (MENU 4)

Lorsque vous allumez le flash, l'écran LCD s'allume. Les réglages ON/OFF de l'éclairage peuvent être modifiés.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (Par défaut)	La lumière s'éteint après 8 secondes d'inactivité et se rallume automatiquement si un bouton ou la molette est utilisé.
8 SEC	Indépendamment d'une action sur un bouton ou la molette, la lumière s'éteint au bout de 8 secondes.
ON	L'éclairage est continuellement activé.

- Quel que soit le réglage, l'éclairage peut être activé/désactivé en appuyant sur le bouton

AJUSTEMENT DE L'ECRAN LCD (MENU 4)

Le contraste et la luminosité de l'écran LCD peuvent être ajustés.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	LUMINOSITE Réglez la luminosité désirée en utilisant les touches <>.
CONTRAST	CONTRASTE Réglez le contraste au niveau désiré en utilisant les touches <>.

Pour terminer le réglage, sélectionnez [OK] et validez avec le bouton **OK**.

Pour annuler le réglage, sélectionnez [CANCEL] et validez avec le bouton **OK**.

MODIFICATION DES UNITÉS DE MESURE (MENU 4)

L'unité de mesure dans la zone d'état peut être changée.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Par défaut)	Indication en mètre
FEET	Indication en pied

INFORMATION DU FLASH (MENU 5)

Les informations suivantes peuvent être vérifiées.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Nom du modèle
SERIAL No.	Numéro de série
VERSION	Version du Firmware

INITIALISATION DES REGLAGES (MENU 5)

Il est possible de réinitialiser le flash dans ses réglages usine.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

Pour réinitialiser le réglage, sélectionnez [OK] et validez avec le bouton **OK**.

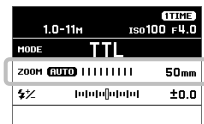
- Lorsque les réglages sont réinitialisés, les modes personnalisés enregistrés sont supprimés.

AUTRES FONCTIONS UTILES

RÉGLAGE DE LA TÊTE FLASH

Lorsque le réglage tête du flash est utilisé en **AUTO** (Auto), le flash ajuste automatiquement et de façon optimale, l'angle de flash en fonction de la focale de l'objectif.

- La tête flash prenant en compte la taille du capteur d'image de l'appareil, la focale affichée sur le flash peut être différente de celle de l'objectif.
- Selon le mode flash, le réglage de la tête flash peut être géré indépendamment de la focale de l'objectif.



Le réglage de la tête flash peut être modifié manuellement. Appuyez sur les touches <> situées dans la zone détails mode.

24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- La portée de l'éclair du flash varie en fonction de la position de la tête zoom.

ELARGISSEUR D'ANGLE

Ce flash est pourvu d'un élargisseur d'angle intégré qui procure une couverture d'angle pour une focale de 17mm. Pour l'utiliser, veuillez extraire avec précaution l'élargisseur et le réflecteur et les rabattre devant la tête flash. Remettez ensuite le réflecteur dans son logement. P.3-(7)

- La section correspondant aux indications de la tête flash dans la zone des détails de mode affiche le symbole **MP** lorsque l'élargisseur d'angle est utilisé.

FLASH INDIRECT

En déclenchant le flash vers le plafond ou vers un mur, il est possible de disperser la lumière et de prendre des photos avec une lumière douce et des ombres réduites.

La tête flash peut être orientée vers le haut à 90°, vers le bas à 7° et sur les côtés droit et gauche à 180°. P.3-(8)

- En flash indirect, le symbole **BOUNCE** est affiché dans la zone d'état.
- La lumière prenant la teinte de la surface sur laquelle elle se réfléchit, il est recommandé de choisir une surface blanche. Selon les propriétés réfléchissantes de la surface, la distance du sujet et d'autres facteurs, l'intensité et la distance réelle parcourue par l'éclair peuvent varier.

Prise de vue rapprochée

En inclinant la tête flash vers le bas de 7°, la partie inférieure de la vue peut être suffisamment lumineuse pour les plans rapprochés.

- En cas de position indirecte de 7° vers le bas, l'indication de distance dans la zone d'état clignote.

REFLECTEUR DE LUMIERE

Ce flash est pourvu d'un réflecteur de lumière intégré qui permet de créer un effet de lumière harmonieux dans les yeux du sujet en mode d'éclairage indirect. Pour l'utiliser, veuillez extraire avec précaution l'élargisseur et le réflecteur et les rabattre devant la tête flash. Remettez ensuite le diffuseur dans son logement. P.3-(9)

- Pour tirer le meilleur parti du diffuseur, orientez la tête à 90° vers le haut et photographiez à faible distance. P.3-(10)

PRISE SYNC.

Le flash EF-630 dispose d'une prise synchro permettant de le connecter à l'appareil par un câble synchro flash disponible dans le commerce.

Lorsque vous photographiez avec un câble de synchro, utilisez le Flash en mode **[MANUAL]**.

Dans **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]**, réglez la sensibilité ISO et la valeur de l'ouverture (F) pour qu'ils correspondent ceux de l'appareil. Réglez la puissance du flash dans la zone des détails de mode jusqu'à ce que la distance affichée dans la zone d'état soit approximativement identique à la distance entre le flash et le sujet.

Avertissement!!

Le Flash Auto S-TTL ne fonctionne pas si la prise synchro est utilisée.

La prise synchro du flash EF-630 est compatible avec les prises qui ont une polarité positive (+) sur le contact central et une polarité négative (-) sur le tour. Si la prise a une polarité inversée, utilisez un cordon de conversion de polarité disponible dans le commerce.

PRÉVENTION DE MISE EN MARCHÉ INOPINÉE

Lorsque l'interrupteur est sur la position [🔒] (verrouillage), les opérations autres que celles sur le bouton TEST et le bouton 🔊 ne sont plus possibles, empêchant ainsi toute modification accidentelle des réglages du flash.

- Pendant que le flash est verrouillé, le symbole 🔒 s'affiche dans la zone d'état.

SON ELECTRONIQUE

Certaines conditions du flash sont indiquées par un son, ce qui les rend faciles à reconnaître sans avoir à regarder l'écran LCD.

Tournez le sélecteur de son électronique situé sur le devant sur [ON]. (Lorsqu'il est mis sur ON, le symbole 🔊 s'affiche dans la zone d'État.)

Un son court	Indique la fin de la charge
Deux sons courts	Indique que le réglage de lumière est OK
Un son long (2 SEC.)	Attention erreur

CARACTERISTIQUES TECHNIQUES

TYPE : Flash électronique à tête zoom automatique et orientable à contrôle TTL

NOMBRE GUIDE : 63 (100 ISO/m, avec réflecteur en position 200mm)

ALIMENTATION : Quatre piles alcalines de type AA ou : Quatre accumulateurs Ni-Mh de type AA

TEMPS DE RECYCLAGE : environ 3,0 sec. (avec piles alcalines) : environ 1,8 sec. (accus Ni-Mh)

NOMBRE D'ECLAIRS : environ 120 éclairs (piles alcalines)

: environ about 185 éclairs (accus Ni-Mh)

DUREE DE L'ECLAIR : environ 1 / 700 sec. (à pleine puissance)

ANGLE D'ECLAIRAGE : 24~200mm avec motorisation automatique 17mm avec l'élargisseur d'angle intégré.

POIDS : 490 g

DIMENSIONS : 79.4mm(L) x 148.4mm(H) x 121.5mm(L)



Le label CE garantit la conformité aux normes établies par la Communauté Européenne.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf: 01805-90 90 85-0

Service: 01805-90 90 85-85 Fax(Service): 01805-90 90 85-35



Elimination des Déchets d'Equipements Electriques et Electroniques ménagers

(Applicable dans l'Union Européenne selon les dispositions particulières de chaque Etat membre)

Ce symbole inscrit sur le produit ou sur l'emballage, le mode d'emploi et la carte de garantie indique que le produit ne doit pas être éliminé avec les autres déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte agréé des Déchets d'Equipements Electrique et Electroniques en fin de vie. En vous assurant que ce produit sera éliminé correctement, vous aiderez à lutter contre l'impact négatif pour l'environnement et la santé humaine qui résulterait d'un mode d'élimination inapproprié. Si votre produit contient des accumulateurs ou piles aisément amovibles, éliminez-les séparément selon les dispositions locales en vigueur.

ESPAÑOL

Muchas gracias por comprar el Flash electrónico Sigma EF-630 (PARA SIGMA). Para utilizar la mayoría de estas características, y obtener el máximo rendimiento y disfrutar de su flash, por favor lea este libro de instrucciones junto con el manual de su cámara antes de utilizar el flash, y guárdelo a mano para próximas consultas.

PRECAUCIONES

Para evitar posibles daños o perjuicios. Por favor lea el manual de instrucciones muy atentamente, y preste atención a los símbolos de precaución que vienen a continuación antes de utilizar el flash. Por favor tome nota de los dos símbolos de precaución que aparecen a continuación.

 Advertencia!!	Ignorar el símbolo de Advertencia al utilizar este producto, puede causar serio perjuicios o otros daños.
 Cuidado!!	Ignorar el símbolo de Advertencia al utilizar este producto, puede causar daños o perjuicios.
	Este símbolo significa puntos importantes, que se requiere cuidado o advertencia.
	O Este símbolo contiene información con respecto a acciones que deben prevenir.

Advertencia!!

-  Este flash contiene circuitos de alto voltaje. Para evitar quemaduras no intente desmontar el flash. Si la carcasa exterior se rompe no toque los mecanismos interiores.
-  No dispare el flash cerca de los ojos. El brillo del destello podría dañar los ojos. Mantenga una distancia de al menos 1m entre la cara y la cámara, cuando realice fotografías con flash.

-  No toque el terminal sincro de la cámara cuando el flash está conectado a la zapata. El circuito de alto voltaje podría causar un shock eléctrico.
-  Nunca utilice el equipo en ambientes inflamables, con llamas, gases, líquidos o químicos, etc. Podría causar un incendio o una explosión.
-  No cubra el cabezal del flash con las manos o dispare el flash cuando está cerca de su piel, ya que podría provocar quemaduras.
-  No dispare el flash hacia los vehículos en marcha, ya que podría causar un accidente.

Cuidado!!

-  No utilice esta unidad de flash en ninguna otra cámara que las SIGMA de la serie sd / dp; De otro modo el flash podría dañar el circuito de esas cámaras.
-  Esta unidad de flash no es resistente al agua. Cuando utilice el flash y la cámara con lluvia, nieve o cerca del agua, cuide que no se humedezca. A menudo es imposible reparar componentes eléctricos internos estropeados a causa del agua.
-  Nunca deje la cámara en un lugar con polvo, alta temperatura o húmedo. Estos factores pueden causar fuego o estropear su equipo.
-  Cuando el flash está sujeto a cambios bruscos de temperatura, como cuando transporta la unidad de flash de un lugar frío exterior a uno cálido interior. En este caso, ponga su equipo en una bolsa de plástico sellada y no utilice la unidad de flash hasta que alcance la temperatura de la habitación.
-  No almacene el flash en un armario, cajón, etc., si contiene naftalina, o otros insecticidas. Esto podría producir efectos negativos en la unidad de flash.
-  No utilice gasolina o otros agentes de limpieza para sacar el polvo o huellas dactilares. Límpiase con un trapo de ropa suave.



Para un almacenamiento prolongado, escoja un lugar frío y seco, preferiblemente con buena ventilación. Dispare el flash unas cuantas veces al mes para mantener en buen estado sus funciones.



No dispare el flash si el cabezal está cubierto con ropa, ya que podría provocar un incendio.

ACERCA DE LAS PILAS

Esta unidad de flash utiliza cuatro pilas recargables de Ni-MH de tipo "AA" o pilas alcalinas.

- Para asegurar un buen contacto eléctrico, limpie las terminales de las pilas antes de instalarlas.
- Para prevenir la explosión de las pilas, una fuga o recalentamiento, utilice cuatro pilas nuevas AA del mismo tipo y de la misma marca. No mezcle diferentes tipos ni pilas nuevas y usadas.
- No desmonte o haga un corto circuito con las pilas, o las exponga al fuego o al agua; podrían explotar. No recargue otro tipo de baterías que no sean recargables de Ni-MH.
- Cuando el flash no se vaya a utilizar en un periodo largo, saque las pilas del flash, para evitar posibles daños o roturas.
- Como con ningún flash, se recomienda que se lleven pilas de recambio cuando se realice un viaje largo o se fotografíe al exterior con temperaturas bajas.
- No utilice pilas de litio AA / R6. Puede ocasionar que el equipo no funcione correctamente.
- Por favor, siga todas las instrucciones, reglas y regulaciones de su comunidad respecto a la eliminación de baterías.

DESCRIPCIÓN DE LAS PARTES (P.2)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. Cabezal de flash | 10. Interruptor de encendido |
| 2. Ventana de recepción de señal Wifi | 11. Luz de preparado / Botón de TEST |
| 3. Interruptor de pitido | 12. Botón de OK |
| 4. Luz asistencia AF | 13. Selector |
| 5. Tapa de las pilas | 14. Palanca de bloqueo de zapata |
| 6. Zapata | 15. Dial |
| 7. Pantalla LCD | 16. Terminal Sincro. |
| 8. Interruptor de luz trasera | 17. Panel de luz rebotada |
| 9. Botón de MENU | 18. Panel angular |

SELECTOR (13)

En este manual de instrucciones, cada posición del selector se muestra como **^ / v / < / >**.



- Los botones se usan como se indica a continuación: Para operar los botones de arriba y abajo: **^ v**. Para operar los botones de derecha e izquierda: **< >**.

CÁMARAS COMPATIBLES

Este flash es compatible con las siguientes cámaras.

Serie sd Quattro, SD1/SD1 Merrill,
Serie dp Quattro, serie DP Merrill

- Algunas funciones no están disponibles en función de la cámara usada. Diríjase a la tabla de funciones correspondientes [Tabla 1] adjuntada al final de este manual.

CARGA DE LAS BATERÍAS

1. Coloque el interruptor de alimentación en **[OFF]** y abra el compartimento de la batería deslizando la tapa. P.3-(1)
2. Siga las indicaciones que se encuentran en el compartimento de baterías e inserte las pilas con los electrodos "+" y "-" en la correcta posición. P.3-(2)
3. Cierre la tapa del compartimento. P.3-(3)
4. Coloque el interruptor de alimentación en **[ON]**. Cuando la antorcha del flash está cargada a un nivel suficiente como para utilizar el flash, la luz de Ready (Listo) empieza a parpadear en verde. Cuando el flash está totalmente cargado, la luz se ilumina en color rojo.

¡¡Precaución!!

Cuando disminuye la capacidad de la batería, el icono  lo indica en el panel LCD. Cuando la batería se agota por completo, la pantalla muestra el icono de la derecha, y el flash deja de funcionar. Por favor, reemplace las baterías.



ADVERTENCIA DE ERROR

Cuando el icono **[ER]** aparece en el panel LCD panel, el flash puede estar fallando. Resetea el interruptor de alimentación y compruebe la batería. Si la indicación permanece, contacte con nuestro distribuidor más cercano.

DESACTIVACIÓN AUTOMÁTICA

Para conservar las pilas, la unidad de flash se desactiva automáticamente cuando no se ha utilizado en aproximadamente

300 segundos. Para volver a activar el flash, presione el botón de TEST o el disparador de la cámara levemente. Sin embargo, la función de auto apagado no funciona en modo **[WL ESCLAVO]** y en el modo **[S-FL ESCLAVO]**.

ACOPLE A LA CÁMARA

1. Coloque el interruptor de alimentación en **[OFF]**.
2. Confirme que la palanca de bloqueo de la zapata está en la posición de desbloqueo **[UN LOCK ►]**. P.3-(4)
3. Inserte el flash en la Zapata de la cámara hasta que se detenga. Deslice la palanca de bloqueo a la posición **[◀LOCK]** hasta que oiga un clic que indica que el flash ha quedado bloqueado. P.3-(5)

Cuando desconecte el flash de la cámara, deslice la palanca de bloque hasta la posición **[UN LOCK ►]** mientras mantiene el botón de la palanca presionado. Cuando esté desbloqueado lo puede sacar de la zapata.

¡¡Precaución!!

Si se saca el flash de la zapata sin estar la palanca de desbloqueo en la posición **[UN LOCK ►]**, tanto la zapata de la cámara como el acople de zapata del flash pueden sufrir daños.

AJUSTE DEL CABEZAL DEL FLASH

En disparos normales, ajuste el cabezal del flash en dirección a la cara del sujeto (hacia delante). P.3-(6)

¡¡Precaución!!

Después de encender el flash, si el icono **[BOUNCE]** aparece en el área de estado, o si el indicador de distancia en la pantalla de estado aparece parpadeando, el cabezal del flash no está ajustado

correctamente en posición frontal.

LIMITACIONES DEL DISPARO CONTINUO

Para prevenir recalentamientos, por favor no utilice la unidad de flash por lo menos 10 minutos después de utilizar el número de exposiciones que se muestran en la tabla a continuación.

Modo	Número de exposiciones con Flash
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Disparos continuos de flash
M(1/4, 1/8)	25 Disparos continuos de flash
M(1/16-1/32)	40 Disparos continuos de flash
Multi	Ciclo 10

¡¡Precaución!!

En caso de que aparezca el icono  en la pantalla, la cantidad de luz que dispara el flash se limitará para evitar el sobrecalentamiento de la circuitería del flash. Absténgase de utilizar el flash hasta que el icono  desaparezca.

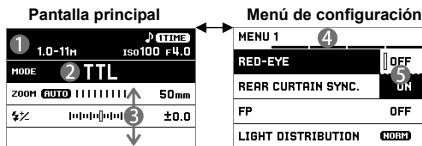
AJUSTES BÁSICOS

Esta sección describe los ajustes básicos del flash. Con el EF-630, la mayor parte de los ajustes se pueden realizar siguiendo estos pasos.

¡¡Precaución!!

Cuando el interruptor de alimentación está en posición de bloqueo , los ajustes no se pueden modificar. Asegúrese de ajustar el interruptor en [ON] para modificar los ajustes.

Conmute entre la Pantalla principal y el Menú de configuración usando el botón **MENU**. (Cuando se enciende el flash siempre aparece primero la Pantalla principal.)



Cambia el modo de Flash y ajusta los detalles de cada modo de Flash.

Añade las funciones opcionales de disparo con flash y ajusta las condiciones básicas del flash.

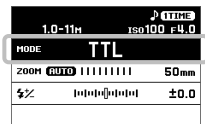
- ① Área de Estado
- ② Área de Modo de Flash
- ③ Área de Detalles de Modo

- ④ Área de pestañas
- ⑤ Sub menú

OPERACIONES BÁSICAS EN LA PANTALLA PRINCIPAL

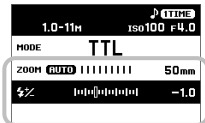
SELECCIÓN DEL MODO DE FLASH

Seleccione el área de Modo de Flash usando los botones  y cambie el Modo de Flash usando los botones  o el dial.



AJUSTE DE LOS DETALLES DEL MODO DE FLASH

Seleccione el área Detalles de modo usando los botones  y cambie los valores de ajuste usando los botones  o el dial.



USO BÁSICO DEL MENÚ DE CONFIGURACIÓN

Para desplazarse hacia la siguiente pestaña, gire el dial. (Cuando se encuentra el cursor al área de pestañas, que se puede cambiar a otra pestaña presionando los botones <>.)

En el Menú de Configuración:

Utilice los botones para seleccionar los elementos del menú. Presione el botón **OK** o para abrir los sub-menús o diálogos. (En algunos elementos, una pantalla especial o un mensaje de diálogo se abrirá.)

En los sub-menús de configuración:

Utilice los botones para seleccionar las opciones de ajuste. Presione el botón **OK** o para aplicar los nuevos ajustes.

(Presione el botón para cerrar los sub-menús sin aplicar cambios.)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME 1TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

1. Ajuste el Modo de Flash a [TTL].
2. Confirme que el sujeto se encuentra en el rango de disparo comprobando la distancia indicada en el área de Estado.
3. Compruebe el estado de carga del flash con la luz (Ready) y empiece a disparar.

Cuando la fotografía con flash se produce de forma correcta, el icono **OK** aparece durante unos cinco segundos en el área de estado. Cuando no aparece el icono **OK**, la luz puede no haber sido suficiente o demasiada. Cambie las condiciones y vuelva a realizar la toma.

VELOCIDAD DE OBTURACIÓN Y APERTURA

La relación entre velocidad de obturación y apertura en los distintos modos de exposición de la cámara son los siguientes.

	Velocidad de obturación	Apertura
P	Ajusta de forma automática desde la velocidad de sincronización del flash (*1) a la velocidad de obturación con una menor trepidación de la cámara (*2).	Se ajusta automáticamente.
A		Se puede ajustar libremente.
S	Le permite ajustar la velocidad libremente a una velocidad igual o inferior a la velocidad de sincronización del flash (*1).	Se ajusta automáticamente.
M		Se puede ajustar libremente.

(*1) Cuando se activa el flash FP, la limitación de la velocidad de obturación en la zona de alta velocidad se desactiva.

(*2) La velocidad de obturación varía en función de la distancia focal del objetivo conectado.

Además, cuando el modo de flash de la cámara está ajustado en sincronía lenta, la limitación de velocidad de obturación en la zona de baja velocidad se desactiva.

¡Precaución!!

Al disparar mientras los valores de velocidad de obturación y

AUTO EXPOSICIÓN S-TTL

Este es un método de disparo que utiliza el método de auto exposición S-TTL en el cual la cámara mide la luz reflejada de la pre-emisión y controla el flash hasta un nivel óptimo. Use este modo para los disparos generales.

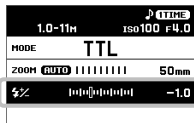
1.0-11m		ISO100 F4.0
MODE	TTL	
ZOOM	AUTO	50mm
±%	±0.0	

apertura parpadean, la exposición puede estar desajustada. En ese caso, cambie las condiciones antes de empezar a disparar.

COMPENSACIÓN DE LA EXPOSICIÓN DEL FLASH

Compensar solo la luz del flash es posible sin afectar la exposición del fondo.

Modo de Flash: Se puede usar con [TTL].



Ajuste el nivel de compensación en el área de Modo de detalle del Modo de Flash [TTL]. (El nivel de compensación va en pasos de 1/3 de paso y se puede ajustar a ± 3 pasos.)

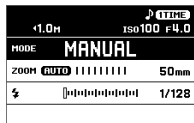
- Cuando se ajusta la compensación tanto en la cámara como en el flash, el manejo varía en función de la cámara.

Serie sd Quattro	Otras cámaras compatibles
El nivel combinado se usa para el disparo.	El ajuste de cámara se prioriza.

FLASH MANUAL

Se puede ajustar la cantidad de luz del flash de forma manual.

1. Ajuste el Modo de Flash a [MANUAL].
2. Ajuste la cantidad de luz del flash en el área Modo Detalles. (Rango disponible de ajuste: de 1/128 a 1/1, Pasos de ajuste disponibles: 1/3EV.)
3. Compruebe el estado de carga del flash con la indicación luminosa y



empiece a disparar.

En la sección que muestra la distancia en el área de Estado, la distancia a la cual se puede obtener una exposición apropiada se calcula y se muestra. Incluso con el mismo nivel de luz de flash, la distancia para obtener una exposición apropiada varía si se modifica la apertura o el valor ISO de la cámara.

Se puede calcular la exposición adecuada usando el flash en modo manual con la siguiente fórmula.

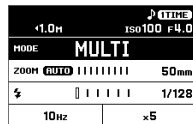
Número guía (GN) / Distancia de disparo (m) = Valor de apertura (F)
Para saber el número guía de este flash (GN), diríjase a la [Tabla 2] adjuntada al final de este manual.

MULTI FLASH

Mostrar el movimiento de un sujeto en una sola toma como si la imagen fuera una reproducción fotográfica es posible emitiendo luz de flash de forma continua mientras el obturador permanece abierto.

Use el modo de exposición manual de la cámara ("M").

1. Ajuste el Modo de Flash a [MULTI].
2. En el área de Modo Detalles, ajuste el nivel de luz de flash, el intervalo de flash en Hz (ej.: 10 Hz = Emite luz con una frecuencia de 10 veces por segundo), y el número de disparos en "x".



3. Ajuste una velocidad de obturación más lenta que el valor de "número de flashes" / "frecuencia de flash".
4. Compruebe el estado de carga del flash con la luz de "Listo" y empiece a disparar.

El número de disparos de flash que se pueden realizar de forma continua varía según la combinación del nivel de luz de flash y la frecuencia del flash. Diríjase a la [Tabla3] al final de este manual.

CONTROL REMOTO DEL FLASH

Cuando el flash se utiliza en una localización alejada de la cámara, se expanden las posibilidades creativas. El EF-630 se controla remotamente por el flash incorporado de la cámara o por una Unidad Máster separada.

FLASH TTL INALÁMBRICO

En modo inalámbrico TTL, la cámara es controlada de forma que la cámara se ajusta de forma automática a la exposición adecuada.

USO DE UNA CÁMARA SIN FLASH INTEGRADO

(sd Quattro, etc.)

Son necesarias dos unidades de flash EF-630s (PARA SIGMA). El flash conectado a la cámara se llama [Unidad Máster], y el flash usado a distancia se llama [Unidad esclava].

AJUSTES DE UNIDAD MÁSTER

1. Ajuste el Modo de Flash a **[WL TTL]**.
2. Ajuste el canal si es necesario. (Selección de Canal1 a Canal3 en el área Modo Detalles.)

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚡	CONTROL ONLY
Ch.1	

AJUSTES DE UNIDAD ESCLAVA

3. Ajuste el Modo de Flash a **[WL SLAVE]**.
4. En el área de Modo Detalles, ajuste el mismo canal que el de la unidad Máster.
5. Ajuste el flash para disparar.

Compruebe que ha terminado la carga y empiece a disparar. (La carga completada se muestra con el parpadeo de la luz auxiliar AF.)

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- Por favor coloque la unidad de flash a 0.5m a 5m del sujeto y coloque la cámara a una distancia de 1m a 5m del sujeto.
- La unidad master se dispara para controlar la unidad esclava pero no influye en la fotografía.
- Cuando se ajusta la unidad esclava en la posición deseada, se puede utilizar un mini-soporte. Este soporte incorpora una rosca para el trípode.
- El EF-630 se puede usar en combinación con el EF-610 DG SUPER SA-STTL. En este caso, utilice el EF-610 DG SUPER como unidad Máster. (Para ajustar este último como unidad Máster, por favor siga las indicaciones del manual de instrucciones del EF-610 DG SUPER SA-STTL.)

USO DE UNA CÁMARA CON FLASH INTEGRADO

(SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Ajuste los ajustes de flash de la cámara a modo inalámbrico de flash y seleccione el canal si fuera necesario. (Para detalles sobre cómo cambiar estos ajustes, siga las instrucciones del manual de la cámara.)
2. Ajuste el modo de Flash a **[WL SLAVE]**.
3. En el área de Modo Detalles, ajuste el mismo canal que el de la cámara.
4. Posicione el flash para disparar. Asegúrese de que ambos flash estén cargados y listos para disparar, entonces empiece a disparar.

1.0-7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- El flash integrado de la cámara se dispara para controlar la unidad esclava y no influye en la fotografía.

FLASH MANUAL INALÁMBRICO

Así como en la fotografía con flash manual, el disparo inalámbrico mediante el cual la potencia del flash se puede ajustar de forma manual también está disponible. En este caso, dos EF-630s (para SIGMA) son necesarios.

AJUSTE DE LA UNIDAD MÁSTER

1. Ajuste el modo de Flash a **[WL MANUAL]**.
2. En el área de Modo Detalles, ajuste la salida de flash de forma que la distancia del sujeto al flash esclavo encaje con la distancia indicada en el área de Estado.
3. Ajuste el canal según la necesidad. (Seleccione de Canal1 a Canal3 en el área Modo Detalles.)

1.0h		TIME
ISO100 F4.0		
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
1/128		1/128
ch.1		

AJUSTE DE UNIDAD ESCLAVA

4. Ajuste el modo de Flash a **[WL SLAVE]**.
5. En el área de Modo Detalles, ajuste el mismo canal que el de la unidad Máster.
6. Ajuste el flash para disparar. Compruebe que la carga está completo y empiece a disparar.

1.0h		TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
1/128	FOLLOW MASTER SETTING	
ch.1		

- Se puede usar también en combinación con el EF-610 DG SUPER SA-STTL. Sin embargo en este caso, use el EF-610 DG SUPER como unidad esclava. (Para el ajuste de este como unidad esclava, siga las instrucciones del manual del EF-610 DG SUPER SA-STTL.) Con esta combinación, la exposición puede ser insuficiente si la salida del flash se ajusta cerca del nivel máximo.

FLASH ESCLAVO

El EF-630 incluye una función que le permite reaccionar al disparo de otra unidad de flash. Esto permite realizar disparos de forma más fácil y conveniente con un flash posicionado a cierta distancia de la cámara. La luz de salida, sin embargo, no se ajusta de forma automática en este modo.

FLASH ESCLAVO NORMAL

La unidad Máster conectada a la cámara se puede usar para disparar un flash sincronizado con el EF-630, incluso cuando se encuentra a cierta distancia de la cámara.

- El flash incorporado de la cámara funciona de forma errónea con el pre-flash, por lo tanto, no es posible sincronizar el flash.

Ajuste el flash Máster a modo manual y seleccione la salida a aproximadamente 1/16.

Ajuste el modo de exposición de la cámara a M, la velocidad de obturación a 1/30 segundos o un tiempo menor, y la apertura y el valor ISO a valores prudenciales.

1. Ajuste el modo de Flash del esclavo EF-630 a **[S-FL NORMAL]**.

1.0h		TIME
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM	(AUTO)	24mm
1/128		
ISO100	F4.0	

2. En el área de Modo Detalles, ajuste los valores ISO y de apertura para que coincidan con los ajustes de la cámara.
3. Ajuste la cantidad de luz del flash en el área de Modo Detalles de forma que la distancia entre el flash esclavo y el sujeto sea aproximadamente la misma que la distancia indicada en el área de Estado.
4. Compruebe que la carga está completa y empiece a disparar.

DESIGNACIÓN DEL FLASH ESCLAVO

Si utiliza dos o más unidades EF-630, puede desganar cual de los flashes se dispararán juntos utilizando los ajustes del canal. En este modo una unidad de flash se utilizará como controlador esclavo y el resto para disparar como esclavos.

Ajuste el modo de exposición de la cámara a M, la velocidad de obturación a 1/30 segundos o inferior, y la apertura y la ISO a valores prudenciales.

AJUSTE DE LOS CONTROLES DEL FLASH (MÁSTER)

1. Ajuste el modo de Flash a **[S-FL CTRL]**.
2. Ajuste el canal según la necesidad.
(En el área Modo Detalle, seleccione del Canal1 al Canal3.)

◀1.0H		♪ 1TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚙	CONTROL ONLY	
ch.1		

AJUSTE DEL DISPARO DE FLASH (ESCLAVO)

3. Ajuste el modo de Flash a **[S-FL SLAVE]**.
4. En el área Modo Detalle, ajuste el canal para que cuadre con el canal del flash de control.
5. En el área Modo Detalle, ajuste los valores ISO y de apertura para que sean los mismos que los del flash de control.
6. Ajuste la cantidad de luz de flash en el área Modo Detalle de forma que la distancia entre el flash esclavo y el sujeto sea aproximadamente la misma que la distancia indicada en el área de Estado.
7. Compruebe que la carga se haya completado y empiece a disparar.

◀1.0H			⏸ [TIME]
MODE	S-FL		SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm		
⚡	1/128		
Ch.1	ISO100	F4.0	

- En Modo Esclavo, este flash también puede ser usado en combinación con el EF-630 y / o el EF-610 DG SUPER para encajar con otras cámaras. (Para detalles acerca de la configuración del EF-610 DG SUPER, siga las indicaciones de su manual de instrucciones.)

FUNCIONES OPCIONALES

En esta sección encontrará las funciones opcionales que se pueden ajustar y añadir desde el menú de configuración.

REDUCCION DE OJOS ROJOS (MENÚ 1)

Cuando realiza una fotografía con flash, a veces los ojos de las personas reflejan la luz del flash y en la foto aparecen con los ojos rojos. Si utiliza la función "reducción de ojos rojos", el flash parpadeará durante aproximadamente 1 segundo antes del disparo, y reducirá el efecto ojos rojos.

La función de reducción de ojos rojos se puede usar con los modos de exposición **P**, **A**, **S**, y **M** de la cámara. Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, y **[WL]**.

1. Ajuste **[MENU 1] → [RED-EYE] → [ON]**.
2. Vuelva a la pantalla principal. (En el área de estado, aparece el icono .)

¡¡Precaución!!

Esta función no se puede ajustar a "ON" en los modos de flash que no son compatibles con la reducción de ojos rojos.

SINCRONIZACIÓN CON LA SEGUNDA CORTINILLA (MENÚ 1)

El flash se dispara justo antes de que se cierre el obturador. La luz trasera del sujeto en movimiento y la trayectoria de la luz se pueden capturar; de esta forma, las fotografías pueden expresar el movimiento natural del sujeto.

Se puede usar con los modos de exposición **P**, **A**, **S**, y **M** de la cámara.

Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, y **[WL]**.

1. Ajuste **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Vuelva a la pantalla principal. (En el área de estado, aparece el icono .)

¡¡Precaución!!

Esta función no se puede ajustar a "ON" en los modos de flash que no son compatibles con la sincronización de la cortinilla trasera.

SINCRONIZACIÓN DEL FLASH A ALTA VELOCIDAD (FP) (MENÚ 1)

El flash FP continua disparando mientras la cortina del obturador funciona. Esto le permite utilizar una velocidad de obturación mayor que la velocidad de sincronización.

Se puede usar con los modos de exposición **P**, **A**, **S**, y **M** de la cámara.

Se puede usar con los modos de flash **[TTL]** y **[MANUAL]**.

1. Ajuste **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Vuelva a la pantalla principal. (En el área de estado, aparece el icono .)

En modo **[TTL]**, confirme que el sujeto se encuentra en el rango de

disparo comprobando la distancia indicada en el área de Estado antes de empezar a disparar.

En modo **[MANUAL]**, ajuste la apertura, etc. Antes de empezar a disparar de forma que la distancia hasta el sujeto y la distancia indicada en el área de Estado coincidan.

El Número Guía variará en función de la velocidad de obturación. (Por favor mire **Cuadro 4** de la última página)

¡¡Precaución!!

Esta función no se puede ajustar a "ON" en los modos de flash que no son compatibles con flash FP.

MODO DISTRIBUCIÓN DE LUZ (MENÚ 1)

El EF-630 tiene tres modos de Distribución de Luz que se pueden seleccionar según el propósito de su uso.

[MENU 1] → **[LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL – (por defecto)	Distribución de luz normal Características básicas de distribución de luz para disparos generales.
GN 	Distribución de luz con prioridad al número guía El ángulo de haz de luz se disminuye pero se alcanza un mayor número guía.
DIFFUSE 	Distribución de luz plana Previene una disminución de la luz alrededor proporcionando una distribución de luz más uniforme.

TEST DE FLASH (MENÚ 2)

El EF-630 tiene dos modos de test. Uno de los modos de Test de Flash puede asignarse al botón TEST.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 VEZ) 1TIME (por defecto)	Test de flash Ejecuta un test simple de flash.
MODELING (MODELADO) MODEL	Flash de modelado Cuando se mantiene pulsado el botón TEST, se realiza un flash continuo de aproximadamente 1.5 segundos para poder detectar las sombras que produce el sujeto.

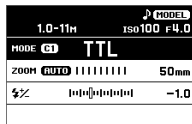
MODO PERSONALIZACIÓN (MENÚ 3)

Es posible almacenar y recuperar ajustes personalizados. (Se pueden almacenar dos series de ajustes personalizados.)

ALMACENAJE Y RECUPERACIÓN DE AJUSTES PERSONALIZADOS

1. Ajuste el modo de Flash, área de Más detalles, y configure el menú de contenidos según se desee.
2. Desde [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], seleccione [C1] o [C2] y pulse el botón **OK**.
3. Seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

Los contenidos registrados se añaden al modo de Flash como Modo Personalizado. (El Modo Personalizado se indica con los iconos **C1** o **C2** en el área de Modo de Flash.)



BORRADO DE LOS AJUSTES PERSONALIZADOS GUARDADOS

1. Desde [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], seleccione [C1] o [C2] y pulse el botón **OK**.
2. Seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

LUZ DE ASISTENCIA AF (MENÚ 4)

La luz de asistencia de AF se activará de forma automática si enfoca hacia un sujeto en una zona oscura. El rango efectivo de la luz de asistencia AF es de 0.7 a 10 metros.

- Cuando la luz de asistencia AF no sea necesaria, ajuste [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

LUZ DEL PANEL LCD (MENÚ 4)

Cuando se conecta la fuente de alimentación, el panel LCD se ilumina. Los ajustes de ON/OFF de la luz se pueden modificar.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (por defecto)	Después de 8 segundos sin operación, la luz se apagará. Cuando un botón o dial se usa mientras la luz está apagada, la luz se enciende de forma automática.
8 SEC	Independientemente de si está siendo presionado un botón o un dial, la luz se apagará después de 8 segundos desde que la luz se activó inicialmente.
ON	La luz se mantiene encendida de forma continua.

- Independientemente del ajuste, la luz se puede encender y apagar con el botón

AJUSTE DEL PANEL LCD (MENÚ 4)

El contraste y el brillo del panel LCD se pueden ajustar.

[MENU 4] → [AJUSTE DEL MONITOR]

BRIGHTNESS	BRILLO Ajuste el brillo al nivel deseado usando los botones <>.
CONTRAST	CONTRASTE Ajuste el contraste al nivel deseado usando los botones <>.

Cuando finalice el ajuste, seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

Cuando cancele el ajuste, seleccione [CANCEL] y confirme con el botón **OK**.

CAMBIO DE LA INDICACIÓN DE LA UNIDAD DE MEDIDA (MENÚ 4)

Se puede modificar la unidad de medida en el área de Estado.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (por defecto)	Indicación en metros.
FEET	Indicación en pies

INFORMACIÓN DE LA UNIDAD DE FLASH (MENÚ 5)

Se puede comprobar la siguiente información.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Nombre del modelo
SERIAL No.	Número de serie
VERSION	Versión del firmware

REINICIO DE LOS AJUSTES (MENÚ 5)

Se puede restablecer el flash para volver a los ajustes de fábrica.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

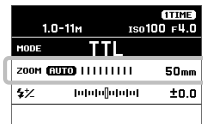
Para iniciar los ajustes, seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

- Cuando se restablecen los ajustes, los modos personalizados almacenados se borran.

OTRAS FUNCIONES ÚTILES

AJUSTES DEL CABEZAL DE FLASH

Cuando el ajuste del cabezal de flash se usa con **AUTO** (Auto), el cabezal del flash se ajusta automáticamente al ángulo de flash óptimo para la distancia focal del objetivo.



- El cabezal del flash tiene en cuenta el tamaño del sensor de imagen de la cámara, por lo tanto, la longitud focal que se muestra en el flash puede ser diferente a la del objetivo.
- Dependiendo del modo de Flash, el ajuste del cabezal del flash se puede fijar sin tener en cuenta la distancia focal del objetivo.

El ajuste del cabezal de flash se puede modificar de forma manual. Presione los botones <> en el área Modo Detalle.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- Dependiendo del ajuste del cabezal del flash, la potencia del flash puede cambiar.

PANTALLA ANGULAR

Este flash está equipado con un panel angular, que proporciona un ángulo de cobertura ultra angular de 17mm. Extraiga el panel angular y el panel de luz rebotada y déjelo caer hasta cubrir el cabezal del flash. (Sea cuidadoso a la hora de deslizar los paneles). Después recoja el panel de luz rebotada a su lugar. P.3-(7)

- La sección de indicación del cabezal de Flash en el área Modo Detalles puede mostrar el icono **WP** cuando el panel ampliado está en uso.

FLASH REFLEJADO

Disparando el flash hacia el techo o una pared, es posible dispersar la luz y tomar fotografías con una iluminación más suave y reducir las sombras.

El cabezal del flash se puede ajustar hacia arriba a 90°, hacia el lado inferior a 7°, y hacia los lados derecho y izquierdo a 180°. P.3-(8)

- Durante el rebote, el icono **BOUNCE** aparece en el área de Estado.
- La fotografía recibirá el color de la superficie reflectante. Por favor escoja una superficie blanca para reflejar el flash. Dependiendo de la superficie reflejada, de la distancia del sujeto y de otros factores, la distancia efectiva para el TTL AUTO puede cambiar.

EXPOSICIONES DE APROXIMACIÓN

Al inclinar el cabezal del flash hacia abajo a la posición de 7°, la sección inferior del encuadre puede ser lo suficientemente brillante como para realizar exposiciones de primer plano.

- Cuando se rebota hacia la parte inferior a 7°, la indicación de distancia en el área de Estado parpadea.

PANEL DE LUZ REBOTADA

Este flash está equipado con un panel de luz rebotada, que permite iluminar los ojos del sujeto cuando el flash esta con el cabezal basculado (en posición de luz rebotada). Extraiga los dos paneles simultáneamente, y después recoja el panel angular a su lugar. (Sea cuidadoso a la hora de deslizar los paneles.)P.3-(9)

- Para crear una luz de captura efectiva, incline el cabezal del flash 90° hacia arriba y tome las fotografías a una distancia cercana. P.3-(10)

TERMINAL SINCRÓ.

El EF-630 tiene un terminal sincro que se puede conectar a la cámara con un cable de sincro de flash comercial.

Cuando dispare con un cable sincro, utilice el flash em modo **[MANUAL]**.

Con **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]**, ajuste los valores ISO y apertura (F) para que coincidan con los de la cámara. Ajuste la potencia de salida del flash en el área Modo Detalles hasta que la distancia mostrada en el área de Estado sea aproximadamente la misma distancia entre el flash y el sujeto.

¡¡Precaución!!

El flash auto S-TTL si su utiliza el Terminal Sincro.

El Terminal Sincro. del EF-630's es compatible con cables que tengan la polaridad positiva (+) en el pin central pin y la polaridad negativa (-) en el protector. Si el cable tiene la polaridad invertida, utilice un convertidor de polaridad comercial.

PREVENCIÓN DEL USO ACCIDENTAL

Cuando el interruptor de encendido se ajusta a la posición  (bloqueo), se deshabilitan todas las operaciones que no sean el botón TEST y el botón , para prevenir el cambio accidental de los ajustes del flash.

- Mientras que el flash esté bloqueado, el icono  aparece en el área de Estado.

SONIDOS Y PITIDOS

Ciertas condiciones del flash se indican con un sonido, haciéndolas fácilmente reconocibles sin necesidad de mirar la pantalla LCD.

Ajuste el interruptor de PITIDO en la parte frontal del cuerpo a [ON]. (Cuando se ajusta en ON, el icono  se muestra en el área de Estado.)

Un pitido corto	Indica que la carga se ha completado.
Dos pitidos cortos	Indica que el ajuste de la luz es correcto.
Un pitido largo (2 seg.)	Alarma de error.

ESPECIFICACIONES

TIPO: Flash electrónico automático zoom TTL tipo Clip-on con controlador de serie.

NUMERO GUIA: 63 (100 ISO/m, posición del cabezal 200 mm)

ALIMENTACION: Cuatro pilas alcalinas de tipo AA

Cuatro pilas Níquel-hidrógeno de tipo AA.

TIEMPO DE RECICLAJE: acerca de 3.0 seg. (pilas alcalinas)
acerca de 1.8 seg. (Níquel-hidrógeno)

NÚMERO DE DISPAROS: acerca de 120 disparos (pilas alcalinas)
acerca 185 disparos (Níquel-hidrógeno)

DURACIÓN DEL DISPARO: acerca de 1/ 700 seg.(disparo a máxima potencia)

ANGULO DE ILUMINACION DEL FLASH: 24mm a 200mm controlador de motor de potencia

17mm con la pantalla angular incorporada.

PESO: 490 g.

DIMENSIONES: 79.4mm x 148.4mm x 121.5mm



El logotipo CE es una directiva de conformidad con la Comunidad Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf:01805-90 90 85-0

Service:01805-90 90 85-85 Fax(Service):01805-90 90 85-35



Reciclaje de Equipos Eléctricos y Electrónicos de Uso Privado

Reciclaje de Equipos Eléctricos y Electrónicos Usados (Aplicable en la Unión Europea y en otros países con sistema de reciclaje por separado)

Este símbolo indica que este producto no debería tratarse como los demás materiales residuales de uso general. Estos productos deben reciclarse en el contenedor específico para los equipos eléctricos y electrónicos. Depositando estos productos correctamente, UD. ayuda al tratamiento adecuado de los productos reciclables y previene los efectos potencialmente negativos para el medioambiente y la salud, que podrían verse afectados por un incorrecto reciclado del producto. Si su equipo contiene baterías o acumuladores de fácil extracción, por favor deposítelos en el contenedor adecuado según las normativas locales. El reciclaje de los materiales ayuda a la conservación de los recursos naturales. Para más información acerca del reciclaje de estos productos, contacte con la autoridad local, el servicio de reciclaje o el establecimiento donde adquirió el producto.

Grazie per la preferenza accordata al Flash elettronico Sigma EF-630 (PER SIGMA). Per avere ottime fotografie e ottenere il massimo dal flash, prima di iniziare a usarlo, leggete questo manuale e quello della vostra macchina. Tenetelo poi a portata di mano per poterlo consultare in caso di dubbio.

ATTENZIONE

Per evitare danni o ferite a terzi, leggete attentamente il manuale di istruzioni e fate attenzione ai segni di allerta riportati di seguito prima di usare il flash. In particolar modo, fate attenzione a questi due segnali:

 Attenzione!!	Usare questo prodotto nell'inosservanza del presente segnale di pericolo può causare serie ferite o mettervi in serio pericolo
 Attenzione!!	Usare questo prodotto nell'inosservanza del presente segnale di pericolo può causare serie ferite o danni.
	Questo denota punti rilevanti, per i quali attenzione e cautela sono particolarmente richiesti
	Il simbolo contiene informazioni su ciò che non si deve fare

Attenzione!!

-  Il flash contiene circuiti ad alto voltaggio. Per evitare di prendere la corrente o di bruciarsi, non cercate di smontare il flash. Se la carrozzeria è rotta o incrinata, non toccate le parti interne.
-  Non scattate flash vicino agli occhi. La luce molto intensa può provocare danni alla vista. Tenete almeno 1 metro di distanza tra il flash e il viso quando fotografate.

-  Non toccate il terminale syncro della macchina quando il flash è collegato. Il circuito ad alto voltaggio può causare scosse elettriche.
-  Non usate la macchina in ambienti con materiali infiammabili, gas, agenti chimici o infiammabili liquidi. C'è il rischio di causare un'esplosione.
-  Non coprire la Parabola del flash con una mano o avvicinarla alla pelle quando si scatta: il calore potrebbe scottarvi.
-  Non scattare lampi con il flash rivolto verso gli automobilisti, potreste causare un incidente.

Attenzione!!

-  Non utilizzate altri apparecchi fotografici che non siano della serie SIGMA sd /dp. In caso contrario, il flash potrebbe danneggiare i circuiti della macchina.
-  Questo flash teme l'acqua. Se usato sotto pioggia, neve o vicino all'acqua va protetto. Spesso non è possibile riparare componenti interni danneggiati dall'acqua.
-  Flash e apparecchio fotografico non vanno esposti a urti, polvere, alte temperature e umidità. Questi fattori possono causare malfunzionamento o incendio dell'apparecchiatura.
-  Quando il flash è sottoposto a sbalzi improvvisi di temperatura (es. dal freddo di un esterno al caldo di un ambiente interno) può formarsi della condensa. In questi casi, riponete l'attrezzatura in un sacchetto di plastica e non usatela fino a quando non è a temperatura ambiente.
-  Non riponete il flash in un cassetto o armadietto con naftalina, canfora o altro insetticida. Possono avere un effetto negativo sul suo funzionamento.

 Non utilizzate un lucidante, Benzene o altro agente di pulizia per rimuovere sporco o impronte. Pulite solamente con un panno morbido appena inumidito.

 Se non intendete usare il flash per un lungo periodo, cercate un luogo asciutto e fresco dove riporlo, preferibilmente con una buona ventilazione. Fate scattare il flash più volte nell'arco di un mese, affinché mantenga adeguate capacità di funzionamento.

 Non coprire la Parabola del flash con vestiti e panni in genere perché il calore potrebbe bruciarli.

BATTERIA

Questo flash usa batterie Ni-MH ricaricabili tipo "AA" oppure alkaline.

- Per assicurare contatti elettrici ottimali, pulite i terminali delle batterie prima di installarle
- Per evitare esplosioni delle batterie, perdite o surriscaldamento, usate quattro batterie nuove della stessa marca. Non mischiate batterie di marche diverse, vecchie e nuove insieme
- Non mandate in corto le batterie, non smontatele, non esponetele a fonti di calore o d'energia: potrebbero esplodere. Non ricaricare batterie diverse da quelle ricaricabili al Ni-MH.
- Se non si utilizza il flash per un periodo prolungato, togliere le batterie per evitare danni o perdite
- La funzionalità delle batterie decresce alle basse temperature. Tenete quindi le batterie protette quando utilizzate il flash al freddo.
- Non usare batterie al Litio AA/R6. Potrebbero causare

malfunzionamento all'apparato.

- Per le batterie usate seguire le disposizioni di conferimento del vostro Paese.

DESCRIZIONE DELLE PARTI (P.2)

- | | |
|--|---|
| 1. testa del flash | 10. interruttore accensione |
| 2. Finestrella del ricevitore del segnale wireless | 11. spia di pronto lampo / pulsante TEST |
| 3. Interruttore del segnale acustico | 12. pulsante OK |
| 4. Illuminatore AF | 13. Selettore |
| 5. Coperchio delle batterie | 14. Levetta di blocco della slitta contatti |
| 6. Staffa | 15. Ghiera |
| 7. Display LCD | 16. Presa sincro |
| 8. Interruttore retroilluminazione | 17. Pannello riflettente |
| 9. pulsante MENU | 18. Diffusore grandangolare |

SELETTORE (13)

In questo manuale le posizioni del selettore sono indicate come segue  /  /  / .



Usare i pulsanti come segue: per muovere su e giù :  per muovere sinistra/destra .

FOTOCAMERE COMPATIBILI

Il flash è compatibile con le seguenti fotocamere

sd Quattro, SD1/SD1 Merrill,
dp Quattro, DP Merrill series

- Alcune funzioni non sono disponibili con alcune fotocamere. Consultare la Tavola delle Funzioni [Tavola 1] alla fine del manuale.

INSERIRE LE BATTERIE

1. Spostare l'interruttore da **[SPENTO]** e aprire il vano batterie facendo scorrere il coperchio. P.3-(1)
2. Seguire le indicazioni presenti nel vano batterie e inserire le batterie rispettando la polarità + e - P.3-(2)
3. Chiudere il vano batterie . P.3-(3)
4. Riportare l'interruttore su **[Acceso]**. Quando le batterie hanno raggiunto una carica sufficiente lampeggerà una spia verde. Quando sono del tutto cariche lampeggerà una spia rossa.

Attenzione!!!

Quando la carica della batteria è bassa nel LCD comparirà l'icona . Quando la batteria arriva a zero compare un avvertimento sulla destra del pannello e il flash non funzionerà più per molto. Cambiare le batterie.



FLAT BATTERY

INDICAZIONI DI ERRORE

Se nel pannello LCD compare l'icona **[ER]** il flash potrebbe

avere dei malfunzionamenti. Resettarlo e controllare le batterie. Se l'indicazione rimane consultare il rivenditore

AUTO POWER OFF

Per risparmiare l'energia delle batterie, il flash si spegne automaticamente quando non viene usato per oltre 300 secondi. Per ripristinare il funzionamento, premete il pulsante TEST oppure quello di scatto della macchina fino a metà.

Lo spegnimento automatico non si attiva nelle modalità **[WL SECONDARIO]** e **[S-FL SECONDARIO]**

INSERIRE IL FLASH NELLA FOTOCAMERA

1. Spegner l'alimentazione **[OFF]**
2. Assicurarsi che la levetta di blocco sia nella posizione di **[UNLOCK ►]** . P.3-(4)
3. Inserire il flash nella slitta portaccessori fino a che si blocca. Spostare la levetta di blocco nella posizione **[◀LOCK]** fino a sentire un clic. P.3-(5)

Per togliere il flash spostare la levetta di blocco su **[SBLOCCA ►]** fino a che si arresta. Poi togliere il flash.

Attenzione!!

Se il flash è tolto con la levetta non sulla posizione di **[UNLOCK ►]** potrebbe danneggiarsi o danneggiare l'innesto a slitta.

REGOLARE LA TESTA DEL FLASH

Nelle riprese normali lasciare la testa rivolta in avanti P.3-(6)

Attenzione!!

Dopo aver posto su ON, acceso, l'interruttore, se compare la scritta **BOUNCE** o se l'indicazione della distanza lampeggia nel LCD, vuol dire che la testa del flash non è posta correttamente verso l'avanti.

LIMITAZIONI QUANDO SI SCATTA IN SEQUENZA

Per evitare il surriscaldamento, non usate il flash per almeno 10 minuti dopo una sequenza di scatti, come indicato nella tabella

Modalità	Numero di esposizioni flash
TTL, M (1/1, 1/2))	20 esposizioni continuate
M(1/4, 1/8)	25 esposizioni continuate
M(1/16-1/32)	40 esposizioni continuate
Multi	10 cicli

Attenzione!!

Se compare nel display questa icona  la emissione di luce dev'essere ridotta per evitare il surriscaldamento dei circuiti del flash. Prima di usare il flash attendere che l'icona  scompaia.

PROCEDURE DI BASE DI REGOLAZIONE

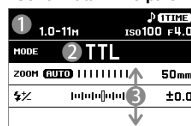
Questa sezione descrive i principi fondamentali delle impostazioni. Con EF-630, la maggior parte delle impostazioni possono essere effettuate facilmente mediante le seguenti fasi.

Attenzione!!

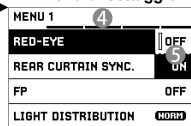
Quando l'interruttore di accensione è posto sul segno di blocco , i settaggi non potranno essere cambiati. Bisogna spostarlo su ON, acceso, se si desidera cambiarli.

Passare dalla Schermata principale al Menu di settaggio col pulsante **MENU**. (Con l'interruttore su ON, acceso iniziare anche dalla Schermata principale.)

Schermata Principale



Menu di settaggio



Cambiare la Modalità Flash e settare i particolari di ciascuna modalità

Aggiungere funzioni alla ripresa flash e fare i settaggi base.

① Area Stato attuale

④ Area tabulazione

② Area modalità flash

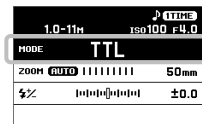
⑤ Sottomenu

③ Area dettagli modalità

OPERAZIONI BASICHE NELLA FINESTRA PRINCIPALE

IMPOSTARE LA MODALITA' FLASH

Impostare la modalità Flash con i pulsanti  e cambiare la modalità con quelli  oppure con la ghiera.



IMPOSTARE I DETTAGLI DELLA MODALITA'

Impostare i dettagli usando pulsanti  e variare i valori di settaggio con i pulsanti  o con la ghiera.



OPERAZIONI PRINCIPALI NEL MENU DI SETTAGGIO

Ogni volta che si ruota la Ghiera si passa a una tabulazione successiva. (Impostata l'icona nello spazio di tabulazione è possibile variare il menu di settaggio premendo i pulsanti <>)

Una volta nel Menu di settaggio

Usare pulsanti <> per impostare i vari settaggi. Premere il pulsante **OK** o > Per aprire i sottomenu. (In alcuni settaggi si aprirà una schermata dedicata o un messaggio)

Una volta nei sottomenu

Usare i pulsanti <> per impostare le varie opzioni. Premere i pulsanti **OK** > per applicarle. (Premere il pulsante < per chiudere il sottomenu senza applicare i cambiamenti)

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME 1 TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

1. Impostare la modalità Flash su [TTL]
2. Controllare nell'area di Stato che il soggetto sia nella portata del flash.
3. Controllare lo stato delle batterie con la Spia Pronto e iniziare a fotografare

Quando lo scatto è andato a buon fine nell'area di Stato comparirà, per circa cinque secondi l'icona **OK**. Se non compare è perché la luce emessa era insufficiente oppure troppa. Variare i parametri di ripresa e riprovare.

VELOCITÀ OTTURATORE E APERTURA DIAFRAMMA

Le relazioni tra velocità dell'otturatore e aperture di diaframma in differenti modalità d'esposizione sono illustrate sotto.

	Velocità Otturatore	Apertura
P	Sceglie automaticamente tempo di scatto (*1) e sincronizzazione (*2) per il risultato migliore.	Scelta automaticamente
A		Scelta personale.
S	Consente di scegliere personalmente il tempo di scatto purché non sia più breve di quello di sincronizzazione.	Scelto automaticamente
M		Scelta personale.

- (*1) Quando la modalità flash FP è attivata ON, il limite alla velocità di scatto è disabilitato.
- (*2) La velocità dell'otturatore varia secondo la focale dell'obiettivo usato. Inoltre, quando sulla fotocamera si imposta la sincronizzazione lenta, il limite della velocità dell'otturatore è disabilitato.

Attenzione!!

Se si scatta quando i dati di velocità dell'otturatore e apertura del diaframma lampeggiano, l'esposizione sarà errata. In tal caso cambiare i parametri di ripresa.

ESPOSIZIONE AUTOMATICA S-TTL

Modalità di ripresa che adotta l'esposizione automatica S-TTL misurando la luce del pre flash riflessa dal soggetto, e ottenendo un ottimo controllo della luce flash. Metodo da usare nella maggior parte delle riprese.

1.0-11m ISO100 F4.0	
MODE	TTL
ZOOM	AUTO 11mm 50mm
1/2	1/100 1/200 1/400 1/800 1/1600 1/3200 1/6400 1/12800 ±0.0

COMPENSAZIONE ESPOSIZIONE FLASH

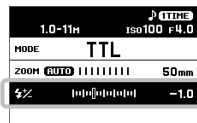
E' possibile correggere solamente la luce del flash e non quella ambiente.

Modalità Flash: Potete usare TTL

Impostate il valore di compensazione nell'area Modalità Dettagli del Flash in TTL. La compensazione può essere di +/-3 stop a gradini di 1/3 di stop.

- Quando la compensazione è regolata sia sul flash sia sulla fotocamera, il da farsi dipende dal modello di fotocamera.

serie sd Quattro	Altre fotocamere compatibili
Il valore impostato è usato per l'esposizione	Prioritario il settaggio sulla fotocamera

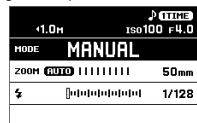


FLASH MANUALE

E' possibile settare il flash secondo il giudizio personale

- Impostare sul flash la Modalità [MANUAL]
- Impostare il valore flash nell'area Modalità dettagli (Si può settare da 1/128 a 1/1, con gradini di 1/3 di EV)
- Controllare lo stato della batteria con la spia Pronto e poi scattare.

Nell' Area di Stato, sezione visualizzazione distanza, è



visualizzata la distanza operativa. Anche con la medesima Potenza di flash la esposizione corretta varierà, secondo la sensibilità ISO e l'apertura di diaframma impostati sulla fotocamera.

La esposizione corretta nella modalità flash manuale si calcola con la formula seguente. Numero Guida (NG)/Distanza di ripresa (m) = Apertura diaframma

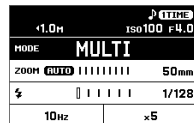
Per conoscere il NG (Numero Guida) di questo flash, leggere la tabella alla fine di questo manuale [Tabella 2]

MULTI FLASH

E' possibile ricreare l'immagine del movimento del soggetto scattando una serie di flash con l'otturatore sempre aperto.

Impostare sulla fotocamera la modalità "M", Manuale.

- Impostare la modalità [MULTI]
- Nell'area Modalità dettagli impostare la Potenza del flash e il numero dei lampi in "x". (esempio: 10Hz corrispondono a 10 lampi al secondo)
- Impostare una velocità di scatto inferiore a quella ricavata da "Numero flash"/"Frequenza dei flash"
- Controllare la spia di carica del flash e iniziare a scattare.



Il numero di lampi che si possono scattare in sequenza dipende dalla frequenza del lampeggiamento e il numero dei lampi. Consultare [Tabella 3] alla fine di questo manuale.

FLASH TELECOMANDATO SENZA FILI (WIRELESS)

Se il flash è situato distante dalla fotocamera le possibilità creative aumentano. Il EF-630 è pilotato a distanza dal flash incorporato alla fotocamera o da un altro Flash DG SUPER con funzioni di Flash Pilota

FLASH TTL WIRELESS

Nella modalità TTL wireless la fotocamera calcola automaticamente l'esposizione corretta.

USARE UNA FOTOCAMERA SENZA FLASH INTEGRATO

(sd Quattro, etc.)

Sono necessari due EF-630s (PER SIGMA). Il flash inserito nella fotocamera è chiamato [Master], quello distante è denominato [Secondario].

SETTAGGI DEL MASTER

1. Settare il flash nella modalità [WL TTL]
2. Se necessario settare il canale (Impostare da Canale 1 a Canale 3 nell'area Modalità dettagli)

1.0-7.8M		ISO100 F4.0
MODE	WL	TTL
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
ch.1		

SETTAGGI FLASH SECONDARIO

3. Settare la Modalità Flash su [WL SLAVE].
4. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo canale impostato sul Master.
5. Impostare il flash per lo scatto.

1.0-7.8M ISO100 F4.0		
MODE	WL	SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm	
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

Controllare lo stato di ricarica e scattare. (Lo stato di carica è confermato dal lampeggiare dell'illuminatore AF)

- Posizionare il flash a entro una distanza compresa fra 0,5m e 5m dal soggetto, e regolare la fotocamera per una distanza compresa tra 1m e 5m
- La luce del flash principale (Master) serve soltanto a pilotare il flash secondario (Slave) e non influenza l'esposizione della fotografia.
- Quando sistemate il flash EF-630 separato dalla fotocamera, usate la mini base, che possiede un foro filettato per il treppiede
- Il EF-630 può anche essere usato assieme al EF-610 DG SUPER SA-STTL. In tal caso usare come Master il EF-610 DG SUPER. (Per settarlo come Master seguire il manuale d'istruzioni EF-610 DG SUPER SA-STTL)

USO DI UNA FOTOCAMERA SENZA FLASH INTEGRATO (SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Impostare i settaggi della fotocamera nella modalità wireless e, se necessario, impostare i canali. (Per maggiori dettagli consultare il manuale d'istruzione della fotocamera)
2. Impostare la modalità flash su [WL SLAVE].
3. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo canale della fotocamera
4. Posizionare il flash. Assicurarsi che entrambi i flash siano carichi e pronti al lampo, poi scattare.

1.0-7.8M ISO100 F4.0		
MODE	WL	SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm	
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

- Il flash incorporato alla fotocamera scatta anch'esso per controllare il Secondario, ma non influisce sulla illuminazione.

FLASH MANUALE WIRELESS

Come è possibile scattare in luce flash manuale, così lo è scattare in wireless. In tal caso sono necessari due flash EF-630s (per SIGMA)

SETTAGGIO DEL FLASH MASTER

1. Impostare la modalità Flash su [WL MANUAL].
2. Nell'area Modalità dettagli regolare sia l'emissione del flash che la distanza effettiva dal soggetto al flash Secondario corrisponda alla distanza indicata nella Area di stato
3. Impostare i canali a piacere (Impostare da 1 a 3 nell'Area Modalità dettagli)

◀1.0M		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡		1/128
ch.1		

SETTAGGIO FLASH SECONDARIO

4. Settare il flash nella modalità [WL SLAVE].
5. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo canale impostato sul Master
6. Posizionare il flash, controllare lo stato di carica, scattare.

- Può anche essere usato assieme a EF-610 DG SUPER SA-STTL in tal caso usare EF-610 DG SUPER come flash Secondario. (Per le regolazioni del EF-610 DG SUPER SA-STTL consultare il relativo manuale) Con questa combinazione l'esposizione potrebbe essere insufficiente se la potenza di uscita è impostata vicino a quella massima.

		1TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

FLASH AUSILIARIO

Il EF-630 possiede una funzione che gli permette di scattare in seguito al lampo di un altro flash. Ciò permette di scattare con il flash distante dalla fotocamera. In questa modalità l'emissione del lampo non è regolata automaticamente.

FLASH AUSILIARIO NORMALE

Il flash principale Master inserito nella fotocamera può essere usato per far partire in sincronismo un lampo con il EF-630, anche se questo è distante dalla fotocamera.

- Il flash incorporato nella fotocamera emette pre flash, ciò impedisce di usarlo in questa maniera.

Impostare il flash Master in modalità Manuale e regolare la potenza su 1/16

Impostare la modalità di esposizione della fotocamera su M e il tempo di scatto su 1/30 o inferiore. ISO e apertura diaframma secondo il vostro giudizio.

1. Impostare il flash in Modalità Secondario EF-630 to [S-FL NORMAL].

◀1.0M		ISO100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM (AUTO)		24mm
⚡		1/128
ISO100	F4.0	

2. Nell'area Modalità dettagli impostare ISO e valori di diaframma uguali a quelli impostati sulla fotocamera.
3. Regolare il flash nell'area Modalità dettagli in modo che la distanza tra flash secondario e soggetto sia simile a quella indicate dell'area di Stato.
4. Controllare lo stato di carica e iniziare a scattare.

SCEGLIERE I FLASH SECONDARI

Se si usano due o più flash EF-630 è possibile stabilire quali flash debbano scattare insieme mediante la selezione dei canali. In questo modo un flash funge da flash principale e gli altri da secondari.

Impostare sulla fotocamera l'esposizione manuale M, il tempo di scatto su 1/30 o più breve e un valore ISO secondo il proprio giudizio

IMPOSTARE IL FLASH MASTER

1. Impostare la modalità Flash su **[S-FL CTRL]**.
2. Impostare il canale desiderato.
(Nell'area Modalità dettagli scegliere dal canale 1 al canale 3)

◀1.0M		⏸ 1TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
Ⓢ	CONTROL ONLY	
ch.1		

IMPOSTARE IL FLASH SECONDARIO

3. Impostare la modalità Flash su **[S-FL SLAVE]**
4. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo canale del Flash Principale.
5. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo valore ISO e aperture di diaframma del Flash Principale.
6. Regolare la potenza del flash nell'area Modalità dettagli in modo che la distanza tra flash secondario e soggetto sia, approssimativamente la stessa indicata nell'Area di Stato.
7. Controllare lo stato di carica e iniziare a scattare.

◀1.0M		⏸ [TIME]
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
f	1/128	
Ch.1	ISO100	F4.0

- Nella modalità Flash Secondario questo flash può essere usato assieme a EF-630 e / o EF-610 DG SUPER.
(Maggiori dettagli sul settaggio consultare questo manuale)

FUNZIONI AGGIUNTIVE

Il capitolo descrive le funzioni aggiuntive che possono essere aggiunte al Menu di Settaggio.

RED-EYE REDUCTION FLASH (MENU 1)

Quando si scatta una foto con il flash, talora gli occhi delle persone ritratte riflettono la luce del lampo e risultano con le pupille colorate di rosso. Se si usa la funzione "riduzione degli occhi rossi", il flash lampeggia per circa un secondo prima dell'apertura dell'otturatore, e questo riduce il fenomeno "occhi rossi".

La Riduzione occhi rossi può essere usata nelle modalità di esposizione **P, A, S, e M**

Può essere usata nelle modalità flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, e **[WL]**

1. Impostare **[MENU 1] → [RED-EYE] → [ON]**.
2. Tornare al menu principale. (Nell'area di stato si vedrà l'icona )

Attenzione!!

Questa funzione non può essere impostata su "ON" nelle modalità flash perché incompatibile

SINCRONIZZAZIONE SULLA SECONDA TENDINA (MENU 1)

Il flash scatta appena prima della chiusura dell'otturatore. Sono registrate quindi le luci dietro il soggetto e l'eventuale scia di luce che questo lascia; la fotografia mostra il movimento del soggetto.

Può essere usata nelle modalità di esposizione **P, A, S, e M**

Può essere usata con le modalità flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, e **[WL]**

1. Impostare **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Tornare alla Finestra principale (Comparirà nell'area di stato l'icona )

Attenzione!!

Questa funzione non può essere impostata su **“ON”** nelle modalità flash perché incompatibile

FP FLASH FLASH AD ALTA VELOCITÀ (MENU 1)

Il flash FP emette una serie di lampi mentre scorrono le tendine dell'otturatore. Perciò è possibile usare tempi di scatto più veloci di quelli di sincronizzazione.

Può essere usato con le modalità di esposizione **P, A, S, e M**

Può essere usato con le modalità Flash **[TTL]** e **[MANUAL]**

1. Impostare **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Tornare alla Finestra principale. (Nell'area di stato comparirà l'icona )

Se siete nella modalità TTL controllate che il soggetto sia nel

raggio d'illuminazione controllando la distanza indicata nell'area di Stato, poi iniziate a scattare.

Nella modalità **[MANUAL]** regolate l'apertura del diaframma ecc... prima di iniziare a scattare, in modo che la distanza dal soggetto e quella indicata nell'area di Stato coincidano.

Il Numero Guida varia secondo la velocità dell'otturatore. (Consultare la tabella 4 dell'ultima pagina)

Attenzione!!

La funzione non può essere settata su **“ON”** perché non compatibile con il flash FP.

MODALITÀ IRRAGGIAMENTO LUCE (MENU 1)

Il flash EF-630 ha tre modalità di irraggiamento della luce, da scegliere secondo il soggetto.

[MENU 1] → **[LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL — Regolazione di default	Irraggiamento normale Riprese generiche
GN 	Irraggiamento a priorità numero guida L'angolo di emissione è più ristretto, perciò il numero guida è più alto.
DIFFUSE 	Luce diffusa Fornisce una illuminazione diffusa e uniforme su tutto il campo inquadrato.

TEST FLASH (MENU 2)

EF-630 possiede due modalità Test. Una delle due può essere allocata nel pulsante Test.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 VOLTA) 1TIME Regolazione di default	Test flash Esegue un solo lampo test.
MODELING MODEL	Modeling flash Quando il pulsante TEST è tenuto premuto, per circa 1,5 secondi vengono emessi lampi continui così che si possano controllare le ombre.

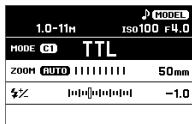
MODALITÀ PERSONALIZZATA (MENU 3)

E' possibile memorizzare e richiamare settaggi personalizzati. (Possono essere memorizzate due serie di settaggi personalizzati)

MEMORIZZARE E RICHIAMARE SETTAGGI PERSONALIZZATI

1. Impostare la Modalità Flash, Modalità area dettagli, e menu di Settaggio come desiderato.
2. Da [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], scegliere [C1] o [C2] e premere il pulsante **OK**.
3. Scegliere [OK] e confermare con il pulsante **OK**

Le variazioni saranno aggiunte alle modalità Flash come Modalità Personalizzate. (La modalità Personalizzata è indicata con le icone **C1** o **C2** nell'area Modalità Flash.)



CANCELLARE LE MODALITÀ PERSONALIZZATE

1. Da [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], scegliere [C1] o [C2] premere il pulsante **OK**.
2. Impostare [OK] e confermare con il pulsante **OK**.

ILLUMINATORE AF (MENU 4)

L'illuminatore AF si attiva automaticamente quando si mette a fuoco in condizioni di luce scarsa. La portata dell'illuminatore AF va da circa 0.7 a circa 10 metri.

- Quando non è necessario l'illuminatore AF impostare [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

ILLUMINAZIONE DEL PANNELLO LCD (MENU 4)

Quando si accende l'alimentazione il pannello LCD s'illumina. I settaggi ON/OFF possono essere cambiati.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO Regolazione di default	Dopo 8 secondi di inattività l'illuminazione si spegne. Quando si aziona un comando l'illuminazione si riaccende.
8 SEC	Che sia stato usato il pulsante o la ghiera dopo 8 secondi dall'accensione l'illuminazione si spegne.
ON	L'illuminazione rimane sempre accesa

- Secondo il settaggio l'illuminazione può essere accesa/spenta con il pulsante

REGOLAZIONE SCHERMO LCD (MENU 4)

Contrasto e luminosità dello schermo LCD possono essere regolati

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	LUMINOSITÀ Regolare la luminosità usando i pulsanti <>
CONTRAST	CONTRASTO Regolare il contrasto con i pulsanti <>

Per terminare la regolazione impostare [OK] e premere il pulsante **OK**

Per cancellare la regolazione impostare [CANCEL] e confermare con il pulsante **OK**

CAMBIARE L'UNITÀ DI MISURA (MENU 4)

L'unità di misura nell'area di Stato può essere variata

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Default)	Indicazioni in metri
FEET	Indicazioni in piedi

INFORMAZIONI SUL FLASH (MENU 5)

Si possono vedere le seguenti informazioni

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Nome del modello
SERIAL No.	Numero di serie
VERSION	Versione firmware

INIZIALIZZAZIONE DEI SETTAGGI (MENU 5)

E' possibile resettare il flash ai valori di default

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

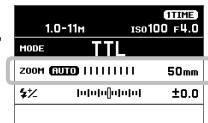
Per inizializzare i settaggi scegliere [OK] e premere il pulsante **OK**.

- Compiuto il reset tutte le personalizzazioni risulteranno cancellate.

ALTRE FUNZIONI DI USO CORRENTE

REGOLARE LA TESTA DEL FLASH

Con la regolazione automatica della testa del flash **AUTO** (Auto), automaticamente questa regola l'angolo di emissione della luce secondo la focale dell'obiettivo.



- La testa del flash si regola sulle dimensioni del sensore per questo la focale visualizzata nello schermo del flash potrebbe essere diversa da quella realmente usata.
- Secondo le modalità flash la regolazione della testa va fatta secondo la focale dell'obiettivo.

I settaggi relativi alla testa del flash possono essere cambiati manualmente. Premere i pulsanti <> nell'area Modalità dettagli.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- A seconda della regolazione della parabola del flash, la sua potenza può variare

DIFFUSORE GRANDANGOLARE

Il flash incorpora un filtro diffusore grandangolare che assicura la copertura fino alla focale del supergrandangolare da 17mm. Estrarre il pannello diffusore assieme al pannello riflettente dalla testa del flash. (Estrarre i pannelli lentamente, con delicatezza.) Poi spingere il pannello riflettente nel suo alloggiamento. P.3-(7)

- L'area del flash nel quale sono indicati dettagli delle modalità d'uso riporterà l'icona **WP** quando lo schermo grandangolare è in uso.

FLASH INDIRETTO

Volgendo il flash verso il soffitto o una parete è possibile ottenere immagini con luce diffusa e ombre poco marcate.

La testa del flash può essere ribaltata verso l'alto di 90°, in basso di 7° e ruotata a destra e sinistra di 180° P.3-(8)

- Usando il flash modalità Luce Riflessa nell'area di Stato comparirà la scritta **BOUNCE**
- L'immagine sarà influenzata dal colore della superficie riflettente. Meglio se pareti e soffitto sono bianchi. A causa della riflettanza della superficie, della distanza del soggetto e di altri fattori, l'effettiva distanza per la modalità TTL AUTO può variare.

ESPOZISIONE CLOSE-UP

Inclinando verso il basso di 7° la testa si illuminerà meglio, nelle foto a distanza ravvicinata, la parte bassa del fotogramma.

- Quando la testa è inclinata verso il basso di 7° nell'area di Stato l'indicazione della distanza si metterà a lampeggiare.

PANNELLO RIFLETTENTE

Il flash incorpora un pannello riflettente che contribuisce a creare il punto di luce di luce negli occhi del soggetto quando si usa il flash nella modalità di lampo riflesso. Estrarre il pannello diffusore e quello riflettente e riposizionare il diffusore nel suo alloggiamento. (Estrarre diffusore e pannello con la massima delicatezza.) P.3-(9)

- Per utilizzare nel modo migliore il pannello diffusore, ribaltare di 90° gradi in alto la testa del flash e riprendere il soggetto da breve distanza. P.3-(10)

PRESA SINCRO

EF-630 possiede una presa sincro che permette di collegare la fotocamera ai cavetti sincro.

Quando si fotografa con il cavetto sincro si deve usare il flash in modalità **[MANUAL]**

Tramite **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]**, impostare ISO e valore di diaframma (F) come sulla fotocamera. Regolare la Potenza del flash nella area Modalità finché la distanza visualizzata nell'area di Stato sia simile a quella tra flash e soggetto.

Attenzione!!

S-TTL auto flash does not work if the Sync. Terminal is used. La modalità S-TTL auto non è attiva quando si usa con il cavetto sincro.

La presa Sincro EF-630 ha il contatto + al centro e quello – alla periferia. Se il cavetto ha polarità invertita usare un comune convertitore di polarità.

SICUREZZA CONTRO OPERAZIONI INDESIDERATE

Quando l'interruttore è nella posizione di blocco , tutti i comandi sono disabilitati, tranne quello TEST e quello dell'illuminazione , ciò per evitare variazioni di settaggi accidentali.

- Quando il flash è bloccato nell'area di Stato apparirà questa icona 

BEEP SONORO

Certi stati d'uso del flash sono indicati anche con un beep sonoro che evita di controllare il pannello LCD.

Spostare l'interruttore del BEEP presente sul frontale dell'apparecchio su **[ON]**. (Una volta spostato su ON nell' area di Stato comparirà l'icona )

Un beep corto	Indica che la ricarica è terminata
Due corti beep	Indica che la regolazione della luce è OK
Un lungo beep (2 sec.)	Attenzione: errore

SPECIFICHE

MODELLO: Flash con slitta a contatto caldo, auto zoom, TTL
NUMERO GUIDA: 63 (ISO 100, posizione parabola su focale 200mm)

ALIMENTAZIONE: Quattro batterie alcaline AA, oppure quattro batterie Nickel-Metal Hydride

TEMPO DI CARICA: circa 3.0 secondi (batterie alcaline);
circa 1.8 secondi con batterie Nickel-Metal Hydride)

NUMERO LAMPI: circa 120 (con batterie alcaline); circa 185 (con batterie Nickel-Metal Hydride)

DURATA DEL LAMPO circa 1/700 (a piena potenza)

COPERTURA FOCALI: 24-200mm, con spostamento motorizzato della parabola;

17mm con diffusore incorporato

PESO: 490 gr DIMENSIONI: 79.4x148.4x121.5mm



Questo è il marchio di conformità alle direttive della comunità Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf:01805-90 90 85-0

Service:01805-90 90 85-85 Fax(Service):01805-90 90 85-35



Smaltimento domestico dei rifiuti elettrici ed elettronici

Smaltimento dei rifiuti elettrici ed elettronici (Per gli Stati UE e dell'Europa con raccolta differenziata dei rifiuti)

 Il simbolo indica che questo prodotto non deve essere considerato un normale rifiuto domestico. Perciò deve essere raccolto separatamente, in modo da permettere il riciclo dei suoi componenti elettrici ed elettronici. Quando si sostituisce con un nuovo prodotto, deve essere consegnato al distributore o al centro di raccolta per lo smaltimento dei rifiuti elettrici ed elettronici. Assicuratevi che il prodotto sia smaltito correttamente, aiuterete a prevenire negative conseguenze per l'ambiente e per la salute umana, che potrebbero essere causate dal suo inappropriato smaltimento. Se questo prodotto è smaltito contrariamente a quanto prescrive la legge, si può andare incontro a sanzioni.

DANSK

Mange tak for dit køb af Sigma's elektroniske blitz EF-630 til Sigma. For at gøre din nydelse ved fotografering endnu større har denne blitz fået tilføjet flere nye funktioner. For at udnytte disse funktioner og få maksimal udbytte af din nye blitz, læs da venligst instruktionsbogen sammen med manualen til dit kamera, og hav dem altid i nærheden for ekstra referencer.

SIKKERHEDS FORHOLDSREGLER

For at undgå at forvolde skade, læs venligst denne instruktions manual grundigt før brugen af blitzen. Læg venligst især mærke til de følgende to symboler.

 Advarsel !!	Tilsidesættelse af dette advarsels symbol under anvendelse af produktet, kan afstedkomme alvorlig tilskadekomst eller anden alvorlig tilstand
 Forsigtighed!!	Anvender man produktet og tilsidesætter dette advarsels symbol, kan man risikere tilskadekomst eller anden alvorlig tilstand.
	Dette symbol understreger en advarsel eller punkt, hvor forsigtighed tilrådes.
	Dette Symbol indeholder information om de handlinger der skal undgås.

Advarsel !!

-  Denne Blitz indeholder et højspændingskredsløb. For at undgå elektrisk stød eller forbrændinger, forsøg aldrig at skille blitzen ad. Hvis produktets skal er ødelagt eller revnet rør aldrig ved mekanismen inden i.
-  Udlad ikke blitz lyset tæt på øjnene. Det kraftige blitzlys kan beskadige øjnene. Hold minimum 1m/100cm afstand mellem blitz og ansigt.

-  Rør ikke ved kameraets syncrostick når blitzen er monteret i kameraets blitz-sko. Højspændings kredsløbet kan forårsage elektrisk stød.
-  Anvend aldrig dit kamera på steder hvor letantændelige gasser, flydende brændstof eller kemikalier e.t.c er opbevaret, der kan være fare for eksplosion.
-  Dæk ikke for blitzhovedet med dine hænder, og undlad at udløse blitzen tæt på din hud, det kan afstedkomme brændsår.
-  Undlad at udløse blitzen mod bilister da det kan være skyld i ulykke.

Forsigtighed !!

-  Anvend ikke denne blitz enhed på andre kameraer end Sigma sd / dp serie kameraer, Ellers kan blitzen beskadige kameraets kredsløb.
-  Denne blitz enhed er ikke vandtæt. Når blitzen og kameraet anvendes i regn, sne eller tæt på vand, sørg for at udstyret ikke bliver vådt. Det er ofte ikke muligt at reparere elektriske komponenter der har været beskadiget af vand.
-  Udsæt aldrig blitz og kamera for stød, høje temperature, støv eller fugtighed. Disse faktorer kan muligvis udløse brand eller fejlfunktioner på udstyret.
-  Når blitzen udsættes for pludselige temperaturskift, som når blitzen flyttes fra f.eks koldt udendørs til et varmt indendørs miljø, dannes der kondens fugt på indersiden. I disse tilfælde, placer dit udstyr i en forseglet plastik pose, og vent med at bruge udstyret til det har nået almindelig indendørs rumtemperatur.
-  Opbevar ikke din blitz i en skuffe eller skab med naftalin kamfor eller andre insektmidler. Disse kemikalier vil have

en negativ effect på produktet.



Brug aldrig Fortynder, Benzin eller andre rensesvæsker for at fjerne skit eller finger aftryk fra komponenterne. Rens i stedet forsigtigt med en let fugtet blød klud.



For langtidsopbevaring, vælg et køligt tørt sted helst med god ventilation. Husk, blitzen har godt af at blive opladt og udladet flere gang om måneden, på den måde sikrer man den korrekte funktion af kondensatoren.



Udlad ikke blitzen hvis den er dækket af et klæde, dette kan medføre brand..

BATTERI

Denne blitz enhed kan bruges med fire "AA" type, Ni-MH genopladelige batterier eller alkaline batterier.

- For at sikre optimal elektrisk kontakt, aftør batteri polerne før batterierne monteres i Blitzen.
- For at undgå batteri eksplosion, lækage eller overophedning, brug altid fire nye AA batterier af samme type og mærke. Mix aldrig nye og brugte batterier.
- Adskil aldrig batterierne eller forsøge at kortslutte dem udsætte dem for ild eller vand, De kan eksplodere. Oplad ALDRIG alkaline batterier, De eksploderer. Oplad KUN Ni-MH genopladelige batterier..
- Bruges blitzen ikke over en længere periode, anbefales det, at fjerne batterierne, da de ellers måske ville kunne lægge batterisyre der er ødelæggende for blitzen.
- Som med enhver anden blitz, anbefales det, at du medbringer ekstra batterier hvis du er på rejse eller

fotograferer udendørs i koldt vejr.

- Brug IKKE Lithium AA/R6 Batterier. Det kan få dit udstyr til at give en fejlfunktion..
- Følg venligst alle anvisninger og regler for dit lokalområde med hensyn til korrekt bortskaffelse af brugte batterier..

BESKRIVELSE AF FLASHENS DELE (P.2)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. Blitz Hoved | 10. Power knap |
| 2. Trødløs signal modtagelse | 11. Klar lys /TEST knap |
| 3. BEEP kontakt | 12. OK Knap |
| 4. AF Assist lys | 13. Central vælger |
| 5. Batteri Dæksel | 14. Shoe Lock Lever |
| 6. Sko | 15. Dreje knap |
| 7. LCD Panel | 16. Syncro. Terminal |
| 8. Backlight kontakt | 17. Catch Light Panel |
| 9. MENU knap | 18. Vidvinkel diffuser panel |

CENTRAL VÆLGER (13)

I denne instruktions manual, er hver position af Central vælgeren vist med disse pile $\wedge / \vee / \langle / \rangle$.



- Knapperne bruges som følgende: Op og Ned knapper: $\wedge \vee$. Venstre og Højre knapper: $\langle \rangle$.

KOMPATIBLE KAMERAER

Denne Blitz er kompatibel med følgende kameraer:

sd Quattro serie, SD1/SD1 Merrill,
dp Quattro serie, DP Merrill series

- Visse funktioner er ikke mulige, afhængig af hvilket kamera der er i brug. Refer til den tilhørende Funktions Tabel [Tabel 1] i bunden af denne manual.

ISÆTNING AF BATTERIER

1. Skub POWER knap til **[OFF]** og åben batteridækslet ved at skubbe det ud P.3-(1)
2. Følg indikationerne i batteri kammeret og indsæt batterierne med + og – i korrekt position. P.3-(2)
3. Luk her efter batteri dækslet. P.3-(3)
4. Skub POWER knappen til **[ON]**. Når Blitzten er ved at lade op til skud blinker den grønne KLAR lampe. Straks Blitzten er fuldt opladt lyser KLAR lampen fast rødt.

Advarsel !!

Når batteri kapaciteten bliver lav, vises  symbolet i LCD panelet. Når batterierne løber helt tør, vises symbolet, vist her til højre i LCD panelet. Blitzten virker ikke længere. Skift venlist batterier.



FLAT BATTERY

Fejl Advarsel

Når  symbolet vises på LCD panelet, kan Blitzten have en fejl. Sluk og tænd blitzten igen eller tjek batterierne. Vises

symbolet da fortsat, kontakt venligst Distributøren.

AUTO POWER OFF

For at spare på strømmen, slukker Blitzten automatisk hvis den ikke har været i brug i 5 minutter, tryk på TEST knappen for at genstarte den, eller kameraets udløserknap halvt ned.. Bemærk dog, auto power off funktionen virker ikke på **[WL SLAVE]** indstilling og **[S-FL SLAVE]** indstilling.

MONTERING PÅ KAMERAET

1. Sluk for blitzten på **[OFF]**.
2. Kontroler at blitzsko låsen er i **[UNLOCK ►]** position. P.3-(4)
3. Skub blitzten ind i hot skoen på kameraet indtil den stopper. Skub blitzsko låsen til **[◄LOCK]** position indtil den er låst med en klik lyd. P.3-(5)

Når Blitzten skal afmonteres, skub blitzsko låsen i **[UN LOCK►]** retning indtil den stopper. Mens du fortsat holder Blitzsko låsen inde, trækker du blitzten af hot skoen.

Advarsel!!

Hvis Blitzten trækkes af kameraets hotsko mens låsen stadig er låst, risikerer du at beskadige både kameraets hotsko og foden på Blitzten. Sørg altid for at låseknappen står i **[UNLOCK►]** position før afmontering.

JUSTERING AF BLITZ HOVEDET

Ved almindelig fotografering, indstil Blitzhovedet til lige ud position. P.3-(6)

Advarsel!!

Efter at Blitzen er tændt (ON) og **BOUNCE** symbolet vises i Status området, eller hvis afstands indikatoren i Status området blinker, er blitzhovedet ikke korrekt sat til lige ud position.

BEGRÆNSET KONTINUERLIG BRUG

For at undgå overophedning af Blitzens kredsløb, anbefaler vi at du ikke bruger Blitzen i mindst 10 minutter efter du har skudt det antal kontinuerlige eksponeringer du finder i tabellen herunder.

Mode	Number of Flash Exposures
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Continuous Flash Shots
M(1/4, 1/8)	25 Continuous Flash Shots
M(1/16~1/32)	40 Continuous Flash Shots
MULTI	10 Cycle

Advarsel!!

I tilfælde af at  symbolet vises i LED displayet, begrænses lysmængden automatisk for at undgå overophedning af Blitzens kredsløb. Undgå at bruge Blitzen til  symbolet er slukket igen.

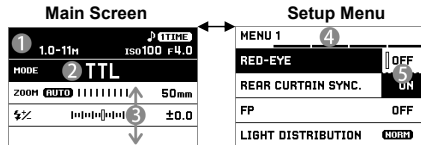
GRUNDLÆGGENDE INDSTILLINGER

Denne sektion beskriver de grundlæggende indstillinger. Med EF-630, kan de fleste indstillinger udføres ganske enkelt ved blot at følge trinene i denne beskrivelse.

Advarsel!!

Når power ON knappen er i  (låse) position, kan der ikke foretages ændringer. Husk at sætte power knappen til [ON] for at ændre indstillinger.

Skift mellem (Main screen) og (Setup menu) ved at bruge **MENU** knappen. (Når power er sat til [ON], start altid fra (Main screen).)



Ændrer Blitz indstillinger og detaljer i hver Blitz indstilling.

- ① Status område
- ② Blitz indstillings område
- ③ Indstillings detalje område

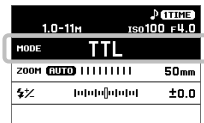
Tilføjer de valgbare blitz indstillingsmuligheder og sætter de grundlæggende funktioner.

- ④ Fane område
- ⑤ Sub menu

GRUNDLÆGGENDE INDSTILLING PÅ (MAIN SCREEN)

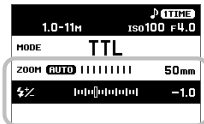
VALG AF BLITZ INDSTILLINGER.

Vælg Blitz indstillings område ved hjælp af  pil op ned knapperne og foretag ændringen ved hjælp af  højre / venstre pil eller dreje knappen.



BLITZ INDSTILLINGS DETALJER

Vælg indstillings detalje området ved hjælp af pil op/ned  knapperne og foretag ændringerne i værdierne ved hjælp af højre/venstre pil  knapperne eller



dreje knappen.

GRUNDLÆGGENDE BRUG I SETUP MENU

Du kan skifte mellem fanerne, ved at bruge dreje knappen.

(Når markøren er placeret på [Fane område] kan skifte fanerne med <>-knapperne.)

I Set-up Menuen:

Brug Op/ned pile knapperne for at vælge mellem emnerne i menuen. Tryk på **OK** eller højre pil knap for at åbne undermenuerne eller en dialog boks. (Under visse emner, dukker en special fane eller dialog boks op)

I set-up undermenuerne.

Brug op/ned pile knapperne for at vælge mulighederne. Tryk på **OK** eller højre pil knappen for at aktivere den nye indstilling. (Tryk på venstre pil knap for at lukke undermenuerne uden at aktivere indstillingerne)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME 1TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

S-TTL AUTO EKSPONERING

Dette er en eksponerings metode hvor der anvendes S-TTL automatik Kameraet måler det reflekterede pre-blitzlys og indstiller mængden

1.0-11m ISO100 F4.0	
MODE	TTL
ZOOM	AUTO 11111111 50mm
	1111111111 ±0.0

af blitz lyset til et optimalt niveau. Brug denne indstilling til generel fotografering.

1. Sæt Blitz indstilling til [TTL].
2. Sikre at motivet er indenfor korrekt optage afstand ved at tjekke distance indikatoren i Status området.
3. Tjek batterikapaciteten via READY indikator lyset og start optagelserne.

Når en eksponering med flash har været korrekt udført, vises **OK** symbolet i omtrent fem sekunder i status området. Hvis **OK** symbolet ikke vises, kan det være at mængden af lys enten ikke har været tilstrækkeligt eller har været for høj. Skift indstilling og udfør eksponering igen.

LUKKERTID OG BLÆNDE

Forholdene mellem lukkertider og blænder under forskellige eksponerings indstillinger er som følgende:

	Lukker hastighed	Blænde
P	Automatisk sat fra Blitzzen Synchroniseret hastighed (*1) til lukker hastigheder med mindst mulige kamera rystelser (*2).	Automatisk sat
A		Kan indstilles frit
S	Giver dig mulighed for frit at sætte lukkerhastighed der svarer til eller er lavere end den blitz synchrone hastighed.	Automatisk sat
M		Kan indstilles frit

(*1) Når FP flash er sat til [ON], bliver begrænsningen af high speed lukker hastigheder ophævet.

(*2) Lukker hastighederne varierer afhængig af brændvidden af det monterede objektiv. I tillæg, når Blitz indstillingen på kameraet sættes til slow synchro ophæves begrænsningen af slow speed lukker hastigheder.

Advarsel!!

Eksponeres der mens værdierne for lukkertid og blænder blinker risikerer man en fejleksposering. Skift indstilling og skyd igen.

BLITZ EKSPONERINGS KOMPENSERING

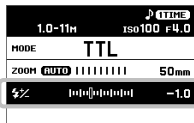
Det er muligt at kompencere mænden af blitslyset uden at det påvirker eksposeringen af baggrunden.

Blitz indstilling: Kan bruges med [TTL].

Sæt værdien af kompenceringen i indstillings detalje området [TTL]. (kompensations værdien kan indstilles I 1/3 trin og optil ±3 trin kan indstilles.)

- Når blitz eksposerings compensationen er sat på både kamera og blitz, kan betjeningen varierer afhængig af kamera.

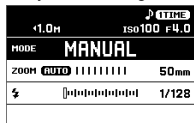
sd Quattro serie	Andre compatible kameraer
Den kombinerede mængde bruges til optagelsen	The setting at the camera side is prioritized.



MANUEL BLITZ

Det er muligt at indstille mængden af blitzlys efter behag.

1. Sæt Blitz indstillingen til [MANUAL].
2. Sæt Blitz mængde I indstillings detalje området (Tilgængeligt indstillings omfang: 1/128 to 1/1,) (Tilgængelig indstillingsværdi: 1/3EV.)



3. Tjek batterikapaciteten via Ready lyset og begynd derefter optagelserne.

Blitz rækkevidden der kan opnås med den korrekte eksposering kalkuleres og vises under Distance display sektionen af Status området. Selv med den samme blitz mængde, varierer rækkevidden I forhold til at opnå den korrekte eksposering hvis ISO eller blænder værdien ændres.

En korrekt eksposering når der bruges manual blitz, kan kalkuleres ved at bruge følgende formel:

Ledetal (GuideNumber) / Optage afstand (m) = Blænder værdi (F)

Ledetallet for denne Blitz (Guide Number) finder du nederst I denne manual. [Tabel 2]

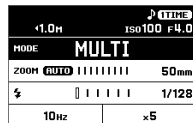
MULTI BLITZ

At vise bevægelse af et emne I eet billede, som hvis billedet var et fotografisk playback, kan lade sig gøre ved kontinuerlige blitz udladninger mens kameraets lukker står åben.

Indstil kameraet til Manuel (M) eksposerings metode

1. Sæt Blitz indstillingen til [MULTI].

2. I indstillings detalje området, sættes Blitz mængden, blitz interval i Hz (eg.: 10 Hz = udlader lys med en frekvens af 10 gange pr. sekund), og antallet af glimt i "x".



3. Vælg en lukkerhastighed der er langsommere end værdien af "antallet af blitzglimt" / "blitz frekvens."
4. Tjek opladningen via Ready lyset og begynd optagelsen.

Antallet blitzglimt der kan affyres kontinuerligt varierer afhængigt af blitz mængden og udladnings frekvensen. Referer til [Table 3] I slutningen af denne manual..

WIRELESS BLITZ

Når Blitzen anvendes længere væk fra kameraet udvides de kreative muligheder. EF-630 blitzten kan fjernudløses af kameraets indbyggede blitz eller af en separat master blitz enhed..

WIRELESS TTL BLITZ

I wireless TTL indstilling, kontrolleres kameraet af Blitzen. Kameraet indstilles automatisk til den korrekte eksponering.

BRUG AF KAMERA UDEN INTEGRERET BLITZ (sd Quattro, etc.)

To EF-630s blitz (TIL SIGMA) er nødvendige. Den blitz der monteres på kameraet kaldes [Master unit], og den blitz der bruges væk fra kameraet kaldes [Slave unit].

MASTER UNIT INDSTILLING

1. Sæt blitz indstillingen til **[WL TTL]**.
2. Sæt kanalen hvis nødvendigt necessary. (vælg Ch.1 til Ch.3 i indstillings detalje området.)

SLAVE UNIT INDSTILLING

3. Sæt blitz indstillingen til **[WL SLAVE]**.
4. I indstillings detalje området, sættes same kanal nummer som brugt på Master unit.
5. Gør blitzten klar til eksponering. Tjek at opladning er klar, og start eksponering. (Når opladningen er

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚡	CONTROL ONLY
Ch.1	

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	(AUTO) 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

klar, blinker AF auxiliary lampen)

- Placer blitz enheden mellem 0.5m~5m fra objektet og placer kamerahuset mellem 1m~ 5m fra objektet.
- Master Blitzen udløses for at kontrollere Slave blitzten. Når Slave blitzten skal placeres i en ønsket position, anbefales det at anvende et compact lampestativ.
- SIGMA EF-630 blitzten kan også bruges i kombination med SIGMA EF-610 DG SUPER SA-STTL. I dette tilfælde, brug da EF-610 DG SUPER som Master blitz (For at indstille denne som Master unit, følg venligst EF-610 DG SUPER SA-STTL instruktions manual.)

NÅR DER BRUGES ET KAMERA MED INDBYGGET BLITZ (SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Sæt kameraets blitz indstilling til wireless blitz og sæt kanalerne hvis nødvendigt. (For detaljer om hvordan disse ændringer foretages følg kameraets indstruktions manual)
2. Sæt blitz indstillingen til **[WL SLAVE]**.
3. I indstillings detalje området sættes den samme channel som kameraet.
4. Placer blitzten, og sikre at begge Blitz er fuldt opladt. Start da optagelserne.

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	(AUTO) 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

- Kameraets indbyggede blitz affyres for at kontrollere slave blitzten.

WIRELESS MANUEL BLITZ

Lige så vel som manuel blitz fotografering er mulig, er det også muligt at skyde trådløst blitz hvor mængden manuelt kan indstilles. I dette tilfælde skal der bruges to EF-630s (FOR SIGMA).

MASTER UNIT INDSTILLING

1. Sæt blitz indstillingene til **[WL MANUAL]**.
2. I indstillings detalje området, justeres blitz outputtet så den faktiske afstand fra subjekt til slave blitzen matcher afstanden der er indikeret i Status området..
3. Sæt det nødvendige kanal nummer (vælg Ch.1 til Ch.3 i indstillings detalje området).

1.0M		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	[]	1/128
Ch.1		

SLAVE UNIT INDSTILLING

4. Sæt Blitz indstillingen til **[WL SLAVE]**.
5. I indstillings detalje området sættes det samme kanal nr. Som Master Blitzen
6. Placer blitzen og tjek at den er fuldt opladet, start derefter optagelsen.

		1TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

- Den kan også bruges i kombination med EF-610 DG SUPER SA-STTL. I dette tilfælde brug dog EF-610 DG SUPER som Slave enhed. (For at indstille EF-610 DG SUPER til Slave enhed, følg venligst dens instruktions manual. (I denne kombination, kan eksponeringen være

utilstrækkelig hvis blitz mængden er sat til tæt på maksimum grænsen.)

SLAVE BLITZ

SIGMA EF-630 inkluderer en funktion hvor den kan udløses af blitz glimt fra andre blitz enheder. Dette gør det nemt og praktisk når flere blitz er placeret længere væk fra kameraet. Blitz mængden bliver dog ikke automatisk justeret i denne indstilling.

NORMAL SLAVE BLITZ

Master enheden forbundet til kameraet kan bruges til at udløse en synkroniseret blitz med EF-630, selv når den er placeret væk fra kameraet.

- Kameraets indbyggede blits fungerer fejlagtigt med pre-blitz derfor er synkroniserede blitz glimt ikke mulige.

Sæt Master blitzen til manuel indstilling og sæt blitz mængden til ca. 1/16.

Sæt kameraets eksponerings indstilling til M og lukkehastigheden til 1/30 sekund eller kortere og blænder og ISO værdi skønsmæssigt.

1. Sæt blitz indstillingen på Slave EF-630 blitzen til **[S-FL NORMAL]**.

2. I indstillings detalje området, sættes ISO og blænde værdierne til at matche med kameraets indstillinger.
3. Juster blitz mængden i indstillings detalje området så rækkevidden mellem Slave blitzen og objektet

1.0M		ISO 100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM	(AUTO) 11111111	24mm
⚡	1/128	
ISO 100		F4.0

ca. har den samme rækkevidde som der indikeres i Status området.

4. Tjek at blitzen er fuldt opladet og begynd så optagelsen.

UDVALGTE SLAVE FLASH

Hvis der bruges to eller flere EF-630 blitz enheder, kan du udvælge hvilke blitz enheder der skal udløses sammen, ved at bruge kanal indstillingerne. I denne indstilling bliver den ene blitz SLAVE kontrolleren, og de andre udløses som Slave blitz.

Sæt kamera eksponerings indstillingen til M, Lukkehastigheden til 1/30 sekund eller kortere, og ISO og blænder værdi skønsmæssigt.

INDSTILLING AF KONTROL (MASTER) BLITZEN

1. Sæt Blitz indstillingen til [S-FL CTRL].
2. Sæt de nødvendige kanaler (I indstillings detalje området vælges **Ch.1** to **Ch.3**.)

1.0M		 1TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
ch.1		

INDSTIL DEN UDLØSENDE (SLAVE) BLITZ

3. Sæt blitz indstillingen til [S-FL SLAVE].
4. I indstillings detalje området, sættes same kanal nummer som på KONTROL blitzten.
5. I indstillings detalje området, sættes ISO og blænde værdi matchende dem der er sat på KONTROL blitzten.
6. Juster blitz mængden I indstillings detalje området så

1.0M			TIME
MODE	S-FL	SLAVE	
ZOOM	AUTO	24mm	
		1/128	
Ch.1	ISO100	F4.0	

rækkevidden mellem Slave blitz og objekt er omtrent den same som indikeret I Status området.

7. Tjek at blitzten er fuldt opladet og start optagelsen.

- I Slave indstilling, kan denne blitz også bruges I kombination med EF-630 og / eller EF-610 DG SUPER til andre kamera tilpasninger. (For detaljer om indstillingerne af EF-610 DG SUPER, se venligst dens instruktions manual.I.)

EKSTRA FUNKTIONER

Denne section beskriver de ekstra funktioner der kan blive indstillet og tilføjet fra SETUP menuen.

RØD-ØJE REDUKTION BLITZ (MENU 1)

Når der tages et billede med blitz, hænder det af og til at personens øjne reflekterer blitzlyset fra nethinden og skaber rød-øje effekten. Hvis du bruger "Rød-øje reduktions" funktionen, Giver blitzten et glimt ca.1 sek før lukkeren udløses. Pre glimtet får pupillen til at trække sig sammen og rød-øje effekten reduceres.

Rød-øje reduktionen kan bruges med **P**, **A**, **S**, og **M** eksponerings indstillinger.

Det kan bruges med [TTL], [MANUAL], og [WL] blitz indstillinger.

1. Sæt [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Gå tilbage til hovedmenuen. (I Status området, vises dette symbol )

Advarsel!!

Denne funktion kan ikke sættes til "ON" I blitz indstillingerne som ikke er kompatibel med Rød-øje reduktion.

SYNKRO MED BAGERSTE GARDIN (MENU 1)

Blitzen affyres lige før lukkeren går i. Lyset efter et objekt i bevægelse og striber af lys bliver fastholdt; Derfor kan disse foto's udtrykke et objekts naturlige bevægelse.

Effekten kan bruges med kameraets **P**, **A**, **S**, og **M** eksponerings indstillinger.

Den kan bruges med [TTL], [MANUAL], og [WL] blitz indstillinger..

1. Sæt [MENU 1] → [REAR CURTAIN SYNC] → [ON].

2. Returner til hovedmenuen. (I Status området, vises dette symbol )

Bemærkning!!

Denne funktion kan ikke anvendes i blitz indstillinger som ikke er kompatibel med "synkro med bagerste gardin"

FP BLITZ (MENU 1)

FP Blitz bliver ved med at fyre blitz glimt af så længe lukkeren arbejder. Derved kan du bruge hurtigere lukkertider end den synkroniserende hastighed..

Det kan bruges med kameraets **P**, **A**, **S**, og **M** eksponerings indstillinger.

Det kan bruges med [TTL] og [MANUAL] Blitz indstilling..

1. Sæt [MENU 1] → [FP] → [ON].

2. Returner til hovedmenuen. (I Status området, vises  symbolet.)

I [TTL] indstilling, kan du kontrollere at objektet er inden for

rækkevidden, ved at tjekke rækkevidden indikeret i status området inden du foretager eksponeringen.

I [MANUAL] indstilling, Juster blænden, evt..før du begynder optagelserne så rækkevidden til objektet og rækkevidden indikeret i Status området matcher hinanden..

Ledetallet vil ændre sig afhængig af den anvendte lukker hastighed. (Referer venligst til [Table 4] på den sidste side.)

Bemærkning!!

Denne funktion kan ikke slås til "ON" i de blitz indstillinger der ikke er kompatible med FP flash.

LYS DISTRIBUTIONS INDSTILLINGER (MENU 1)

EF-630 har tre Lys Distributions indstillinger der kan vælges alt efter hvilket formål man vil opnå..

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

NORMAL – (Default)	Normal light distribution Almindelig lys distributions karakteristisk til general fotografering
GN 	Ledets prioriteret lys distribution Blitzens udlysningsvinkel formindskes men blitzens ledetal forøges.
DIFFUSE 	Flat light distribution Forhindrer en reducere af den omgivende lysmænde med en mere jævn lysfordeling.

TEST BLITZ (MENU 2)

EF-630 har to Test blitz indstillinger. En af Test Blitz indstillingerne kan blive allokeret til TEST knappen.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME 1TIME (Default)	Test Blitz Udfører et enkelt Blitz glimt
MODELING MODEL	Modeling Blitz Når Test knappen holdes nedtrykket udløses kontinuerlige blitz glimt i ca. 1,5 sek Så det er muligt at tjekke hvor skyggerne falder.

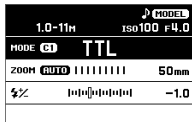
BRUGERVALGTE INDSTILLINGER (MENU 3)

Det er muligt gemme og genkalde "custom settings". (To serier af brugervalgte indstillinger kan gemmes)

LAGRING OG RECALLING CUSTOM SETTINGS

1. Sæt blitz indstillingen, indstillings detalje området, og Setup menuens indhold som du ønsker..
2. Fra [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], vælg [C1] eller [C2] og tryk på **OK** knappen.
3. Vælg [OK] og bekræft med **OK**

Det registrerede indhold er tilføjet Blitz indstilling som "Custom mode". ("Custom mode" indikeres med symbolerne **C1** eller **C2** i blitz indstillings området.



The screenshot shows the camera's LCD display with the following information: At the top, '1.0-11M' and 'ISO100 F4.0'. Below that, 'MODE C1' and 'TTL'. In the middle, 'ZOOM AUTO' and '50mm'. At the bottom, a battery level indicator and '-1.0'.

SLET REGISTREREDE "CUSTOM" INDSTILLINGER

1. Fra [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], vælg [C1] or [C2] og tryk på **OK** knappen.
2. Vælg [OK] og bekræft med **OK** knappen.

AF HJÆLPE LYS (MENU 4)

AF hjælpelyset tændes automatisk når du fokuserer på et objekt i mørke. Den effective rækkevidde af AF hjælpelyset ligger fra omkring 0.7 til 9 meter (2.3-29.5 fod).

- Hvis ikke AF hjælpelys er nødvendig, kan du slå det fra. Sæt [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

LCD PANEL LYS (MENU 4)

Når strømmen er slået til (ON) lyser LCD panelet op. ON/OFF indstillingerne af lyset kan ændres..

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (Default)	Efter 8 sekunder uden brug, slukker panellyset automatisk. Straks en knap eller hjul påvirkes når panelet er slukket, tændes det automatisk igen.
8 SEC	Uanset om en knap eller et hjul, bliver påvirket, vil panel lyset automatisk slukke efter 8 sekunder uden brug fra panel lyset blev tændt.
ON	Panellyset er tændt permanent.

- Uanset indstillinger, kan panel lyset tændes og slukkes med on/off  knappen

LCD PANEL JUSTERING (MENU 4)

Kontrast og lysstyrke af LCD panelet kan justeres.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	LYSSTYRKE Juster lysstyrken til det ønskede niveau ved at bruge pile <> knapperne.
CONTRAST	KONTRAST Juster kontrasten til det ønskede niveau ved at bruge pile <> knapperne.

Når du har foretaget justeringerne, vælg [OK] og bekræft ved at trykke på **OK** knappen.

Hvis du vil slette justeringerne, vælg [CANCEL] og bekræft ved at trykke på **OK** knappen.

ÆNDRING AF MÅLEENHED (FEET / METER) (MENU 4)

Du kan vælge mellem at få vist måleenheden som feet eller meter.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Default)	Meter indikation
FEET	Feet indikation

BLITZ ENHEDENS INFORMATION (MENU 5)

Du kan tjekke de følgende informationer.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Model navn
SERIAL No.	Serie nummer
VERSION	Firmware version

NULSTILLING AF INDSTILLINGER (MENU 5)

Det er muligt at nulstille blitzenheden tilbage til fabriks indstillingerne.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

For at nulstille indstillingerne, vælg [OK] og bekræft ved at trykke på **OK** knappen.

- Når indstillingerne er nulstillet, er de gemte "custom" indstillinger ligeledes slettet.

ANDRE BRUGBARE FUNKTIONER

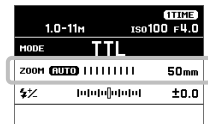
INDSTILLING AF BLITZHOVEDET

Når blitzhovedet indstilling står i

AUTO (Auto). Vælges den udløsningsvinkel der passer med den valgte brændvidde, automatisk.

- Blitzhovedet læser informationer fra kameraets sensor, derfor kan den brændvidde der vises i displayet måske være anderledes end det fysiske objektiv.

- Afhængig af Blitz indstillingen, kan Blitzhoved indstillingerne være låst, uanset hvilken brændvidde der benyttes.



Blitzhovedets indstillinger kan ændres manuelt. Tryk på pile **<>** i indstillings detalje området.

24 ⇌ 28 ⇌ 35 ⇌ 50 ⇌ 70 ⇌ 85 ⇌ 105 ⇌ 135 ⇌ 200mm

- Afhængig af Blitzhovedets indstilling, ændres Blitzens Ledetal.

VIDVINKEL PANEL

Denne blitzenhed er udstyret med et vidvinkelpanel, som gør det muligt at kunne dække en ultra-vidvinkel udlysning ned til 17mm. Skub vidvinkelpanelet ud, bounce panelet følger med ud. Vip vidvinkelpanelet ned foran Blitz hovedet. (Sørg for at trække de to paneler forsigtigt ud) Skub Bounce panelet tilbage på sin plads. P.3-(7)

- Når Vidvinkel panelet er i brug, vil du i Blitz sektionen i indstillings detalje området muligvis kunne se symbolet **WP**.

BOUNCE BLITZ

Ved at skyde blitzlyset mod et loft eller en væg, er det muligt at få en større spredning og blødgøring af lyset, på denne måde kan du tage billeder med flot blødt lys der samtidig reducerer hårde skygger.

Blitzhovedet kan vippe op i 90° og tiltes ned 7°, og drejes til begge sider (Højre / Venstre) 180°. P.3-(8)

- Vipper du blitzhovedet op i bounce position vil **BOUNCE** symbolet vises i Blitzens Status område.
- Vælg en hvid overflade når du bouncer Blitzten, ellers kan du risikere at farven på billedet bliver forkert. Afhængig af den reflekterende overflade, kan afstanden til objektet og andre faktorer, som den effektive rækkevidde på TTL AUTO været

ændret.

CLOSE-UP OPTAGELSER

Ved at tilte Blitzhovedet ned i 7° positionen, lyses den nederste del af billedet så tilstrækkeligt op at det kan bruges til Close-up optagelser.

- Når Blitzten bounces to the lower side at 7°, the distance indication in the Status area blinks.

CATCH LIGHT BOUNCE PANEL

Blitzten er udstyret med et indbygget catch light (bounce) panel, som ved portrætter kan give en flot indirekte belysning uden hårde skygger. Skub forsigtigt både vidvinkel og- bounce panelet ud. Skub vidvinkel panelet tilbage på plads (vær forsigtig og pas på ikke at ridse panelerne) P.3-(9)

- For at skabe det mest effective catch light (Bounce) lys. Tilt Blitzhovedet op 90 grader, og Bounce panelet i position.

Tag billedet på tæt afstand P.3-(10)

SYNC.TERMINAL

EF-630 har en syncro terminal som kan tilsluttes et kamera med almindelige standard Blitz synchro kabler.

Hvis du bruger et syncro kabel, skal du indstille blitzten til **[MANUAL]**

Med **[MENU 2]** → **[ISO]** **[F-NUMBER]**, sæt ISO og blænder (F) værdi så de matcher dem på kameraet. Juster Blitz mængden i indstillings området, indtil rækkevidden, som er vist i Status området, omtrent er den samme som afstanden mellem Blitzten og objektet.

Advarsel!!

S-TTL auto blitz virker ikke hvis Sync.Terminal bruges.

EF-630's Sync.Terminal er kompatibel med stik som har en positive (+) polaritet på den centrale pind and en negative (-) polaritet på skærmen. Hvis stikket har modsat polaritet, så anvend et standard polaritets konversions kabel.

HINDRING AF UTILSIGTET BRUG

Når tænd knappen er sat til  (låse) position, bliver alle andre indstillinger end TEST knappen og display lys  knappen låste. Dette forhindrer utilsigtet ændringer af Blitz Indstillingerne.

- Imens at Blitzen er låst vises symbolet  i status området.

BEEP LYDE

Visse tilstande af Blitzen indikeres ved en lyd. Dette gør dem nemme at genkende uden at skulle se på LCD panelet.

Tænd for BEEP lyden på forsiden af kroppen af Blitzen til [ON]. (Når funktionen er tændt ON, vises  i Status området.)

Et kort beep	Indikerer at opladning er færdig.
To korte beeps	Indikerer at lys justeringerne er OK.
Eet langt beep (2 sec.)	Fejl varsel.

SPECIFICATIONER

TYPE: Clip-on type serie-c kontrolleret TTL auto zoom electric Blitz
Ledetal: 63(ISO100m, i 200mm hoved position)

Strømkilde: fire AA type alkaline batterier eller fire AA type Ni-MH

Nickel-Metal Hydrid batterier

RECYCLING TIME: omkring 3.0 sec. (Alkaline batteries) omkring 1.8 sec. (Ni-MH Nickel-Metal Hydride)

Antal Blitz skud: Omkring 120 skud (Alkaline batteries) : Omkring 185 skud (Ni-MH Nickel-Metal Hydrid)

Blitz varighed: Omkring 1/700sec. (full power firing)

Blitz udløsnings vinkel: 24~200mm motorkontrolleret (17mm med indbygget vidvinkel Panel)

Vægt: 490g.

Dimensjoner: (W)79.4mm x (H)148.4mm x (L)121.5mm



Questo è il marchio di conformità alle direttive della comunità Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf:01805-90 90 85-0

Service:01805-90 90 85-85 Fax(Service):01805-90 90 85-35



Bortskaffelse af elektrisk/elektronisk udstyr i private husholdninger

Bortskaffelse af kasseret elektrisk & elektronisk udstyr (Gældende for lande indenfor EU og andre europæiske lande med separat indsamlingsordning).

Dette symbol betyder, at udstyret ikke bør behandles som almindeligt husholdningsaffald. I stedet skal det afleveres på et godkendt indsamlingssted for behandling og genanvendelse af elektronisk udstyr. Ved at bortskaffe dette produkt på korrekt måde, sikrer du at affaldet behandles korrekt og genbruges i størst muligt omfang. Herved forhindres en evt. negativ miljømæssig og sundhedsmæssig effekt der kunne opstå ved forkert behandling af affaldet. Hvis udstyret indeholder batterier eller akkumulatorer der nemt kan tages ud, bør disse behandles separat i henhold til de lokale regler. Genbrug af materialer hjælper med at bevare de naturlige ressourcer. Hvis du ønsker mere detaljerede oplysninger om genbrug af dette produkt, kan du kontakte de lokale myndigheder, den lokale renovationsvirksomhed eller den forretning hvor du har købt produktet.

NEDERLANDS

Hartelijk dank voor de aankoop van de Sigma EF-630 (voor SIGMA) elektronenflitser. Om uw flitser op de juiste wijze in te stellen en optimaal gebruik te maken van de mogelijkheden, raden wij u aan deze gebruiksaanwijzing aandachtig door te lezen en tevens de gebruiksaanwijzing van uw camera naast deze instructies te gebruiken.

VOORZORGSMATREGELEN

Ter voorkoming van ongelukken en beschadiging, raden wij u aan deze gebruiksaanwijzing aandachtig te lezen en te letten op de speciale waarschuwingssymbolen. Let u vooral op de twee onderstaande waarschuwingssymbolen:

 Waarschuwing!!	Wanneer u tijdens het gebruik van deze flitser deze waarschuwingen negeert, loopt u het risico van ernstige verwondingen en/of schade.
 Let Op!!	Wanneer u tijdens het gebruik van deze flitser deze waarschuwingen negeert, loopt u het risico van verwondingen en/of schade.
	Dit symbool duidt op een belangrijke aanwijzing wanneer verwondingen en/of schade kunnen worden veroorzaakt.
	Dit symbool duidt op welke handelingen vermeden moeten worden

Waarschuwing!!

 De elektronische circuits in deze flitser hebben een hoog voltage. Maak de flitser niet open om elektrische schokken of brandwonden te voorkomen. Indien de behuizing van de flitser gescheurd of kapot is, raak de delen binnenin dan niet aan.

-  Gebruik de flitser niet vlakbij de ogen. Het zeer felle licht zou de ogen kunnen beschadigen. Houdt minimaal 1 meter afstand van het gezicht als u een flitsopname maakt.
-  Raak de flitscontacten van uw camera niet aan als de flitser op het flitsschoentje is bevestigd. Dit kan een elektrische schok geven.
-  Gebruik uw flitser nooit in een omgeving waar zich licht ontvlambare stoffen bevinden, dit zou tot brand of ontploffing kunnen leiden.
-  Bedek de flitskop niet met uw handen en laat de flitser niet afgaan wanneer deze dichtbij uw huid is. Dit kan brandwonden veroorzaken.
-  Laat de flitser niet afgaan terwijl deze is gericht op automobilisten, dit kan ongelukken veroorzaken.

Let Op!!

-  Gebruik deze elektronenflitser niet voor andere camera's dan de SIGMA sd / dp serie, aangezien anders de elektronische circuits van de camera beschadigd kunnen raken.
-  De flitser is niet waterdicht. Indien u de flitser in regen of in de nabijheid van water gebruikt, zorg er dan voor dat deze niet nat wordt. Vaak is het vrijwel onmogelijk om waterschade aan elektrische circuits te repareren.
-  Stel u camera en flitser niet bloot aan schokken, stoten, stof, hoge temperaturen of vochtigheid. Deze factoren kunnen tot storingen leiden in uw apparatuur.
-  Indien de flitser een sterke temperatuurswisseling ondergaat, kan er kon condensatie in het binnenwerk optreden. Wacht in dit geval tot uw flitser de omgevingstemperatuur heeft aangenomen.

-  Bewaar uw flitser niet in een ruimte waar zich chemische stoffen, kamfer of insecticides bevinden. Deze stoffen kunnen de flitser beschadigen.
-  Gebruik geen thinner, benzine of andere schoonmaakmiddelen om de flitser te reinigen. Gebruik alleen een schone, eventueel iets vochtige, doek.
-  Bewaar de flitser op een koele, goed geventileerde, droge plaats. Het is aan te raden om de flitser enkele keren per maand op te laden en te ontsteken. Dit zal de levensduur van de flitser ten goede komen.
-  Laat de flitser niet afgaan terwijl u de flitskop bedekt met stof of bekleding. Dit kan brand veroorzaken.

BATTERIJEN

Deze flitser dient te worden gevoed met 4 "AA" alkaline batterijen of Ni-MH oplaadbare batterijen.

- Om zeker te zijn van een goed electrisch contact kunt de batterijpolen schoonmaken voor u de batterijen inlegt.
- Gebruik altijd 4 batterijen van hetzelfde merk en type en gebruik geen oude en nieuwe batterijen door elkaar, anders bestaat het risico van explosie, lekkage over oververhitting.
- Sluit de batterijen niet kort en haal ze niet uit elkaar. Stel ze ook niet bloot aan vuur of water, want dan kunnen ze exploderen. Gebruik uitsluitend Ni-MH oplaadbare batterijen.
- Verwijder de batterijen wanneer de flitser gedurende langere tijd niet zal worden gebruikt om eventuele lekkage te voorkomen.
- Het is aan te bevelen extra batterijen mee te nemen wanneer

U voor langere tijd weg gaat of bij opnamen bij koud weer.

- Gebruik geen AA/R6 batterijen. Hierdoor kan het voorkomen dat uw apparatuur niet goed werkt.
- Volg alstublieft alle richtlijnen, wet- en regelgeving omtrent wegwerpbatterijen die in uw land gelden.

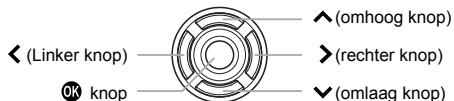
OMSCHRIJVING VAN DE ONDERDELEN (P.2)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. Flitskop | 10. Aan/uit schakelaar |
| 2. Draadloos signaal display | 11. OK lampje /TEST toets |
| 3. BLIEP schakelaar | 12.  toets |
| 4. AF hulp lampje | 13. Selectieknop |
| 5. Batterijdeksel | 14. Flitschoen blokkeerschakelaar |
| 6. Flitsvoetje | 15. Draaiknop |
| 7. LCD display | 16. Sync. terminal |
| 8. Tegenlicht knop | 17. Vanglichtpaneel |
| 9. MENU toets | 18. Groothoek adapter |

SELECTIEKNOP

Hieronder worden alle functies van de selectieknop getoond.

▲ / ▼ / ◀ / ▶.



- De knoppen dienen als volgt te worden bedient: Omhoog en omlaag:  naar links en rechts: .

CAMERA'S

Deze flitser kan worden gebruikt met de onderstaande camera's:

sd Quattro serie, SD1/SD1 Merrill, dp Quattro serie, DP Merrill serie
--

- Afhankelijk van de camera zullen sommige functionaliteiten niet werken. Tabel 1 in de bijlage geeft alle functionaliteiten per camera weer.

INLADEN VAN DE BATTERIJEN

1. Schakel de flitser uit [OFF] en open het batterij compartiment door de batterijdeksel open te schuiven. P.3-(1)
2. Plaats de batterijen in het batterij compartiment. Zorg ervoor dat de plus- en minpolen op de juiste wijze worden geplaatst, volgens de aanduiding in het compartiment "+" en "-". P.3-(2)
3. Sluit de batterijdeksel. P.3-(3)
4. Zet de flitser aan [ON]. Indien de flitser voldoende is geladen, zal het "Ready" lampje groen knipperen. Wanneer de batterijen volledig zijn opgeladen brandt het lampje in het rood.

Waarschuwing!!

Wanneer de batterij leeg raakt, wordt het  symbool weergegeven op het LCD paneel. Wanneer de batterij volledig leeg raakt, wordt het rechter symbool getoond en zal de flitser niet meer functioneren. Vervangt u alstublieft de batterijen.



ERROR MELDING

Wanneer het  symbool op het LCD paneel verschijnt, kan het zijn dat de flitser gebreken vertoont. Reset de flitser of controleer de

batterij. Neem contact op met onze service afdeling indien de melding blijft aanhouden.

Automatische uitschakeling

Indien de flitser enige tijd niet wordt gebruikt zal hij zich na ongeveer 300 sec. automatisch uitschakelen om energie te sparen. Om de flitser weer in te schakelen drukt u op de testknop of de ontspanknop van de camera half in. De automatische uitschakeling werkt niet in de [WL slave] en de [S-FL slave] modi.

BEVESTIGEN AAN DE CAMERA

1. Schakel de aan/uit schakelaar van de flitser naar [OFF].
 2. Zorg dat de flitsschoen blokkeerschakelaar in de [UNLOCK ►] positie staat. P.3-(4)
 3. Schuif de flitser in het flitsschoentje van de camera. Schuif de flitsvoet blokkeerschakelaar op de [◀LOCK] positie, totdat de hendel is vergrendeld met een 'klik' geluid. P.3-(5)
- Wanneer u de flitser verwijderd, schuif de flitsschoen blokkeerschakelaar naar de [UNLOCK] positie totdat dit niet meer verder kan, terwijl u de flitsschoen blokkeerschakelaar blijft indrukken. Haal vervolgens de flitser van uw camera af.

Waarschuwing!!

Wanneer u de flitser verwijderd terwijl de flitsschoen blokkeerschakelaar op [UNLOCK ►] staat, kan het zijn dat u zowel de camera als de flitser beschadigt.

HET AFSTELLEN VAN DE FLITSKNOP

Bij normale fotografie omstandigheden zet u de flitskop naar voren. P.3-(6)

Waarschuwing!!

Zodra de **BOUNCE** indicatie verschijnt in het statusgebied of de afstandsindicatie in het statusgebied knippert, is de flitsknop niet correct in de voorste positie ingesteld.

MAXIMALE PRESTATIES BIJ CONTINU FOTOGRAFEREN

Om oververhitting te voorkomen dient u uw flitser tenminste 10 minuten niet te gebruiken na het aantal flitsen in de onderstaande tabel:

Mode	Aantal flitsen
TTL, M(1/1, 1/2)	20 flitsen achter elkaar
M(1/4, 1/8)	25 flitsen achter elkaar
M(1/16-1/32)	40 flitsen achter elkaar
Multi	10 cycli

Waarschuwing!!

Zodra het  icoon op het display verschijnt, wordt de hoeveelheid licht gereduceerd om oververhitting van het elektronische circuit te voorkomen. Gelieve de flitser niet te gebruiken todat het  is verdwenen.

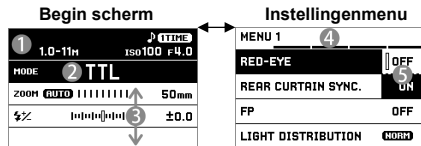
BASIS INSTELLINGEN STAPPENPLAN

In dit onderdeel worden de basis instellingen van de EF-630 beschreven. De meeste instellingen kunnen worden ingesteld door het volgende stappenplan te doorlopen.

Waarschuwing!!

De instellingen kunnen niet worden gewijzigd, wanneer de aan/uit schakelaar is geblokkeerd []. Zorg dat de aan/uit schakelaar op **[ON]** staat om de instellingen te wijzigen.

Wisselen tussen het beginscherm en het instellingenmenu doet u door het **MENU** knopje in te drukken. Standaard start de filters bij het begin scherm zodra de filters wordt aangezet.



Wijzigt de flits modus en stelt iedere flits modus gedetailleerd in.

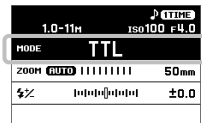
Voegt optionele flits opname functionaliteiten toe en stelt de basiscondities van de flits in.

- ① Status gebied
- ② Flits modus gebied
- ③ Modus detail gebied

- ④ Tabblad gebied
- ⑤ Sub menu

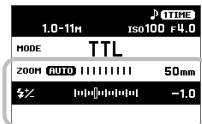
FLITS MODUS BASIS BEDIENING IN HET BEGINSCHERM

Selecteer het flits modus gebied middels de  knoppen en wijzig de flits modus door de   knoppen te gebruiken of middels de draaiknop



FLITS MODUS DETAIL INSTELLINGEN

Selecteer het modus detail gebied door de  knoppen gebruiken en wijzig de waarden door de   knoppen te gebruiken of middels de draaiknop.



SETUP MENU BASIS BEDIENING

Om naar het volgende tabblad, draai de draaiknop. (Als de cursor in de "Tabblad Gebied", gebruik dan de <> knoppen kunt u naar het volgende tabblad.)

In het Set-up Menu:

Gebruik de <> knoppen om menu item te selecteren. Druk op de OK of > knop om de sub-menus of ander scherm te openen. In sommige gevallen zal een speciaal tekstvenster verschijnen.

In de sub-menus:

Gebruik de <> knoppen om nieuwe instellingen te selecteren. Druk op de OK of > knop om de instellingen te bevestigen. (Druk op de < knop om de sub-menus te sluiten zonder wijzigingen door te voeren.)

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1 TIME 1 TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

1. Zet de Flits modus op [TTL].
2. Controleer of het onderwerp binnen de opnameafstand is door de afstandsindicatie in het status gebied te controleren.
3. Controleer status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

Wanneer u correct fotografeert met een flitser, licht het OK icoon ongeveer vijf seconden op in het status gebied. Als het OK icoon niet verschijnt, kan het zijn dat er te weinig of te veel licht is. Wijzig de condities en start opnieuw met fotograferen.

SLUITERSNELHEID EN LENSOPENING

De relatie tussen sluitersnelheid en de lensopening in de diverse belichtingsmodi van de camera is als volgt.

	Sluitersnelheid	Lensopening
P	Automatisch ingesteld naar een sluitertijd met minder kans op trillingonscherpte. (*1) (*2)	Automatisch ingesteld.
A		Instelling naar eigen keuze.
S	Stelt u in staat de synchronisatietijd of een sluitertijd trager dan de synchronisatietijd in te stellen. (*1)	Automatisch ingesteld
M		Instelling naar eigen keuze.

- (*1) Wanneer de FP flitsmodus in werking staat [ON] vervallen de beperkingen van snellere flitstijden dan de synchronisatietijd.
- (*2) De sluitersnelheid varieert afhankelijk van de brandpuntsafstand van het objectief. Daarbij treedt indien de flitsmodus is ingesteld op slow synchro de sluitersnelheid beperking voor de lange sluitertijden niet in werking.

Waarschuwing!!

Wanneer u fotografeert terwijl de sluitersnelheid en de diafragma waarden knipperen, kan het zijn dat de belichting

S-TTL AUTOMATISCHE BELICHTING

Dit is een methode waarbij de S-TTL auto belichtingsmethode wordt gebruikt. Hierbij meet de camera het gereflecteerde licht van de voorflits en regelt de hoeveelheid flitslicht tot een optimaal niveau. Gebruik deze methode voor algemene opnamen.

1.0-11m ISO 100 F4.0	
MODE	TTL
ZOOM (AUTO)	50mm
±%	±0.0

niet juist is. Wij adviseren u om de condities te wijzigen voordat u weer begint met fotograferen.

BELICHTINGSCOMPENSATIE

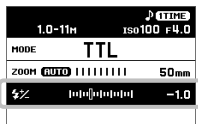
Het is mogelijk om uitsluitend de lichthoeveelheid van de flits te compenseren zonder de helderheid van de achtergrond aan te tasten.

Flash modus: kan worden gebruikt met **[TTL]**

U kunt de compensatie hoeveelheid in het modus detail gebied van de flash mode **[TTL]** instellen. (Deze kan in stappen van 1/3 stops worden gewijzigd tot ± 3 stops.)

- Wanneer u de licht compensatie voor zowel de camera als de flitser heeft ingesteld, kan afhankelijk van de camera de werking variëren.

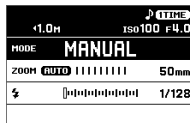
sd Quattro series	Overige bruikbare camera's
De gecombineerde hoeveelheid wordt gebruikt voor opnamen.	Prioriteit zit in de camera instellingen.



HANDMATIGE FLITSINSTELLING

U kunt naar eigen voorkeur de flitsintensiteit instellen.

1. Zet de Flitser in de **[MANUAL]** modus.
2. U kunt de flitsintensiteit instellen in het detail gebied van het menu. Het beschikbare bereik is 1/128 tot 1/1, in stappen van 1/3 EV stops.
3. Controleer de status van de flitser in het OK lampje en begin



met fotograferen.

In het afstandsdeel van het status display wordt na berekening het afstandsbereik voor een correcte belichting getoond. Wordt bij dezelfde flitssterkte de ISO-instelling of de diafragma waarde veranderd, dan moet voor een correcte flitsbelichting de afstand tot het onderwerp worden aangepast.

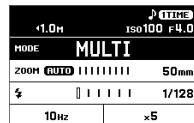
Een correcte belichting bij handmatig flitsen kan met de volgende formule worden berekend: Richtgetal(GN): Opnameafstand(m) = Diafragma waarde(F). Het richtgetal (GN) ziet u in Tabel 2 aan het eind van deze handleiding.

MEERVOUDIG FLITSEN

Hieronder wordt verstaan het tonen van opeenvolgende bewegingsmomenten van een onderwerp in één beeld. Dit wordt mogelijk doordat continu flitspulsen worden afgevuurd terwijl de sluiters open staat.

Zet de camera op de M belichtingsmodus.

1. Zet de flitsmodus op **[MULTI]**.
2. Voer op het status display het gewenste aantal flitsen in (bijv. x5) en de flitsinterval in Hertz (bijv. 10Hz, voor het pulseren van flitslicht met 10 keer per seconde).



3. Stel een sluitertijd in die trager is dan de waarde van "aantal flitsen: frequentie"
4. Controleer de status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

Het aantal flitsen dat continu kan worden afgevuurd is afhankelijk van de combinatie van de ingestelde hoeveelheid pulsen en de frequentie. Zie hiervoor Tabel 3 aan het eind van deze handleiding.

DRAADLOOS FLITSEN

Indien u de flitser op een locatie ver van de camera plaatst zijn de creatieve mogelijkheden eindeloos. De EF-630 wordt bediend door de ingebouwde flitser van de camera of een additionele Master flitsafstandsbediening.

DRAADLOOS TTL FLITSEN

In de draadloze TTL modus wordt automatisch de juiste belichting bepaald.

GEbruik VAN EEN CAMERA ZONDER GEÏNTEGREERDE FLITSER (sd Quattro, etc.)

Hiervoor zijn twee EF-630s (voor SIGMA) nodig. De flitser op de camera wordt de [Master Unit] genoemd en de flitser los van de camera wordt de [Slave Unit] genoemd.

MASTER UNIT INSTELLINGEN

1. Zet de flitser in de [WL TTL] modus.
2. Verander de kanaalinstellingen indien nodig. (Selecteer Ch.1. tot Ch.3. in het detail menu)

SLAVE UNIT INSTELLINGEN

3. Zet de flitser in de [WL SLAVE] modus.
4. Zorg dat het kanaal correspondeert met die van de Master unit.
5. Zet de flitsers in de gewenste fotografie positie. Controleer de werking van de flitsers en start met fotograferen. (Het knippen van het AF hulplicht

duidt op laadgereedheid).

- Plaats zowel de camera als de Slave unit op een afstand tussen de 0,5 en 5 meter tot het onderwerp.
- De Master unit zorgt voor het aansturen van de Slave unit maar zal geen invloed hebben op de opname.
- Als u de Slave unit op de gewenste plaats wilt opstellen kunt u de mini-standaard gebruiken. Deze mini-standaard heeft tevens een statiefaansluiting.
- De EF-630 kan ook worden gebruikt in combinatie met de EF-610 DG SUPER SA-STTL. Hiervoor dient u de EF-610 DG Super als de Master unit te gebruiken, raadpleeg hiervoor alstublieft de handleiding van de EF-610 DG SUPER SA-STTL .

GEbruik VAN EEN CAMERA MET GEÏNTEGREERDE FLITSER (SD1/SD1 Merrill, etc.)

1. Zet de camera in de draadloze flits modus en wijzig de kanalen indien nodig. (Raadpleeg uw camera handleiding voor gedetailleerdere instructies.)
2. Zet de flitser in de [WL SLAVE] modus.
3. Zorg dat het kanaal correspondeert met die van de camera.
4. Zet de flitser op de juiste positie en zorg dat beide flitsers volledig opgeladen zijn. Vanaf hier kunt u beginnen met fotograferen.
- De ingebouwde cameraflitser stuurt de Slave flitser aan en heeft geen invloed op de opname.

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
⚙	CONTROL ONLY
Ch.1	

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚙	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

1.0~7.8M ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚙	FOLLOW MASTER SETTING
Ch.1	

DRAADLOOS HANDMATIG FLITSEN.

Handmatig draadloos fotograferen is mogelijk waarbij u zelf de flitsintensiteit kunt bepalen. Hiervoor zijn twee EF-630's (voor SIGMA) nodig.

MASTER UNIT INSTELLINGEN

1. Zet de flitser in de **[WL manual]**odus.
2. Kies voor de juiste flitsintensiteit die bij de daadwerkelijke afstand van uw onderwerp past. Kijk of de slave flash correspondeert met de afstand in het status gebied.
3. Kies het juiste kanaal. (Selecteer Ch.1 tot Ch.3 in het detail gebied.)

<1.0M		TIME
ISO100 F4.0		
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
		1/128
ch.1		

SLAVE UNIT INSTELLINGEN

4. Zet de flitser in de **[WL slave]**odus.
 5. Zorg dat het kanaal correspondeert met die van de Master Unit.
 6. Zet de flitser op de juiste positie en zorg dat beide flitsers volledig opgeladen zijn. Vanaf hier kunt u beginnen met fotograferen.
- De EF-630 kan ook worden gebruikt in combinatie met de EF-610 DG SUPER SA-STTL. Hiervoor dient u de EF-610 DG Super als de Slave unit te gebruiken, raadpleeg hiervoor alstublieft de handleiding van de EF-610 DG SUPER SA-STTL. (Met deze combinatie kan de belichting onvoldoende zijn indien de flits opbrengst op het maximaal niveau is ingesteld.

TIME	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
	FOLLOW MASTER SETTING
ch.1	

SLAVE FUNCTIE

De EF-630 is uitgerust met een functie waarbij de flitser reageert op de flits van een tweede flitser. Hiermee kunt u eenvoudig fotograferen waarbij de flitser op een andere positie staat dan de camera. De lichtopbrengst wordt echter niet automatisch aangepast in deze modus.

SLAVE FUNCTIE

De Master unit op de camera kan worden gebruikt om een gesynchroniseerde flits met de EF-630 te realiseren, zelfs wanneer de EF-630 verwijderd is van de camera.

- De camera's ingebouwde flitser functioneert niet naar behoren met de pre-flash, daarom is gesynchroniseerde flash niet mogelijk.

Zet de Master flash op manual en zet de flitsintensiteit op ongeveer 1/16.

Zet de camera in de M stand, de sluitersnelheid op 1/30 seconden of lager, het diafragma en de ISO op de juiste waarden.

1. Zet de Flash modus in de Slave EF-630 op **[S-FL NORMAL]**.

2. Wijzig de ISO en diafragma waarden in het mode detail gebied, zodat deze overeenkomen met de instellingen van de camera.

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM (AUTO)		24mm
		1/128
ISO100	F4.0	

3. Wijzig de flitsintensiteit in het Mode detail gebied zodat de afstand tussen de Slave flitser en het object ongeveer overeenkomst met de indicatie in het status gebied.
4. Controleer de flitser-laadgereedheid en begin met fotograferen.

VOORKEUZE VAN DE SLAVE FLITSER

Als u twee of meerdere EF-630 (voor SIGMA) flitsers gebruikt, kunt u een voorkeuze maken welke flitsers tegelijk flitsen door verschillende kanaalinstellingen. In deze stand zal één flitsunit gebruikt worden op de camera als aansturende flitser en de overigen voor de slave belichting.

Zet de camera in de M belichtingsstand, de sluitersnelheid op 1/30 seconden of hoger, het diafragma en de ISO op de juiste gewenste waarden.

INSTELLEN STUUR (MASTER) FLITSER

1. Zet de flits modus op [S-FL CTRL].
2. Stel het vereiste kanaal in. (In het onderste vak van het display, kies Ch.1 tot Ch.3)

◀1.0M		⏸ TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚙	CONTROL ONLY	
Ch.1		

INSTELLEN ONTVANGENDE(SLAVE) FLITSER

3. Zet de flits modus op [S-FL SLAVE].
4. Kies op het display onderaan hetzelfde kanaal als dat van de Stuur flitser.
5. Stel hier ook dezelfde ISO waarde en het diafragma in als van de Stuur flitser.
6. Pas de flitssterkte op het display zodanig aan dat de afstand Slave tot onderwerp ongeveer gelijk is aan de afstand die op het statusdisplay staat opgegeven.
7. Controleer de flitser-laadgereedheid en begin met fotograferen.

◀1.0M		⏸ TIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
⚙		1/128
Ch.1	ISO100	F4.0

- In de Slave modus kan deze flitser ook worden gecombineerd met de EF-630 en/of EF-610 DG SUPER flitser voor andere toepassingen. (Zie voor deze mogelijkheden de handleiding van de EF-610 DG SUPER flitser).

OPTIONELE FUNCTIONALITEITEN

In dit onderdeel worden de optionele functionaliteiten beschreven die u via het setup menu kunt toevoegen.

RODE-OGEN REDUCTIE (MENU 1)

Bij het maken van flitsopnamen komt het vaak voor dat het flitslicht reflecteert in de ogen waardoor het effect van rode ogen ontstaat. Indien u de rode-ogen functie gebruikt zal de flitser gedurende ongeveer 1 sec. enkele “voorflitsen” geven voordat de werkelijke opname wordt gemaakt. Dit zal het rode-ogen effect sterk doen afnemen.

Rode-ogen reductie kan worden gebruikt in de **P**, **A**, **S** en **M** belichtingsmodi van de camera. Deze functionaliteit kan uitsluitend worden gebruikt met de [TTL], [MANUAL], en [WL] flash modi.

1. Kies [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Ga terug naar het beginscherm. (In het status gebied verschijnt het  icoon.

Waarschuwing!!

Deze functionaliteit kan niet worden gebruikt met de flits modi die niet geschikt zijn voor rode-ogen reductie.

TWEEDE GORDIJN SYNCHRONISATIE (MENU 1)

De flitser ontsteekt net voordat het sluitergordijn sluit. Het licht achter een bewegend object en het lichtspoor dat hieruit volgt kan worden vastgelegd, hierdoor ontstaat een natuurlijk effect.

Deze functie kan worden gebruikt in de **P**, **A**, **S** en **M** belichtingsmodi van de camera. Daarbij kunnen de **[TTL]**, **[MANUAL]**, en **[WL]** flits modi worden gebruikt.

1. Kies **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Ga terug naar het begainscherm. (In het status gebied verschijnt het  icoon.

Waarschuwing!!

De functionaliteit kan niet op “**ON**” worden gezet met flits modi die niet geschikt zijn voor tweede gordijn synchronisatie.

FP FLITS (MENU 1)

De FP Flits vuurt zeer snelle pulsjes af terwijl de sluiters afloopt. Daardoor kan er een veel snellere sluitertijd dan de synchronisatietijd worden benut.

Deze functie kan worden gebruikt in de **P**, **A**, **S** en **M** belichtingsmodi van de camera. Daarbij kunnen de **[TTL]** en **[MANUAL]** flits modi worden gebruikt.

1. Kies **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Ga terug naar het begin scherm. (In het status gebied verschijnt het  icoon.

Voordat u begint met fotograferen in de **TTL** modus, zorg

ervoor dat het object zich binnen de juiste afstand zoals aangegeven in het status gebied.

Wanneer u in manual fotografeert dient u ervoor te zorgen dat waarden zoals diafragma correct zijn ingesteld. Daarnaast moet de afstand van het object overeenkomen met de afstand zoals aangegeven in het status gebied.

Het richtgetal verandert afhankelijk van de sluitersnelheid. (zie de **tabel 4** op de vorige pagina)

Waarschuwing!!

De functionaliteit kan niet op “**ON**” worden gezet met flits modi die niet geschikt zijn FP flash.

LICHT DISTRIBUTIE MODE (MENU1)

De EF-630 is uitgerust met drie licht distributie modi, met ieder haar eigen specifieke doeleinden.

[MENU 1] → **[LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL – (Default)	Normale licht distributie Basis licht distributie voor regulier gebruik.
GN 	Richtgetal gepriorizeerde licht distributie De flitsstraal hoek is versmald, maar een groter richtgetal is aanwezig.
DIFFUSE 	Egale lichtverdeling Voorkomt een abrupte afname van het flitslicht d.m.v. een bredere uitstroom.

TESTFLITS (MENU 2)

De EF-630 heeft twee testflits modi. Een van de modi kan worden toegekend aan de TEST knop

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 keer) 1TIME (standard)	Testflits Een eenmalige testflits wordt uitgevoerd.
MODELING MODEL	Instellicht Wanneer de TEST toets blijvend wordt ingedrukt, wordt gedurende ongeveer 1,5 seconde een stroom flitsjes uitgezonden. Hierdoor kan het schaduw effect op het onderwerp worden gecontroleerd.

PERSOONLIJKE MODE (MENU 3)

Het is mogelijk om twee persoonlijk instellingen te configureren. (Twee persoonlijke instellingen worden opgeslagen)

Opslaan en instellen van persoonlijke instellingen

1. Kies een Flits mode, Mode detail gebied, en setup menu naar eigen voorkeur.
2. Ga vanuit [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], selecteer [C1] of [C2] druk op de **OK** knop
3. Selecteer **[OK]** en bevestig uw keuze met de **OK** knop

Uw persoonlijke instellingen worden nu onder Custom mode

1.0-11M	ISO100 F4.0
MODE C1	TTL
ZOOM AUTO	50mm
$\frac{1}{2}$	-1.0

opgeslagen. (Afhankelijk van uw keuze worden de persoonlijke instellingen opgeslagen onder het **C1** of **C2** icoon.)

PERSOONLIJKE INSTELLINGEN VERWIJDEREN

1. Vanuit [Menu 3] → [CUSTOM MODE DELETE], selecteer [C1] of [C2] en druk op de **OK** knop.
2. Selecteer **[OK]** en bevestig met de **OK** knop.

AF HULPLICHT (MENU 4)

Het AF hulplicht zal automatisch aan gaan wanneer u scherpstelt op een onderwerp in donkere omgeving. Het effectieve bereik hiervan ligt tussen 0,7 tot 10 meter.

- Wanneer dit **AF hulplicht** niet nodig is, gaat u naar (MENU 4) (**AF ASSIST LIGHT**) (**OFF**).

LCD DISPLAY LICHT (MENU 4)

Het LCD display licht op zodra de flitser wordt aangezet. De AAN/UIT instellingen van het licht kunnen worden aangepast.

[MENU 4] → [LCD LICHT]

AUTO (Default)	Na 8 seconden gaat het licht automatisch uit. Zodra u een knopje indrukt zal het licht automatisch aan gaan.
8 SEC	Ongeacht er een knopje wordt ingedrukt, gaat het licht standaard na 8 seconden uit , gezien vanaf het moment het licht voor de eerste keer is aan gezet.
ON	Het licht brandt continu.

- Ongeacht de instelling kan het licht worden aangezet middels de  knop.

LCD DISPLAY AANPASSEN (MENU 4)

Het contrast en de helderheid van het LCD Display kunnen worden aangepast.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	HELDERHEID Pas de helderheid aan door op de <> knoppen te drukken.
CONTRAST	CONTRAST Pas het contrast aan door op de <> knoppen te drukken.

Om de aanpassingen te bevestigen selecteert u eerst [OK] om vervolgens op de knop **OK** te drukken.

Om de aanpassing te annuleren selecteert u [CANCEL] en bevestigt u uw keuze via de **OK** knop.

MEETEENHEID WIJZIGEN (MENU 4)

De meeteenheid in het status gebied kan worden gewijzigd.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Default)	Meter aanduiding
FEET	Voet aanduiding

FLITSER INFORMATIE (MENU 5)

De volgende gegevens kunnen worden gecontroleerd.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Model
SERIAL No.	Serienummer
VERSION	Firmware versie

INITIALISATIE VAN INSTELLINGEN (MENU 5)

Het is mogelijk om de flitser terug naar de fabrieksinstellingen te zetten.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

Om de reset door te voeren selecteert u [OK] en bevestigt u uw keuze via de **OK** knop.

- Persoonlijke instellingen worden verwijderd zodra u de flitser reset.

NUTTIGE INFORMATIE

FLITSKOP INSTELLINGEN

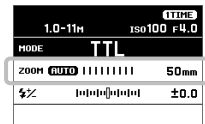
In de Auto stand wordt de flitskop automatisch in de juiste hoek gepositioneerd die bij de betreffende brandpunstaffstand past.

- De flitskop houdt rekening met de grootte van de beeldsensor van de camera, daarom kan de brandpunstaffstand op de flitser niet overeenkomen met die op de lens.
- Afhankelijk van de flits modus wordt de flitskop op een vaste positie ingesteld, ongeacht de brandpunstaffstand van de lens.

De flitskop instelling kan handmatig worden aangepast door op de <> knop te drukken in het mode detail gebied.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- Afhankelijk van de zoominstelling zal het richtgetal van de flitser veranderen.



Groothoek adapter

De flitser is voorzien van een ingebouwde groothoek adapter, waarmee het mogelijk is om met ultra groothoek-objectieven tot 17 mm te werken. Trek de groothoek adapter samen met het vanglichtpaneel uit de houder en draai het voor de flitskop. (Trek beiden voorzichtig en gelijkmatig naar buiten) Druk het vanglichtpaneel hierna terug in de houder. P.3-(7)

- Het **WP** icoon kan op het mode detail gebied verschijnen wanneer een groothoek adapter wordt gebruikt.

INDIRECT FLITSEN

Wanneer u de flitser naar een muur of plafond richt, zal het licht zich daar op verspreiden. Het teruggekaatste licht is zacht en heeft verminderde schaduwen.

De flitskop is onder de volgende hoeken in te stellen: Omhoog tot 90°
Naar links en rechts tot 180°
Zijwaarts naar beneden tot 7°P.3-(8)

- Tijdens het "Bouncen" zal het **BOUNCE** icoon in het statusgebied verschijnen.
- De opname zal een kleurzeem krijgen in dezelfde tint als het reflecterende oppervlak. Kiest u daarom een wit oppervlak voor weerkaatsing van de flits. Het effectieve bereik. Van de TTL AUTO instelling is variabel en afhankelijk van de grootte van het reflectie-oppervlak, de afstand van het onderwerp en andere factoren.

Close-up opnamen

Door de flitskop in de positie van 7° omlaag te kantelen kan het lager liggende deel van het beeld worden opgehelderd bij close-up opnames.

- Wanneer de flitskop in de neerwaartse positie van 7° is

gezet zal de afstandsindicatie in het status gebied knipperen.

Vanglichtpaneel

Deze flitser is uitgerust met een ingebouwd vanglichtpaneel, waardoor een levendige expressie aan het onderwerp kan worden gegeven wanneer de "Bounce Flash Mode" is geactiveerd. Trek de groothoek adapter samen met het vanglichtpaneel uit de houder en draai het voor de flitskop. (Trek beiden voorzichtig en gelijkmatig naar buiten). Druk de groothoek adapter hierna terug in de houder P.3-(9)

- Voor een maximaal vanglicht effect richt u de flitskop 90 graden naar boven en maak foto's op korte afstand van het object. P.3-(10)

SYNC. TERMINAL

De EF-630 heeft een synchronisatie terminal waarmee de flitser verbonden kan worden met de camera door middel van een los verkrijgbare synchronisatie kabel.

Wanneer u fotografeert met een synchronisatie kabel, gebruik dan de [Manual] mode van de flitser.

Zorg ervoor dat in [Menu 2] de [ISO] en [F-getal] overeenkomen met die van de camera body. Daarnaast dient de afstand in het status gebied ongeveer overeen te komen met de afstand tussen het object en de flitser.

Waarschuwing!!

De S-TTL auto flits functie werkt niet zolang de sync terminal in gebruik is.

De synchro terminal van de EF-630 is compatibel met pluggen die een positieve centrale pin hebben en een negatieve

behuizing. Gebruik een optioneel omkeerkoord als de polariteit is omgewisseld.

VOORKOMEN VAN ONGEWENSTE WIJZIGINGEN

Zodra de aan/uit schakelaar in de [🔒] (lock) positie staat, worden alle functionaliteiten behalve de TEST knop en de 🔊 knop geblokkeerd. Dit voorkomt onvoorziene veranderingen in de flitser instellingen.

- Het 🔒 icoon verschijnt in het status gebied zodra de flitser is geblokkeerd.

BLIEP GELUIDEN

Sommige instellingen van de flitser worden aangeduid door middel van een geluid. Deze zijn goed te herkennen waardoor u niet op het LCD display hoeft te kijken.

Schakel de "Beep" schakelaar aan de voorzijde van de flitser op [ON]. (Zodra deze is ingeschakeld verschijnt het 🔊 icoon in het status gebied)

Een korte bliep	Het laden is voltooid
Twee korte bleeps	Flitslicht aanpassingen zijn OK
Een lange bliep (2 sec.)	Fout waarschuwing

TECHNISCHE GEGEVENS:

Type: Opschuifbare DDL Autozoom Electronenflitser

Richtgetal: 63 (ISO 100 / op 200mm zoompositie)

Stroombron: 4 "AA" alkaline batterijen of Ni-MH oplaadbare batterijen

Oplaadtijd: Ca. 3 sec. met alkaline batterijen, ca. 1.8 sec. met oplaadbare batterijen

Aantal flitsen: Ca. 120 met alkaline batterijen Ca. 185 met Ni-MH oplaadbare batterijen

Flitsduur: Ca. 1/700 sec. bij vol vermogen

Verlichtingshoek: 24mm – 200mm motorisch gestuurd

17mm met ingebouwde groothoekdiffusor

Gewicht / Afmetingen: 490 gram / 79.4mmX148.4mmX121.5mm



Het CE teken is een aanduiding voor de Europese Gemeenschap (EC).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf: 01805-90 90 85-0 Service: 01805-90 90 85-85

Fax(Service): 01805-90 90 85-35



Inzamelen van elektronische apparatuur voor huishoudelijk gebruik.

Inzamelen van elektronische apparatuur (van de toepassing in de EU en andere Europese landen met een gescheiden afval systeem).

Dit symbool geeft aan dat dit product niet als huishoudelijk afval verwerkt mag worden. Het dient derhalve ingeleverd te worden bij het afval scheidingsstation als KCA voor eventueel hergebruik. U helpt hierbij schade aan het milieu te voorkomen. Indien er in het apparaat makkelijk te verwijderen batterijen of accu's zitten dient u deze apart in te leveren als KCA bij het scheidingsstation. Het hergebruiken van materialen spaart het milieu. Voor meer informatie voor hergebruiken van dit product kunt u contact opnemen met uw lokale afval scheidingsstation of bij de winkel waar u het apparaat gekocht heeft.

简体中文

感谢您选购适马 EF-630 电子闪光灯，闪光灯拥有多样化的功能可以为您的拍摄提供乐趣。为了使您的闪光灯发挥出最佳性能，请仔细阅读此使用手册，也请参阅您所使用相机的说明书中有关闪光灯的章节，并且按照使用手册的要求进行操作。

安全警示

为避免闪光灯损坏，请在使用闪光灯前仔细阅读本说明书，并特别注意以下两个警示符号

 警告!!	使用本产品，忽视此警告可能导致严重伤害或其他后果
 注意!!	使用本产品，无视此警告可能会导致受伤或产品损坏
	此符号表示需要特别注意的地方
	此符号表示必须避免的行为

警告!!

-  闪光灯内置高压电路。为了避免触电或者烧伤，请不要尝试拆解或改装闪光灯。如果闪光灯外壳破裂或者损伤时，请不要触摸内部电路
-  使用闪光灯进行拍摄时请不要靠近眼睛进行闪光，否则会对眼睛造成伤害。尤其是拍摄婴儿时，请保

持 1m 以上的距离进行闪光。

-  当闪光灯连接在热靴上时，请不要触摸闪光灯的同步端子，这将有可能引发触电
-  请勿在易燃易爆的化学物品附近使用闪光灯，否则有可能引发火灾
-  请勿用手遮挡闪光灯的闪光部分或是接触皮肤进行闪光，否则可能会烧伤
-  请勿向汽车司机闪光，有可能导致交通事故

注意!!

-  请勿将此闪光灯使用在适马 sd/dp 系列以外的机身上，否则有可能会损坏其他相机机身的电路。
-  本闪光灯不具备防水能力，请勿在雨雪等恶劣环境中使用，进水可能会导致闪光灯的永久损坏
-  请勿在多尘，高温或者高湿度的环境下使用闪光灯，有可能导致闪光灯出现故障。
-  当闪光灯从寒冷的环境进入温暖的环境时，水汽有可能在闪光灯内部凝结。为避免产生故障，请将闪光灯放入密封袋中进行保温。
-  请勿把闪光灯放在橱柜或者抽屉里，因为里面放置的驱虫剂等化学品可能会对闪光灯造成损伤
-  不要用化学清洁剂擦拭闪光灯，否则可能会造成闪光灯的变色或变形。



闪光灯如果长期放置不使用的话，请定期对闪光灯进行充放电操作，以防止闪光灯性能劣化



不要让衣服覆盖闪光灯头，因为有可能导致火灾

关于电池

此闪光灯使用四节“AA”型镍氢充电电池或碱性干电池。

- 注意清洁电池触点，保证正常接触
- 请勿将新旧或者不同型号/规格的电池混合使用，否则可能会导致漏液、发热、破裂甚至爆炸
- 请勿拆解电池，或者将电池丢入火中或者水中，有可能导致爆炸。不要对干电池进行充电
- 当闪光灯长时间不用时，请取出电池以避免电池漏液导致损坏。
- 在进行户外拍摄或者长途旅行时，建议携带备用电池
- 请勿使用 AA/R6 锂电池，有可能导致闪光灯故障
- 请根据当地的环保法案的要求处理废弃的电池

各部分的名称（请参照第二页）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 闪光灯头 | 10. 电源开关 |
| 2. 无线信号接收口 | 11. 闪灯/TEST 按钮 |
| 3. 提示音开关 | 12. OK OK 按钮 |
| 4. AF 对焦辅助灯 | 13. 导航键 |
| 5. 电池仓盖 | 14. 热靴锁定拨杆 |
| 6. 热靴接口 | 15. 拨轮 |
| 7. 液晶屏 | 16. 同步接口 |
| 8. 背光开关 | 17. 眼神光板 |
| 9. MENU 菜单按钮 | 18. 散光板 |

导航键 (13)

此说明书中导航键的各个位置都以 **▲/▼/◀/▶** 表示。



- 导航键使用方法如下：向上或向下请按**▲/▼**，向左或向右请按**◀/▶**。

兼容相机

此闪光灯仅兼容以下型号的相机

sd Quattro 系列, SD1/SD1 Merrill,
dp Quattro 系列, DP Merrill 系列

- 装置在部分相机上时某些功能不可用，敬请查阅末页的功能对应表【表 1】。

电池的装入方法

1. 关闭电源开关，打开电池仓盖。 P.3-(1)
2. 按照电池仓盖上的指示，按照正确的正负极方向装入电池。 P.3-(2)
3. 关闭电池仓盖。 P.3-(3)
4. 打开电源开关，当闪光灯的电能可以进行闪光拍摄时，状态提示灯会变为绿色闪烁状态，。当闪光灯电量完全充满时，状态提示灯会变为红色。

注意 !!

当电池电量低下时， 图标会显示在液晶屏幕上。当电池电量下降到 0 时，有图图标会显示在液晶屏幕上，无法再进行正常操作，请更换新电池后再继续使用。



错误警告

当 **ER** 图标显示在液晶屏幕上时，表示闪光灯可能存在故障，请重置电源开关或者检查电池，如果该提示仍在

的话，请联系我们的售后进行处理。

自动关闭电源

为了节省电池电量，当超过 5 分钟不使用闪光灯时，闪光灯电源将自动关闭。如要再次使用，半按快门或测试按钮重新启动电源。当闪光灯在 WL SLAVE 模式和 S-FL SLAVE 模式下，自动关闭电源功能将不可用。

安装到相机机身的方法

1. 关闭电源开关
2. 确认热靴锁定拨杆的位置处于非锁定状态「UNLOCK ►」 P.3-(4)
3. 将闪光灯插入到相机的热靴上，直到卡住后，拨动热靴锁定拨杆至“锁定”「◀LOCK」位置 P.3-(5)

当要取下闪光灯时，请先拨动热靴锁定拨杆至解锁「UNLOCK ►」，然后再取下闪光灯

注意 !!

如果热靴锁定拨杆的位置没有处于解锁状态就强行取下闪光灯，有可能会造成闪光灯或者相机热靴损坏

设置闪光灯灯头

在常规拍摄中，闪光灯灯头要面对前方 P.3-(6)

注意 !!

打开闪光灯电源后,如果出现 **BOUNCE** 图标,则表示闪光灯灯头位置不正确,请进行调整

连续拍摄时的注意事项

防止闪光灯过热,不要让你的闪光灯连续闪光超过以下限制,并让闪光灯闲置 10 分钟以上。

模式	最大连续发光次数
TTL, M(1/1, 1/2)	20 次
M(1/4, 1/8)	25 次
M(1/16~1/32)	40 次
MULTI	10 循环

注意 !!

如果  图标出现在显示屏上,表示闪光灯电路过热,请停止使用一段时间,直到该图标消失

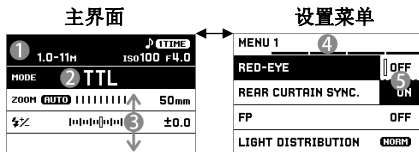
设置的基本步骤

本节介绍设置的基本步骤,EF-630 的大部分操作可以通过以下基本设置来进行。

注意 !!

当电源开关处于「」锁定位置时,设置不能更改,一定要设置为【ON(打开)】才能进行更改

可以在显示屏上通过MENU按钮在主界面和设置菜单画面之间进行切换。



改变闪光模式, 设置各个闪光模式的详细

增加闪光拍摄的可选功能, 并设置闪光的基本调节

- ① 状态显示区域
- ② 闪光模式
- ③ 模式详细区域

- ④ 标签项
- ⑤ 子菜单

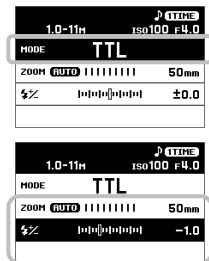
主屏幕的基本操作

选择闪光模式

通过使用  上下按钮选择闪光模式/区域, 并使用  左右按钮或者拨盘来改变闪光模式

设置闪光模式的详细

通过使用  上下按钮来选择模式详细区域, 并通过  左右按钮或者拨盘来改变设定值



设置菜单的基本操作

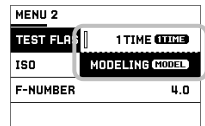
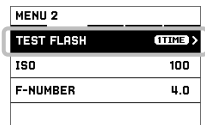
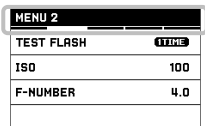
可以通过拨轮在标签页之间进行切换。(当光标定位在标签页,您可以在<>按钮切换选项卡。)

设置菜单

用 $\diamond$ 按钮来选择菜单项,按 OK 键进入子菜单项(在某些项目,可能会打开特殊的对话框)

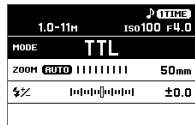
设置子菜单

使用 $\diamond$ 按钮来选择设置项目,按 $\triangleright$ 键或 OK 键来应用新设置(按 $\blacktriangleleft$ 键可在不改变原设定的情况下关闭子菜单)



S-TTL 自动调光

这是一种曝光方法,相机预先测量需要发射光线的量,输出合适的闪光量,可以讲曝光控制在最佳水平,可以使用此模式进行一般照片的拍摄。



1.设置闪光模式为【TTL】

2.确认主体在拍摄范围内,检查闪光灯显示屏的距离提示

3.通过指示灯确认闪光充电状态,做好准备后开始拍摄

当正确地进行拍摄时, OK 标记在状态区中将会显示约 5 秒。当该标志不显示时,进光量可能不够或者太多,请改变参数再进行拍摄

快门速度和光圈

在不同曝光模式下的快门速度和光圈之间的关系如下

	快门速度	光圈
P	在同步闪光速度 (*1)~安全快门 (*2)之间进行自动设定。	自动设定
A		可自由设定
S	可在闪光同步速度以下 (*1)进行自由设定	自动设定
M		可自由设定

(*1).当 FP 闪光设置为开,闪光灯高速同步的速度可能会有限制

(*2)快门速度会根据所使用的镜头焦距不同而有所变化此外,当相机的闪光灯模式设置为【慢速同步】时,闪光灯低速同步的速度可能会有所限制

注意 !!

当拍摄时,如果快门速度和光圈值一直闪烁,曝光可能

是不匹配的

闪光输出补偿

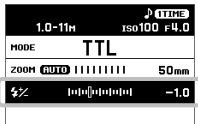
在不影响背景曝光的前提下，对闪光灯的输出光量做调整。

闪光模式：可以使用【TTL】

在 TTL 闪光模式详细的菜单里设置闪光补偿的量（补偿量为 1/3EV 步进，可以设置区间为±3EV）

- 相机和闪光灯同时设定了曝光补偿的情况下，根据所使用相机的型号算法会有不同。

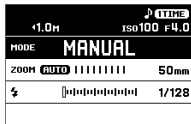
sd Q 系列相机	其他对应的相机
计算两者的补偿值进行曝光	优先使用机身的设定值



手动闪光

可以设置任意的闪光量

1. 设置闪光模式为【MANUAL】（手动）
2. 设置模式详细中的闪光量（有效设定范围 1/128 到 1/1，可以以 1/3EV 步进设定）



3. 确认充电状态，做好准备开始拍摄

显示部分，会计算并显示适当曝光量的距离。如果相机的光圈快门变化，要根据拍摄距离改变设置量来保证合适的曝光

使用以下公式来计算手动闪光时的适当曝光量
闪光指数(GN) / 拍摄距离 (m) = 光圈值 (F)

有关 GN 指数的含义，请参考文末【表 2】

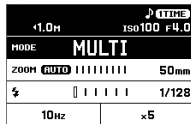
频闪拍摄

在闪光灯闪光时，快门不断打开记录图像，在一张照片中展示动态。

请使用相机的手动曝光模式（M 档）

1. 设置闪光模式为【MULTI】（频闪）

2. 在闪光模式的详细设置区域，可以设置闪光量、闪光间隔【Hz】（例：10 Hz = 1 秒钟闪光 10 次），闪光次数“x”



3. 根据【闪光次数】÷【闪光间隔】设置较低的快门速度
4. 确认充电状态，准备拍摄

连续闪光次数会根据闪光量和闪光间隔的组合设定有所不同。请参照文末【表 3】

无线引闪摄影

当在远离相机的位置使用闪光灯,可以扩大创作可能性。
EF-630 可以由相机的内置闪光灯或者一个单独的主闪光灯遥控

无线 TTL 闪光

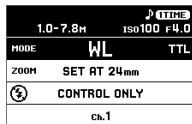
无线 TTL 模式,相机可以根据设置的参数输出合适的闪光量

当使用没有内闪的相机时 (sd Quattro 等)

必须要使用两个 EF-630 (适马接口) 闪光灯, 一个作为主闪光灯连接到相机, 另一个可以被引闪

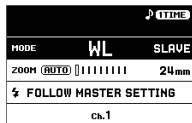
主闪光灯的设置

1. 设置闪光模式为【WL TTL】
2. 如果需要的话, 设置频道 (在模式详细区域内选择 Ch.1~Ch.3)



从属闪光灯的设置

3. 设置闪光模式为【WL SLAVE】
4. 在模式详细的区域, 设置与主闪光灯相同的频道
5. 设置好从属闪光灯, 确认充电完成后开始拍摄。(AF

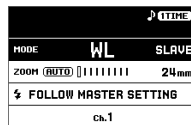


对焦辅助灯闪烁表示从属闪光灯充电完成。)

- 请将闪光灯设置在距离被摄体 0.5m~5m, 将相机设置在距离被摄体 1m~5m 的范围内。
- 主闪光灯仅仅是为了引闪从属闪光灯而发光, 不会影响正常拍摄。
- 远程使用闪光灯时可以装载附带的迷你底座。迷你底座也配备可以装到三脚架上的锁孔。.
- 可以和 EF-610 DG SUPER SA-STTL 进行组合使用, 此时需将 EF-610 DG SUPER 作为主闪光灯。(主闪光灯的设定方法请参考 EF-610 DG SUPER SA-STTL 的使用说明书。)

当使用带内闪的相机时 (SD1/SD1 Merrill 灯)

1. 将相机的内置闪光灯设置为无线闪光模式, 按需设置频道 (机身上的设定请参考相机的使用说明书)
 2. 设置闪光模式为【WL SLAVE】
 3. 在模式详细区域, 设置为同一频道
 4. 设置好从属闪光灯, 确认两个闪光灯的充电状态, 做好准备, 然后开始拍摄
- 内置闪光灯仅仅是为了引闪从属闪光灯而发光, 不会影响正常拍摄。



无线手动闪光

和手动闪光一样，无线闪光模式也可以使用手动设置闪光输出。在这种情况下，需要使用两台 EF-630（适马接口）

主闪光灯设置

1. 设置闪光模式到【WL MANUAL】

2. 根据从属闪光灯和被摄体的距离，参考状态区域内的距离标尺，尽可能使两者一致，在模式详细区域内设置闪光输出量

◀1.0m		TIME
ISO100 F4.0		
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
1/128	1/128	
Ch.1		

3. 根据需要设置接收频道（在模式详细区域内选择 Ch.1~Ch.3）

从属闪光灯设置

4. 设置闪光模式到【WL SLAVE】

5. 在模式详细的区域内，设置与主闪光灯相同的频道

6. 设置好从属闪光灯，确认充电完成后开始拍摄。

- 可以和 EF-610 DG SUPER SA-STTL 进行组合使用，此时需将 EF-610 DG SUPER 作为主闪光灯。（主闪光灯的设定方法请参考 EF-610 DG SUPER SA-STTL 的使用说明书。）注意使用此组合时，即使将

TIME	
MODE WL SLAVE	
ZOOM (AUTO) 1/128	24mm
FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1	

闪光输出量设置到接近最大的情况下，依然有可能出现曝光不足的情况。

从属闪光

EF-630 拥有一项功能，可以被另外一只闪光灯引闪，虽然无法进行自动调光拍摄，但是可以方便使用者调节闪光灯和机身的位置以及距离

普通的引闪拍摄

感应到装载在机身上的闪光灯闪光，离开相机一定距离的 EF-630 可以被同步引闪。

- 相机的内置闪光灯由于预闪光可能造成误操作，是无法进行同步引闪的

将主闪光灯设置为手动模式，将闪光灯输出功率设置为 1/16 设置相机的曝光模式为 M 档，快门速度为 1/30 或者更短，光圈和 ISO 为任意值

1. 将从属的 EF-630 闪光灯的闪光模式设置到【S-FL NORMAL】

TIME	
MODE S-FL NORMAL	
ZOOM (AUTO) 1/128	24mm
1/128	1/128
ISO100	F4.0

2. 在模式详细的区域，设置 ISO 和光圈值以匹配相机设置
3. 在模式详细区域调整闪光量，使从属闪光灯和主体之间的距离大致相同

4. 确认充电状态后开始拍摄。

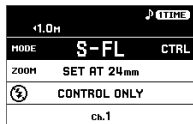
指定从属闪光灯

如果使用两个或两个以上的 EF-630 闪光灯，设置在同一频道的闪光灯可以进行同步闪光，一个闪光灯作为主闪光灯，其他闪光灯则作为从属闪光灯

设置相机的曝光模式，快门速度为 1/30 秒或者更短，光圈和 ISO 为任意值

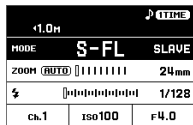
设置主闪光灯

1. 设置闪光模式为【S-FL CTRL】
2. 按照需求设置频道（在模式详细区域内选择 Ch.1~Ch.3）



设置从属闪光灯

3. 设置闪光模式为【S-FL SLAVE】
4. 在模式详细区域内，设置通道以匹配主闪光灯
5. 在模式详细区域内，设置 ISO 和光圈值，以匹配控制闪光
6. 在模式详细区域内调整闪光输出量，使从属闪光灯和主体间的距离大致相同，在状态区域内的距离是相通的



7. 确认充电状态后开始拍摄。

- 可以和其他接口的 EF-630、EF-610 DG SUPER SA-STTL 进行组合使用，（EF-610 DG SUPER 的设定方法请参考 EF-610 DG SUPER 的使用说明书。）

可选功能

本节介绍了可从设置菜单里添加和设置的功能

防红眼闪光（MENU 1）

当用闪光灯拍照时，有时人的眼睛会产生反射，并会在照片上出现“红眼”。如果你使用“防红眼”功能，闪光灯会预先闪 1 秒，然后释放快门，以减少“红眼”的效果。

防红眼闪光可以在 P,A,S,M 及其他拍摄模式下使用
可以使用【TTL】，【MANUAL】，【WL】等闪光模式

1. 进入【MENU 1】(菜单 1) 选择【RED-EYE】(防红眼闪光) 设置为【ON】(开)
2. 返回主显示界面，画面中会出现红眼👁️标志

注意 !!

不支持防红眼闪光的闪光模式无法将该功能设置为【开】

后帘同步 (MENU 1)

在快门关闭前闪光,移动主体的光线轨迹可以被拍摄到,可以用来表现主体的自然运动

可以在 P,A,S,M 及其他拍摄模式下使用

可以使用【TTL】、【MANUAL】、【WL】等闪光模式

1. 进入【MENU 1】(菜单 1)选择【REAR CURTAIN SYNC】(后帘同步)设置为【ON】(开)
2. 返回主显示界面,画面中会出现后帘同步标志

注意 !!

不支持后帘同步的闪光模式无法将该功能设置为【ON】(开)

FP 闪光 (MENU 1)

FP 闪光模式在快门打开的这段时间内会持续闪光,因此,你可以使用比同步速度更快的快门速度进行拍摄

可以在 P,A,S,M 及其他拍摄模式下使用

可以使用【TTL】、【MANUAL】等闪光模式

1. 进入【MENU 1】(菜单 1)选择【FP】设置为【ON】(开)
 2. 返回主显示界面,画面中会出现 FP 闪光标志
- 在【TTL】模式下,确认主体和闪光灯之间的拍摄距离

后再开始拍摄

在【MANUAL】模式下,调整光圈后,才开始拍摄
使用 FP 闪光时,闪光灯的 GN 指数会根据快门速度而变化,闪光范围会有所减小。GN 指数的含义请参考文末【表 4】。

注意 !!

不支持 FP 闪光模式无法将该功能设置为【ON】(开)

分光模式

EF-630 有三种分光模式,可根据使用目的选择

【MENU 1】(菜单 1) → 【LIGHT DISTRIBUTION】(分光模式)

NORMAL — (Default)	普通分光模式 一般拍摄的光分配模式
GN 	GN 指数优先分光模式。 周边的光量会有所下降,可以获得更高的 GN 指数。
DIFFUSE 	平均分光模式 防止边缘的光的量减少提供更均匀的光分配。

测试闪光 (MENU 2)

EF-630 有两种测试闪光模式。测试闪光模式可以分配给测试按钮。

【MENU 2】(菜单 2) → 【TEST FLASH】(测试闪光)

1 TIME 1TIME (默认)	测试闪光 进行常用的测试闪光
MODELING MODEL	造型闪光 当测试按钮被按下时,连续闪烁大约 1.5 秒,这样就可以检查该主体的阴影。

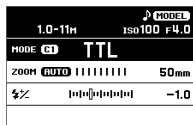
自定义模式 (MENU 3)

可以存储用户的自定义设置(支持 2 套设置参数)

存储和调出自定义设置

1. 设置闪光模式、模式详细区域和设置菜单内容。
2. 从【MENU 3】(菜单 3) → 【CUSTOM MODE SETTING】(自定义模式设置), 选择【C1】或【C2】, 按下OK按钮。
3. 选择【OK】(确定)并按下OK按钮

注册的内容被添加到存储模式作为自定义模式。(自定义模式是在闪光模式区内用 **C1** 或 **C2** 标记。)



删除已注册的自定义模式

1. 从【MENU 3】(菜单 3) → 【CUSTOM MODE DELETE】(自定义模式删除), 选择【C1】或【C2】, 按下OK按钮。
2. 选择【OK】(确定)并按下OK按钮。

AF 对焦辅助灯 (MENU 4)

在黑暗的地方进行拍摄时,自动对焦辅助灯将自动打开,自动对焦辅助光的有效范围约从 0.7 到 10 米。

- 当不需要使用对焦辅助灯时,可以在【MENU 4】(菜单 4) → 【AF ASSIST LIGHT】(AF 对焦辅助灯) → 【OFF】(关闭)。

液晶屏背光 (MENU 4)

当电源打开时,液晶屏会点亮。背光的开/关的设置可以改变。

【MENU 4】(菜单 4) → 【LCD LIGHT】(LCD 背光)。

AUTO (默认)	不进行操作 8 秒后,背光将自动关闭。 按下任意按钮,光会自动打开。
8 秒	不管按钮是否被按下,8 秒后背光将会自动关闭
常亮	背光将保持点亮

- 无论如何设置,可以按背光按钮打开背光

调整液晶屏 (MENU 4)

液晶屏的对比度和亮度可以调节

【MENU 4】(菜单 4) → 【DISPLAY SETTING】(显示设置)

亮度	亮度 使用<>按钮调整亮度到所需的水平。
对比度	对比度 使用<>按钮调整对比度到所需的水平。

当完成调整, 选择【OK】(确定)按钮, 按下 **OK** 键确认。
当取消调整, 选择【CANCEL】(取消)按钮, 按下 **OK** 键确认。

改变距离标记的单位 (MENU 4)

在状态区域的距离标记可以被改变

【MENU 4】(菜单 4) → 【M / FEET】

M (默认)	米
FEET	英尺

信息显示 (MENU 5)

可以确认以下信息

【MENU 5】(菜单 5) → 【INFORMATION】(信息)

MODEL	模式名称
SERIAL No.	序列号
VERSION	固件版本

初始化设置 (MENU 5)

可以将闪光灯的设置恢复到出厂状态。

【MENU 5】(菜单 5) → 【RESET SETTINGS】(初始化设置)

要初始化设置, 选择【OK】(确定)并按下**OK**按钮。

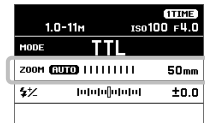
- 当设置复位后, 自定义模式存储的内容将被删除。

其他便利功能

照射角度设置

当使用闪光灯设置(**AUTO**)时, 闪光灯自动设置为最佳镜头焦距的最佳角度。

- 闪光灯头按照相机图像传感器的大小来测算焦距, 因此不同镜头显示的焦距可能会不同
- 根据设置的闪光模式, 某些情况下无论所使用何种焦距的镜头, 照射角度都会被固定。



照射角度可以手动改变。在模式详细区域按<>进行选择。

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- GN 指数会根据照射角发生变化。

散光板

EF-630 闪光灯提供了一个可以覆盖最广 17mm 超广角的散光板，将散光板从闪光灯灯头处拉出直到卡住为止(请勿强硬拉出)，请将眼神光板放回原位。P.3-(7)

- 散光板的使用过程中，模式详细区域的照射角处会显示 **MP** 标记。

跳闪

将闪光灯的灯头朝向天花板或墙壁进行闪光，利用光的扩散，可以获得阴影较少的光线柔和的照片。灯头可以在上方 90 度、下方 7 度、左右 180 度的范围内进行设定。P.3-(8)

- 在使用跳闪的过程中状态区域会显示 **BOUNCE** 标记。
- 为了使跳闪的反光可以覆盖全部照片，尽量选择白色的背景。此外，根据跳闪使用的反射面状况和拍摄距离等条件，能够进行闪光补偿的范围也会发生变化。

近距离摄影

将闪光灯灯头设置到下方 7 度的位置，在近距离摄影的时候可以使闪光覆盖下方几乎所有的范围。

- 在下方 7 度的位置使用跳闪时，状态区域的距离标识会闪烁。

眼神光板

EF-630 闪光灯内置有使用跳闪时，让被摄人物眼中展现眼神光的眼神光板将散光板和眼神光板拉出到最大(请勿强硬拉出)，将散光板塞回原位。P.3-(9)

- 跳闪角度设置为向上 90 度，可以在近距离拍摄时获得比较好的效果。P.3-(10)

同步接口

EF-630 配备了同步接口，可以使用市售的同步数据线和相机接续。

使用同步数据线接续状态下的拍摄，请使用【**MANUAL**】闪光模式。

在【**MENU 2**】(菜单 2)中将【**ISO**】【**F-NUMBER**】(光圈值)设置到和相机相同，尽可能将状态区域的距离标识和闪光灯距离被摄体的距离保持一致，在模式详细区域中对闪光量进行调整。

注意 !!

使用同步接口进行的闪光拍摄，无法使用 S-TTL 的自动调光功能。同步接口支持的数据线端口极性为中央的 pin 是正极，周边的 pin 是负极。如果需要使用逆向极性的

数据线请购买市售的转换接线。

误操作防止功能

电源开关拨到「」锁定位置时，测试按钮和按钮以外的操作都将被禁用，可以有效防止误操作。

- 锁定状态下状态区域会显示标记。

提示音

即使不看液晶屏，也可以通过提示音感知闪光灯的状态。
将闪光灯正面的提示音开关设置为【ON】。（状态区域会显示标记）

短音一次	充电完毕
短音两次	调光 OK
长音一次 2 秒	错误警告

规格

类型：套入式专用 TTL 自动变焦电子闪光灯
GN 指数：63(ISO100/m, 200mm 灯头位置)
电源：四节“AA”型镍氢充电电池或碱性干电池
回电时间：约 3 秒（碱性电池）：约 1.8 秒（镍氢充电电池）
闪光次数：约 120 次（碱性电池）：约 185 次（镍氢充电电池）
闪光时间：约 1/700 秒（全光输出）

闪光灯覆盖范围：24~200mm 马达控制(内置散光板可覆盖最长达 17mm 广角)

重量：490g 体积：(W)79.4mm x (H)148.4mm x (L)121.5mm

产品中有害物质的名称及含量

	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
	外壳 (金属部件)	×	○	○	○	○	○
	外壳 (树脂部件)	○	○	○	○	○	○
	基板部件	×	○	○	○	○	○
	光学部件	○	○	○	○	○	○
	机械部件	×	○	○	○	○	○

备注	本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。 ○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。 ×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。
 	10 或 5 图形含义：此标识是适用于在中国境内销售的电子讯息产品的环保使用期限。 此产品使用者只要遵守安全和使用上的注意事项，从生产之日起的十年或五年期间不会对环境造成污染，也不会对人身和财产造成重大影响。

制造商：株式会社适马 / SIGMA CORPORATION

日本神奈川县川崎市麻生区栗木 2-4-16 号

进口商：适马贸易（上海）有限公司

上海市长宁区淮海西路 570 号 第三栋 D205-207 单元 200052

售后服务：400-630-2000 代表：021-6090-9876 FAX:021-6090-6061

2016 年 8 月印刷

繁體中文

多謝閣下購買適馬 EF-630 (適馬用) 電子閃光燈。請詳細閱讀本說明書。本產品多樣化的功能會為閣下帶來更多的攝影樂趣。為要把本產品各功能發揮得淋漓盡致及增加攝影之樂趣，請將本說明書跟相機說明書一起閱讀，並妥為保存以便將來查閱。

注意

為避免構成任何損毀或受傷，於使用本產品前，請小心及詳細地閱讀本說明書，隨時留意下列注意標誌所述事項。請特別留意下列兩種注意標誌。

 警告!!	如忽略此警告標誌所述的情況下使用本產品可能構成嚴重受傷或其他危險結果。
 注意!!	如忽略此注意標誌所述的情況下使用本產品可能構成受傷或損毀。
	標誌代表警告及注意等的重要事項。
	標誌含有需要避免的動作。

警告 !!

-  本閃光燈內建高壓電路。為避免觸電或消傷，請不要嘗試拆開本閃光燈。如本閃光燈外殼爆裂或損毀，請不要觸摸內部的元件。
-  不要靠近眼睛觸發閃光燈，否則其強光可能對眼睛做成傷害。拍攝時，請保持閃光燈與臉部至少 1 米／3 呎的距離。

-  當閃光燈已安裝在相機的熱靴座後不要接觸相機的閃光燈同步接點。其高壓可導致觸電。
-  不要在易燃的氣體、液體及化學物品附近使用相機，否則可能引起爆炸。
-  請勿用手覆蓋閃光燈燈頭、或請勿靠近皮膚觸發閃光燈，這樣均能做成灼傷。
-  請勿向駕駛人仕直射閃光，因這會引發交通意外。

注意 !!

-  不要把本閃光燈使用在非 SIGMA sd/dp 系列自動對焦單鏡反光相機上，否則閃光燈可能對相機的電路構成損害。
-  本閃光燈並不防水。當在下雨、降雪或近水的地方使用相機及閃光燈時，請避免弄濕。因弄濕而損毀的電子元件一般都較難維修。
-  不要把閃光燈曝露在震盪、滿佈塵埃、高溫或高濕度的環境底下。在這些情況下可引致火警或令器材不正常工作。
-  當閃光燈遇到溫度驟變的環境，例如把閃光燈從寒冷的室外帶到溫暖的室內時，閃燈內部及外部會有積水。預防方法為先把閃光燈放入密封膠袋內才把它帶到溫度驟變的另一地方，直到閃光燈達到該地方之溫度方可使用。
-  不要把閃光燈存放在抽屜或廚櫃內，因其可能含有樟腦或其他殺蟲劑會對閃光燈做成不良影響。

- 不要使用天拿水、苯或其他清潔劑來抹掉閃光燈表面的塵埃或指紋。應使用微濕及柔軟的布。
- ▲ 如需要長時間存放，請選擇乾爽清涼的地方，最好有良好的通風系統。建議每個月都使用閃光燈來作數次閃光，以維持電容正常工作。
- 觸發閃光燈時，請勿用布料或衣物覆蓋閃光燈燈頭，因這可以引致火災。

關於電池

這閃光燈是使用了四個“AA”型 Ni-MH 鎳氫充電電池或鹼性乾電池。

- 為確保妥善的電力接觸，可清潔電池接點後才安裝電池。
- 為防止電池發生爆炸、洩漏或過熱，請使用相同品種及品牌之電池，不要把品種不同或新舊不一之電池混合使用。
- 不要把電池拆開、短路或暴露於水火當中，否則可能引起爆炸。
- 不要向非 Ni-MH 鎳氫充電電池的電池充電。
- 如需長時間閒置此閃光燈，請把電池取出，以防電池洩漏可能帶來的損毀。
- 建議於長途旅程或於寒冷的戶外進行拍攝工作前攜帶足夠後備電池。

- 請勿使用 AA/R6 鋰電池，這可能導致您的設備發生故障。
- 請遵守您所在社區之有關處理電池的所有準則，條款和規定。

各部位名稱 (第 2 頁)

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 閃光燈燈頭 | 10. “開關”掣 |
| 2. 無線信號接收窗 | 11. 充電完成提示燈/“閃光測試”按鈕 |
| 3. 音效開關鈕 | 12. OK 按鈕 |
| 4. 自動對焦輔助燈 | 13. 選擇器 |
| 5. 電池室蓋掩 | 14. 熱靴鎖撥杆 |
| 6. 熱靴座 | 15. 轉盤 |
| 7. 液晶顯示屏 | 16. 同步終端 |
| 8. 背光開關鈕 | 17. 反射片 |
| 9. MENU 按鈕 | 18. 廣角閃光擴散片 |

選擇器(13)

在這使用說明書，選擇器的每個位置以 ▲/▼/◀/▶ 來指示。



- 按鍵運用方法：操作向上及向下鍵：◀▶。操作向左及向右鍵：◀▶。

適配相機

此閃光燈適配以下相機：

sd Quattro series 系列, SD1/SD1 Merrill,
dp Quattro series 系列, DP Merrill series 系列

- 依據相機型號，可能不具備某些功能，請參閱此說明書末部的對應功能表[表 1]。

安裝電池

1. 把電源開關掣設置為[關閉]及滑動蓋掩打開電池艙。第 3 頁-(1)
2. 依據在電池艙內的指示，跟隨"+"和 "-" 電極的正確方向插入電池。第 3 頁-(2)
3. 關上電池艙蓋掩。第 3 頁-(3)
4. 把電源開關掣設置為[開啟]。當閃光燈的電量達到可以觸發閃燈，充電完成提示燈便會開始閃動綠光，而當閃光燈的電量是充滿，則會亮起紅光。

注意 !!

當電池的電量下降，標記會在液晶顯示屏上顯示。當電池的電量下降至零，顯示屏會在右方指示標記及閃光燈不能運作，請更換電池。



錯誤發生警告

當 **ER** 標記在液晶顯示屏上顯示，閃光燈可能發生事

故，請重設開關掣或檢查電池，如標記還在，請聯絡維修中心。

自動關閉電源

為節省電力，本閃光燈於停用大約 5 分鐘後便會自動關閉電源。此時可按“閃光測試”按鈕或半按相機上之快門釋放掣重新啟動閃光燈。但是，自動關閉電源並不能在 **[WL SLAVE]** 模式和 **[S-FL SLAVE]** 模式操作。

安裝到相機上

1. 把電源開關掣設置為[關閉]。
2. 確定熱靴鎖撥杆是在 **[UNLOCK ►]** 位置。第 3 頁-(4)
3. 把閃光燈插入相機熱靴直至停穩，拉動熱靴鎖撥杆到 **[◀LOCK]** 方向直至撥杆鎖好及發出咔一聲。第 3 頁-(5)

當移除閃光燈，拉動熱靴鎖撥杆到 **[UNLOCK ►]** 方向直至撥杆停定，同時繼續按熱靴鎖撥杆鍵，跟着拔出閃光燈。

注意 !!

如果拔出閃光燈時，熱靴鎖撥杆不是在 **[UNLOCK ►]** 位置，可能會損壞相機的熱靴及安裝的閃光燈的熱靴。

調節閃光燈頭

在正常拍攝，請設置閃光燈頭向前。第 3 頁-(6)

注意!!

把電源開關掣設置為[ON]後，如果有 **BOUNCE** 標記在狀態區域顯示，或距離顯示在狀態區域閃動，代表閃光燈頭不是正確設置向前方。

閃燈連發限制

為免閃燈因連續發射，而導致閃燈內部電路過熱，請讓閃光燈依隨下列表格所述操作，並務請在每組次組完成後，讓閃光燈休息至少 10 分鐘。

模式	閃光次數
TTL，手動（全輸出，半輸出）	連續 20 次
手動（1/4 輸出，1/8 輸出）	連續 25 次
手動（1/16 輸出，1/32 輸出）	連續 40 次
頻閃	循環 10 次

注意!!

萬一  圖標在顯示屏出現，閃光次數將被限制，以防止閃光燈的電路過熱，避免繼續使用閃光燈直至  圖標消失。

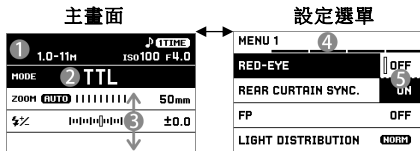
設定基本步驟

這部分描述基本設定。EF-630 的大部分設定可跟隨以下步驟輕鬆進行。

注意!!

當電源開關掣設在[](鎖定)位置，便不能更改設定，請確定是設置[開啟]以變更設定。

使用MENU鍵切換主畫面及設定選單。(當電源開關掣設置為[開啟]，則常會在主畫面開始。)



更改閃光燈模式及設定每個閃光燈模式的細節。

增加閃光燈拍攝的附加功能和設定閃光燈的基本條件。

① 狀態區域

④ 標籤區域

② 閃光燈模式區域

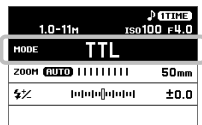
⑤ 副選單

③ 模式細節區域

在主畫面的基本操作

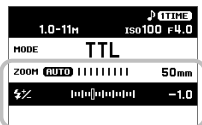
選擇閃光燈模式

使用  鍵選擇閃光燈模式區域和使用  鍵或轉盤變更閃光燈模式。



設定閃光燈模式的細節

使用  鍵選擇模式細節區域和使用  鍵或轉盤變更設定值。

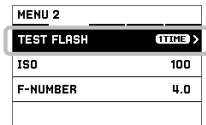
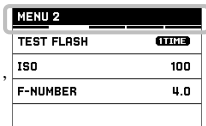


在設定選單的基本操作

轉動轉盤移動到下一個標籤。
(在標籤區域中選好設定標記後，
可利用<>鍵改動標籤。)

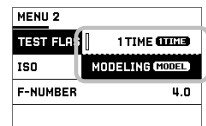
在設定選單：

使用◀鍵選擇選單項目，按OK
或▶鍵打開副選單或對話框。
(在某些項目，或會打開特別畫面
或對話框訊息。)



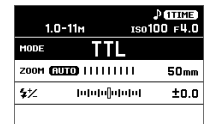
在設定副選單：

使用◀鍵選擇設定項目，按OK
或▶鍵去應用新設定。
(按◀鍵關閉副選單而不應用變更。)



自動曝光

這是使用 S-TTL 自動曝光的拍攝方法，是由相機測量預先發射的反射光，並控制閃光量到最佳水平，是給一般拍攝時使用的。



1. 設定閃光燈模式為[TTL]。
2. 在狀態區域檢查距離指示以確定主體是在拍攝範圍。
3. 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。

當正確應用閃光燈拍攝，OK 標記會在狀態區域顯示約 5 秒，而當不顯示 OK 標記，表示閃光次數不足或太多，請更改條件及再次拍攝。

快門速度和光圈

在不同相機曝光模式下，快門速度和光圈之關係如下：

	快門速度	光圈
P	從閃光燈同步速度(*1)自動設定相機較少震動(*2)的快門速度。	自動設定
A		可自由設定
S	可以從等同或低於閃光燈同步速度(*1)範圍內自由設定速度。	自動設定
M		可自由設定

(*1)當 FP 高速快門閃光同步設定為[開啟]，在高速方面所限制的快門速度將變為無效。

(*2)快門速度會依據接上的鏡頭的焦距而有所不同。

再者，當相機的閃光燈模式是設定為慢速同步，在慢速方面的快門速度限制將變為無效。

注意 !!

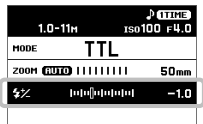
當拍攝時，快門速度和光圈值均在閃動，這可能是不合配的曝光，在這情況下，請在開始拍攝前更改拍攝條件。

閃光燈的曝光補償

補償只在閃光燈的光量並不影響背景的曝光時進行。

閃光燈模式：可以使用[TTL]。

在閃光燈模式[TTL]的模式細節區域設定補償量。(補償量有 1/3 級和最多以±3 級來設定。)



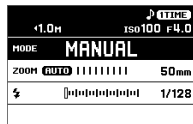
- 當曝光補償同時在相機和閃光燈設定，操作將因應不同相機而有所差別。

sd Quattro 系列	其他適配相機
合併了的數量將用於拍攝。	以相機方面的設定為優先。

手動閃光

可以自由設定閃光量。

1. 把閃光燈模式設為[MANUAL]。
2. 在模式細節區域設定閃光量。(設定範圍：1/128 至 1/1，設定幅度：1/3EV。)
3. 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。



在狀態區域裡的距離指示部分，計算及顯示適當的曝光

距離。即使採用相同的閃光量，該適當曝光距離會因應相機的感光度或光圈值的改變而有所不同。

當運用手動閃光，可以使用以下方程式計算適當曝光：閃光燈指數(GN) / 拍攝距離(m) = 光圈值(F)

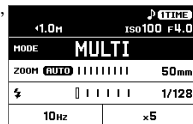
有關此閃光燈的閃光燈指數(GN)，請參閱在本說明書末部的[表 2]。

頻閃

在一張照片上要表現主體的動態，就如影像不斷重現，是可通過快門長開及使用閃光燈連續發射而拍成。

使用相機的手動曝光模式("M")。

1. 設定閃光燈模式為[MULTI]。
2. 在模式細節區域，設定閃光量，以 Hz 設定閃光間隔(例：10Hz= 每秒 10 次的發射頻率)，及以"x"設定閃光數量。
3. 設定低於"閃光數量"和"閃光頻率"的快門速度。
4. 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。



可以連續發射的閃光數量是取決於閃光量和閃光頻率的組合而有所不同，請參閱在本說明書末部的[表 3]。

相機與閃燈無線配合操控

當閃光燈離開相機，以遠距離方式操控，可以擴展創作。可以運用相機的內置閃光燈或另外的主導誘發燈 (Master Flash) 來遙控操作 EF-630。

無線 TTL 閃光

在無線 TTL 模式，相機會被控制，所以相機會自動被設定合適的曝光。

當使用沒有內置閃光燈的相機(sd Quattro 等)

需要兩部 EF-630s(適馬用)，裝載在相機上的閃光燈被稱為[主導誘發單位]，而離開相機的閃光燈被稱為[從屬被誘發單位]。

主導誘發單位設定

1. 將閃光燈模式設定為 [WL TTL]。
2. 如需要，設定頻道。(在模式細節區域選擇頻道 1 至頻道 3。)

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET AT 24mm
③	CONTROL ONLY
Ch.1	

從屬被誘發單位設定

3. 將閃光燈模式設定為 [WL SLAVE]。
4. 在模式細節區域設定跟主導誘發單位相同的頻道。

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1	

5. 設定發射的閃光。檢查充電完成否及開始拍攝。(充電完成由閃動自動對焦輔助燈作出通知。)

- 請將閃燈安放距被攝體範圍自 0.5m – 5m；而相機與被攝距離為 1m - 5m
- 主導誘發閃燈功能，祇是控制從屬被發閃燈，其閃光將不會將攝影效果造成影響。
- 請將「從屬被誘發燈」，安置在隨燈附贈的小型燈座上，安放在欲置的發放位置。
- EF-630 也可組合 EF-610 DG SUPER SA-STTL 一起使用，在這情況下，會以 EF-610 DG SUPER 為主導誘發單位。(請跟隨 EF-610 DG SUPER SA-STTL 使用說明書完成此設定。)

當使用設有內置閃光燈的相機(SD1/SD1 Merrill 等)

1. 設定相機的閃光燈設定為無線閃光燈模式，如有需要也設定頻道。(有關如何更改這些設定，請跟隨相機的使用說明書。)
2. 將閃光燈模式設定為 [WL SLAVE]。
3. 在模式細節區域設定跟相機相同的頻道。
4. 放好閃光燈拍攝位置，確保兩座閃光燈也完成充電準備發射，再開始拍攝。

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm
FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1	

- 發射相機的內置閃光燈，是為控制從屬被誘發單位，並不影響照片。

無線人動閃光

除手動閃光攝影外，以無線拍攝也可手動設定閃光燈輸出。在這情況下，便需要兩座 EF-630s（適馬用）閃光燈。

主導誘發單位設定

1. 將閃光燈模式設定為 **[WL MANUAL]**。
2. 在模式細節區域調節閃光燈輸出，讓從屬閃光燈與主體的真實距離吻合在狀態區域顯示的距離。
3. 如需要，設定頻道。（在模式細節區域選擇頻道 1 至頻道 3。）

1.0m		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
⚡	■■■■■■■■■■	1/128
ch.1		

SLAVE UNIT SETTING

4. 將閃光燈模式設定為 **[WL SLAVE]**。
 5. 在模式細節區域設定跟主導誘發單位相同的頻道。
 6. 放好閃光燈拍攝位置，檢查充電完成否及開始拍攝。
- EF-630 也可組合 EF-610 DG SUPER SA-STTL 一起使用，但在這情況下，會以 EF-610 DG SUPER 為從屬被誘發單位。（請跟隨 EF-610 DG SUPER SA-STTL 使用說明書完成此從屬被誘發單位之設定。）在這組合如果設定閃光燈輸出接近最高水平，曝光可

		1TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM (AUTO)		24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

能會不足。

離機無線從屬（SLAVE）閃光模式

EF-630 的功能包括通過反應另一閃光燈的閃光而發射，讓閃光燈可位於相機的遠距離進行容易和方便的拍攝。但是，不會在此模式下自動調節光的輸出。

普通從屬誘發閃光模式

主導誘發閃光燈安裝在相機上，可以被用來觸發與 EF-630 同步閃光，即使當它放置在相機的遠距離。

- 相機內置閃光燈的預閃操作錯誤，因此，不能同步閃光。

設定主導誘發閃光燈為手動模式及設定閃光燈輸出約為 1/16。

設定相機的曝光模式為 M、快門速度為 1/30 秒或更短，及任意設定光圈值和感光度。

1. 設定從屬的 EF-630 的閃光燈模式為 **[S-FL NORMAL]**。

1.0m		ISO100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM (AUTO)	■■■■■■■■	24mm
⚡	■■■■■■■■■■	1/128
ISO100	F4.0	

2. 在模式細節區域設定感光度和光圈值以吻合相機在這方面的設定。
3. 在模式細節區域調整閃光量，讓從屬閃光燈與主體的距離約相等於在狀態區域所顯示的。

4. 檢查充電完成否及開始拍攝。

主導多燈串聯從屬 (SLAVE) 無線控閃光模式

如使用兩支或以上的 EF-630 閃光燈，可用頻道控制同時誘發一支（或多支）閃光燈。在此模式下，其中一支閃光燈會擔當主導誘發，其他閃光燈則會作為從屬而被誘發。

設定相機的曝光模式為 M、快門速度為 1/30 秒或更短，及任意設定光圈值和感光度。

設定控制閃光燈(主導誘發)

1. 設定閃光燈模式為 [S-FL CTRL]。
2. 如需要，設定頻道。(在模式細節區域選擇頻道 1 至頻道 3。)

1.0M		TTIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
③	CONTROL ONLY	
Ch.1		

設定發射閃光燈(從屬被誘發)

3. 設定閃光燈模式為[S-FL SLAVE]。
4. 在模式細節區域設定頻道以吻合控制閃光燈所設定的。
5. 在模式細節區域設定感光度及光圈值以吻合控制閃光燈所設定的。
6. 在模式細節區域調整閃光量，讓從屬閃光燈與主體的

1.0M		TTIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
④	1/128	1/128
Ch.1	ISO100	F4.0

距離約相等於在狀態區域所顯示的。

7. 檢查充電完成否及開始拍攝。

- 在從屬模式，這閃光燈也可與 EF-630 及或 EF-610 DG SUPER SA-STTL 組合使用，成為另一套相機配件。(請參考 EF-610 DG SUPER SA-STTL 使用說明書有關此設定的詳細資料。)

另選功能

這部分描述可以從設定選單設定及增加的另選功能。

“紅眼”減免功能(MENU 1)

在使用閃燈拍攝人像景物照片時，主體眼睛瞳孔，常因燈光反影，而在照片中呈現“紅眼”現象；在啟動此“紅眼”減免功能後，閃燈將在快門開啟前約 1 秒，短促發射閃光，使主體的眼睛，經適應閃光情況下收縮眼瞳，減免“紅眼”出現。

可以在 P、A、S 和 M 的相機曝光模式下使用紅眼減免。可以在[TTL]、[MANUAL] 和 [WL] 閃光燈模式下使用。

1. 設定[MENU 1] → [RED-EYE] → [ON]。
2. 返回主畫面。(在狀態區域，會出現  標記。)

注意 !!

這功能不可在不兼容紅眼減免閃光的閃光燈模式設定為“ON”。

後簾同步 (MENU 1)

閃光燈會在快門關閉之前發射，便可捕獲移動主體背後的光和光之軌跡；因此，照片便能表達主體的自然動態。

可以在相機的 P、A、S 和 M 曝光模式下使用。
可以在[TTL]、[MANUAL] 和 [WL]閃光燈模式下使用。

1. 設定 [MENU 1] → [REAR CURTAIN SYNC] → [ON]。
2. 返回主畫面。(在狀態區域，會出現  標記。)

注意!!

這功能不可在不兼容後簾同步的閃光燈模式設定為"ON"。

FP 高速快門閃燈同步 (MENU 1)

當快門簾走動時，FP 高速快門閃光同步會保持發射，所以可以使用比同步速度更快的快門速度。

可以在相機的 P、A、S 和 M 曝光模式下使用。
可以在 [TTL] 和 [MANUAL] 閃光燈模式下使用。

1. 設定 [MENU 1] → [FP] → [ON]。
2. 返回主畫面。(在狀態區域，會出現  標記。)

在[TTL]模式，於拍攝前檢查在狀態區域顯示的距離以確定主體是在拍攝範圍內。

在[MANUAL]模式，於拍攝前調整光圈等設定，讓與主體的距離和在狀態區域顯示的距離吻合。

閃光燈指數會依據快門速度而改變。(請參閱最後頁表 4)

注意!!

這功能不可在不兼容 FP 高速快門閃光同步的閃光燈模式設定為"ON"。

配光模式 (MENU 1)

EF-630 設有 3 組配光模式，可依據不同需要來選擇。

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

NORMAL — (預設)	一般配光 為一般拍攝用途的基本配光。
GN 	閃光燈指數優先配光 閃光燈光束角減少但可得更大閃光燈指數。
DIFFUSE 	平散配光 防止減少四周光量，提供更均衡的配光。

測試閃光 (MENU 2)

EF-630 設有 2 組測試閃光模式，一組測試閃光模式可分配到測試鍵。

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME (1 次) 1TIME (預設)	測試閃光 執行單次測試閃光
MODELING (做型模擬) MODEL	做型模擬閃光 當長按測試鍵，約有 1.5 秒的連續發射，便可檢察主體的陰影。

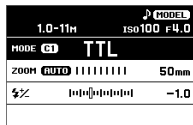
自定義模式 (MENU 3)

可以儲存及召回自定義設定。
(可儲存 2 系列的自定義設定。)

儲存及召回自定義設定

- 依要求設定閃光燈模式、模式細節區域、及設定選單內容。
- 從 [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING]，選擇 [C1] 或 [C2] 及按 **OK** 鍵。
- 選擇 [OK] 及 **OK** 鍵以確認。

以自定義模式，加註冊內容至閃光燈模式。(在閃光燈模式區域以 **C1** 或 **C2** 標記標示自定義模式。



刪除註冊自定第義模式

- 從 [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE]，選擇 [C1] 或 [C2] 及按 **OK** 鍵。
- 選擇[確認]及 **OK** 鍵以確認。

自動對焦輔助光 (MENU 4)

如在陰暗環境向主體對焦，自動對焦輔助光會自動開啟，自動對焦輔助光的有效範圍是約 0.7m 至 10m。

- 如不需要自動對焦輔助光，設定[MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF]。

液晶顯示屏燈光 (MENU 4)

當電源設置為開啟，液晶顯示屏會亮起，可變更燈光的開啟/關閉設定。

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (預設)	沒有操作 8 秒後，會關上燈光。而在燈光關掉時使用各鍵或轉盤，燈光會自動亮起。
8 SEC	無論是否按下各鍵或轉盤，燈光也將在開啟後 8 秒關上。
ON	燈光持續亮着。

- 不論任何設定，也可使用 **Fn** 鍵開關燈光。

液晶顯示屏調整 (MENU 4)

可以調節液晶顯示屏的對比度和亮度。

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	亮度 使用<>鍵調節亮度至所需水平。
CONTRAST	對比度 使用<>鍵調節對比度至所需水平。

當確定最終調整，選擇[OK]及OK鍵以確認。

當確定取消調整，選擇[CANCEL]及OK鍵以確認。

更改量度指示單位 (MENU 4)

可以更改在狀態區域的量度單位。

[MENU 4] → [M / FEET]

M (預設)	公尺指示
FEET	英尺指示

閃光燈資訊 (MENU 5)

可查閱以下資訊。

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	型號名稱
SERIAL No.	序號
VERSION	韌體版本

設定初始化 (MENU 5)

可重設閃光燈返回出廠時的設定。

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

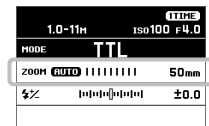
初始化設定，選擇[確認]及OK鍵以確認。

- 重設設定後，儲存的自定義模式會被刪除。

其他有用功能

閃光燈頭設定

當以**AUTO**(自動)使用閃光燈頭設定，閃光燈頭會自動設定對於鏡頭焦距最為理想的閃光燈涵蓋角度。



- 閃光燈頭會考慮到相機的影像感測體的大小，因此，閃光燈顯示的焦距可以跟鏡頭本身的有所不同。
- 根據閃光燈模式，閃光燈頭設定可能會不論鏡頭的焦距而整理。

閃光燈頭設定可以手動更改，在模式細節區域按<>鍵。

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- 閃光燈指數會隨燈頭涵蓋角度而改變。

廣角閃光擴散片

閃光燈內附置能覆蓋達 17mm 的超廣角閃光擴散片。設置：先將廣角閃光擴散片及反射片從閃燈頂部拉出，繼將其反下覆蓋閃燈發射表面(拉出光片請小心)，再將(11)反射片退回閃燈內 P.3-(7)

- 當使用廣角閃光擴散片時，在模式細節區域的閃光燈頭指示部分會顯示 **WP** 標記。

反射閃光

閃光燈向天花或牆身發射，可將光分散，為拍攝提供柔和的光及減少背影。

閃光燈頭可 90°向上、向下 7°、及 180°向左和向右。
第 3 頁-(8)

- 在反射閃光時，會在狀態區域出現 **BOUNCE** 標記。
- 請選擇白色作燈光反射面，其他顏色的表面，將令反射回來的光帶有偏色的色溫。因應不同之反射表面、主體距離等因素，閃燈在 TTL(Auto 模式)，其原本所示的有效覆蓋閃光距離將有所改動。

近攝/近距閃光

將閃光燈頭傾斜降至 7°位置時，畫面下部會有足夠亮度作特寫曝光。

- 當以向下 7°作反射閃光，在狀態區域的距離指示會閃動。

反射片

閃光燈內附置反射片，在進行燈光反射攝影模式時，它將閃光燈所發出的光線反射至被攝主體表面、同時在主體的眼睛上造出高光的效果。設置：首將廣角閃光擴散片及反射片從閃燈頂部拉出，(拉出光片請小心)，再將(12) 擴散片退回閃燈內 P.3-(9)

- 創立燈光反射攝影模式，適在近距進行，並將閃燈發射部翹起至 90 度°。 P.3-(10)

同步終端

設有同步終端，可使用市面上的閃光燈同步線連接相機。

當以同步線拍攝，請在[MANUAL]模式使用閃光燈。以[MENU 2] → [ISO][F-NUMBER]設定感光度及光圈值(F)來配合相機的設定，在模式細節區域調整閃光燈輸出直至在狀態區域顯示的距離與閃光燈和主體的距離相約。

注意 !!

如使用同步終端，S-TTL 自動閃光則不能運作。

EF-630 的同步終端適配在中央插腳設有正極(+)及在護板設有負極(-)的插頭。如果插頭是相反極性，可使用市面上的極性轉換線。

防止意外操作

設置開關掣為  (鎖上) 位置，除測試鍵及  鍵外，均不能操作其他功能，以防止錯誤更改閃光燈的設定。

- 當鎖上閃光燈，在狀態區域會顯示  標記。

音效

某些閃光燈狀態會以音效指示，這可不用觀看液晶顯示屏也可輕易察覺。

將在機身前方的音效掣設為 [開啟]。(當開啟後，在狀態區域會顯示  標記。)

一聲短鳴	指示完成充電。
兩聲短鳴	指示光調整確定。
一聲長鳴(2 秒)	錯誤警告。

規 格

類型：套入式專用 TTL 自動變焦電子閃光燈

閃燈指數：63 (ISO 100/M, 設置在 200mm。)

電 源：四枚 AA 型鹼性 或 四枚 AA 型 Ni-MH

回電時間：大約 3 秒 (鹼性電) 或大約 1.8 秒 (Ni-MH)

閃光次數：約 120 (鹼性電) 約 185 (Ni-MH)

閃光時間：約 1/700 秒 (全光輸出)

閃光燈覆蓋角度：24mm – 200mm 自動馬達控制 (使

用內置廣角擴散片可令覆蓋角度達至 17mm)

重量：490 克

尺寸：79.4mm (闊) X 148.4mm (高) X 121.5mm (長)

適馬(香港) 有限公司

香港北角渣華道 321 號柯達大廈 2 期 12 字樓 05 室
(維修服務中心於 21 樓 2105 室)

TEL: (852) 2573 6655 FAX: (852) 2838 1852



D53322

台灣總代理：恆伸照相器材有限公司

台中市南屯區大墩六街 133 號

TEL: 04-24727278 FAX: 04-24724630

한국어

시그마 EF-630 (SIGMA 용) 플래시를 구입해 주셔서 감사합니다. 플래시의 활용도를 높이고 최대의 성능을 이끌어 내기 위해서는 플래시를 사용하기 전에 플래시 사용 설명서와 카메라 사용 설명서를 함께 숙지해 주시기 바랍니다. 다 읽으신 후에는 반드시 사용자가 언제라도 볼 수 있는 곳에 보관해 주십시오.

사용상 주의점

손해나 부상을 미연에 방지하기 위해 플래시 사용전에 사용 설명서를 주의깊게 읽어 주시고 아래의 표시들에 주의를 기울여 주시기 바랍니다. 특히, 아래의 두가지 주의 표시에 특별히 주의하십시오.

	경고 !!	이 기호를 무시하고 잘못 취급하면 심각한 손상이나 위험한 결과를 초래할 수 있습니다.
	주의 !!	이 기호를 무시하고 잘못 취급하면 손상을 입을 수 있습니다.
		이 기호는 경고와 주의를 표시해주는 중요한 사항들을 알려줍니다.
		이 기호는 금지하는 사항들을 알려줍니다.

! 경고 !!

 플래시 내부에는 고전압 회로가 내장되어 있습니다. 감전이나 화상의 우려가 있으므로 분해, 개조등은 절대 금합니다. 만일 낙하등으로 손상된 경우에는 내부 부품에 손을 대지 않도록 주의하여 주십시오.

 플래시를 사람 눈 가까이에 대고 촬영하지 마십시오. 눈 가까이에서 플래시를 발광하면 시력 장애를 일으킬

위험성이 있습니다. 특히 유아를 촬영할 때에는 1m 이상 떨어져서 촬영하십시오.

 카메라의 핫 슈에 플래시를 접속하여 사용할때에는 카메라의 싱크로 터미널에 손을 대지 마십시오. 고전압으로 인하여 감전될 수 있습니다.

 화재 및 기타 위험이 있는 장소에서는 사용하지 마십시오. 그렇지 않을 경우, 화재나 폭발의 원인이 될 수 있습니다.

 화재의 위험이 있으므로 플래시 헤드 부분은 손으로 가리거나 피부 가까이에서 작동하지 마시기 바랍니다.

 사고의 위험이 있으므로 자동차 운전자 쪽으로 플래시를 작동하지 마시기 바랍니다.

! 주의 !!

 이 플래시는 시그마 sd / dp 시리즈 이외의 카메라에는 사용하지 마십시오. 그렇지 않을 경우, 카메라의 전자회로에 손상을 줄 수 있습니다.

 이 플래시는 방수 구조로 되어 있지 않습니다. 우천시나 물가에서 사용할 때에는 젖지 않도록 주의하여 주십시오. 물이 내부에 들어가면 고장의 원인이 됩니다.

 플래시와 카메라에 충격을 주지 마십시오. 먼지가 많은 장소나 고온다습한 장소에 방치해두지 마십시오. 고장이나 화재의 원인이 될 수 있습니다.

 급격한 온도 변화에 의해 플래시 내부에 결로가 발생할 수 있습니다. 추운 실외에서 따뜻한 실내로 들어올 때와 같은 경우에는 케이스나 비닐봉지에 넣어 주위 온도에 익숙해진 후에 사용하여 주십시오.

 방충제는 플래시에 나쁜 영향을 미칠 수 있습니다. 서랍장이나 장롱에 보관하지 마십시오.

 신나, 벤젠등의 유기용제로 닦지 마십시오. 변색, 변형등의 원인이 됩니다. 부드러운 천으로 닦아주십시오.



플래시를 장기간 보관할때에는 통풍이 잘 되는 서늘하고 건조한 곳에 보관하십시오. 플래시의 성능을 유지시키기 위해서는 매달 플래시 발광 테스트를 수회 실시해 주시기 바랍니다.



화재의 위험이 있으므로 플래시 헤드 부분이 천이나 옷 등으로 덮혀있을 경우 작동하지 마십시오.

배터리에 대하여

이 플래시는 AA 형 니켈 수소 전지 또는 알칼리 건전지 4 개를 사용합니다.

- 배터리나 배터리 커버의 접점은 항상 깨끗한 상태를 유지해 주십시오.
- 배터리의 폭발, 전지액 누설, 과열등을 방지하기 위해 동일한 브랜드, 동일한 타입의 AA 배터리 4 개를 사용해 주십시오. 배터리 브랜드나 타입을 혼합해 사용하지 마십시오.
- 배터리를 분해하거나 불속, 물속에 던지거나, 단락등은 파열의 우려가 있으므로 절대 금합니다. 니켈 수소 전지 이외는 충전하지 마십시오.
- 플래시를 장기간 사용하지 않을때는 배터리 액이 누설되지 않도록 배터리를 꺼내어 보관해 주십시오.
- 오랜 여행이나 추운 지역에서 촬영을 할때에는 여분의 배터리를 준비해 두십시오.
- 리튬-이온 배터리 AA/R6 를 사용하지 마십시오. 기기의 오작동을 유발할 수 있습니다.
- 배터리 폐기에 관한 모든 규정, 규칙 및 법률을 따르십시오.

각부의 명칭 (P.2)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 플래시 헤드 | 10. 전원 스위치 |
| 2. 무선 신호 수신 창 | 11. 준비 표시등/TEST 버튼 |
| 3. 신호음 스위치 | 12. OK 버튼 |
| 4. AF 보조광 | 13. 셀렉터 |
| 5. 배터리 커버 | 14. 슈 잠금 레버 |
| 6. 슈 | 15. 다이얼 |
| 7. LCD 패널 | 16. 싱크 단자 |
| 8. 백라이트 스위치 | 17. 캐치 라이트 패널 |
| 9. MENU 버튼 | 18. 와이드 패널 |

셀렉터 (13)

이 사용 설명서에서는 셀렉터의 각 포지션이 **^** / **∨** / **<** / **>** 로 표시되어 있습니다.



- 상하로 조작하는 경우는 **^** 버튼, 좌우로 조작하는 경우는 **<** **>** 버튼으로 사용합니다.

호환 카메라

이 플래시는 다음 카메라와 호환 가능합니다.

sd Quattro 시리즈, SD1/SD1 Merrill,
dp Quattro 시리즈, DP Merrill 시리즈

- 사용하시는 카메라에 따라 일부 기능을 사용할 수 없습니다. 매뉴얼 마지막 부분의 기능 대응표 [Table 1]을 참조하십시오.

LOADING THE BATTERIES 배터리 장착

1. 전원 스위치를 “OFF”로 하여 배터리 투입구 커버를 밀어 엽니다. P.3-(1)
2. 배터리 투입구 안쪽에 있는 표시에 따라 “+”와 “-” 방향을 맞춰 넣습니다. P.3-(2)
3. 배터리 덮개를 닫습니다. P.3-(3)
4. 전원 스위치를 “ON”으로 합니다. 플래시 건이 발광 가능한 상태까지 충전되면 준비 표시등이 녹색으로 깜박이고 완전히 충전되면 빨간색으로 점등됩니다.

주의 !!

배터리 용량이 부족하면 액정 패널에  마크가 표시됩니다. 배터리 용량이 완전히 방전되면 오른쪽 그림과 같은 화면으로 전환되고 작업을 할 수 없게 됩니다. 새로운 배터리로 교체하십시오.



오류 경고

ER 표시가 LCD 패널에 표시 된 경우, 플래시에 어떤 이상이 발생할 수 있습니다. 일단 전원 스위치를 끄거나 배터리를 확인하시기 바랍니다. 그래도 표시가 계속되면 고객 지원팀에 문의하십시오.

오토 파워 오프

배터리 소모를 줄이기 위해 플래시가 약 90 초동안 작동하지 않으면 자동으로 전원이 꺼집니다. 플래시를 다시 작동하려면 “TEST” 버튼을 누르거나 카메라 셔터를 살짝 누르십시오. 그러나 [WL SLAVE] 모드와 [S-FL SLAVE] 모드에서는 자동 전원 차단이 작동하지 않습니다.

카메라에 장착

1. 전원 스위치를 “OFF”로 합니다.
2. 슈 잠금 레버가 [UNLOCK ►] 위치에 있는지 확인합니다. P.3-(4)
3. 카메라의 핫슈에 끝까지 밀어넣고 슈 락킹 레버를 [◀LOCK] 방향으로 제자리에 고정 될 때까지 밀어 넣습니다. P.3-(5)

플래시를 탈착하려면 슈 락킹 레버 버튼을 누른 상태에서 [UNLOCK►] 방향으로 끝까지 밀어 플래시를 분리하십시오.

주의 !!

슈 락킹 레버가 [UNLOCK►] 에서 벗어난 위치에서 플래시를 뽑으면 카메라의 핫슈와 플래시의 부착 슈가 손상될 수 있습니다.

플래시 헤드 조정

일반 촬영에서는, 플래시 헤드를 정면 방향으로 설정합니다. P.3-(6)

주의 !!

전원 스위치를 ON 으로 한 다음, 상태 영역에 **BOUNCE** 표시가 나타나거나 거리 표시가 깜박이는 경우 플래시 헤드가 제대로 정면방향으로 설정되어있지 않으므로 주의하시기 바랍니다.

연속 촬영시 주의점

플래시 회로의 과열을 방지하기 위해 아래의 표에 나타나는 연속 플래시 촬영 후 최소 10 분이상 쉬어 주시기 바랍니다.

모 드	플래시 촬영 횟수
TTL, M(1/1, 1/2)	15 회 연속 플래시 촬영
M(1/4, 1/8)	20 회 연속 플래시 촬영
M(1/16-1/32)	40 회 연속 플래시 촬영
Multi	10 사이클

주의 !!

액정 패널에  아이콘이 표시가 된 경우, 과열 방지를 위해 플래시의 발광이 제한됩니다.  표시가 사라질 때까지 사용을 중단해주시기 바랍니다.

설정의 기본 단계

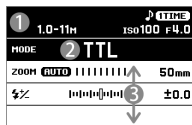
기본 설정을 설명합니다. EF-630 은 다음 단계에서 대부분의 설정을 간단하게 할 수 있습니다.

주의 !!

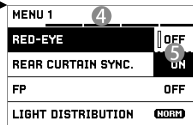
전원 스위치가  (잠금) 위치에 있을 때 설정을 변경할 수 없습니다. 설정 시 반드시 "ON"에 맞추십시오.

MENU 버튼을 사용하여 메인 화면과 설정 메뉴를 전환합니다. (전원을 [ON]으로 했을 때는 반드시 메인 화면에서 시작합니다.)

메인 화면



설정 메뉴



플래시 모드를 변경하고 각 플래시 모드의 세부 사항을 설정합니다.

- ① 상태 영역
- ② 플래시 모드 영역
- ③ 모드 세부사항 영역

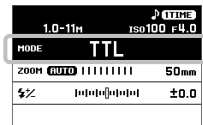
플래시 촬영의 옵션 기능을 추가하고 플래시의 기본 상태를 설정합니다.

- ④ 탭 영역
- ⑤ 서브 메뉴

메인 화면에서 기본 조작

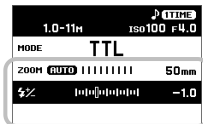
플래시 모드 선택

 버튼으로 플래시 모드 영역을 선택한 후  버튼이나 다이얼을 사용하여 플래시 모드를 변경합니다.



플래시 모드 세부사항 설정

 버튼으로 모드 세부사항 영역을 선택하고  버튼이나 다이얼을 사용하여 설정 값을 변경합니다.



설정 메뉴의 기본 조작

다이얼을 움직일 때마다 다음 탭으로 메뉴가 이동합니다.

(탭 영역에서 아이콘을 선택할 때, <> 버튼을 사용해서도 설정 메뉴를 변경할 수 있습니다.)

설정 메뉴에서:

◇ 버튼으로 원하는 항목을 선택합니다.

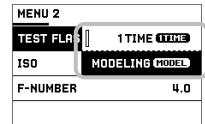
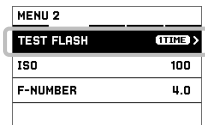
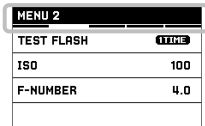
OK 또는 > 버튼으로 하위 메뉴를 엽니다. (항목에 따라 전용 화면을 열거나 메시지가 나타납니다.)

하위 메뉴에서:

◇ 버튼으로 원하는 옵션을 선택하고

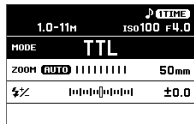
OK 또는 > 버튼으로 확인합니다.

(< 버튼을 누르면 옵션이 변경되지 않고 하위 메뉴가 닫힙니다.)



S-TTL 자동 노출

이 카메라는 프리 발광의 반사광을 측정하고, 최적의 레벨로 발광량을 제어 됨으로써 S-TTL 자동 노출 방법을 이용한 촬영 방법이다. 일반 사진 촬영이 모드를 사용합니다.



1. 플래시 모드를 [TTL]로 설정합니다.

2. 피사체가 촬영 범위 내에 있는지를 상태 영역의 거리표시로 확인합니다.

3. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

플래시 촬영이 성공적으로 이루어지면 상태 영역에 OK 표시가 약 5 초간 나타납니다. OK 표시가 나타나지 않는 경우는 광량이 부족하거나 과다할 가능성이 있으므로 조건을 변경하고 사진을 다시 촬영하십시오.

셔터 스피드와 조리개

카메라의 각 노출 모드에서 셔터 스피드와 조리개의 관계는 다음과 같습니다.

	셔터 스피드	조리개
P	플래시 동조 속도 (*1) 부터 카메라 흔들림이 적은 셔터 스피드 (*2) 까지 자동으로 설정	자동으로 설정
A	플래시 동조 속도 (*1) 이하에서 임의로 설정 가능	자유롭게 설정 가능
S	플래시 동조 속도 (*1) 이하에서 임의로 설정 가능	자동으로 설정
M	플래시 동조 속도 (*1) 이하에서 임의로 설정 가능	자유롭게 설정 가능

(*1) (*1) FP 플래시를 "ON"으로 설정하면 고속 측의 셔터 스피드 제한이 없어집니다.

(*2) (*2) 장착되어있는 렌즈의 초점 거리에 따라 다릅니다. 또한 카메라의 플래시 모드를 슬로우 싱크로로 설정하면 저속 셔터 스피드의 제한이 없어집니다.

주의 !!

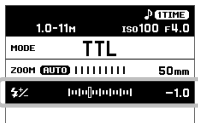
카메라의 셔터 스피드와 조리개 값 표시가 점멸하고 있는 상태에서 촬영을 하면 노출이 맞지 않을 수 있습니다.

그때는 조건을 변경하여 촬영하십시오.

플래시 노출 보정

배경의 노출에 영향을 주지 않고 플래시 출력 보정을 할 수 있습니다.

플래시 모드: **[TTL]**로 사용할 수 있습니다.



플래시 모드 **[TTL]**의 모드 세부사항 영역에서 보정량을 설정합니다. (보정량은 1/3 단계에서 ± 3 단계까지 설정할 수 있습니다.)

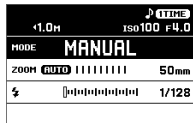
- 카메라와 플래시 모두에서 노출 보정을 설정하면 카메라에 따라 동작이 달라집니다.

sd Quattro 시리즈	다른 호환 카메라
합산된 값으로 촬영	카메라 설정이 우선

수동 플래시

발광량을 임의로 설정할 수 있습니다.

1. 플래시 모드를 **[수동]**으로 설정합니다.
2. 모드 세부사항 영역에서 발광량을 설정합니다. (1/128~1/1 의 범위에서 1/3EV 간격으로 설정할 수 있습니다)



3. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

상태 영역의 거리 표시부에 적정 노출을 얻을 수 있는 거리가 계산되어 표시됩니다. 동일한 광량에서도 카메라의 ISO 감도와 조리개 값을 변경하면 적정 노출을 얻을 수 있는 거리가 달라집니다.

수동 플래시의 적정 노출은 다음의 공식을 사용하여 계산할 수 있습니다.

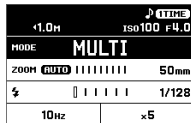
플래시의 가이드 넘버 (GN) / 촬영 거리(m) = 조리개 값(F)
이 플래시의 GN (가이드 넘버)은 **[Table 2]**를 참조하십시오.

멀티 플래시

셔터가 열려있는 동안 플래시를 연속 발광하여 피사체의 움직임을 1 프레임의 화면에 연속 분해 사진처럼 찍을 수 있습니다.

카메라의 수동 ("M") 노출 모드를 사용하십시오.

1. 플래시 모드를 **[MULTI]**로 설정합니다.
2. 모드 세부사항 영역에서 광량, 플래시 간격 "Hz" (예: 10Hz = 초당 10 회 간격으로 발광합니다.) 발광횟수 "x"를 설정합니다.



3. "발광 회수" / "발광 간격" 보다 느린 셔터 속도를 설정합니다.
4. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

연속 발광 횟수는 광량과 발광 간격의 조합에 따라 다릅니다. 매뉴얼 마지막의 **[Table 3]**를 참조하십시오.

무선 플래시 촬영

플래시를 카메라에서 분리하여 설치하면 조명에 의한 표현의 폭이 넓어집니다. EF-630은 카메라에 내장된 플래시 또는 별도의 마스터 플래시 유닛을 통해 제어가 가능합니다.

무선 TTL 촬영

무선 TTL 모드에서는 카메라가 자동으로 적정 노출이 되도록 제어합니다.

플래시를 내장하지 않는 카메라를 사용하는 경우 (sd Quattro, 등)

2개의 EF-630 (SIGMA 용)이 필요합니다. 카메라에 장착한 플래시는 [마스터 유닛], 카메라에서 멀리 떨어진 플래시를 [슬레이브 유닛]이라고 합니다.

마스터 유닛 설정

1. 플래시 모드를 [WL TTL]로 설정합니다.
2. 필요에 따라 채널을 설정합니다.
(모드 세부사항 영역에서 Ch.1~Ch.3을 선택합니다.)

1.0-7.8M		ISO100 F4.0
MODE	WL	TTL
ZOOM	SET AT 24mm	
Ⓢ	CONTROL ONLY	
ch.1		

슬레이브 유닛 설정

3. 플래시 모드를 [WL SLAVE]로 설정합니다.
4. 모드 세부사항 영역에서 마스터 유닛과 동일한 채널을 설정합니다.

		♪ 1 TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

5. 발광 용 플래시를 설치하고 충전 상태를 확인한 다음 촬영합니다. (충전이 완료되면 AF 보조광이 깜박입니다.)

- 플래시는 피사체로부터 0.5m ~ 5m 거리에 놓고 카메라 바디는 피사체로부터 1m ~ 5m 거리에 놓습니다.
- 마스터 플래시는 슬레이브 플래시를 컨트롤하기 위해 발광되는 것으로 사진에는 영향을 주지 않습니다.
- 슬레이브 플래시를 원하시는 위치에 놓을 때 미니 스탠드를 사용할 수 있습니다. 이 미니 스탠드는 트라이포드에 장착할 수 있도록 나사 홈이 있습니다.
- EF-630 DG SUPER SA-STTL 과 함께 사용할 수 있지만, 그 경우 EF-610 DG SUPER 를 마스터 유닛으로 사용해야 합니다. (마스터 유닛으로의 설정은 EF-610 DG SUPER SA-STTL 의 사용설명서를 참조하십시오.)

플래시 내장 카메라를 사용하는 경우 (SD1/SD1 Merrill, 등)

1. 카메라의 플래시 모드를 무선 플래시 모드로 설정하고 필요에 따라 채널을 설정합니다. (카메라 설정은 카메라의 사용설명서를 참조하십시오.)
2. 플래시 모드를 [WL SLAVE]로 설정합니다.
3. 모드 세부사항 영역에서 카메라와 같은 채널을 설정합니다.
4. 플래시를 설치하고 두 가지 플래시 모두 충전상태를 확인하고 촬영합니다.
- 카메라의 내장 플래시는 슬레이브 유닛을 제어하기 위해

		1 TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

발광할 뿐, 촬영에 영향을 주지 않습니다.

무선 수동 플래시

수동 플래시 촬영과 마찬가지로 임의로 발광량을 설정할 수 있는 무선 촬영도 가능합니다. 2 대의 EF-630 (SIGMA 용)이 필요합니다.

마스터 유닛 설정

1. 플래시 모드를 **[WL MANUAL]**로 설정합니다.
2. 피사체에서 슬레이브 플래시의 거리와 상대 영역의 거리표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서 발광량을 조절합니다.
3. 필요에 따라 채널을 설정합니다.
(모드 세부사항 영역에서 Ch.1~Ch.3을 선택합니다.)

1.0M		ISO100 F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
		1/128
Ch.1		

슬레이브 유닛 설정

4. 플래시 모드를 **[WL SLAVE]**로 설정합니다.
 5. 모드 세부사항 영역에서 마스터 유닛과 동일한 채널을 설정합니다.
 6. 플래시를 설치하고 충전 상태를 확인한 다음 촬영합니다.
- EF-610 DG SUPER SA-STTL 과 함께 사용할 수 있지만, 그 경우 EF-610 DG SUPER 를 슬레이브 유닛으로 사용해야 합니다. (슬레이브 유닛의 설정은 EF-610 DG SUPER SA-STTL 사용 설명서를 참조하십시오.) 이 조합은 풀 발광에 가까운 광량을 설정하면 노출 부족이

		1 TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
F FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

될 수 있습니다.

슬레이브 플래시

EF-630 은 다른 플래시 빛에 반응하여 발광하는 기능을 제공합니다. 자동 조광 촬영은 할 수 없지만, 부담 없이 카메라에서 플래시를 카메라에서 분리해도 촬영이 가능합니다.

일반 슬레이브 플래시

카메라에 장착 된 마스터 유닛의 빛에 반응하여, 카메라에서 분리 된 EF-630 을 동조발광 할 수 있습니다.

- 카메라의 내장 플래시는 프리-발광에 의해 오작동이 될 수 있으므로 동조 발광이 불가능합니다.

마스터 플래시를 수동 모드로 설정하고 발광량을 1/16 정도로 설정합니다.

카메라의 노출 모드를 M 으로 설정하고, 셔터 스피드를 1/30 초 또는 그 이하, 마지막으로 조리개와 ISO 는 임의의 값으로 설정합니다.

1.0m		ISO100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM	24mm	
1/128	1/128	
ISO100		F4.0

1. 슬레이브 EF-630 의 플래시 모드를 **[S-FL NORMAL]**로 설정합니다.
2. 모드 세부사항 영역에서 카메라의 설정과 동일하게 ISO 와 조리개 값을 설정합니다.
3. 슬레이브 플래시에서 피사체의 거리와 상대 영역의 거리표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서

발광량을 조절합니다.

4. 충전 완료인지 확인하고 촬영합니다.

전문 슬레이브 플래시

2 개 이상의 EF-630 플래시를 사용하면, 채널을 설정해 발광되는 플래시를 정할 수 있습니다. 이 모드에서 한 개의 플래시는 슬레이브 플래시 컨트롤러로 작동하고 나머지 플래시들은 슬레이브 플래시로 작동됩니다.

카메라의 노출 모드를 M, 셔터 속도를 1/30 초 또는 그 이하, 그리고 조리개와 ISO 는 임의의 값을 설정합니다.

제어(마스터) 플래시 설정

1. 플래시 모드를 [S-FL CTRL]로 설정합니다.
2. 필요에 따라 채널을 설정합니다.
(모드 세부사항 영역에서 Ch.1~Ch.3 을 선택합니다.)

1.0M		1 TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
Ch.1		

발광용 (슬레이브) 플래시 설정

3. 플래시 모드를 [S-FL SLAVE]로 설정합니다.
4. 모드 세부사항 영역에서 제어 플래시와 동일한 채널을 설정합니다.
5. 모드 세부사항 영역에서 ISO 와 조리개 값을 제어 플래시와 동일하게 설정합니다.
6. 슬레이브 플래시에서 피사체의 거리와 상태 영역의 거리 표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서

1.0M		1 TIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM (AUTO)	24mm	
	1/128	
Ch.1	ISO100	F4.0

발광량을 조절합니다.

7. 충전 완료인지 확인하고 촬영합니다.

- 슬레이브 모드에서 이 플래시는 EF-630 및/또는 EF-610 DG SUPER 와 함께 사용할 수 있습니다. (EF-610 DG SUPER 설정은 사용설명서를 참조하십시오.)

옵션 기능

설정 메뉴에서 설정 추가 할 수 있는 옵션 기능을 설명합니다.

적목 감소 기능

플래시를 사용해 촬영을 할 때, 사람의 눈이 빨갛게 찍히는 경우가 있습니다. 적목 감소 기능을 사용하면 셔터가 내려가기 전에 플래시가 약 1 초간 깜박거려 적목현상을 완화시켜 줍니다.

카메라의 노출 모드 P, A, S 그리고 M 에서 사용할 수 있습니다.

[TTL], [MANUAL] 그리고 [WL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

1. [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON] 으로 설정합니다.
2. 메인 화면으로 돌아갑니다. (상태 영역에  표시가 나타납니다.)

주의 !!

적목 감소 발광에 대응하지 않는 플래시 모드에서는 "ON"으로 설정할 수 없습니다.

후막 싱크로 (MENU 1)

셔터막이 닫히기 직전에 플래시가 발광합니다. 움직이는 피사체의 후방에 흐르는 빛과 궤적을 촬영할 수 있기 때문에 자연스러운 움직임을 표현할 수 있습니다.

카메라의 노출 모드 P,A,S 그리고 M에서 사용할 수 있습니다. [TTL], [MANUAL] 그리고 [WL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

- 1.[MENU 1] → [REAR CURTAIN SYNC] → [ON]으로 설정합니다.
- 2.메인 화면으로 돌아갑니다. (상태 영역에  표시가 나타납니다.)

주의 !!

후막 동조 촬영에 대응하지 않는 플래시 모드에서는 "ON"으로 설정할 수 없습니다.

고속 싱크로(FP) 촬영 (MENU 1)

FP 플래시는 셔터막이 움직이는 동안에도 연속 발광됩니다. 따라서 플래시 동조 속도 보다 빠른 셔터 스피드로 촬영할 수 있습니다.

카메라의 노출 모드 P,A,S 그리고 M에서 사용할 수 있습니다. [TTL] 및 [MANUAL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

- 1.[MENU 1] → [FP] → [ON] 으로 설정합니다.
- 2.메인 화면으로 돌아갑니다. (상태 영역에  표시가 나타납니다.)

[TTL] 모드에서는 상태 영역의 거리표시에서 피사체가 촬영

범위 내에 있는지를 확인하고 촬영하십시오.

[MANUAL] 모드에서 피사체까지의 거리와 상태 영역의 거리 표시가 일치하도록 조리개 등을 조정하여 촬영하십시오.

가이드 넘버는 셔터 스피드에 따라 달라질 수 있습니다. (마지막 페이지의 [Table 4]를 참조하십시오.)

주의 !!

FP 플래시를 지원하는 플래시 모드에서는 [ON]으로 설정할 수 없습니다.

배광모드 (MENU 1)

EF-630은 3가지 배광모드를 갖추고 있어 용도에 따라 선택할 수 있습니다.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

NORMAL - (기본)	일반적 배광 일반적인 촬영의 기본 배광 특성을 가진 모드입니다.
GN 	가이드 넘버 우선 배광 주변부 광량 저하에 큰 가이드 넘버를 제공하는 모드입니다.
DIFFUSE 	플랫 배광 주변 광량의 감소를 줄이고 균일한 배광 특성을 가진 모드입니다.

테스트 플래시 (MENU 2)

EF-630 은 두 가지의 테스트 플래시 모드를 갖추고 있습니다. 테스트 플래시 모드 중 하나를 TEST 버튼에 할당 할 수 있습니다.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME 1TIME (기본)	테스트 플래시 테스트 플래시를 1 번 실행합니다.
MODELING MODEL	모델링 플래시 TEST 버튼을 누르면 약 1.5 초간 연속 플래시를 실행하여 피사체의 그림자 방향을 확인할 수 있습니다.

사용자 정의 모드 (MENU 3)

원하는 설정을 등록하고 불러올 수 있습니다. (2 개의 패턴을 등록할 수 있습니다.)

사용자 정의 모드의 등록 및 불러오기

1. 플래시 모드, 모드 세부사항 영역 그리고 설정 메뉴 내용을 원하는 상태로 설정합니다.
2. [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING] 에서 [C1] 또는 [C2] 중 하나를 선택하여 **OK** 버튼을 누릅니다.
3. [OK]를 선택한 다음, **OK** 버튼을 눌러 확인합니다.

등록된 내용은 사용자 정의 모드로 플래시 모드에

1.0-11m ISO100 F4.0	
MODE C1	TTL
200M AUTO	50mm
1/125	-1.0

추가됩니다. (사용자 정의 모드는 플래시 모드 영역에서 **C1** 또는 **C2** 표시로 나타납니다.)

등록된 사용자 정의 모드를 삭제하려면

1. [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE]에서 [C1] 또는 [C2] 중 하나를 선택하여 **OK** 버튼을 누릅니다.
2. [OK]를 선택한 다음 **OK** 버튼을 눌러 확인합니다.

AF 보조광 (MENU 4)

어두운 곳에서는 자동 초점의 작동을 지원하는 AF 보조광이 켜집니다. AF 보조광의 범위는 약 0.7 에서 10 미터 (2.3-32.8 feet) 입니다.

- AF 보조광이 불필요한 경우는 [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF]로 설정하십시오.

LCD 패널 조명 (MENU 4)

전원을 ON 으로 하면 LCD 패널 조명이 들어옵니다. 조명의 점등, 소등에 관한 설정을 변경할 수 있습니다.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (기본)	8초동안 버튼 다이얼 조작이 없으면 조명이 꺼집니다. 소등 시 버튼 다이얼을 조작하면 자동으로 켜집니다.
8 SEC	버튼 다이얼 조작에 관계없이 점등 시점에서 8 초후에 꺼집니다.
ON	항상 켜집니다.

- 설정에 관계없이  버튼을 누르면 조명을 키거나 끌 수 있습니다.

LCD 패널 조정 (MENU 4)

LCD 패널의 콘트라스트나 밝기를 조정할 수 있습니다.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	밝기 《》 버튼을 눌러 원하는 밝기로 조정하십시오.
CONTRAST	콘트라스트 《》 버튼을 눌러 원하는 콘트라스트로 조정하십시오.

조정이 끝나면 [OK]를 선택한 다음, **OK** 버튼을 눌러 확인합니다.

취소하려면 [CANCEL] 버튼을 누르고 **OK** 버튼으로 확인합니다.

거리 표시 단위 변경 (MENU 4)

상태 영역의 거리 표시 단위를 변경할 수 있습니다.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (기본)	미터 표기
FEET	(피트)Feet 표기

플래시 유닛 정보 (MENU 5)

다음 정보를 확인할 수 있습니다.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	모델명
SERIAL No.	시리얼 넘버
VERSION	펌웨어 버전

설정 초기화 (MENU 5)

플래시 설정을 초기 설정으로 리셋할 수 있습니다.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

초기화를 실행하려면 [OK]를 선택하고 **OK** 버튼으로 확인합니다.

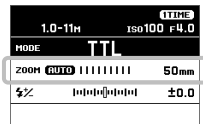
- 설정의 초기화를 실행하면 등록 된 사용자 정의 모드는 삭제됩니다.

기타 유용한 기능

플래시 헤드 설정

플래시 헤드 설정을 **AUTO** (Auto) 로 할 경우, 렌즈의 초점 거리에 적합한 조사가 자동으로 설정됩니다.

- 플래시 헤드는 카메라의 이미지 센서 크기를 고려하기 때문에 실제 렌즈의 초점 거리와 수치가 다르게 표시 될 수 있습니다.



- 플래시 모드에 따라, 렌즈 초점 거리에 관계없이 조사가 고정되는 경우가 있습니다.

플래시 헤드 설정을 수동으로 변경할 수 있습니다. 모드 세부사항 영역에서 《》 버튼을 누르십시오.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- 플래시 헤드 설정에 따라 플래시 가이드 넘버가 변경될

것입니다.

와이드 패널

플래시에는 17mm 의 초 광각 조사 각을 제공하는 내장 와이드 패널이 장착되었습니다. 와이드 패널과 캐치 라이트 패널을 꺼내 플래시 발광 부를 덮어 줍니다. (패널들을 부드럽게 꺼낼 수 있도록 주의합니다.) 그 다음 캐치 라이트 패널을 원래 위치로 넣습니다. P.3-(7)

- 와이드 패널 사용 중에는 모드 세부사항 영역의 각 조사항 표시부에 **WP** 표시가 나타납니다.

바운스 촬영

플래시를 천정이나 벽을 향해 빛을 발광하여 확산시킴으로써 그림자가 적은 부드러운 사진을 찍을 수 있습니다.

플래시 헤드는 위쪽 90°, 아래쪽 7°, 좌우 180°로 설정이 가능합니다. P.3-(8)

- 바운스 동안 상태 영역에 **BOUNCE** 표시가 나타납니다.
- 바운스되는 반사면의 색이 사진 전체에 나타나므로 가능한 한 흰색면을 선택하시기 바랍니다. 반사면에 따라 피사체의 거리 및 다른 요소들, TTL AUTO 에 대한 유효거리는 변경될 수 있습니다.

근접 촬영

플래시 헤드를 아래로 7° 기울이는 것으로 근접 촬영에서 화면 하단에 충분히 조명을 비출 수 있습니다.

- 아래로 7° 바운스 시키고 있을 때는 상태 영역의 거리표시가 깜박입니다.

캐치 라이트 패널

플래시에는 바운스 플래시 모드가 작동 중일 때 피사체의 눈에 캐치 라이트를 만들어 주는 내장 캐치 라이트 패널이 장착되었습니다. 와이드 패널과 캐치 라이트 패널을 꺼낸 후 와이드 패널을 원래 위치로 넣습니다. (패널들을 부드럽게 꺼낼 수 있도록 주의합니다.) P.3-(9)

- 캐치 라이트를 효과적으로 만들기 위해서는, 플래시 헤드를 90 도로 세운 후 가까운 거리에서 촬영하십시오. P.3-(10)

싱크 단자

EF-630 은 상용 싱크로 케이블로 카메라와 연결할 수 있는 싱크로 단자를 갖추고 있습니다.

싱크로 케이블을 연결해서 촬영할 경우, 플래시를 [수동]모드에서 사용하십시오.

[MENU 2]의 [ISO][F-NUMBER]에서 카메라와 같은 ISO 및 F-값을 설정하고 플래시에서 피사체의 거리와 상태 영역의 거리표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서 발광량을 조정합니다.

주의 !!

싱크 단자가 사용되는 경우, S-TTL 자동 플래시는 작동하지 않습니다.

EF-630 의 싱크 단자는 중앙핀에 positive (+) polarity 와 실드에 negative (-) polarity 를 가진 플러그와 호환됩니다. 플러그가 반대의 극성을 가질 경우, 극성 변환 코드를 사용하십시오.

오조작 방지 기능

전원 스위치를 [🔒] (잠금) 위치로 하면 TEST 버튼과 🔌 버튼 이외의 조작이 금지되고 오조작을 방지할 수 있습니다.

- 플래시가 잠긴 상태에서는 상태 영역에 🔒 표시가 표시됩니다.

신호음

LCD 패널의 표시를 보지 않고 소리만으로 플래시의 상태를 알 수 있습니다.

본체 정면의 BEEP 스위치를 [ON]으로 설정하십시오.
(ON 으로 켜면 상태영역에 🎵 표시가 나타납니다.)

1 회 짧은 신호음	충전 완료
2 회 짧은 신호음	조광 OK
1 회 긴 신호음 (2 초)	오류 경고

제품 사양

형식: 클립 온(Clip-on)식 직렬 제어 TTL 오토 줌 전자 플래시
가이드 넘버: 63 (ISO 100/m, 200mm 헤드 포지션)

전원 공급: 4 개의 AA 타입 알카라인 배터리 또는, 4 개의 AA 타입 니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride)

충전 시간: 약 3 초 (알카라인 배터리)

: 약 1.8 초 (니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride))

발광 횟수 : 약 120 회 (알카라인 배터리)

: 약 185 회 (니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride))

섬광 시간 : 약 1 / 700 초 (풀 파워 발광시)

조사 각도 : 24mm~200mm 모터 파워 컨트롤 (와이드 패널 사용시 17mm)

무게 : 490g.

크기 : 79.4mm(W) x 148.4mm x 121.5mm



적합성 평가를 받은 자 상호 : Sigma Corporation

[B 급 기기 (가정용 정보통신 기기)]

이 제품은 가정용으로 전자파적합등록을 한 제품으로서
주거지역은 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

모델명: ELECTRONIC FLASH EF-630-SA

인증 번호: MSIP-REM-SCJ-EF-630-SA

Благодарим Вас за приобретение электронной вспышки Sigma EF-630 (Для SIGMA). Перед использованием вспышки для реализации всех ее возможностей и получения максимальной отдачи от вспышки, пожалуйста, прочитайте это руководство одновременно с руководством для камеры и в дальнейшем держите их под руками.

ПРАВИЛА БЕЗОПАСНОСТИ

Перед использованием вспышки, для того чтобы избежать повреждений или травм, пожалуйста, прочитайте очень внимательно это руководство, обращая внимание на предупредительные знаки приведенные ниже. Пожалуйста, обратите особое внимание на эти два предупредительных знака.

	Использование вспышки без учета этого предупреждающего знака может быть причиной серьезной травмы или привести к другому опасному результату.
	Использование вспышки без учета этого предупреждающего знака может быть причиной серьезной травмы или повреждения.
	Символ обозначает действие, где требуется предупреждение или предостережение.
	Под этим символом дана информация о действиях, которые нужно избегать.

Предупреждение!!

 Вспышка имеет цепи высокого напряжения. Для того чтобы избежать электрического удара или ожога, не предпринимайте усилий по разборке вспышки. Если наружный корпус вспышки сломался или треснул, не касайтесь деталей внутреннего устройства.

 Не подносите вспышку близко к глазам, так как яркий свет может повредить глаза. При съемке с вспышкой держите ее на расстоянии, по крайней мере, 1 м от лица.

 Не касайтесь синхроклемм камеры при установке вспышки в полость камеры. Высокое напряжение в цепи может быть причиной электрического удара.

 Никогда не используйте камеру в присутствии дыма, горячего газа, жидкостей и химикатов. Использование вспышки может быть причиной пожара или взрыва.

 Не дотрагивайтесь до головки вспышки руками и не прикасайтесь ею к коже во время работы вспышки, т.к. это может привести к ожогам.

 Во избежание несчастных случаев не направляйте вспышку в лицо водителям автотранспорта

Предостережение!!

 Не используйте вспышку на камерах отличных от SIGMA sd / dr. Использование на других камерах может повредить электрические цепи этих камер.

 Эта вспышка не водостойка. При использовании вспышки и камеры в условиях дождя, снега или около воды старайтесь держать их сухими. Частым явлением является ремонт внутренних электрических цепей поврежденных водой.

 Никогда не подвергайте вспышку и камеру ударам, воздействию пыли, высокой температуры или влажности. Эти факторы могут приводить к возгоранию и отказам в работе оборудования.

 Когда вспышка подвергается внезапному воздействию изменения температуры, например, при внесении ее из холодного места в теплую комнату, внутри может образоваться конденсат. В этом случае перед таким изменением, положите оборудование в закрытую пластиковую емкость и не используйте вспышку, пока она не достигнет комнатной температуры.

 Не храните вспышку в шкафу или гардеробе, поскольку там может быть нафталин, камфора и другие инсектициды. Эти химикаты отрицательно влияют на вспышку.

 Не используйте растворители, бензол или другие чистящие вещества для удаления грязи или отпечатков пальцев. Чистку производите мягкой увлажненной тканью.



Для длительного хранения используйте прохладное сухое место предпочтительно с хорошей вентиляцией. Рекомендуется, чтобы вспышка была заряжена и для проверки правильного функционирования несколько раз в месяц проверялась на срабатывание.



Запрещается делать вспышки, если корпус вспышки накрыт тканью или одеждой, т.к. это может вызвать возгорание.

БАТАРЕЯ

Питание вспышки от четырех Ni-MH аккумуляторов или алкалиновых батареек типоразмера "AA".

- Для уверенности в хорошем электрическом контакте почистите клеммы батарей перед их установкой.
- Для предотвращения разрыва батареи, течи или перегрева используйте четыре новых батареи типа AA одной марки. Не смешивайте марки или новые и использованные батареи.
- Не разбирайте и не замыкайте накоротко батареи. Не подвергайте их воздействию огня или воды, поскольку они могут взорваться. Ни в коем случае не пытайтесь перезаряжать батарейки!
- Когда вспышка не используется длительный период времени, выньте батареи из вспышки для того, чтобы избежать возможности повреждения от течи.
- Как для любой вспышки рекомендуется соблюдать осторожность в обращении с батареями, особенно при длительном путешествии или при съемках в холодную погоду.
- Запрещается применять литиевые батарейки AA/R6, т.к. это может привести к поломке.

- Пожалуйста, соблюдайте принятые в вашем регионе правила и способы утилизации использованных элементов питания.

ОПИСАНИЕ СОСТАВНЫХ ЧАСТЕЙ (стр.2)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. Головка вспышки | 10. Выключатель питания |
| 2. Сенсор беспроводного управления | 11. Кнопка Готовность к вспышке / Тест |
| 3. Включатель звуковой индикации | 12. Кнопка OK |
| 4. Подсветка автофокуса | 13. Селектор |
| 5. Крышка батареи | 14. Зажим |
| 6. Полосья | 15. Диск |
| 7. ЖК панели | 16. Гнездо синхронизации |
| 8. Включатель подсветки | 17. Отражающая панель |
| 9. Кнопка MENU | 18. Рассеивающая панель |

СЕЛЕКТОР (13)

В данной инструкции нажатия кнопок селектора (13) изображены знаками **▲/▼/◀/▶**.



- Для перемещения вверх/вниз : **▲▼**. Для перемещения влево/вправо : **◀▶**.

СОВМЕСТИМЫЕ КАМЕРЫ

Вспышка совместима с камерами:

Серия sd Quattro, SD1/SD1 Merrill,
Серия dp Quattro, серия DP Merrill

- Некоторые функции вспышки не работают на определенных камерах. См. перечень функций [Таблица 1] в конце данной инструкции.

УСТАНОВКА БАТАРЕЕК

1. Выключите вспышку и откройте крышку батарейного отсека рис.3-(1).
2. Вставьте батарейки, соблюдая полярность "+" и "-". рис.3-(2).
3. Закрыйте батарейный отсек. P.3-(3)
4. Включите вспышку. Если уровня заряда батареек достаточно для вспышки, то замигает зеленый сигнал подтверждения. При полном заряде батареек загорится красный сигнал.

Внимание!!

При низком уровне заряда на ЖК-дисплее появится индикатор . При полном разряде батареек появится индикатор и вспышка не сработает. Пожалуйста, замените батарейки.



СООБЩЕНИЕ ОБ ОШИБКЕ

Индикатор  на ЖК-дисплее сигнализирует о сбое в работе вспышки. Выключите и включите вспышку снова или проверьте состояние батареек. Если это не помогло,

то обратитесь в сервисный центр.

АВТОМАТИЧЕСКОЕ ВЫКЛЮЧЕНИЕ ПИТАНИЯ

Для сохранения емкости батарей вспышка автоматически выключается, когда она не используется в течение примерно 5 минут. Для включения вспышки нажмите кнопку "TEST" (тест) или нажмите наполовину кнопку спуска камеры. Замечание: автовыключение не работает в режимах [WL SLAVE] и [S-FL SLAVE].

УСТАНОВКА ВСПЫШКИ НА КАМЕРУ

1. Выключите вспышку.
2. Убедитесь, что зажим в положении [UNLOCK ►]. P.3-(4)
3. Аккуратно вставьте вспышку в «горячий» башмак камеры до упора. Прокрутите зажим в направлении [◀LOCK] до щелчка. P.3-(5)

Чтобы снять вспышку прокрутите зажим в направлении [UN LOCK►] до упора. Не прекращая давить на зажим снимите вспышку с камеры.

Внимание!!

Если вспышка свободно снимается с камеры при полном закручивании зажима в направлении [◀LOCK], то, возможно, «горячий» башмак камеры и ответный башмак вспышки сломаны.

НАСТРОЙКА ГОЛОВЫ ВСПЫШКИ

При обычной фотосъемке направляйте голову вспышки вперед. P.3-(6)

Внимание!!

Голова вспышки направлена неправильно, если вспышка включена, значок **BOUNCE** горит в зоне статуса или мигает индикация расстояния.

ОГРАНИЧЕНИЯ ДЛЯ НЕПРЕРЫВНОЙ СЪЕМКИ

Для того чтобы предотвратить перегрев электрических цепей вспышки, пожалуйста, не используйте вспышку, по крайней мере, 10 минут после использования ее для съемки быстрой последовательности кадров показанных в таблице ниже.

Режим	Число кадров сделанных с вспышкой
TTL, M(1/1, 1/2)	20 последовательных кадров с вспышкой
M(1/4, 1/8)	25 последовательных кадров с вспышкой
M(1/16~1/32)	40 последовательных кадров с вспышкой
MULTI	10 циклов

Внимание!!

Если появляется значок , то мощность вспышки будет ограничена с целью предупреждения перегрева. Старайтесь не использовать вспышку, пока значок  не исчезнет.

БАЗОВЫЕ НАСТРОЙКИ

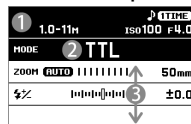
Здесь описаны базовые настройки. Большинство настроек вспышки EF-630 осуществляются нижеописанным образом.

Внимание!!

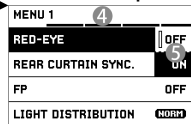
Если выключатель питания вспышки находится в позиции [], то изменить настройки нельзя. Убедитесь, что выключатель находится в положении [ON].

Переключайтесь между главным экраном и меню настроек нажатием кнопки **MENU**. (главный экран всегда отображается при включении вспышки).

Главный экран



Меню настроек



Отображаются режимы работы вспышки и параметры каждого режима

Установка дополнительных функций основных параметров вспышки.

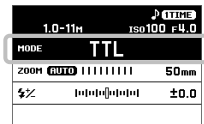
- ① Строка статуса
- ② Режим вспышки
- ③ Параметры режима вспышки

- ④ Зона названия режима
- ⑤ Подменю

БАЗОВЫЕ ОПЕРАЦИИ НА ГЛАВНОМ ЭКРАНЕ

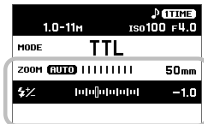
ВЫБОР РЕЖИМА

Выберите режим кнопками  и измените его кнопками  или диском.



ВВОД ПАРАМЕТРОВ РЕЖИМА

Выберите параметры кнопками  и измените их значения  или диском.



БАЗОВЫЕ ОПЕРАЦИИ В МЕНЮ НАСТРОЙКИ

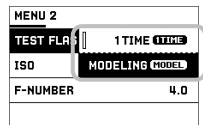
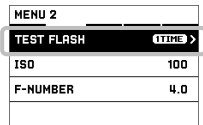
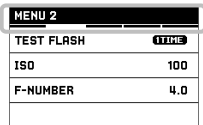
При каждом повороте диска управления, будет происходить переключение вкладок меню. (Когда выбран символ в зоне вкладок, можно менять настройки с помощью кнопок <>.)

Находясь в меню настроек:

Используйте <> для выбора пункта меню. Нажмите **OK** или >, чтобы открыть диалоговый режим. (в некоторых случаях открывается новое окно.)

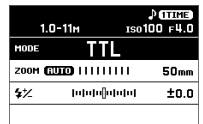
Находясь в подменю:

Нажимайте <> для выбора опций. Нажмите **OK** или > для подтверждения. (Нажмите < для выхода из подменю без записи изменений.)



АВТОЭКСПОЗИЦИЯ S-TTL

В режиме автоэкспозиции S-TTL камера устанавливает мощность вспышки в результате измерения отраженного света предварительной вспышки. Используйте этот режим для стандартной фотосъемки.



1. Установите режим [TTL].
2. Убедитесь, что объект съемки находится в пределах дистанции, указанной в статусной строке.
3. Убедитесь, что вспышка готова к съемке (горит красная лампочка).

Если фотосъемка со вспышкой прошла корректно, то статусной строке появится значок **OK**. Если этого не произошло, то это означает, что мощность вспышки была недостаточной или, наоборот, избыточной. Измените условия съемки и повторите кадр.

ПАРАМЕТРЫ ВЫДЕРЖКИ И ДИАФРАГМЫ

В таблице ниже приведены соотношения выдержки и диафрагмы при разных режимах работы вспышки.

	Выдержка	Диафрагмы
P	Автоматически передается значение из вспышки (*1) в камеру и устанавливается выдержка, не вызывающая эффект от «дрожания» камеры (*2).	Устанавливается автоматически
A	Пользователь устанавливает выдержку, не превышающее значение, вычисленное вспышкой (*1).	Устанавливается пользователем.
S	Пользователь устанавливает выдержку, не превышающее значение, вычисленное вспышкой (*1).	Устанавливается автоматически
M		Устанавливается пользователем.

(*1) В режиме FP вспышки ограничение по минимальной выдержке устраняется.

(*2) Значение выдержки варьируется в зависимости от фокусного расстояния объектива. Кроме этого, в режиме медленной синхронизации ограничение по минимальной выдержке устраняется.

Внимание!!

Если значения выдержки и диафрагмы мигают на главном

экране, то требуется изменить условия съемки, т.к. экспозиция может быть выставлена неверно.

ПОПРАВКА ЭКСПОЗИЦИИ

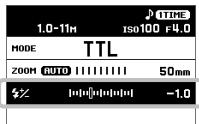
Можно изменять только мощность вспышки без воздействия на экспозицию заднего фона..

Режим вспышки: [TTL].

Значение поправки вводится в зоне параметров режимов вспышки (должен быть установлен режим [TTL].) Значение поправки можно ввести в пределах ± 3 с шагом $1/3$.

- Если введена поправка экспозиции и на камере и на вспышке, то результирующий эффект будет зависеть от типа камеры.

sd Quattro	Другие камеры
Значения суммируются	Значения в камере приоритетны



РУЧНОЙ РЕЖИМ

Можно пошагово менять мощность вспышки

- Установите ручной режим [MANUAL].
- Установите значение мощности в зоне параметров режима. (Доступен диапазон от 1/128 до 1/1 с шагом 1/3EV)
- Проверьте заряд батарей и сигнал готовности перед съемкой.



В статусной строке дисплея вспышки появится расчетное значение расстояние до объекта съемки при данных условиях экспозиции. Даже при одинаковой мощности вспышки эта дистанция может варьироваться при изменении чувствительности ISO или значения диафрагмы.

Подходящее значение диафрагмы можно рассчитать по формуле:

Ведущее число вспышки (GN) / Дистанция съемки (m) = Диафрагма (F)

Ведущее число данной вспышки указано в табл. 2 в конце инструкции.

РЕЖИМ ВСПЫШКИ MULTY (МНОГОКРАТНЫЙ)

В режиме стробоскопической вспышки производится серия быстрых вспышек в соответствии с установленной мощностью вспышки, количеством вспышек и частотой срабатывания.

Установите ручной режим ("M") .

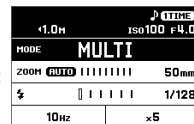
- Установите режим [MULTI].

- Установите мощность, частоту в Гц (например: 10 Гц = 10 вспышек в секунду), и количество вспышек "x".

- Установите выдержку меньшую, чем "количество вспышек" / "частота вспышек".

- Проверьте заряд батарей и сигнал готовности перед съемкой

Число вспышек в серии зависит от комбинации мощности и частоты (см. табл. 3 в конце инструкции).



БЕСПРОВОДНОЕ УПРАВЛЕНИЕ

Можно расширить творческие возможности, располагая вспышку на некоторой дистанции от камеры. Вспышкой EF-630 можно дистанционно управлять с помощью встроенной вспышкой камеры или отдельной управляющей вспышкой.

БЕСПРОВОДНОЕ УПРАВЛЕНИЕ В РЕЖИМЕ TTL

В этом режиме значения экспозиции устанавливает камера.

ЕСЛИ КАМЕРА НЕ ИМЕЕТ ВСТРОЕННОЙ ВСПЫШКИ

(sd Quattro и т.д.)

В этом случае необходимо иметь две вспышки EF-630s для SIGMA. Одна вспышка устанавливается на камеру (управляющая), а другая располагается на некотором расстоянии от камеры (ведомая).

НАСТРОЙКА УПРАВЛЯЮЩЕЙ ВСПЫШКИ

1. Переведите вспышку в режим [WL TTL].
2. Если необходимо, установите номер канала (от 1 до 3).

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL TTL
ZOOM	SET RT 24mm
⚙	CONTROL ONLY
ch.1	

НАСТРОЙКА ВЕДОМОЙ ВСПЫШКИ

3. Переведите вспышку в режим [WL SLAVE].
4. Установите такой же канал, как и на управляющей вспышке.
5. Настройте вспышку для съемки.

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
ch.1	

Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр (завершение цикла перезаряда вспышки подтверждается миганием лампочки подсветки автофокуса).

- Размещайте вспышку на расстоянии 0,5м - 5м от объекта, а фотокамеру на расстоянии 1м - 5м от объекта съёмки.
- Не размещайте вспышку в пределах зоны кадра.
- При установке ведомой вспышки в нужной позиции, вы можете использовать подставку, идущую в комплекте со вспышкой. Подставка имеет штативное гнездо.
- Вспышка EF-630 также работает в комбинации со вспышкой EF-610 DG SUPER SA-STTL. В этом случае используйте EF-610 DG SUPER SA-STTL как управляющую. Обратитесь к инструкции для настройки EF-610 DG SUPER SA-STTL.

ЕСЛИ КАМЕРА ИМЕЕТ ВСТРОЕННУЮ ВСПЫШКУ (SD1/SD1 Merrill, и т.д.)

1. Переведите камеру в режим беспроводного управления вспышкой и установите номер канала, если требуется (см. инструкцию к камере).
2. Переведите вспышку в режим [WL SLAVE].
3. Установите такой же канал, как и на камере.
4. Настройте вспышку для съемки. Убедитесь, что обе вспышки заряжены и сделайте кадр.

1.0-7.8m ISO100 F4.0	
MODE	WL SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm
⚡	FOLLOW MASTER SETTING
ch.1	

- Встроенная вспышка камеры действует только как управляющая и не влияет на условия фотосъемки.

БЕСПРОВОДНОЕ УПРАВЛЕНИЕ В РУЧНОМ РЕЖИМЕ

В ручном режиме также возможно беспроводное управление вспышками. В этом случае требуются две EF-630s для SIGMA.

НАСТРОЙКА УПРАВЛЯЮЩЕЙ ВСПЫШКИ

1. Переведите вспышку в режим [WL MANUAL].
2. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки совпадала с дистанцией, показываемой в статусной строке дисплея вспышки.
3. Если необходимо, установите номер канала (от 1 до 3).

1.0m		1 TIME
ISO100		F4.0
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
1/2	[]	1/128
Ch.1		

НАСТРОЙКА ВЕДОМОЙ ВСПЫШКИ

4. Переведите вспышку в режим [WL SLAVE].
5. Установите такой же канал, как и на управляющей вспышке.
6. Настройте вспышку для съемки. Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр.

		1 TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
ch.1		

- Вспышка EF-630 также работает в комбинации со вспышкой EF-610 DG SUPER SA-STTL. В этом случае используйте EF-610 DG SUPER SA-STTL как управляющую. Обратитесь к инструкции для настройки EF-610 DG SUPER SA-STTL. При такой комбинации может возникнуть недозэкспонирование, если мощность вспышки установлена близко к максимуму.

ДОПОЛНИТЕЛЬНАЯ ВСПЫШКА

EF-630 имеет функцию срабатывания от другой вспышки. Это удобно использовать, разместив вспышку на расстоянии от камеры. Однако, мощность вспышки в этом режиме автоматически не регулируется.

НОРМАЛЬНАЯ ДОПОЛНИТЕЛЬНАЯ ВСПЫШКА

Управляющая вспышка, установленная на камеру, используется для запуска ведомой вспышки, находящейся на расстоянии от камеры.

- При этом встроенная вспышка камеры не синхронизируется предварительной вспышкой.

Переведите управляющую вспышку в ручной режим и установите мощность 1/16.

Переведите камеру в ручной режим замера экспозиции, установите выдержку 1/30 или меньше, установите значения диафрагмы и ISO.

1. Переведите ведомую вспышку EF-630 в режим [S-FL NORMAL].

<1.0m		ISO100 F4.0
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM (AUTO)	[] 24mm	
1/2	[] 1/128	
ISO100		F4.0

2. Установите значения диафрагмы и ISO, совпадающие с камерой.
3. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.
4. Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр.

НАЗНАЧЕННАЯ ДОПОЛНИТЕЛЬНАЯ ВСПЫШКА

Если Вы используете две или более вспышки EF-630, Вы можете с помощью настройки каналов заставить срабатывать вспышки вместе. В этом режиме одна вспышка будет использоваться как Контроллер и другие будут работать как дополнительные.

Переведите камеру в ручной режим замера экспозиции, установите выдержку 1/30 или меньше, установите значения диафрагмы и ISO.

РЕЖИМ УПРАВЛЕНИЯ

1. Переведите управляющую вспышку в режим **[S-FL CTRL]**.
2. Назначьте каналы управления ведомых вспышек (от 1 до 3).

1.0M		TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
ch.1		

НАСТРОЙКА ВЕДОМОЙ ВСПЫШКИ

3. Переведите ведомую вспышку в режим **[S-FL SLAVE]**.
4. Выберите соответствующий канал управления.
5. Введите диафрагму и ISO, равные параметрам управляющей вспышки.
6. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.
7. Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр.

1.0M			TIME
MODE	S-FL	SLAVE	
ZOOM	AUTO		24mm
	1/128		
ch.1	ISO100	F4.0	

- В режиме ведомой вспышки EF-630 может использоваться в комбинации с такой же моделью или с EF-610 DG SUPER для других совместимых камер. Обратитесь к инструкции для настройки EF-610 DG SUPER SA-STTL.

ДОПОЛНИТЕЛЬНЫЕ ФУНКЦИИ

В этом разделе описываются дополнительные функции, которые могут быть задействованы через меню настроек.

УМЕНЬШЕНИЕ КРАСНОГО ГЛАЗА (MENU 1)

При проведении съемки с вспышкой иногда глаза объекта отражают свет вспышки и это проявляется как «красные глаза» на фотографии. Если Вы используете функцию «Уменьшения красного глаза», перед тем как затвор срабатывает вспышка будет мигать приблизительно 1 секунду и это уменьшает «красный глаз».

Редактирование «красных глаз» доступно в режимах камеры **P**, **A**, **S** и **M** и режимах вспышки **[TTL]**, **[MANUAL]** и **[WL]**.

1. Установите **[MENU 1] → [RED-EYE] → [ON]**.
2. Вернитесь в главное меню (на дисплее появится значок .

Внимание !!

Уменьшение красного глаза не работает в некоторых режимах вспышки.

СИНХРОНИЗАЦИЯ ПО ВТОРОЙ ШТОРКЕ (MENU 1)

В этом режиме вспышка срабатывает в момент закрытия шторок затвора, что позволяет зафиксировать на снимке светлый свет за объектом, делая изображение более выразительным.

Функция доступна в режимах камеры **P**, **A**, **S** и **M** и режимах вспышки **[TTL]**, **[MANUAL]** и **[WL]**.

1. Установите **[MENU 1] → [REAR CURTAIN SYNC] → [ON]**.
2. Вернитесь в главное меню (на дисплее появится значок )

Внимание !!

Синхронизация по задней шторке не работает в некоторых режимах вспышки.

ВСПЫШКА FP (MENU 1)

В режиме синхронизации вспышки при короткой выдержке вспышка продолжает светить во время движения шторок. Таким образом, вспышку можно использовать с любыми выдержками затвора.

Функция доступна в режимах камеры **P**, **A**, **S** и **M** и режимах вспышки **[TTL]**, **[MANUAL]**.

1. Установите **[MENU 1] → [FP] → [ON]**.
2. Вернитесь в главное меню (на дисплее появится значок )

В режиме **[TTL]** убедитесь, чтобы дистанция до объекта

съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.

В режиме **[MANUAL]** установите диафрагму, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.

Ведущее число меняется в зависимости от значения выдержки. (Пожалуйста, смотрите Таблицу 4 на последней странице.)

Внимание !!

Функция не работает в некоторых режимах вспышки.

РЕЖИМ ОСВЕЩЕНИЯ (MENU 1)

Вспышка EF-630 имеет три режима освещения.

Выберите **[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]**

NORMAL — (по умолчанию)	Нормальное распределение освещения Применимо для стандартных условий съемки
GN 	Приоритет ведущего числа Угол освещения уменьшается, но достигается большее ведущее число.
DIFFUSE 	Плоское освещение Обеспечивается равномерная освещенность

ТЕСТОВАЯ ВСПЫШКА (MENU 2)

Вспышка EF-630 имеет два тестовых режима. Один из них может быть назначен кнопке TEST button.

Выберите [MENU 2] → [TEST FLASH].

1 TIME 1TIME (по умолчанию)	Тестовая вспышка Одноразовое срабатывание вспышки.
MODELING MODEL	Моделирующая вспышка При нажатии кнопки TEST вспышка непрерывно срабатывает на протяжении 1.5 секунд, позволяя оценить объект съемки и тени.

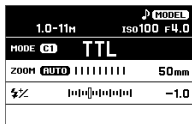
ЗАДАНИЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЬСКИХ ФУНКЦИЙ (MENU 3)

Можно сохранить и быстро вызывать две серии пользовательских настроек.

ЗАДАНИЕ И ВЫЗОВ ПОЛЬЗОВАТЕЛЬСКИХ НАСТРОЕК

1. Установите нужный режим вспышки и его параметры.
2. Из [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], выберите [C1] или [C2] и нажмите кнопку **OK**.
3. Выберите **OK** и подтвердите кнопкой **OK**.

Настройки записаны как пользовательские (на дисплее отображается значок **C1** или **C2**).



УДАЛЕНИЕ СОХРАНЕННОЙ НАСТРОЙКИ

1. Из [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE] выберите [C1] или [C2] и нажмите кнопку **OK**.
2. Выберите **OK** и подтвердите кнопкой **OK**.

ПОДСВЕТКА АВТОФОКУСА (MENU 4)

Подсветка автофокуса срабатывает автоматически как только вы наведете фокус на объект съемки. Эффективная дистанция подсветки от 0.7 до 10 метров.

- Чтобы выключить подсветку выберите set [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

ПОДСВЕТКА ДИСПЛЕЯ (MENU 4)

Подсветка дисплея включается при включении вспышки. Продолжительность подсветки можно настроить.

Выберите [MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (по умолчанию)	Подсветка выключается через 8 секунд бездействия вспышки. При нажатии любой кнопки подсветка включается снова.
8 SEC	Подсветка выключается через 8 секунд после включения.
ON	Подсветка непрерывно работает.

- В любой момент подсветка дисплея может быть включена или выключена кнопкой **Fn**.

НАСТРОЙКА ЯРКОСТИ И КОНТРАСТА ДИСПЛЕЯ (MENU 4)

Выберите [MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	ЯРКОСТЬ Регулируется кнопками <>.
CONTRAST	КОНТРАСТ Регулируется кнопками <>.

По окончании регулировки выберите [OK] и нажмите кнопку **OK**.

Для отмены выберите [CANCEL] и нажмите кнопку **OK**.

ИЗМЕНЕНИЕ ФОРМАТА ИНДИКАЦИИ ДИСТАНЦИИ (MENU 4)

[MENU 4] → [M / FEET]

M (по умолчанию)	В метрах
FEET	В футах

ИНФОРМАЦИЯ О ВСПЫШКЕ (MENU 5)

Можно проверить следующую информацию.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Модель
SERIAL No.	Серийный номер
VERSION	Версия ПО

СБРОС НАСТРОЕК (MENU 5)

Можно вернуться к заводским настройкам..

Выберите [MENU 5] → [RESET SETTINGS]

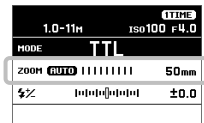
Выберите [OK] и нажмите кнопку **OK**.

- При сбросе настроек пользовательские настройки удаляются.

ПРОЧИЕ ФУНКЦИИ

НАСТРОЙКА ГОЛОВКИ

Если при настройке головки вспышки установлено **AUTO**, то угол освещения выбирается оптимальным для данного фокусного расстояния объектива.



- Головка вспышки принимает во внимание размер сенсора камеры, поэтому отображаемое вспышкой фокусное расстояние может отличаться от реального фокусного расстояния объектива.
- В зависимости от режима вспышки можно зафиксировать настройку головки не принимая в учет фокусное расстояние объектива.

Головку можно настроить вручную. Нажимайте кнопки <> в зоне параметров режима вспышки.

24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- В зависимости от настройки головки вспышки будет изменяться ведущее число.

РАСSEИВАЮЩАЯ ПАНЕЛЬ

Вспышка оснащена встроенной рассеивающей панелью, позволяющей увеличивать угол рассеивания до угла поля зрения объектива 17мм. Выдвиньте из корпуса рассеивающую и отражающую панели и поверните рассеивающую панель вниз. (Будьте осторожны при выдвигании панелей.) Затем сдвиньте отражающую панель обратно внутрь корпуса. P.3-(7)

- При использовании широкоугольной панели на дисплее появится значок **MP**.

НАПРАВЛЕННОСТЬ ВСПЫШКИ

Если направить головку вспышки на стену или потолок, объект будет освещаться светом вспышки, отраженным от поверхности. Таким образом, можно смягчить тени за объектом, обеспечивая более естественный вид снимка. Угол вращения головки в вертикальном положении можно изменять от 90° вверх до 7° вниз, а также вращать влево/вправо на 180°. P.3-(8)

- При съемке в отраженном свете на дисплее появится значок **BOUNCE**.
- Кадр получается цветных при отражении света от поверхности. Для отражения выбирайте белую поверхность. В зависимости от отражающей поверхности, могут быть изменены расстояние до объекта, эффективный диапазон расстояний для TTL AUTO и другие факторы.

ЭКСПОЗИЦИИ ДЛЯ КРУПНОГО ПЛАНА

Установив головку вниз на 7° можно использовать вспышку для макрофотографии.

- При этом положении головки значение дистанции мигает на дисплее вспышки.

CATCH LIGHT PANEL

Вспышка оснащена встроенной отражающей панелью, позволяющей создавать маленький блик в глазах модели при съёмке портрета с «заполняющей» вспышкой. Выдвиньте из корпуса рассеивающую и отражающую панели и сдвиньте рассеивающую панель обратно. (Будьте осторожны при выдвигании панелей.) P.3-(9)

- Для создания эффективного блика в глазах модели, поверните голову вспышки вверх на 90° и снимайте с близких дистанций. P.3-(10)

ГНЕЗДО СИНХРОНИЗАЦИИ

Через гнездо синхронизации можно соединить вспышку с камерой.

При съемке с синхрокабелем переведите вспышку в ручной режим **[MANUAL]**.

Через **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]** установите ISO и диафрагму в соответствие со значениями камеры. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.

Внимание!!

Режим S-TTL не работает при использовании синхрокабеля.

Вспышка EF-630 совместима с синхрокабелями, имеющими положительную полярность (+) центрального контакта и отрицательную полярность (-) оболочки разъема.

ЗАЩИТА ОТ СЛУЧАЙНОГО СРАБАТЫВАНИЯ

Если выключатель питания установить в положение , то действия всех кнопок, кроме TEST и , блокируются с целью защиты от случайного срабатывания и изменения настроек.

- Значок  показывается на дисплее в статусной строке.

ЗВУКОВАЯ СИГНАЛИЗАЦИЯ

Некоторые действия вспышки подтверждаются звуковым сигналом, позволяя не отвлекаться на ЖК-дисплей.

Включите звуковую сигнализацию кнопкой ВЕЕР, расположенной на лицевой части вспышки. (На дисплее появится значок .

Один короткий сигнал	Подтверждение окончания заряда вспышки
Два коротких сигнала	Подтверждение правильности настройки освещенности
Один длинный сигнал (2 сек.)	Предупреждение об ошибке.

ХАРАКТЕРИСТИКИ

ТИП: Электронная вспышка с автозумом и TTL управлением

ВЕДУЩЕЕ ЧИСЛО: 63 (ISO 100/м, положение головки 200мм)

ИСТОЧНИК ПИТАНИЯ: Четыре щелочные батареи типа AA; четыре никель-металл-гидридных аккумулятора типа AA

ВРЕМЯ ВОССТАНОВЛЕНИЯ: около 3,0 сек (щелочные батареи); около 1,8 сек (никель-металл-гидридные аккумуляторы)

ЧИСЛО ВСПЫШЕК: около 120 вспышек (щелочные батареи); около 185 вспышек (никель-металл-гидридные аккумуляторы)

ДЛИТЕЛЬНОСТЬ ВСПЫШКИ: около 1/700 сек (для полной мощности)

УГОЛ ОХВАТА ВСПЫШКОЙ: 24мм - 200мм с управлением мотором (17мм для встроенной широкоугольной панели)

ВЕС: 490 г

ГАБАРИТЫ: 79.4 мм x 148.4 мм x 121.5 мм.

Muito obrigado por ter adquirido o Flash Electrónico Sigma EF-630 (PARA SIGMA). De forma a complementar o seu gosto pela fotografia, este flash possui uma variedade de funções. Para tirar o máximo de partido destas funções e obter o máximo desempenho do seu flash, leia por favor este livro de instruções, juntamente com o manual de instruções da sua câmara, antes de utilizar o flash. Mantenha sempre este livro à mão para uma futura consulta.

PRECAUÇÕES DE SEGURANÇA

De forma a evitar danos ou feridas, por favor leia cuidadosamente este manual de instruções antes de utilizar o flash. Preste especial atenção aos dois símbolos de perigo seguintes.

	Aviso !!
	Cuidado !!
	Este símbolo denota um aviso ou ponto onde é requerido cuidado.
	Este símbolo contém informação de acordo com as acções que devem ser evitadas.

Aviso !!

 Este flash contém circuitos de alta tensão. De forma a evitar choques eléctricos ou queimaduras, não tente desmontar o flash. Se a cobertura exterior estiver quebrada ou rachada, não toque no mecanismo interior.

 Não dispare o flash perto dos olhos. A luz intensa pode danificar a visão. Mantenha pelo menos 1m de distância entre a visão e a unidade de flash, quando captar uma fotografia utilizando o flash.

 Não toque no terminal de sincronização da sua câmara quando o flash estiver acoplado à sapata. Os circuitos de alta tensão poderão causar um choque eléctrico.

 Nunca utilize a sua câmara num ambiente onde existam materiais inflamáveis, gases, líquidos ou químicos, etc. Caso contrário poderá ocorrer um incêndio ou uma explosão.

 Não cubra a cabeça do flash com as mãos ou dispare o flash muito perto da sua pele, isto pode causar queimaduras.

 Não dispare o flash na direcção dos carros, isto pode causar um acidente.

Cuidado !!

 Não utilize esta unidade de flash numa câmara que não seja a Sigma, séries SA e SD, caso contrário o flash pode causar danos nos circuitos das câmaras.

 Esta unidade de flash não é à prova de água. Ao utilizar o flash e a câmara debaixo de chuva ou neve, ou perto de água, mantenha-o sempre seco. Muitas vezes é impraticável reparar componentes electrónicos internos danificados pela água.

 Nunca exponha o flash e a câmara ao impacto, poeira, altas temperaturas e humidade. Estes factores poderão causar incêndios ou avarias no seu equipamento.

 Se o flash for sujeito a mudanças repentinas de temperatura, como por exemplo movido de um exterior frio para um interior quente, poderá ser formada condensação no interior. Neste caso coloque o seu equipamento num plástico selado antes de o sujeitar à mundaça de temperatura, e não utilize a unidade de flash enquanto não atingir a temperatura ambiente.

-  Não coloque o seu flash numa gaveta, armário ou local que contenha naftalina, cânfora ou outros insecticidas. Estes químicos causam efeitos negativos na unidade de flash.
-  Não utilize diluente, benzeno ou outros agentes de limpeza para remover sujidade ou dedadas. Limpe com um pano macio húmido.
-  Para um armazenamento prolongado, escolha um local fresco e seco, preferencialmente com boa ventilação. É recomendado que o flash seja carregado e disparado várias vezes por mês, de forma a manter um funcionamento apropriado.
-  Não dispare o flash se a cabeça estiver coberta com panos ou roupas, caso contrário pode provocar um incêndio.

ACERCA DA BATERIA

Esta unidade de flash utiliza quatro baterias recarregáveis Ni-MH, do tipo “AA”, ou baterias alcalinas de célula seca.

- De forma a assegurar um contacto eléctrico apropriado, limpe os terminais da bateria, antes de instalar as baterias.
- De forma a evitar a explosão, derrame ou sobreaquecimento das baterias, utilize quatro novas baterias AA do mesmo tipo e marca. Não misture tipos de baterias diferentes, nem baterias novas e usadas.
- Não desmonte nem provoque curto-de-circuito nas baterias, nem as exponha ao fogo e à água; elas poderão explodir. Não recarregue baterias sem serem Ni-MH.
- Quando o flash não estiver em utilização por um longo período de tempo, remova as baterias do flash para evitar possíveis danos causados por derrames.
- Como com qualquer flash, é recomendado que leve consigo

baterias suplentes para longas viagens, ou para sessões fotográficas exteriores, com o tempo frio.

- Não utilize baterias de lítio AA/R6. Estas poderão causar avarias no equipamento.
- Siga por favor todos os parâmetros, regras e regulamentos da sua comunidade, respectivamente ao descarte das baterias.

DESCRIÇÃO DOS COMPONENTES (P.2)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. Cabeça de Flash | 10. Interruptor de energia |
| 2. Receptor de sinal remoto | 11. Luz pronta / Botão TEST |
| 3. Interruptor BEEP | 12. Botão OK |
| 4. Luz assistente de AF | 13. Selector |
| 5. Tampa da bateria | 14. Alavanca de bloqueio de sapata |
| 6. Sapata | 15. Botão de girar |
| 7. Paineil LCD | 16. Terminal de sincronização |
| 8. Interruptor de luz de fundo | 17. Paineil de captação de luz |
| 9. Botão MENU | 18. Paineil amplo |

SELECTOR (13)

Neste manual de instruções, cada posição do selector é mostrada como    .



Os botões são utilizados da seguinte forma: Operar para cima e baixo: . Operar para a esquerda e direita: .

CÂMARAS COMPATÍVEIS

Este flash é compatível com as seguintes câmaras.

Séries sd Quattro, SD1/SD1 Merrill,
Séries dp Quattro, Séries DP Merrill

- Algumas funções não estão disponíveis dependendo da câmara que está a ser utilizada. Consulte a tabela das respectivas funções [Tabela 1] anexa no fim deste manual.

COLOCAR AS BATERIAS

1. Desligue o flash colocando o interruptor em **[OFF]** e abra o compartimento das baterias deslizando a respectiva tampa. P.3-(1)
2. Siga a indicação no compartimento das baterias e insira as baterias com os terminais "+" e "-" na posição correcta. P.3-(2)
3. Feche o compartimento das baterias. P.3-(3)
4. Ligue o flash colocando o interruptor em **[ON]**. Quando o flash estiver carregado no nível em que é possível disparar o flash, a luz de flash pronto fica intermitente no verde. Quando o flash estiver totalmente carregado, a luz fica vermelha.

Cuidado!!

Quando a capacidade da bateria fica fraca, aparece o símbolo  no painel LCD. Quando a capacidade chega a zero, o display indica o símbolo à direita, e o flash deixa de funcionar. Por favor substitua as baterias.



AVISO DE ERRO

Quando aparece o símbolo **[ER]** no painel LCD, o flash poderá ter falhas. Reinicie o flash ou verifique a bateria. Se a

indicação persistir, contacte o nosso departamento de vendas.

ENCERRAMENTO AUTOMÁTICO

De forma a conservar bateria, a unidade de flash desliga-se automaticamente se o flash não for utilizado durante aproximadamente 5 minutos. Para voltar a ligar o flash, pressione o botão TEST ou o botão de obturador da câmara até meio. Todavia, o encerramento automático não funciona nos modos **[WL SLAVE]** e **[S-FL SLAVE]**.

FIXAÇÃO À CÂMARA

1. Desligue o flash colocando interruptor em **[OFF]**.
2. Confirme que a alavanca de bloqueio da sapata está na posição **[UNLOCK ►]**. P.3-(4)
3. Insira o flash na sapata da câmara até encaixar. Coloque a alavanca de bloqueio na posição **[◀LOCK]** até a sapata ficar bloqueada e soar o som de click. P.3-(5)

Ao remover o flash, coloque a alavanca de bloqueio de sapata na posição **[UNLOCK ►]** até parar, premindo sempre a alavanca de bloqueio de sapata. Após este procedimento, retire o flash.

Cuidado!!

Se o flash for retirado sem a alavanca de bloqueio de sapata na posição **[UNLOCK ►]**, a sapata da câmara e o suporte para sapata do flash poderão ficar danificados.

AJUSTAMENTO DA CABEÇA DE FLASH

Ao captar regularmente, coloque a cabeça do flash a apontar para a frente. P.3-(6)

Cuidado!!

Após ter ligado o flash, se o símbolo **BOUNCE** aparecer na área de estado, ou se a indicação de distância na área de estado estiver intermitente, a cabeça de flash não está correctamente apontada para a frente.

LIMITES DA CAPTAÇÃO CONTÍNUA

De forma a evitar o sobreaquecimento dos circuitos, não utilize o flash após 10 minutos de disparo contínuo, para as exposições abaixo indicadas.

Modo	Nº de exposições de flash
TTL, M(1/1, 1/2)	20 disparos contínuos
M(1/4, 1/8)	25 disparos contínuos
M(1/16~1/32)	40 disparos contínuos
MULTI	10 ciclos

Cuidado!!

Caso apareça o ícone  no display, será limitada a quantidade de luz de forma a evitar o sobreaquecimento dos circuitos. Evite utilizar o flash enquanto não desaparecer o ícone .

PASSOS DE CONFIGURAÇÃO BÁSICOS

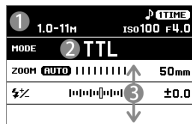
Esta secção descreve o básico das configurações. Com o flash EF-630, muitas configurações podem ser efectuadas facilmente através dos seguintes passos.

Cuidado!!

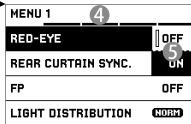
Quando o interruptor estiver na posição  (bloqueado), as configurações não podem ser alteradas. Certifique-se de o colocar em **[ON]** de forma a alterar as configurações.

Altere entre o ecrã principal e o menu de configurações através do botão **MENU**. (Quando o flash é ligado, é mostrado o ecrã principal.)

Ecrã principal



Menu de configurações



Muda o Modo de Flash e define os detalhes de cada modo.

Adiciona as funções opcionais de disparo e define as condições básicas do flash.

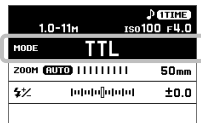
- ① Área de estado
- ② Área do modo de flash
- ③ Área do modo de detalhes

- ④ Área de tab
- ⑤ Sub menu

OPERAÇÕES BÁSICAS DO ECRÃ PRINCIPAL

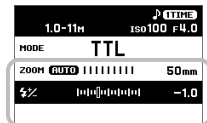
SELECIONAR O MODO DE FLASH

Selecione a área do modo de flash através dos botões  e mude o modo através dos botões  ou através do botão de girar.



DEFINIR OS DETALHES DO MODO DE FLASH

Selecione a área do modo de detalhes através dos botões  e mude os valores utilizando os botões  ou o botão de girar.



OPERAÇÃO BÁSICA NO MENU DE CONFIGURAÇÕES

Para mover para o tab seguinte, utilize o botão de girar. (Quando o cursor estiver na área de tab também pode ser movido prima os botões <>.)

Enquanto estiver no menu de configurações:

Utilize os botões  para seleccionar os itens do menu. Prima o botão  ou  para abrir sub-menus ou diálogos. (Em alguns itens, poderá abrir um ecrã especial ou uma mensagem de diálogo.)

Enquanto estiver nos sub-menus de configuração:

Utilize os botões  para seleccionar as opções de configuração. Prima os botões  ou  para aplicar as novas configurações. (Prima o botão  para fechar os sub-menus sem aplicar as novas alterações.)

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME >
ISO	100
F-NUMBER	4.0

MENU 2	
TEST FLASH	1TIME 1TIME
ISO	MODELING MODEL
F-NUMBER	4.0

EXPOSIÇÃO AUTOMÁTICA S-TTL

Este é um método de captação utilizando a exposição automática S-TTL, onde a câmara mede a luz reflectida da pré-emissão, e controla a quantidade de flash para um nível óptimo. Utilize este modo para a captação geral.

1.0-11M ISO100 F4.0	
MODE	TTL
ZOOM AUTO	50mm
±%	±0.0

1. Mude o modo de flash para [TTL].
2. Confirme que o assunto a fotografar se encontra no alcance de captação, verificando a indicação de distância na área de estado.
3. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e inicie a captação.

Quando a captação com o flash é realizada correctamente, é indicado o símbolo  durante aproximadamente 5 segundos na área de estado. Quando o símbolo  não é mostrado, a quantidade de luz poderá ser insuficiente ou muita. Altere a condição e capte novamente.

VELOCIDADE DE OBTURADOR E ABERTURA

As relações entre as velocidades de obturador e as aberturas em diferentes modos de exposição de câmara são as seguintes.

	Velocidade de obturador	Abertura
P	Definida automaticamente a partir da velocidade de sincronização do flash (*1)	Definida automaticamente.
A	para a velocidade de obturador com menor trepidação de câmara (*2).	Definida livremente.
S	Permite que possa definir livremente a velocidade numa gama igual ou menor à velocidade de sincronização do flash (*1).	Definida automaticamente.
M		Definida livremente.

(*1) Quando a função FP estiver em [ON], a restrição da velocidade de obturador na velocidade elevada é desactivada.

(*2) A velocidade de obturador varia dependendo da distância focal da objectiva acoplada. Quando o modo de flash da câmara estiver definido em baixa sincronização, a restrição da velocidade de obturador na velocidade baixa é desactivada.

Cuidado!!

Ao captar enquanto os valores de velocidades de obturador e abertura estiverem intermitentes, a exposição poderá ser

incompatível. Nesse caso, altere as condições antes de captar.

COMPENSAÇÃO DA EXPOSIÇÃO DO FLASH

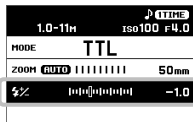
É possível compensar apenas a quantidade de luz do flash sem afectar a exposição do fundo.

Modo de flash: Pode ser utilizado com [TTL].

Defina a compensação na área do modo de detalhes do modo de flash [TTL]. (A compensação possui 1/3 etapas, e podem ser definidas até ±3 etapas.)

- Quando a compensação de luz está definida tanto na câmara como no flash, a operação varia dependendo da câmara.

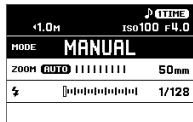
Séries sd Quattro	Outras câmaras compatíveis
É utilizada a quantidade combinada para captar	É dada prioridade à definição do lado da câmara.



FLASH MANUAL

É possível o ajuste discricionário da quantidade de flash.

1. Mude o modo de flash para [MANUAL].
2. Defina a quantidade de flash na área do modo de detalhes. (Gama de definição disponível: 1/128 a 1/1, Pitch disponível para definição: 1/3EV.)
3. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e comece a captar.



Na secção de distância na área de estado, a distância na qual pode ser obtida a exposição apropriada é calculada e mostrada. Mesmo com a mesma quantidade de flash, a distância na qual se obtém a exposição apropriada varia se forem alterados a sensibilidade ISO da câmara ou o valor da abertura.

Uma exposição apropriada ao utilizar o flash manual poderá ser calculada através da seguinte fórmula.

Número Guia (GN) / Distância de captação (m) = Valor de abertura (F)

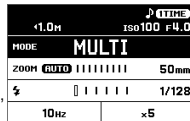
Para o GN (Número Guia) deste flash, consulte a [Tabela 2] anexa no fim deste manual.

MULTI FLASH

Mostrar o movimento do assunto num frame, como se a imagem fosse uma reprodução fotográfica, é possível através da emissão de luz contínua com o flash, enquanto o obturador estiver aberto.

Utilize o modo de exposição manual ("M") da câmara.

1. Mude o modo de flash para [MULTI].
2. Na área do modo de detalhes, defina a quantidade de flash, intervalo de flash em Hz (ex.: 10Hz = Emite luz com a frequência de 10 vezes por segundo), e o número de flashes em "x".



3. Defina uma velocidade de obturador mais lenta do que o valor do "número de flashes" / "frequência de flash".
4. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e comece a captar.

O número de flashes que podem ser disparados continuamente varia dependendo da combinação da quantidade de flash e da frequência de flash. Consulte a [Tabela 3] no fim deste manual.

FLASH SEM FIOS

Quando o flash é utilizado numa localização distante da câmara, as possibilidades criativas são expandidas. O EF-630 pode ser controlado remotamente através do flash incorporado da câmara ou através de uma unidade de flash Master separada.

FLASH SEM FIOS TTL

No modo TTL sem fios, a câmara é controlada, daí é automaticamente definida a exposição apropriada.

UTILIZAR UMA CÂMARA SEM FLASH INTEGRADO

(sd Quattro, etc.)

São necessários dois EF-630s (PARA SIGMA). O flash acoplado à câmara é chamado [unidade Master], e o flash utilizado à distância é chamado [unidade Slave].

DEFINIÇÕES DA UNIDADE MASTER

1. Mude o modo de flash para para [WL TTL].
2. Defina o canal se necessário. (Selecione entre Ch.1 a Ch.3 na área do modo de detalhes.)

1.0-7.8M			ISO100 F4.0		
MODE		WL		TTL	
ZOOM		SET AT 24mm			
		CONTROL ONLY			
Ch.1					

DEFINIÇÕES DA UNIDADE SLAVE

3. Mude o modo de flash para para [WL SLAVE].
4. Na área do modo de detalhes, defina o mesmo canal da unidade Master.
5. Defina o flash para captar. Verifique a carga e comece a captar. (A carga completa é notificada através da luz auxiliar

1.0~7.8M ISO100 F4.0		
♪ 1TIME		
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO)	24mm
⚡ FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

AF intermitente.)

- Por favor posicione a unidade de flash entre 0.5m~ 5m (1.6~ 16 pés) do assunto, e posicione o corpo da câmara entre 1m~ 5m (1.6~ 16 pés) do assunto.
- A unidade Master dispara de forma a controlar a unidade Slave, não influenciando a fotografia.
- Ao definir a unidade Slave na posição desejada, poderá utilizar o mini-stand. Este mini-stand possui uma rosca para tripé.
- O EF-630 pode ser igualmente utilizado em combinação com o EF-610 DG SUPER SA-STTL. Neste caso, utilize o EF-610 DG SUPER como unidade Master. (Definindo-o como unidade Master, por favor siga o manual de instruções do EF-610 DG SUPER SA-STTL.)

UTILIZAÇÃO DE UMA CÂMARA COM FLASH INTEGRADO (SD1 / SD1 Merrill, etc.)

1. Mude a definição do flash da câmara para o modo de flash sem fios e defina os canais, se necessário. (Para detalhes em como mudar estas definições, siga o manual de instruções da câmara.)
2. Defina o modo de flash para [WL SLAVE].
3. Na área do modo de definição de detalhes, defina o mesmo canal da câmara.
4. Posicione o flash para disparar. Assegure-se de que ambos os flashes se encontram carregados e prontos a disparar, e comece a captar.

1.0~7.8M ISO100 F4.0		
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	AUTO 24mm	
⚡	FOLLOW MASTER SETTING	
Ch.1		

- O flash incorporado da câmara dispara de forma a controlar a unidade Slave, não influenciando a fotografia.

FLASH SEM FIOS MANUAL

Assim como a fotografia com o flash manual, está igualmente disponível a captação sem fios onde a saída de flash pode ser configurada manualmente. Neste caso são necessários dois EF-630s (PARA SIGMA).

DEFINIÇÃO DE UNIDADE MASTER

1. Defina o modo de flash para [WL MANUAL].
2. Na área do modo de detalhes, ajuste a saída de flash para que a distância do assunto à unidade Slave seja igual à distância indicada na área de estado.
3. Defina o canal, se necessário.
(Selecione Ch.1 a Ch.3 na área do modo de detalhes.)

1.0M		TIME
ISO100 F4.0		
MODE	WL	MANUAL
ZOOM	SET AT 24mm	
f		1/128
ch.1		

DEFINIÇÃO DA UNIDADE SLAVE

4. Mude o modo de flash para [WL SLAVE].
5. Na área do modo de detalhes, defina o mesmo canal da unidade Master.
6. Posicione o flash para disparar.
Verifique a carga e comece a captar.

		 1 TIME
MODE	WL	SLAVE
ZOOM	(AUTO) 	24mm
 FOLLOW MASTER SETTING		
Ch.1		

- Pode ser igualmente utilizado em combinação com o EF-610 DG SUPER SA-STTL. Neste caso utilize o EF-610 DG SUPER como unidade Slave. (Para definir este como unidade Slave, siga por favor o manual de instruções do EF-610 DG SUPER SA-STTL.) Com esta combinação, a exposição poderá ser insuficiente se a saída de flash for definida perto do nível máximo.

FLASH SLAVE

O EF-630 inclui uma função que o permite disparar reagindo ao flash de outra unidade. Isto permite uma captação fácil e conveniente com o flash posicionado a uma distância da câmara. Contudo, a saída de luz não é automaticamente ajustada neste modo.

FLASH SLAVE NORMAL

A unidade Master acoplada à câmara pode ser utilizada para disparar um flash sincronizado com o EF-630, mesmo posicionado a uma distância da câmara.

- O flash incorporado da câmara opera erroneamente com o pré-flash, portanto, não é possível obter um flash sincronizado. Defina o flash Master para o modo manual e defina a saída de flash para aproximadamente 1/16.
- Defina a exposição da câmara para M, a velocidade de obturador para 1/30 segundos ou menos, e a abertura e ISO para valores discricionários.

1. Mude o modo de flash do EF-630 Slave para [S-FL NORMAL].
2. Na área do modo de detalhes, defina os valores de abertura e de ISO de acordo com as definições da câmara.

1.0M		TIME
MODE	S-FL	NORMAL
ZOOM	(AUTO)	24mm
f		1/128
ISO100	F4.0	

3. Ajuste a quantidade de flash na área do modo de detalhes, para que a distância entre o flash Slave e o assunto seja aproximadamente igual à distância indicada na área de estado.
4. Verifique a carga e comece a captar.

FLASH SLAVE DESIGNADO

Se estiver a utilizar duas ou mais unidades de flash EF-630, poderá designar quais as unidades de flash que irão disparar em conjunto, utilizando as definições de canais. Neste modo, uma unidade de flash será utilizada como o controlador Slave, e os outros dispararão como Slaves.

Mude o modo de exposição da câmara para M, a velocidade de obturador para 1/30 segundos ou menos, e a abertura e o ISO para valores discricionários.

DEFINIR O FLASH DE CONTROLO (MASTER)

1. Mude o modo de flash para [S-FL CTRL].
2. Defina o canal, se necessário. (Na área do modo de detalhes, seleccione **Ch.1** a **Ch.3**.)

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	CTRL
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
Ch.1		

DEFINIR O FLASH DE DISPARO (SLAVE)

3. Mude o modo de flash para [S-FL SLAVE].
4. Na área do modo de detalhes, defina o canal de acordo com o flash controlador.
5. Na área do modo de detalhes, defina os valores de abertura e de ISO de acordo com o flash controlador.
6. Ajuste a quantidade de flash na área do modo de detalhes para que a distância entre o flash Slave e o assunto seja aproximadamente a mesma que a distância indicada na área de estado.
7. Verifique a carga e comece a captar.

<1.0M		TIME
MODE	S-FL	SLAVE
ZOOM	AUTO	24mm
		1/128
Ch.1	ISO100	F4.0

- No modo Slave, este flash pode ser utilizado em combinação com o EF-630 e/ou EF-610 DG SUPER, para outros acessórios da câmara. (Para detalhes na configuração do EF-610 DG SUPER, por favor siga o respectivo manual de instruções.)

FUNÇÕES OPCIONAIS

Esta secção descreve as funções opcionais que podem ser definidas e adicionadas a partir do menu de configurações.

REDUÇÃO DE OLHOS VERMELHOS (MENU 1)

Ao captar uma imagem com o flash, por vezes os olhos da pessoa reflectem a luz do flash e são exibidos “olhos vermelhos” na fotografia. Se utilizar a função de redução de “olhos vermelhos”, o flash piscará durante aproximadamente 1 segundo antes do obturador ser acionado, para a redução do efeito dos “olhos vermelhos”.

A redução de “olhos vermelhos” pode ser utilizada com os modos de exposição **P**, **A**, **S**, e **M** da câmara.

Pode ser utilizada com os modos de flash [TTL], [MANUAL], e [WL].

1. Defina [MENU 1] → [RED-EYE] → [ON].
2. Regresse ao ecrã principal. (Na área de estado, aparece o símbolo )

Cuidado!!

Esta função não pode ser definida para “ON” nos modos de flash que não são compatíveis com redução de “olhos vermelhos”.

SINCRONIZAÇÃO DE CORTINA TRASEIRA (MENU 1)

O flash dispara antes do obturador fechar. A luz por trás do objecto em movimento e o caminho da luz podem ser captados; portanto, as fotos podem exprimir o movimento natural do assunto.

Pode ser utilizado com os modos de exposição **P**, **A**, **S**, e **M** da câmara.

Pode ser utilizado com os modos de flash **[TTL]**, **[MANUAL]**, e **[WL]**.

1. Defina **[MENU 1]** → **[REAR CURTAIN SYNC]** → **[ON]**.
2. Regresse ao ecrã principal. (Na área de estado, aparece o símbolo )

Cuidado!!

Esta função não pode ser definida para "ON" nos modos de flash que não são compatíveis com sincronização de cortina traseira.

FLASH FP (MENU 1)

O flash FP continua a disparar enquanto estiver em execução a cortina de obturador. Poderá utilizar uma velocidade de obturador maior do que a velocidade sincronizada.

Pode ser utilizado com os modos de exposição **P**, **A**, **S**, e **M** das câmaras.

Pode ser utilizado com os modos de flash **[TTL]** e **[MANUAL]**.

1. Defina **[MENU 1]** → **[FP]** → **[ON]**.
2. Regresse ao ecrã principal. (Na área de estado, aparece o símbolo )

No modo **[TTL]**, confirme que o assunto se encontra dentro do alcance de captação verificando a distância indicada na área de estado, antes de começar a captar.

No modo **[MANUAL]**, ajuste a abertura, etc. antes de começar a captar, para que a distância ao assunto e a distância indicada na área de estado sejam iguais.

O Número Guia irá mudar dependendo da velocidade de obturador. (Por favor, consulte a [Tabela 4] na última página.)

Cuidado!!

Esta função não pode ser definida "ON" nos modos de flash que não são compatíveis com flash FP.

MODO DE DISTRIBUIÇÃO DE LUZ (MENU 1)

O EF-630 possui três modos de distribuição de luz que podem ser seleccionados de acordo com o objectivo de utilização.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

NORMAL - (Pré-definido)	Distribuição de luz normal Características básicas de distribuição de luz para a captação geral.
GN 	Distribuição de luz com prioridade ao Número Guia O ângulo de incidência do flash é reduzido, mas fica disponível um Número Guia maior.
DIFFUSE 	Distribuição de luz plana Evita uma redução da luz circundante, oferecendo uma distribuição de luz mais uniforme.

FLASH DE TESTE (MENU 2)

O EF-630 possui dois modos de teste de flash. Um dos modos de teste pode ser alocado ao botão TEST.

[MENU 2] → [TEST FLASH]

1 TIME 1TIME (Pré-definido)	Flash de teste Executa um único teste de flash.
MODELING MODEL	Flash de modelação Quando o botão TEST é mantido pressionado, é efectuado um flash contínuo de aproximadamente 1 segundo e meio de forma que as sombras do assunto possam ser verificadas.

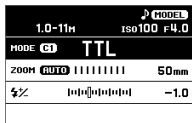
MODO PERSONALIZADO (MENU 3)

É possível armazenar e memorizar definições personalizadas. (Podem ser armazenadas duas séries de funções personalizadas.)

ARMAZENAR E MEMORIZAR FUNÇÕES PERSONALIZADAS

1. Defina o modo de flash, área do modo de detalhes, e conteúdos do menu de configurações, conforme desejado.
2. A partir do [MENU 3] → [CUSTOM MODE SETTING], seleccione [C1] ou [C2] e prima o botão **OK**.
3. Seleccione [OK] e confirme com o botão **OK**.

Os conteúdos registados são adicionados ao modo de flash, como no modo personalizado. (O modo personalizado é indicado com as marcas **C1** ou **C2** na área do modo de flash.)



APAGAR O MODO PERSONALIZADO REGISTADO

1. A partir de [MENU 3] → [CUSTOM MODE DELETE], seleccione [C1] ou [C2] e prima o botão **OK**.
2. Seleccione [OK] e confirme com o botão **OK**.

LUZ ASSISTENTE DE AF (MENU 4)

A luz assistente de AF acende automaticamente ao focar o assunto numa área escura. O alcance efectivo da luz assistente de AF é entre 0.7 a 9 metros (2.3-29.5 pés).

- Quando a luz assistente de AF não é necessária, defina [MENU 4] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].

LUZ DO PAINEL LCD (MENU 4)

Quando a energia é ligada, o painel LCD é iluminado. As definições ON/OFF da luz podem ser alteradas.

[MENU 4] → [LCD LIGHT]

AUTO (Pré-definido)	Após 8 segundos sem utilização, a luz é desligada. Quando um botão é utilizado com a luz apagada, a luz acende automaticamente.
8 SEC	Independentemente de um botão de ser premido ou não, a luz será apagada após 8 segundos a partir do momento em que é acesa.
ON	A luz fica acesa continuamente.

- Independentemente da definição, a luz pode ser acesa ou apagada através do botão

AJUSTAMENTOS NO PAINEL LCD (MENU 4)

O brilho e contraste do painel LCD podem ser ajustados.

[MENU 4] → [DISPLAY SETTING]

BRIGHTNESS	BRILHO Ajuste o brilho até ao nível desejado através dos botões <>.
CONTRAST	CONTRASTE Ajuste o contraste até ao nível desejado através dos botões <>.

Quando terminar o ajustamento, seleccione [OK] e confirme com o botão **OK**.

Quando cancelar o ajustamento, seleccione [CANCEL] e confirme com o botão **OK**.

MUDANÇA DA UNIDADE DE MEDIDA INDICADA (MENU 4)

A unidade de medida na área de estado pode ser alterada.

[MENU 4] → [M / FEET]

M (Pré-definido)	Indicação em metros
FEET	Indicação em pés

INFORMAÇÃO DA UNIDADE DE FLASH (MENU 5)

A informação seguinte pode ser verificada.

[MENU 5] → [INFORMATION]

MODEL	Nome do modelo
SERIAL No.	Número de série
VERSION	Versão de firmware

INICIALIZAÇÃO DE DEFINIÇÕES (MENU 5)

É possível restaurar a unidade de flash para as definições de fábrica.

[MENU 5] → [RESET SETTINGS]

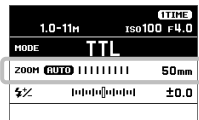
Para inicializar a definição, seleccione [OK] e confirme com o botão **OK**.

- Quando as definições forem restauradas, os modos personalizados memorizados são eliminados.

OUTRAS FUNÇÕES ÚTEIS

CONFIGURAÇÃO DA CABEÇA DE FLASH

Quando a configuração da cabeça de flash é utilizada com o **AUTO** (Auto), a cabeça de flash é automaticamente definida para o ângulo de flash óptimo para a distância focal da objectiva.



- A cabeça de flash toma em conta o tamanho do sensor de imagem da câmara, portanto a distância focal mostrada no flash pode diferir da distância focal da objectiva.
- Dependendo do modo de flash, a definição da cabeça de flash pode ser fixa independentemente da distância focal da objectiva.

A definição da cabeça de flash pode ser alterada manualmente. Prima os botões <> na área do modo de detalhes.

24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Dependendo da definição da cabeça de flash, o Número Guia do flash muda.

PAINEL LARGO

Este flash está equipado com um painel largo incorporado, que oferece um largo ângulo de cobertura de 17mm. Deslize o painel largo e o painel de captação de luz, e vire-o para baixo para cobrir a cabeça de flash. (Tome o cuidado de virar os painéis suavemente.) Depois coloque o painel de captação de luz de volta ao lugar. P.3-(7)

- A secção de indicação da cabeça de flash, dentro da área do modo de detalhes, poderá mostrar o símbolo **WP** quando o painel estiver em utilização.

BALANÇO DO FLASH

Ao disparar o flash na direcção de um tecto ou de uma parede, é possível dispersar a luz e captar fotografias com luz suave e sombras reduzidas.

A cabeça de flash pode ser definida para o lado superior a 90°, para o lado inferior a 7°, e para os lados esquerdo e direito a 180°. P.3-(8)

- Durante o balanço, o símbolo **BOUNCE** é indicado na área de estado.
- Escolha uma superfície branca para o balanço do flash, caso contrário a cor da imagem poderá ficar incorrecta. Dependendo da superfície de reflexo, da distância ao assunto e de outros factores, a distância efectiva de alcance TTL AUTO poderá mudar.

EXPOSIÇÕES POR APROXIMAÇÃO

Ao inclinar para baixo a cabeça de flash a 7°, a secção inferior do enquadramento pode ser suficientemente brilhante para exposições por aproximação.

- Quando é balançada para o lado inferior a 7°, a indicação de distância na área de estado fica intermitente.

PAINEL DE CAPTAÇÃO DE LUZ

Este flash está equipado com um painel de captação de luz incorporado, que é capaz de criar a luz captada nos olhos do assunto, quando o modo de balanço de flash está activado. Deslize o painel largo e o painel de captação de luz, depois coloque o painel largo no seu lugar. (Tome o cuidado de virar os painéis suavemente.) P.3-(9)

- Para criar efectivamente uma luz captada, incline a cabeça de flash para cima, em 90 graus, e capte fotografias a partir de uma distância curta. P.3-(10)

TERMINAL DE SINCRONIZAÇÃO

O EF-630 possui um terminal de sincronização que pode ser conectado à câmara a partir de um cabo de sincronização disponível no mercado.

Quando captar com um cabo de sincronização, utilize o flash no modo **[MANUAL]**.

Através de **[MENU 2] → [ISO] [F-NUMBER]**, defina os valores de ISO e de abertura (F) de acordo com os da câmara. Ajuste a potência do flash na área do modo de detalhes, até a distância mostrada na área de estado ser aproximadamente a mesma distância entre o flash e o assunto.

Cuidado!!

O auto flash S-TTL não funciona se o terminal de sincronização estiver a ser utilizado.

O terminal de sincronização do EF-630 é compatível com tomadas

com polaridade positiva (+) no pino central, e polaridade negativa (-) no revestimento. Se a tomada tiver polaridade inversa, utilize um cabo de conversão disponível no mercado.

PREVENÇÃO DE OPERAÇÃO ACIDENTAL

Quando o interruptor estiver na posição [🔒] (bloqueado), as funções sem ser o botão TEST e o botão 🎯 ficam desactivadas, evitando mudanças acidentais às definições do flash.

- Enquanto o flash estiver bloqueado, o símbolo 🔒 é mostrado na área de estado.

SONS BEEP

Certas condições do flash são indicadas através de um som, facilitando o seu reconhecimento sem olhar para o painel LCD.

Ligue os sons BEEP na parte frontal do corpo. (Quando estes estiverem ligados, o símbolo 🎵 é mostrado na área de estado.)

Um beep curto	Indica que a carga está completa
Dois beeps curtos	Indica que o ajuste de luz está OK.
Um beep longo (2segundos)	Aviso de erro

ESPECIFICAÇÕES

TIPO: Flash electrónico TTL auto zoom Clip-on serial-controlled
NÚMERO GUIA: 63 (ISO100/m, posição da cabeça de 200mm)

FONTE DE ALIMENTAÇÃO: Quatro baterias tipo AA alcalinas ou quatro baterias tipo AA Ni-MH Níquel-Metal Híbrido

TEMPO DE RECICLAGEM: aproximadamente 3.0seg. (com

baterias alcalinas): aproximadamente 1.8seg. (com baterias Ni-MH)
NÚMERO DE FLASHES: aproximadamente 120 flashes (com baterias alcalinas): aproximadamente 185 flashes (com baterias Ni-MH)

DURAÇÃO DO FLASH: aproximadamente 1/700 seg. (disparo com a potência total)

ÂNGULO DE ILUMINAÇÃO DO FLASH: 24~200mm, controlado por motor (17mm com o painel largo incorporado)

PESO: 490g

DIMENSÕES: (L)79.4mm x (A)148.4mm x (C)121.5mm



A marca CE garante a conformidade com as normas estabelecidas pela Comunidade Europeia.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Roedermark, Germany

Verkauf: 01805-90 90 85-0

Service: 01805-90 90 85-85 Fax(Service): 01805-90 90 85-35



Eliminação doméstica dos equipamentos eléctricos e electrónicos

Eliminação de equipamento eléctrico e electrónico usado (aplicável na União Europeia e noutros países da Europa com sistemas de recolha de lixo separados)

O símbolo acima indica que o produto não deve ser tratado como lixo doméstico. Em vez disso, deve ser separado para reciclagem de equipamento eléctrico e electrónico. Se adquirir novos produtos, esta câmara deve ser entregue ao distribuidor ou a um sistema especializado de recolha de lixo. Assegurando a correcta eliminação destes equipamentos, ajudará a prevenir consequências negativas para o ambiente e para a saúde humana causadas por uma inapropriada manipulação dos componentes deste produto. Se a eliminação for feita de forma ilegal, poderá dar lugar a eventuais penalizações. Para informação mais detalhada acerca da reciclagem deste produto, contacte os serviços camarários ou a loja onde adquiriu o mesmo.

[1]

	sd Quattro series	SD1/SD1 merrill	dp Quattro series	DP Merrill series
TTL(STTL)	●	●	●	●
FLASH EXPOSURE COMPENSATION (調光補正)	●	●	●	●
MANUAL	●	●	●	●
MULTI	●	●	×	×
WL TTL	●	●	×	×
WL MANUAL	●	×	×	×
S-FL NORMAL	●	●	×	×
S-FL CTRL	●	●	×	×
RED-EYE (赤目緩和発光)	●	●	●*1	●*1
REAR CURTAIN SYNC (後幕シンクロ撮影)	●	●	×	×
FP	●	●	×	×
LIGHT DISTRIBUTION (配光モード)	●	●	●	●
AF ASSIST LIGHT (AF 補助光)	●	●	×	×
AUTOZOOM HEAD (オートズームヘッド)	●	●	●	●
BOUNCE (バウンス撮影)	●	●	●	●

*1 This setting is only available on camera.
(カメラ側の設定で可能です)

[2] ガイドナンバー/ GN / NG (① **NORMAL**, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	21	29.5	30	34	42	49	54	59	60	63
1/2	15	21	21	24	30	35	38	42	42	45
1/4	11	15	15	17	21	25	27	30	30	32
1/8	7	10	11	12	15	17	19	21	21	22
1/16	5	7	8	9	11	12	14	15	15	16
1/32	4	5	5	6	7	9	10	10	11	11
1/64	3	4	4	4	5	6	7	7	8	8
1/128	2	3	3	3	4	4	5	5	5	6

(② **GN**, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	-	31	33	38	46	56	59	62	63	-
1/2	-	22	23	27	33	40	42	44	45	-
1/4	-	16	17	19	23	28	30	31	32	-
1/8	-	11	12	13	16	20	21	22	22	-
1/16	-	8	8	10	12	14	15	16	16	-
1/32	-	5	6	7	8	10	10	11	11	-
1/64	-	4	4	5	6	7	7	8	8	-
1/128	-	3	3	3	4	5	5	5	6	-

(③ **DIFFUSE**, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	-	-	29.5	31	36	44	49	55	56	60
1/2	-	-	21	22	25	31	35	39	40	42
1/4	-	-	15	16	18	22	25	28	28	30
1/8	-	-	10	11	13	16	17	19	20	21
1/16	-	-	7	8	9	11	12	14	14	15
1/32	-	-	5	5	6	8	9	10	10	11
1/64	-	-	4	4	5	6	6	7	7	8
1/128	-	-	3	3	3	4	4	5	5	5

[3] マルチ発光/MULTI FLASH

1/128	1~5Hz	1~100	1/32	1~3 Hz	1~60
	6~7 Hz	1~90		4~5 Hz	1~50
	8~9 Hz	1~80		6 Hz	1~30
	10~11 Hz	1~70		7~9 Hz	1~20
	12~14 Hz	1~60		10~19 Hz	1~15
	15~19 Hz	1~50		20~199 Hz	1~12
	20~199 Hz	1~40		1 Hz	1~30
1/64	1~3 Hz	1~90	1/16	2 Hz	1~20
	4~5 Hz	1~80		3 Hz	1~10
	6~7 Hz	1~70		4~199 Hz	1~6
	8~9 Hz	1~50	1/8	1 Hz	1~14
	10 Hz	1~45		2 Hz	1~7
	11~14 Hz	1~35		3 Hz	1~6
	15~19 Hz	1~30		4~7 Hz	1~5
	20~50 Hz	1~25		8~9 Hz	1~4
	60~199 Hz	1~20		10~199 Hz	1~3
			1/4	1 Hz	1~4
				2 Hz	1~3
				3~119 Hz	1~2

[4] ガイドナンバー/GN/NG (① FP/NORMAL, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	8.8	12.4	12.6	14.3	17.7	20.6	22.7	24.8	25.2	26.5
1/250	7.9	11.1	11.2	12.7	15.7	18.4	20.2	22.1	22.5	23.6
1/500	5.6	7.8	7.9	9.0	11.1	13.0	14.3	15.6	15.9	16.7
1/1000	3.9	5.5	5.6	6.4	7.9	9.2	10.1	11.1	11.2	11.8
1/2000	2.8	3.9	4.0	4.5	5.6	6.5	7.2	7.8	7.9	8.3
1/4000	2.0	2.8	2.8	3.2	3.9	4.6	5.1	5.5	5.6	5.9

(② FP/GN, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	-	13.0	13.9	16.0	19.3	23.5	24.8	26.1	26.5	-
1/250	-	11.6	12.4	14.2	17.2	21.0	22.1	23.2	23.6	-
1/500	-	8.2	8.7	10.1	12.2	14.8	15.6	16.4	16.7	-
1/1000	-	5.8	6.2	7.1	8.6	10.5	11.1	11.6	11.8	-
1/2000	-	4.1	4.4	5.0	6.1	7.4	7.8	8.2	8.3	-
1/4000	-	2.9	3.1	3.6	4.3	5.2	5.5	5.8	5.9	-

(③ FP/DIFFUSE, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	-	-	12.4	13.0	15.1	18.5	20.6	23.1	23.5	25.2
1/250	-	-	11.1	11.6	13.5	16.5	18.4	20.6	21.0	22.5
1/500	-	-	7.8	8.2	9.5	11.7	13.0	14.6	14.8	15.9
1/1000	-	-	5.5	5.8	6.7	8.2	9.2	10.3	10.5	11.2
1/2000	-	-	3.9	4.1	4.8	5.8	6.5	7.3	7.4	7.9
1/4000	-	-	2.8	2.9	3.4	4.1	4.6	5.2	5.2	5.6

SIGMA CORPORATION

2-4-16 Kurigi, Asao-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 215-8530 Japan

Phone : (81)-44-989-7437 Fax : (81)-44-989-7448